

**Lenovo**

Lenovo System x3250 M6

インストールとサービスのガイド



マシン・タイプ: 3633 および 3943

## 注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、Lenovo Web サイトの683 ページの付録 D「ヘルプおよび技術サポートの入手」に記載されている一般情報、687 ページの付録 E「注記」、安全情報、保証、およびライセンス情報をお読みください。

<https://support.lenovo.com/documents/LNVO-DOCS>

第 8 版 (2018 年 7 月)

© Copyright Lenovo 2016, 2018.

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが GSA (米国一般調達局) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。



# 目次

目次	i	Features on Demand Ethernet および Demand RAID ソフトウェアの有効化	39
安全について	v	RAID 構成ユーティリティへのアクセス	40
トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン	vi	Lenovo XClarity Essentials OneCLI	40
危険な状況の検査	vi	Lenovo XClarity Administrator の使用	40
電気機器の保守のガイドライン	vii	汎用固有 ID (UUID) の更新	41
安全について	viii	DMI/SMBIOS データの更新	42
第 1 章. 資料と注意の種類	1	オンボード SATA ソフトウェア RAID の構成	44
関連資料	1	Onboard SATA RAID 機能の有効化	45
本書で使用される注記	1	RAID ボリュームの作成	45
第 2 章. Lenovo System x3250 M6 サーバーについて	3	RAID ボリュームの削除	45
サーバーの機能および仕様	5	ディスクをスペアとしてマーク付け	46
サーバーが提供する機能	8	第 5 章. トラブルシューティング	47
信頼性、可用性、および保守容易性	11	ここから開始します	47
サーバーの電源オン/オフ	12	問題の診断	47
サーバーの電源をオンにする	13	オンライン・サービス要求を開く	50
サーバーの電源をオフにする	13	Service Bulletin	50
第 3 章. コンポーネントの位置	15	チェックアウト手順	50
前面図	15	チェックアウト手順を実行する前の予防措置	50
背面図	17	チェックアウト手順の実行	51
オペレーター情報パネル	19	診断ツール	52
サーバー・コンポーネント	19	Light path 診断	53
システム・ボード・コネクタ	21	エラー LED	54
システム・ボードのスイッチとジャンパー	22	パワー・サブライ LED	55
システム・ボード LED	24	システム・パルス LED	56
第 4 章. 構成情報	25	イベント・ログ	56
ファームウェアの更新	25	POST	59
サーバーの構成	26	Dynamic System Analysis	59
ServerGuide セットアップとインストール CD の使用	28	自動サービス要求 (コール・ホーム)	61
Setup Utility プログラムの使用	29	Electronic Service Agent	61
Boot Manager プログラムの使用	35	エラー・メッセージ	62
サーバー・ファームウェアのバックアップの開始	35	症状別トラブルシューティング	62
UEFI のデフォルトをロードした後の Power Policy オプションのデフォルトの設定値への変更	35	一般的な問題	63
Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) の使用	36	光学式ドライブの問題	63
リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用	37	ハードディスク・ドライブの問題	64
組み込みハイパーバイザーの使用	39	ハイパーバイザーの問題	66
イーサネット・コントローラーの情報	39	再現性の低い問題	66
		キーボード、マウス、または USB デバイスの問題	66
		メモリーの問題	67
		モニターの問題	68
		ネットワーク接続の問題	69
		オプションのデバイスの問題	70
		オペレーティング・システムのブートの問題	70

電源問題	70
シリアル・ポートの問題	72
ServerGuide の問題	72
ソフトウェアの問題	73
USB コネクタの問題	73
チップ・セット・ドライバーの取り付けの問題	74
電源の問題の解決	74
イーサネット・コントローラーの問題の解決	74
未解決問題の解決	75
問題判別のヒント	76
サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)	77
インバンドの手動リカバリー方式	78
インバンドの自動ブート・リカバリー方式	79
アウト・オブ・バンド方式	79
自動ブート・リカバリー (ABR)	79
Nx 回ブート失敗	79

<b>第 6 章 . 部品リスト、Lenovo System x3250 M6</b>	<b>81</b>
交換可能なサーバー・コンポーネント	81
構成部品	93
電源コード	94

<b>第 7 章 . サーバー・コンポーネントの取り外しと取り付け</b>	<b>97</b>
サーバー・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に	97
システムの信頼性に関するガイドライン	97
電源オンされているサーバーの内部での作業	97
静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い	98
サーバー・コンポーネントの取り外しと取り付け	98
構成部品の取り外しと取り付け	98
Tier 1 CRU の取り外しと取り付け	106
Tier 2 CRU の取り外しと取り付け	159
内部ケーブルの配線	173
部品交換の完了	189
ビジネス・パートナー用の手順	190
Lenovo への DSA データの送信	190
デバイスまたはコンポーネントの返却	191

<b>付録 A. Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ</b>	<b>193</b>
自動的にサポートに通知する IMM イベント	194
IMM イベントのリスト	197

<b>付録 B. UEFI (POST) エラー・コード</b>	<b>513</b>
----------------------------------	------------

UEFI イベントのリスト	513
---------------	-----

<b>付録 C. DSA 診断テスト結果</b>	<b>525</b>
DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果	525
DSA Broadcom ネットワーク・テストのテスト結果	525
DSA Brocade テスト結果	535
DSA Brocade テストのテスト結果	535
DSA チェックポイント・パネル・テスト結果	544
DSA チェックポイント・パネル・テストのテスト結果	544
DSA CPU ストレス・テスト結果	546
DSA CPU ストレス・テストのテスト結果	546
DSA Emulex アダプター・テスト結果	549
DSA Emulex アダプター・テストのテスト結果	549
DSA EXA ポート ping テスト結果	553
DSA EXA ポート ping テストのテスト結果	553
DSA ハードディスク・ドライブ・テスト結果	556
DSA ハードディスク・ドライブ・テストのテスト結果	556
DSA Intel ネットワーク・テスト結果	557
DSA Intel ネットワーク・テストのテスト結果	557
DSA LSI ハードディスク・ドライブ・テスト結果	564
DSA LSI ハードディスク・ドライブ・テストのテスト結果	564
DSA Mellanox アダプター・テスト結果	565
DSA Mellanox アダプター・テストのテスト結果	566
DSA メモリー分離テスト結果	568
DSA メモリー分離テストのテスト結果	568
DSA メモリー・ストレス・テスト結果	645
DSA メモリー・ストレス・テストのテスト結果	646
DSA Nvidia GPU テスト結果	649
DSA Nvidia GPU テストのテスト結果	649
DSA 光学式ドライブ・テスト結果	656
DSA 光学式ドライブ・テストのテスト結果	656
DSA システム管理テスト結果	660
DSA システム管理テストのテスト結果	661
DSA テープ・ドライブ・テスト結果	677
DSA テープ・ドライブ・テストのテスト結果	677

<b>付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手</b>	<b>683</b>
依頼する前に	683
資料の使用	684
ヘルプおよび情報を WWW から入手する	684
DSA データの送信方法	684

個別設定したサポート Web ページの作成 . . . . .	685
ソフトウェアのサービスとサポート . . . . .	685
ハードウェアのサービスとサポート . . . . .	685
台湾の製品サービス . . . . .	685

**付録 E. 注記 . . . . . 687**

商標 . . . . .	688
重要事項 . . . . .	688
リサイクル情報 . . . . .	688
粒子汚染 . . . . .	689
通信規制の注記 . . . . .	689
電波障害自主規制特記事項 . . . . .	689
連邦通信委員会 (FCC) 宣言書 . . . . .	689
カナダ工業規格クラス A 排出量適合性宣言 . . . . .	690

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada . . . . .	690
オーストラリアおよびニュージーランド Class A 宣言書 . . . . .	690
EU EMC 指令適合性宣言書 . . . . .	690
ドイツ Class A 宣言書 . . . . .	691
電磁適合性宣言 (日本) . . . . .	692
韓国通信委員会 (KCC) 宣言書 . . . . .	692
ロシア電磁妨害 (EMI) Class A 宣言書 . . . . .	693
中華人民共和国 Class A 電子放出宣言書 . . . . .	693
台湾 Class A 適合性宣言書 . . . . .	693
台湾 BSMI RoHS 宣言 . . . . .	694

**索引 . . . . . 695**



---

## 安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安裝本產品之前，請仔細閱讀 **Safety Information** (安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας (safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

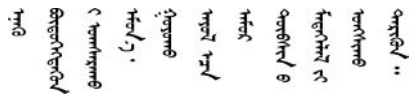
A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítajte Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

ཐོན་ཁུངས་འདི་བདེ་སྤྱོད་མ་བྱས་གོང་། རྒྱུ་རྒྱུ་ཡིད་གཟབ་  
བྱ་འདྲ་མིན་ཡིད་པའི་འོད་ཟེར་བལྟ་དགོས།

Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

مەزكۇر مەھسۇلاتنى ئورنىتىشتىن بۇرۇن بىخەتەرلىك ئۇچۇرلىرىنى ئوقۇپ چىقىڭ.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen  
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

---

## トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン

このセクションには、トレーニングを受けたサービス技術員向けの情報が記載されています。

### 危険な状況の検査

この情報は、作業対象のデバイスでの潜在的に危険な状態の識別に役立ててください。

各デバイスには、設計され製造された時点で、ユーザーとサービス技術員を障害から保護するための安全項目が義務付けられています。このセクションは、こうした項目のみを取り扱います。このセクションに記載されていない、サポート対象外の改造箇所またはサポート対象外の機構やオプションのデバイスの接続によって起こりうる潜在的に危険な状態は、適切な判断によって識別してください。危険な状態を識別した場合、危険の重大度、および製品の作業を進める前に問題を解決する必要があるかどうかを判別してください。

以下の状態とそれがもたらす安全上の問題について考慮してください。

- 電気的な危険。特に、1次側電源(フレームの1次電圧が、重大または致命的な感電事故の原因になる場合があります。)
- 爆発の危険。たとえば、損傷を受けたCRT表面またはコンデンサーの膨らみ。
- 機械的な危険。たとえば、ハードウェアのゆるみまたは脱落。

危険な可能性がある製品を検査する場合は、以下のステップを実行してください。

1. 電源がオフになっていて、電源コードが切り離されていることを確認します。
2. 外部カバーに損傷、ゆるみ、または切れ目がないことを確認し、鋭くとがった個所の有無を調べます。
3. 以下について電源コードをチェックします。
  - 接地線を含む3線式の電源コードのコネクターが良好な状態であるかどうか。3線式接地線の導通が、外部接地ピンとフレーム・アース間を計器で測定して、0.1 オーム以下であることを確認します。
  - 電源コードのタイプは正しいか。
  - 絶縁体が擦り切れたり摩耗していないか。

4. カバーを取り外します。
5. 明らかにサポート対象外の改造個所がないか確認します。サポート対象外の改造個所の安全については、適切な判断を行ってください。
6. 金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災や煙による損傷の兆候など、明らかに危険な状況でないか、システムの内部をチェックします。
7. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルがないかをチェックします。
8. パワー・サプライ・カバーの留め金具(ねじまたはリベット)が取り外されたり、不正な変更がされていないことを確認します。

## 電気機器の保守のガイドライン

電気機器を扱うときにこれらのガイドラインを遵守してください。

- 作業域に電氣的危険がないかどうかをチェックしてください。こうした危険とは、たとえば、濡れたフロア、接地されていない電源延長コード、安全保護用のアースがないことなどです。
- 承認済みのツールおよびテスト装置を使用してください。工具の中には、握りや柄の部分のソフト・カバーが感電防止のための絶縁性を持たないものがあります。
- 安全な操作状態のために電気ハンド・ツールを定期的に検査および保守してください。磨耗したり破損したツールやテスターは使用しないでください。
- デンタル・ミラーの反射面で、通電中の電気回路に触れないでください。この表面は導電性のため、これに触れた場合、人体の傷害や機械の損傷を起こす可能性があります。
- ゴム製のフロア・マットの中には、静電気の放電を減少させるために、小さい導電ファイバーを含むものがあります。このタイプのマットを感電の保護として使用しないでください。
- 危険な状態、または危険な電圧を持つ装置のそばで、1人で作業しないでください。
- 電気事故が発生した場合に、すぐに電源をオフにできるように、非常電源切断(EPO)スイッチ、切断スイッチ、あるいは電源コンセントの場所を確認してください。
- 機械的な点検、パワー・サプライ近くでの作業、またはメイン・ユニットの取り外しや取り付けを行う前には、すべての電源を切り離してください。
- 機器での作業を開始する前に、電源コードを抜いておきます。電源コードを抜くことができない場合は、この機器に電力を供給している配電盤の電源をオフにし、そのままの状態に保つようお客様に依頼してください。
- 電源と回路が切断されていることを前提にしないでください。まず、電源がオフになっていることを確認してください。
- 電気回路がむき出しの状態である機器で作業する必要がある場合、次の予防手段に従ってください。
  - 必要に応じて、すぐに電源スイッチを切れるように、電源オフ制御機構を理解している別の人物に立ち会ってもらおう。
  - 電源がオンになっている電気装置の作業を行う際は、片手のみを使用する。もう一方の手は、ポケットの中に入れておくか、背中に回しておきます。こうすることで、感電の原因となる完全な回路が形成されるのを防ぐことができます。
  - テスターを使用する時は、制御を正しく設定し、テスター用の承認済みプローブ・リードおよび付属品を使用する。
  - 適切なゴム製マットの上に立ち、床の金属部分や機器の枠などのアースと自分の身体とを絶縁する。
- 高電圧の測定時には、細心の注意を払ってください。
- パワー・サプライ、ポンプ、ブロワー、ファン、電動発電機などのコンポーネントの正しい接地状態を確保するために、これらのコンポーネントの保守は、その通常の作動位置以外の場所では行わないでください。

- 電氣的事故が発生した場合は、十分に用心し、電源をオフにして、別の人物に医療援助を求めに行かせてください。

## 安全について

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

**重要：**本書の「注意」と「危険」の各注意事項には番号が付いています。この番号は、「*Safety Information*」の英語の Caution と Danger に対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

たとえば、「Caution」の注意事項に **Statement 1** が付いていた場合、**Statement 1**の「安全情報」を見ればその注意事項に対応した翻訳文が見つかります。

本書で述べられている手順を実行する前に「注意」と「危険」の注意事項をすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はそのデバイスの取り付けを開始する前にお読みください。

### 安全 1



電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨中にケーブルの接続および切り離し、本製品の設置、保守、再構成は行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、デバイスのカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続されたデバイスの取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

#### ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルをデバイスに接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. デバイスの電源をオンにします。

#### ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルをデバイスから取り外します。



## 安全 2



### 警告：

リチウム・バッテリーを交換する場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100° C (212° F) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

## 安全 3



### 警告：

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー・デバイス、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。このデバイスの内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。  
カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

**Class 1 Laser Product**  
**Laser Klasse 1**  
**Laser Klass 1**  
**Luokan 1 Laserlaite**  
**Appareil À Laser de Classe 1**

#### 安全 4



注意: 装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。



≥ 18 kg (39.7 lb)



≥ 32 kg (70.5 lb)



≥ 55 kg (121.2 lb)

#### 安全 5



警告:

デバイスの電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、デバイスに供給されている電流をオフにするものではありません。デバイスには2本以上の電源コードが使われている場合があります。デバイスから完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。



#### 安全 6



警告:

もし電源コードをデバイス側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの電源側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

## 安全 8



警告：

パワー・サプライまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

UPS 装置のシャーシまたは他の部品を開かないでください。開くと装置の保証が無効になります。保守が可能な部品が存在する部品のみ交換してください。つまり、UPS 装置の保守は FRU/CRU 交換部品のみ限定されます。

## 安全 12



警告：

このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



## 安全 26



警告：

ラックに装着されたデバイスの上には物を置かないでください。



## 安全 27



警告：  
近くに動く部品が存在します。



## ラック安全情報、注記 2



 危険

- ラック・キャビネットのレベル・パッドは、必ず下げてください。
- ラック・キャビネットには、必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。
- 必ず、ラック・キャビネットの最下部からサーバーおよびオプションのデバイスを取り付けます。
- 最も重量のあるデバイスは、必ずラック・キャビネットの下部に搭載してください。

## C004



警告：  
鉛酸バッテリーは、高短絡電流による電気熱傷の危険を生じさせるおそれがあります。金属性の物質とバッテリーを接触させないでください。腕時計、指輪などの金属製の物質を取り外し、絶縁された握りや柄の部分を持ってツールを使用してください。爆発の可能性を避けるために、バッテリーを焼却しないでください。

バッテリーは、Lenovo により推奨されたものとのみ交換してください。バッテリーをリサイクルまたは廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。米国では、Lenovo にはこのバッテリーを回収するプロセスがあります。詳しくは、1-800-426-4333 にお問い合わせください。電話を掛ける際には、バッテリー・ユニットの Lenovo 部品番号を手元に用意してください。

無停電電源装置に古いバッテリーと新しいバッテリーを混在させないでください。

無停電電源装置から取り出したバッテリー・パックを開かないでください。

無停電電源装置のバッテリーを交換するときは、保護用の安全メガネを着用してください。(C004)

---

## 第 1 章 資料と注意の種類

ここでは、サーバーに付属の各種資料に関する一般的な内容と注意事項、およびこれらの資料の入手方法について説明します。

---

### 関連資料

このトピックの資料を参照して、サーバーの使用と保守にお役立てください。

この「インストールとサービスのガイド」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプション・デバイスの取り付け方法、サーバーの構成方法を含め、サーバーに関する一般情報が記載されています。また、ユーザーが自分自身で問題を解決するのに役立つ情報や、サービス技術員向けの情報も記載されています。「インストールとサービスのガイド」の最新バージョンは、以下で常に入手できます。

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/index.jsp>

安全情報、保証、ライセンス、および製品資料は、以下にアクセスしてください。

<https://support.lenovo.com/documents/LNVO-DOCS>

保証の検索(タイプ、期間、ステータス)は、以下にアクセスしてください。

<http://www.lenovo.com/warranty>

Lenovo XClarity Essentials (LXCE) は、ファームウェア、デバイス・ドライバー、およびオペレーティング・システムの更新、管理、および展開用のツールに関する情報を記載しているオンライン・インフォメーション・センターです。Lenovo XClarity Essentials (LXCE) の場所は <http://sysmgt.lenovofiles.com/help/index.jsp> です。

サーバーは、サーバー付属の資料では説明されていないフィーチャーを備えていることがあります。それらの機能に関する情報を記載するために資料が更新されていたり、ご使用のサーバーの資料に記載されていない追加情報を提供する技術更新が入手可能になる場合があります。これらの更新情報は、Lenovo Web サイトから入手できます。更新を確認するには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

---

### 本書で使用される注記

本書の注意および危険に関する注記は、<https://support.lenovo.com/documents/LNVO-DOCS> に掲載されている複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。それぞれの注記には番号が付けられており、「*Safety Information*」資料で対応する注記を自国語で参照できます。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** これらの注記には、注意事項、説明、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。
- **重要:** また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。「注意」の注記は、危険となりうる手順、ステップ、または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順、ステップ、または状態の記述の直前に書かれています。



## 第 2 章 Lenovo System x3250 M6 サーバーについて

この章では、サーバー機能の要約、サーバーが提供するテクノロジー、およびサーバーの電源オンと電源オフの手順について説明します。

### 一般情報

Lenovo System x3250 M6 サーバーは、高さ 1U です。1ハイ・ラック・モデル・サーバーで、高ボリュームのネットワーク・トランザクション処理に適しています。この高性能なマルチコア・サーバーは、高度なマイクロプロセッサ性能、柔軟性のある入出力 (I/O)、および高い管理能力を必要とするネットワーク環境に最適です。

ホット・スワップ・サーバー・モデルは、最大 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ、または 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブをサポートします。シンプル・スワップ・サーバー・モデルは、最大 8 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ、または 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブをサポートします。Lenovo System x3250 M6 サーバーは、2.5 型ホット・スワップまたはシンプル・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) または SATA ハードディスク・ドライブ、あるいは 3.5 型ホット・スワップ SAS または SATA ハードディスク・ドライブ、あるいは 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハードディスク・ドライブをサポートします。

サーバーでサポートされるオプション・デバイスのリストについては、以下を参照してください。

<http://www.lenovo.com/serverproven/>

サーバーに関するデータを次の表に記録してください。

表 1. システム情報の記録

製品名	マシン・タイプ	モデル番号	シリアル番号
Lenovo System x3250 M6 サーバー	タイプ 3633 および 3943		

モデル番号とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバーのラック・リリース・ラッチ上にある ID ラベルに記載してあります。

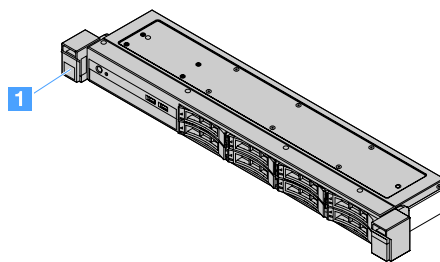


図 1. サーバー前面の ID ラベル

1. ラックは縦に 4.45 cm (1.75 インチ) ごとの区切りで測定されています。各区切りは「U」と表されます。1U の高さのデバイスは、4.45 cm (1.75 インチ) の高さになります。



MAC アドレス・ラベルは、次の図に示すように、ユーザー情報タグの上面にあります。

注：本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

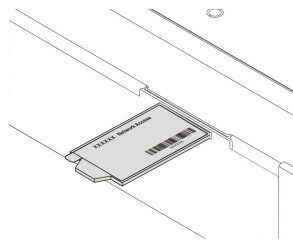


図2. MAC アドレス・ラベル

サーバーの設計においては、パフォーマンス、使いやすさ、信頼性、および拡張機能などが重要な考慮事項でした。これらの設計機能を用いることで、現在のニーズに応じてシステム・ハードウェアをカスタマイズしたり、将来に備えて柔軟性の高い機能拡張を準備したりすることができます。

ビジネス・パートナーは、[190 ページの「ビジネス・パートナー用の手順」](#)のステップを実行する必要があります。

### 保証およびサービス情報

このサーバーには限定保証が適用されます。保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「Lenovo 保証情報」を参照してください。

サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルには、サービス情報にモバイル・アクセスするための QR コードもあります。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用して QR コードをスキャンし、Lenovo Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。Lenovo Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

ファームウェアと資料の更新情報が使用可能な場合は、Lenovo Web サイトからダウンロードできます。このサーバーには、サーバー付属資料に記載されていない機能が備わっている場合があります。そのような機能に関する情報を組み込むために、資料は随時更新される可能性があります。また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。更新を確認するには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

ご使用のサーバーおよびその他の Lenovo サーバー製品に関する最新の情報は、<http://shop.lenovo.com/us/en/systems/> から入手できます。<http://www.lenovo.com/support> では、目的の Lenovo 製品を特定して、個別設定したサポート・ページを作成することができます。この個別設定したページから、最新の技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報やダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

### 技術およびソフトウェア情報

サーバーには、パフォーマンスと信頼性の向上に役立つ X-Architecture 次世代テクノロジーが搭載されています。詳しくは、[8 ページの「サーバーが提供する機能」](#)および [11 ページの「信頼性、可用性、および保守容易性」](#)を参照してください。

Lenovo クライアント・リファレンス・プログラムに参加すると、ご使用になっているテクノロジー、ベスト・プラクティス、および革新的ソリューションに関する情報を共有できるほか、業界ネットワークを構築し、お客様の業務の認知度を上げることができます。Lenovo クライアント・リファレンス・プログラムについて詳しくは、<http://www.ibm.com/ibm/clientreference/>を参照してください。



---

## サーバーの機能および仕様

以下は、ご使用のサーバーの機能と仕様を要約したものです。ご使用のモデルによっては、使用できない機能があったり、一部の仕様が異なる場合があります。

### マイクロプロセッサ (モデルによって異なる):

- Intel® クアッド・コア (Xeon® E3-1200 v5 または v6 シリーズ) またはデュアル・コア (Pentium® シリーズ、Celeron® シリーズ、または Core™ i3 シリーズ) マイクロプロセッサ 1 つ
- Multi-chip package プロセッサ・アーキテクチャー
- Land Grid Array (LGA) 1151 ソケット対応設計
- 最大 4 コアまで拡張可能
- Intel Flex Memory Technology をサポート

注：以下のマイクロプロセッサの場合、BIOS で「Choose Operating Mode」を「Efficiency - Favor Performance」に設定すると、周波数がわずかに減少します。これは、Intel の熱設計電源 (TDP) 機能の想定済みの動作です。マイクロプロセッサを最大周波数で稼働させる場合は、BIOS で「Choose Operating Mode」を「Maximum Performance」に設定します。

- Intel Core-i3 7300T
- Intel Core-i3 7100T
- Intel Pentium G4600T
- Intel Pentium G4560T
- Intel Celeron G3930T

サーバーのマイクロプロセッサの特定のタイプおよび速度については、Setup Utility プログラムの情報を参照してください。29 ページの「[Setup Utility プログラムの使用](#)」を参照してください。

サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、以下を参照してください。

<http://www.lenovo.com/serverproven/>

### メモリー:

- 最小: 4 GB
- 最大: 64 GB
- タイプ: PC4-17000 (dual-rank)、2133 MHz または 2400 MHz、ECC (エラー訂正コード) DDR4 (double-data-rate 4) unbuffered DIMM (デュアル・インライン・メモリー・モジュール) のみ
- スロット: 4 つの DIMM スロット、2-way インターリーブ

### 注:

- サーバーに 2400 MHz メモリー・モジュールおよび最大 2133 MHz のメモリーをサポートするマイクロプロセッサが付属している場合、メモリー・モジュールのデータ・レートは 2133 MHz に制限されます。
- 周波数の異なるメモリー・モジュールを同じサーバーで混用する場合、すべてのメモリー・モジュールが最も低い周波数で動作します。
- 4 GB 以上の (物理または論理) メモリーを取り付けると、メモリーの一部は、さまざまなシステム・リソース用に予約され、オペレーティング・システムでは使用不可になります。システム・リソース用に予約されるメモリーの量は、オペレーティング・システム、サーバー構成、構成済みの PCI オプションなどによって異なります。

### 光学式ドライブ:

- UltraSlim DVD-ROM コンボ
- マルチバーナー

#### ハードディスク・ドライブ拡張ベイ (モデルにより異なる):

- 4 個の 2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハードディスク・ドライブ・ベイ
- 4 個の 2.5 型シンプル・スワップ SAS/SATA ハードディスク・ドライブ・ベイ
- 8 個の 2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハードディスク・ドライブ・ベイ
- 8 個の 2.5 型シンプル・スワップ SAS/SATA ハードディスク・ドライブ・ベイ
- 4 個の 3.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハードディスク・ドライブ・ベイ
- 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハードディスク・ドライブ・ベイ

注意：原則として、512 バイトの標準ドライブと 4 KB の拡張ドライブを同一の RAID (Redundant Array of Independent Disks) アレイで混用しないでください。このような構成にすると、パフォーマンスの問題が生じる可能性があります。

#### PCI Express 拡張スロット:

サーバーはライザー・カードで 2 つの PCIe ライザー・スロットをサポートします:

- スロット 1: ServeRAID M1210 SAS/SATA コントローラー専用
- スロット 2: 1 つの PCI Express Gen3 x8 ハーフサイズ、フルハイトのアダプターをサポート

#### パワー・サプライ (モデルにより異なる):

- 1 個の 300 ワット固定パワー・サプライ
- 460 ワット・パワー・サプライ 1 つまたは 2 つ (2 つ取り付けられている場合はホット・スワップ)

#### RAID コントローラー:

RAID レベル 0、1、5、および 10 をサポートする ServeRAID-C110 機能

#### 内蔵機能:

- Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) (複数の管理機能を単一のチップに統合)
- Intel i350-AM2 ギガビット・イーサネット・コントローラーおよび Wake on LAN をサポート
- USB (Universal Serial Bus):
  - 前面に USB 3.0 コネクタ 2 つ

注：USB 3.0 コネクタの制限によって、前面 USB コネクタを VMware ESXi 5.5 ハイパーバイザーで使用することはできません。

- 背面に USB 3.0 コネクタ 2 つ
- システム・ボードに内部 USB 3.0 コネクタ 1 つ (USB ハイパーバイザー・キー用)
- 4 ポート内蔵 SATA コントローラー
- 光学式ドライブ用ポート内蔵 SATA ポート 1 つ (オプション)
- シリアル・ポート・ヘッダー 1 つ (シリアル・ポート・アップグレード・キットがインストール済みの場合に機能)
- 背面に VGA (Video Graphics Array) コネクタ 1 つ

#### ビデオ・コントローラー (IMM2.1 に内蔵):

- Matrox G200eR2
- SVGA 互換ビデオ・コントローラー
- AAVICA ハードウェア・ビデオ圧縮

- ビデオ・メモリー拡張不可
- 最大ビデオ解像度: 75 Hz で 1600 x 1200

#### サイズ:

- 1U
- 高さ: 43 mm (1.69 インチ)
- 奥行き: 576 mm (22.68 インチ)
- 幅:
  - 米国電子工業会 (EIA) ブラケットなし: 434.6 mm (17.11 インチ)
  - EIA ブラケット付き: 482 mm (18.98 インチ)
- 最大重量: 13.8 kg (30.36 ポンド)

#### 放出音響ノイズ:

音響パワー: アイドル時および稼働環境ともに 5.4 ベル

アイドル時の環境では、サーバーはオペレーティング・システムのみを実行しています。稼働環境では、マイクロプロセッサはアクティブであり、TDP は 50% 占有されます。

放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたマシンの公称上限音響出力レベル (ベル単位) です。すべての測定は、ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠して報告されています。

#### 環境:

- 室温:
  - サーバー電源オン時:
    - 55 W CPU 未満のサーバー・モデル:  
5°C から 40°C (41.0°F から 104.0°F)、高度: 0 m から 950 m (0 フィートから 3117 フィート)  
950 m を超える高度では、175 m (574 フィート) 上がるごとに、最大システム温度が 1°C (1.8°F) 減少。
    - 55 W CPU を超えるサーバー・モデル:  
10°C から 35°C (50.0°F から 95.0°F)、高度: 0 m から 950 m (0 フィートから 3117 フィート)  
950 m を超える高度では、175 m (574 フィート) 上がるごとに、最大システム温度が 1°C (1.8°F) 減少。
  - サーバー電源オフ時: 5°C から 43°C (41°F から 109.4°F)
  - 出荷時: -40°C から 60°C (-40°F から 140°F)
- 最大高度: 3,050 m (10,000 フィート)
- 湿度:
  - サーバー電源オン時: 8% から 85%、最大露点: 24°C (75.2°F)、最大変化率: 5°C (9°F)/時間
  - サーバー電源オフ時: 8% から 85%、最大露点: 27°C (80.6°F)
- 粒子汚染:
 

浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、サーバーにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限に関する情報は、[689 ページの「粒子汚染」](#)を参照してください。

作動温度の機能拡張キットが取り付けられている場合、ファン速度制御に対する温度応答がより正確です。

#### 発熱量 (消費電力):

- 最小構成: 時間あたり 143 BTU (42 ワット)

- 最大構成: 時間当たり 710 BTU (208 ワット)

#### 電源入力:

- 正弦波入力 (50 Hz から 60 Hz) 必須
- 低電圧入力
  - 最低: 100 V AC
  - 最高: 127 V AC
- 高電圧入力レンジ:
  - 最低: 200 V AC
  - 最高: 240 V AC
- 入力電力 (kVA):
  - 最小: 0.042 kVA
  - 最大: 0.508 kVA

注: 電力消費量および発熱量は、取り付けられたオプション機構の数とタイプ、および使用する電源管理オプション機構によって異なります。

---

## サーバーが提供する機能

サーバーは、次の機能とテクノロジーを提供します。

- **Dynamic System Analysis (DSA)**

このサーバーは、サーバー上の内蔵 USB メモリーに Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラムが格納されています。DSA は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA は DSA ログを作成します。DSA ログは、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして Lenovo サポートに送信するか、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

- **Features on Demand**

サーバーまたはサーバー内に取り付けたオプション・デバイスに Features on Demand 機能が組み込まれている場合、アクティベーション・キーを注文して機能をアクティブ化することができます。Features on Demand について詳しくは、<https://fod.lenovo.com/lkms> を参照してください。

- **ServerGuide セットアップとインストール CD**

Web サイトから CD の ISO イメージをダウンロードできます。ユーザーがサーバーをセットアップし、Windows オペレーティング・システムをインストールするのに役立つプログラムが提供されています。ServerGuide プログラムは、取り付け済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバを提供します。ServerGuide セットアップとインストール CD についての詳細は、28 ページの「ServerGuide セットアップとインストール CD の使用」を参照してください。

- **Lenovo XClarity Administrator**

Lenovo XClarity Administrators は、管理者がより速く手間をかけずにインフラストラクチャーをデプロイできるリソース集中管理ソリューションです。このソリューションは、Flex System が統合されたインフラストラクチャー・プラットフォームに加え、System x、ThinkServer、NeXtScale サーバーにシームレスに統合されます。

Lenovo XClarity Administrator には以下の機能があります。

- 直感的に使用できるグラフィカル・ユーザー・インターフェース
- 自動検出およびインベントリー

- ファームウェア更新とコンプライアンス
  - 構成パターン
  - ベアメタル・デプロイメント
  - セキュリティー管理
  - Upward Integration
  - Representational State Transfer (REST) アプリケーション・プログラミング・インターフェース、および Windows PowerShell
  - 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP)、システム・ログ、および電子メールの転送
- 詳しくは、[40 ページの「Lenovo XClarity Administrator の使用」](#)を参照してください。

- **Lenovo XClarity Energy Manager**

Lenovo XClarity Energy Manager は、データ・センターの電源管理で使用するツールです。データ・センターの物理階層をモデル化して、電源および温度をサーバー・レベルおよびグループ・レベルで監視します。Lenovo XClarity Energy Manager を使用して電源と温度のデータを分析することで、ビジネス継続性を向上させ電源の効率を高めます。詳しくは、以下にアクセスしてください。

<https://datacentersupport.lenovo.com/us/en/solutions/lnvo-lxem>

- **Lenovo ThinkServer Power Planner**

Lenovo ThinkServer Power Planner プログラムは、サーバーおよびそのほかのデバイスのさまざまな構成に基づいて、電源消費量についての情報および電流の計算を提供します。また、サーバーやデバイスの効率的なデプロイ方法の立案に役立ちます。

Lenovo ThinkServer Power Planner プログラムについての詳細情報は、プログラムのヘルプ・システムを参照してください。

- **Lenovo XClarity Essentials OneCLI**

Lenovo XClarity Essentials (LXCE) は、お客様が Lenovo ThinkSystem、System x、および ThinkServer サーバーをより効率的に、コスト効率よく、簡単に管理できるようにする、サーバー管理ユーティリティのコレクションです。

- [Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator \(BoMC\)](#) は、ブート可能メディアを作成するために使用するソフトウェア・アプリケーションです。ブート可能メディアは、ファームウェア更新の適用、プリブート診断の実行、サポートされている ThinkSystem、System x、および BladeCenter システムへの Microsoft Windows オペレーティング・システムのデプロイに使用できます。
- [Lenovo XClarity Essentials OneCLI](#) はいくつかのコマンドライン・アプリケーションのコレクションです。サーバーの構成、サーバーのサービス・データの収集、ファームウェアとデバイス・ドライバの更新、サーバーの電源管理機能の実行に使用することができます。
- [XClarity Essentials UpdateXpress](#) は、UpdateXpress System Packs (UXSP) や個別更新を取得し、ご使用のローカル・システムまたはリモート・システムに適用できる、ソフトウェア・アプリケーションです。詳細については、<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-CENTER> にアクセスしてください。

- **Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)**

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が1つのチップに組み合わせられています。IMM2.1 は、高度なサービス・プロセッサの制御、監視、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が発生すると、IMM2.1は問題の診断に役立つ LED を点灯し、IMM2.1 イベント・ログにエラーを記録し、さらにユーザーに対してアラートを発行します。オプションで、IMM2.1 はリモート・サーバー管理のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM2.1 は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) 2.0
- シンプル・ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 3.0

- 共通情報モデル (CIM)
- Web ブラウザー

詳細については、以下に掲載されている [36 ページ](#)の「[Integrated Management Module 2.1 \(IMM2.1\) の使用](#)」および「[Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド](#)」を参照してください。

<http://www.lenovo.com/support>

- **内蔵ネットワーク・サポート**

このサーバーには、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps のネットワークへの接続をサポートする内蔵デュアル・ポート Intel Gigabit Ethernet コントローラーが組み込まれています。詳しくは、[39 ページ](#)の「[イーサネット・コントローラーの情報](#)」を参照してください。

- **内蔵 Trusted Platform Module (TPM)**

この内蔵セキュリティー・チップは、暗号機能を実行し、セキュアな秘密鍵と公開鍵を保管します。これは Trusted Computing Group (TCG) 仕様に対するハードウェア・サポートを提供します。TCG 仕様をサポートするためのソフトウェアをダウンロードできます。

トラステッド・プラットフォーム・モジュール (TPM) には、TPM 1.2 と TPM 2.0 の 2 つのバージョンがあります。サーバーには、TPM 1.2 デバイスがデフォルトでインストールされています。一部のサーバーは TPM 2.0 に更新されている場合があります。TPM バージョンを 1.2 から 2.0 に変更、または元に戻すことができます。TPM 構成は、Setup Utility プログラムの「**System Settings**」→「**Security**」メニューからアクセスできます。詳しくは、[29 ページ](#)の「[Setup Utility プログラム使用](#)」を参照してください。

- **大規模データ・ストレージ容量およびホット・スワップ機能**

このサーバーは、サーバー・モデルに応じて最大 8 つの 2.5 型ホット・スワップまたはシンプル・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) ハードディスク・ドライブまたは Serial ATA (SATA) ハードディスク・ドライブ、あるいは 4 つの 3.5 型ホット・スワップまたはシンプル・スワップ SAS/SATA ハードディスク・ドライブをサポートします。

- **大容量のシステム・メモリー**

このサーバーは、最大 64 GB のシステム・メモリーをサポートします。メモリー・コントローラーは、最大 4 個の業界標準 PC4-17000 (DDR4-2133) UDIMM に対応したエラー訂正コード (ECC) をサポートします。

- **Lenovo Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス**

サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルには、QR コードがあります。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用して QR コードをスキャンし、Lenovo Service Information Web サイトにすぐにアクセスできます。Lenovo Service Information Web サイトでは、サーバー・サポートの追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードなどが提供されます。

次の図は QR コードを示しています。

<http://support.lenovo.com/us/en/products/servers/lenovo-x86-servers/lenovo-system-x3250-m6>



図3. QR コード

- **マルチコア・プロセッシング**

このサーバーは、Intel Pentium、Celeron、Core i3、または Xeon E3-1200 v5 シリーズ・マルチコア・マイクロプロセッサをサポートします。



- **PCIe アダプター機能**

サーバーには、2つのPCIe インターフェース・スロットがあります。いずれのスロットも、PCI Express アダプターをサポートします。詳しくは、[123 ページ](#)の「[アダプターの取り付け](#)」を参照してください。

- **冷却およびオプションの電源機能**

サーバーは最大構成で、4つの速度制御機能付きシンプル・スワップ・ファンをサポートします。このサーバーには、300ワットの固定パワー・サプライ、または460ワットのホット・スワップ・パワー・サプライが標準装備されています。ご使用のサーバーは、最大2つの460ワットのホット・スワップ・パワー・サプライをサポートします。ホット・スワップ・モデルの冗長性をサポートするためには、2つのパワー・サプライをサーバーに取り付ける必要があります。2個のパワー・サプライにより、どちらかのパワー・サプライに障害が起きても、操作を続行できます。

- **ServeRAID サポート**

標準 RAID アダプターは RAID レベル 0、1、および 10 を提供します。RAID レベル 5 を提供する追加オプションの RAID アダプターを購入することもできます。ServeRAID M5200 シリーズ・アダプターは、RAID 用の Features on Demand アップグレード・キーがあれば RAID レベル 6 を提供します。

- **システム管理機能**

このサーバーには、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) が付属しています。サーバーに付属のシステム管理ソフトウェアと一緒に IMM2.1 を使用すると、サーバーの機能をローカルでもリモート側でも管理できます。IMM2.1 は、システム監視、イベント記録、およびネットワーク・アラート機能も提供します。IMM2.1 のシステム管理コネクタは、サーバー背面にあります。

- **UEFI 準拠のサーバー・ファームウェア**

Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) ファームウェアには、UEFI バージョン 2.1 準拠、信頼性、可用性、および保守性 (RAS) 拡張機能、基本入出力システム (BIOS) 互換性のサポートを含むいくつかの機能があります。UEFI は、従来の BIOS インターフェースに代わる、より優れた BIOS であり、オペレーティング・システム、プラットフォーム・ファームウェア、外部デバイス間の標準インターフェースを定義します。サーバーは、UEFI 準拠オペレーティング・システム、BIOS ベースのオペレーティング・システム、および BIOS ベースのアダプターのほか、UEFI 準拠アダプターをブートすることができます。UEFI 準拠のファームウェアについて詳しくは、以下にアクセスしてください。

<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnidocid=MIGR-5083207>

注：このサーバーでは、ディスク・オペレーティング・システム (DOS) はサポートされていません。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが1つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。詳しくは、[39 ページ](#)の「[組み込みハイパーバイザーの使用](#)」を参照してください。

---

## 信頼性、可用性、および保守容易性

コンピューターの設計上で、最も重要な要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守性 (serviceability) (RAS) です。RAS 機能によって、サーバーに保管されているデータの保全性を保ち、サーバーが必要なときに使用できるようにし、問題を容易に診断して修理することができます。

ご使用のサーバーには、次の RAS 機能があります。

- 部品および作業ともに3年間の限定保証 (マシンタイプ 3633)
- 部品および作業ともに1年間の限定保証 (マシンタイプ 3943)
- Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) 制御のバックアップ BIOS 切り替え
- 24時間サポート・センター
- コール・ホーム・サービス
- 障害の根本的原因を判別するための First Failure Data Capture (FFDC)
- PCIe ホストおよびルート複合体、PCIe リンク、PCIe アダプターの障害の拡張エラー処理 (EEH)

- パワー・サプライ・エラー検出
- VRD 障害検出
- I/O 障害処理
- マイクロプロセッサ内部エラー検出
- マイクロプロセッサ内部サーマル・トリップ
- エラー修正コード (ECC) L2 キャッシュおよびシステム・メモリー
- 冗長ホット・スワップ・パワー・サプライ
- ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ
- 拡張メモリー機能:
  - シングル・ビット・メモリー・エラーの検出
  - シングル・ビット・メモリー・エラーのハードウェア修正
  - マルチ・シングル・ビット・メモリー・エラー検出
- マイクロプロセッサ・スロットル
- メモリー・サーマル・スロットル
- 障害予知機能 (PFA) アラート
- Integrated Management Module (IMM)
- Inter-Integrated Circuit (IC) プロトコル・バスを通じたシステム管理モニター
- システム管理機能およびモニター用待機電圧
- 電源管理機能と拡張構成および電力インターフェース (ACPI) に準拠
- パワーオン・セルフテスト (POST)
- システム・エラー・ログ (POST および IMM)
- エラー・コードとメッセージ
- 通知および light path 診断 LED パネル
- メモリー SPD および TruDDR4 インタラクティブ
- NIC フェイルオーバーのサポート
- マスク不可割り込み (NMI) 時の自動再起動
- 強制 O/S ダンプ (NMI ボタン)
- USB デバイスからのブート
- リモート・システムリブート
- 自動エラー再試行およびリカバリー
- 過度な温度上昇のリカバリー
- CMOS デフォルト設定を復元するボタン
- ブレード・サーバーの重要プロダクト・データ (VPD) 固有 ID およびリモート表示のために不揮発性メモリーに情報が保存されているすべての主要な電子コンポーネント
- 周囲温度の監視とアラート
- メモリー温度の監視とアラート
- プロセッサ温度の監視とアラート
- ローカル側または LAN 経由でアップグレード可能な POST、UEFI、診断、IMM ファームウェア、および読み取り専用メモリー (ROM) 常駐コード
- オンボード・プリブート診断
- イーサネット診断
- RAID 診断
- インストールとサービスのガイド

---

## サーバーの電源オン/オフ

サーバーを AC 電源に接続しても、電源をオンにしなければオペレーティング・システムは稼働せず、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) を除くすべてのコア・ロジックはシャットダウンされています。

ただしサーバーは、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) からの要求 (例えば、サーバーの電源をオンにするリモート要求など) には応答できません。電源 LED が点滅しているときは、サーバーが AC 電源に接続されているが、電源がオンになっていないことを示します。



## サーバーの電源をオンにする

サーバーが AC 電源に接続されてから約 20 秒すると、冷却のために 1 つ以上のファンが稼働し始め、電源オン LED が高速で点滅し始めます。サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分後に、電源制御ボタンがアクティブになりパワーオン・ボタン LED の点滅がゆっくりになります。

電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。

オペレーティング・システムでサポートされている場合は、Wake on LAN 機能を使用してサーバーの電源をオンにすることもできます。Wake on LAN 機能を使用して要求を送信し、サーバーをの電源をオンにできます。

さらに、サーバーの電源がオンのときに電源障害が発生した場合は、電源が復元したときに、サーバーは自動的に再起動します。

## サーバーの電源をオフにする

サーバーの電源をオフにするには、この情報を使用します。

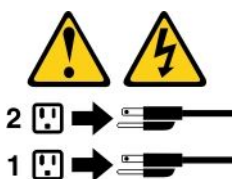
サーバーの電源をオフにしても、AC 電源を接続したままにしておくと、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) からサーバーの電源をオンにするリモート要求などがあれば、サーバーはこれに応答できます。サーバーが AC 電源に接続されたままになっていると、1 つ以上のファンが回転を続行することがあります。サーバーからすべての電源を除去するには、電源とサーバーの接続を切り離す必要があります。

オペレーティング・システムによっては、サーバーの電源をオフにする前に、正しくシャットダウンする必要があるものもあります。オペレーティング・システムのシャットダウンについては、オペレーティング・システムの資料またはヘルプ・システムを参照してください。



### 警告：

デバイスの電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、デバイスに供給されている電流をオフにするものではありません。デバイスには 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。デバイスから完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。



次のいずれの方法でも、サーバーの電源をオフにすることができます。

- オペレーティング・システムからサーバーの電源をオフにできます (オペレーティング・システムがこの機能をサポートしている場合)。オペレーティング・システムの正常シャットダウンの後、サーバーは自動的にオフになります。
- ご使用のオペレーティング・システムがこの機能をサポートしている場合、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムの正常シャットダウンを開始し、サーバーをオフにすることができます。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源制御ボタンを 4 秒間を超えて押し続けるとサーバーの電源をオフにできます。
- Wake on LAN 機能を使用してサーバーの電源をオフにできます。

注：どの PCIe アダプターを取り付ける場合でも、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外す前に、電源コードを電源から切り離す必要があります。これを行わない場合、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。

- Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) は、重大なシステム障害への自動的な応答としてサーバーの電源をオフにすることができます。

## 第3章 コンポーネントの位置

この章では、サーバーのコンポーネントの位置を確認するために役立つ情報について説明します。

注：本書に示す図は、ご使用のサーバーと多少異なる場合があります。

### 前面図

次の図は、サーバーの前面にあるコントロール、LED、およびコネクタを示したものです。

注：\* ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブを搭載したサーバー・モデルで使用可能

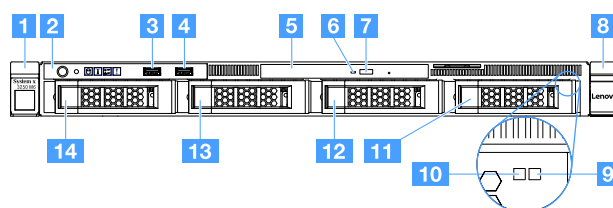


図4. 4個の3.5型ハードディスク・ドライブを搭載したサーバー・モデルの前面図

<b>1</b> ラック・リリース・ラッチ (左)	<b>2</b> オペレーター情報パネル
<b>3</b> USB コネクター 1	<b>4</b> USB コネクター 2
<b>5</b> 光学式ドライブ・ベイ	<b>6</b> 光学式ドライブ活動 LED
<b>7</b> 光学式ドライブ・イジェクト・ボタン	<b>8</b> ラック・リリース・ラッチ (右)
<b>9</b> ハードディスク・ドライブ状況 LED* (黄色)	<b>10</b> ハードディスク・ドライブ活動 LED* (緑色)
<b>11</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 3	<b>12</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 2
<b>13</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 1	<b>14</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 0

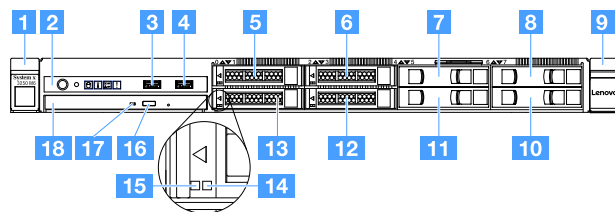


図5. 4 個の 2.5 型ハードディスク・ドライブを搭載したサーバー・モデルの前面図

<b>1</b> ラック・リリース・ラッチ (左)	<b>2</b> オペレーター情報パネル
<b>3</b> USB コネクター 1	<b>4</b> USB コネクター 2
<b>5</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 0	<b>6</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 2
<b>7</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 4	<b>8</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 6
<b>9</b> ラック・リリース・ラッチ (右)	<b>10</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 7
<b>11</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 5	<b>12</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 3
<b>13</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 1	<b>14</b> ハードディスク・ドライブ状況 LED* (黄色)
<b>15</b> ハードディスク・ドライブ活動 LED* (緑色)	<b>16</b> 光学式ドライブ・イジェクト・ボタン
<b>17</b> 光学式ドライブ活動 LED	<b>18</b> 光学式ドライブ・ベイ

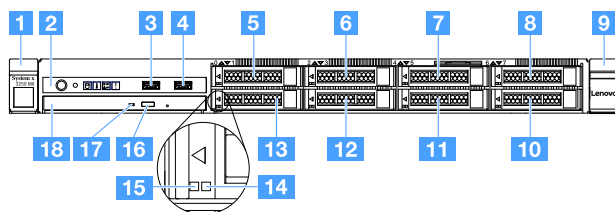


図6. 8 個の 2.5 型ハードディスク・ドライブを搭載したサーバー・モデルの前面図

<b>1</b> ラック・リリース・ラッチ (左)	<b>2</b> オペレーター情報パネル
<b>3</b> USB コネクター 1	<b>4</b> USB コネクター 2
<b>5</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 0	<b>6</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 2
<b>7</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 4	<b>8</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 6
<b>9</b> ラック・リリース・ラッチ (右)	<b>10</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 7
<b>11</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 5	<b>12</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 3
<b>13</b> ハードディスク・ドライブ・ベイ 1	<b>14</b> ハードディスク・ドライブ状況 LED* (黄色)
<b>15</b> ハードディスク・ドライブ活動 LED* (緑色)	<b>16</b> 光学式ドライブ・イジェクト・ボタン
<b>17</b> 光学式ドライブ活動 LED	<b>18</b> 光学式ドライブ・ベイ

- ラック・リリース・ラッチ:

サーバーをラックから取り出すには、サーバー前面の両側にあるこのラッチを押します。

- **ハードディスク・ドライブ活動 LED:**

この LED はホット・スワップ SAS または SATA ハードディスク・ドライブ上で使用されます。この LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示します。

- **ハードディスク・ドライブ状況 LED:**

この LED はホット・スワップ SAS または SATA ハードディスク・ドライブ上で使用されます。この LED が点灯しているときは、ドライブに障害があることを示します。オプションの ServeRAID コントローラーがサーバーに取り付けられており、この LED が長い間隔で (1 秒に 1 回) 点滅している場合、ドライブが再構築中であることを示します。この LED が素早く (1 秒に 3 回) 点滅するときは、コントローラーがドライブを識別していることを示します。

- **USB コネクター:**

USB マウス、キーボード、その他のデバイスなどの USB デバイスは、これらのコネクターのいずれかに接続します。

- **光学式ドライブ・イジェクト・ボタン:**

光学式ドライブからディスク・トレイをイジェクトするには、このボタンを押します。

- **光学式ドライブ活動 LED:**

この LED が点灯している場合、光学式ドライブが使用中であることを示します。

- **オペレーター情報パネル:**

このパネルには、コントロール部と、サーバー状況に関する情報を提供する LED が装備されています。

## 背面図

次の図は、サーバーの背面にあるコネクターおよび LED を示しています。

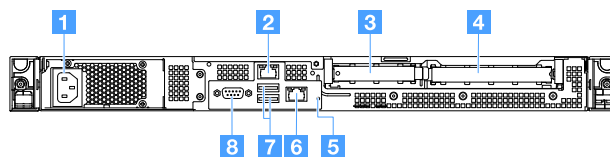


図7. 固定パワー・サプライを搭載したサーバーの背面

<b>1</b> 電源コード・コネクター	<b>2</b> イーサネット・コネクター 2
<b>3</b> PCI スロット 1	<b>4</b> PCI スロット 2
<b>5</b> NMI ボタン	<b>6</b> システム管理用イーサネット・コネクター 1
<b>7</b> USB コネクター	<b>8</b> VGA コネクター

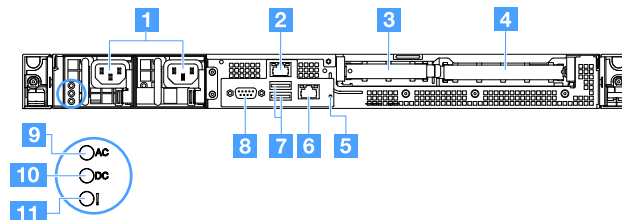
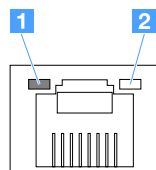


図8. 冗長パワー・サプライ・モデルのサーバー背面

<b>1</b> 電源コード・コネクタ	<b>2</b> イーサネット・コネクタ 2
<b>3</b> PCI スロット 1	<b>4</b> PCI スロット 2
<b>5</b> NMI ボタン	<b>6</b> システム管理用イーサネット・コネクタ 1
<b>7</b> USB コネクタ	<b>8</b> ビデオ・コネクタ
<b>9</b> AC 電源 LED (緑色)	<b>10</b> DC 電源 LED (緑色)
<b>11</b> パワー・サプライ・エラー LED (黄色)	



### **1** イーサネット・リンク LED

### **2** イーサネット活動 LED

- **イーサネット・リンク LED:** この LED が点灯している場合、イーサネット・コネクタ用の 10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-TX インターフェース上にアクティブなリンク接続が存在することを示します。
- **イーサネット活動 LED** これらの LED が点灯している場合、サーバーとネットワーク間に活動があることを示します。
- **AC 電源 LED**
- **DC 電源 LED**  
これらの LED はパワー・サプライの状態を示します。通常の動作時には、両方が緑色に点灯します。パワー・サプライの状態の情報については、[55 ページの「パワー・サプライ LED」](#)を参照してください。
- **パワー・サプライ・エラー LED:** この黄色の LED が点灯しているときは、パワー・サプライに障害が起こったことを示します。
- **電源コード・コネクタ:** このコネクタには、電源コードを接続します。
- **VGA コネクタ:** モニターをこのコネクタに接続します。
- **USB コネクタ:** USB マウス、キーボード、その他のデバイスなどの USB デバイスをこのコネクタのいずれかに接続します。
- **イーサネット・コネクタ:** このコネクタのいずれかを使用して、サーバーをネットワークに接続します。イーサネット 1 コネクタを使用する場合、単一のネットワーク・ケーブルを使用してネットワークを IMM2.1 と共用できます。
- **NMI ボタン:** このボタンを押すと、マイクロプロセッサにマスク不能割り込み (NMI) を強制します。こうすることで、サーバーをブルー・スクリーンにしてメモリー・ダンプを取ることが出来ます。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。

注：このボタンは、Lenovo サービス・サポートから指示があった場合にのみ使用してください。

- **PCI スロット 1:** このスロットは ServeRAID M1210 SAS/SATA コントローラー専用です。
- **PCI スロット 2:** このスロットは 1 つの PCI Express Gen3 x8 ハーフサイズ、フルハイトのアダプターをサポートします。

## オペレーター情報パネル

次の図は、オペレーター情報パネル上のコントロールと LED を示しています。

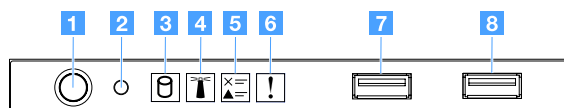


図9. オペレーター情報パネル

<b>1</b> 電源制御ボタンとパワーオン LED	このボタンを押すと、サーバーを手動で電源オンまたは電源オフにできます。パワーオン LED の状態は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オフ: 電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体に障害があります。</li><li>• 高速で点滅 (1 秒あたり 4 回): サーバーの電源がオフになっていて、オンにする準備ができていません。電源制御ボタンは無効です。この状態は約 20 秒続きます。</li><li>• 低速で点滅 (1 秒間に 1 回): サーバーの電源がオフですが、すぐにオンにできる状態です。電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。</li><li>• オン: サーバーの電源がオンになっています。</li></ul>
<b>2</b> リセット・ボタン	このボタンを押すと、サーバーがリセットされ、パワーオン・セルフテスト (POST) が実行されます。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。
<b>3</b> ハードディスク・ドライブ活動 LED	この LED が点滅しているときは、そのハードディスク・ドライブが使用中であることを示します。
<b>4</b> システム・ロケーター LED	この青色の LED は、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見付けるのに使用します。この LED はプレゼンス検出ボタンとしても使用されます。Lenovo XClarity Administrator を使用して、この LED をリモートで点灯させることができます。
<b>5</b> チェック・ログ LED	この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。イベント・ログを調べて、追加情報があるかどうか確認してください。詳しくは、 <a href="#">56 ページの「イベント・ログ」</a> を参照してください。
<b>6</b> システム・エラー LED	この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。詳しくは、 <a href="#">56 ページの「イベント・ログ」</a> を参照してください。
<b>7</b> USB コネクター 1 <b>8</b> USB コネクター 2	USB マウス、キーボード、その他のデバイスなどの USB デバイスは、これらのコネクターのいずれかに接続します。

## サーバー・コンポーネント

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

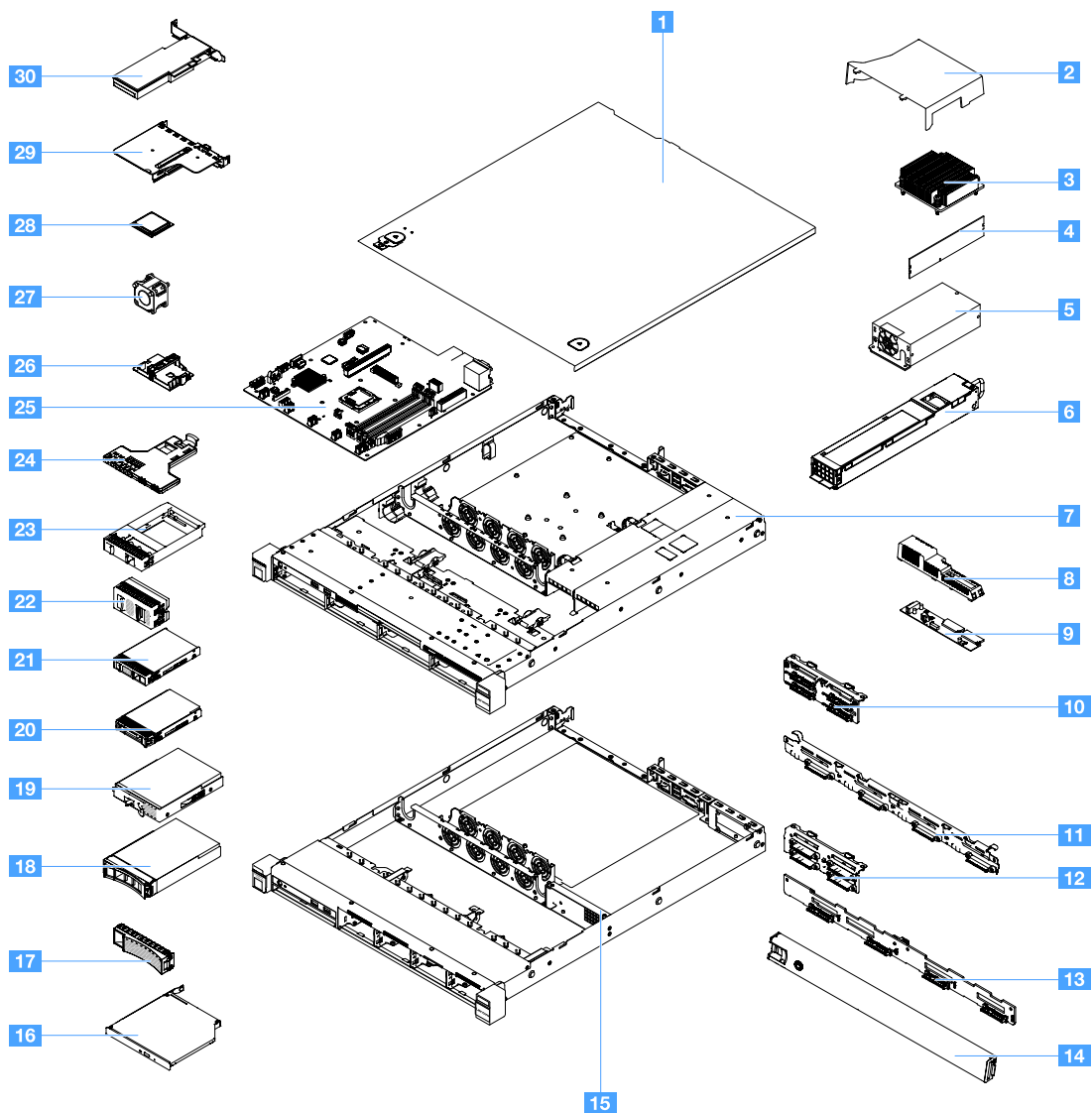


図 10. サーバー・コンポーネント

<b>1</b> サーバー・カバー <sup>4</sup>	<b>2</b> エアー・バッフル <sup>4</sup>
<b>3</b> ヒートシンク <sup>2</sup>	<b>4</b> メモリー・モジュール <sup>1</sup>
<b>5</b> 固定パワー・サプライ* <sup>2</sup>	<b>6</b> ホット・スワップ・パワー・サプライ* <sup>1</sup>
<b>7</b> 3.5 型ハードディスク・ドライブ・モデルのシャーシ (ホット・スワップ・パワー・サプライ付き)* <sup>4</sup>	<b>8</b> 分電盤カバー* <sup>4</sup>
<b>9</b> 分電盤* <sup>2</sup>	<b>10</b> 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリ* <sup>2</sup>
<b>11</b> 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリ* <sup>2</sup>	<b>12</b> 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーン* <sup>1</sup>
<b>13</b> 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーン* <sup>1</sup>	<b>14</b> セキュリティー・ベゼル <sup>3</sup>



<b>15</b> 2.5 型ハードディスク・ドライブ・モデルのシャーシ (固定パワー・サプライ付き)* <sup>4</sup>	<b>16</b> 光学式ドライブ <sup>1</sup>
<b>17</b> 3.5 型ハードディスク・ドライブ・フィラー* <sup>4</sup>	<b>18</b> 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ* <sup>1</sup>
<b>19</b> 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ* <sup>1</sup>	<b>20</b> 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ* <sup>1</sup>
<b>21</b> 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ* <sup>1</sup>	<b>22</b> 2.5 型ハードディスク・ドライブ・フィラー (ハードディスク・ドライブ 2 台用)* <sup>3</sup>
<b>23</b> 2.5 型ハードディスク・ドライブ・フィラー (ハードディスク・ドライブ 1 台用)* <sup>1</sup>	<b>24</b> 前面 I/O 部品 <sup>1</sup>
<b>25</b> システム・ボード <sup>2</sup>	<b>26</b> RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダー* <sup>4</sup>
<b>27</b> システム・ファン <sup>1</sup>	<b>28</b> マイクロプロセッサ <sup>2</sup>
<b>29</b> PCI ライザー・カード・アセンブリー* <sup>1</sup>	<b>30</b> RAID カード* <sup>1</sup>

コンポーネント上の青色は、コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたり、あるいはラッチの開閉などを行う際につかむことができるタッチ・ポイントを示します。

コンポーネントのオレンジ色、またはコンポーネント上またはその近くのオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントがホット・スワップ対応であることを示しています。つまり、サーバーおよびオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしている場合は、サーバーの稼働中にコンポーネントの取り外しや取り付けが可能です。オレンジのラベルは、ホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントも示しています。

注：

- \* 一部のモデルで使用可能
- <sup>1</sup> Tier 1 の、お客様での取替え可能部品 (CRU): Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- <sup>2</sup> Tier 2 の、お客様での取替え可能部品 (CRU): Lenovo が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付け作業を依頼することもできます。
- <sup>3</sup> 構造部品: 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- <sup>4</sup> 消耗部品は別売りであり、「Lenovo 保証の内容と制限」の対象外です。

Lenovo 製品の保守を行う前に、[v ページの「安全について」](#)を必ず読んで理解してください。交換には、Lenovo が提供している部品のみを使用してください。FRU 部品番号やサポートされるサーバー・モデルなど、FRU 情報の完全なリストについては、以下を参照してください。

<http://www.lenovo.com/serviceparts-lookup>

## システム・ボード・コネクタ

次の図は、システム・ボード上のコネクタを示しています。

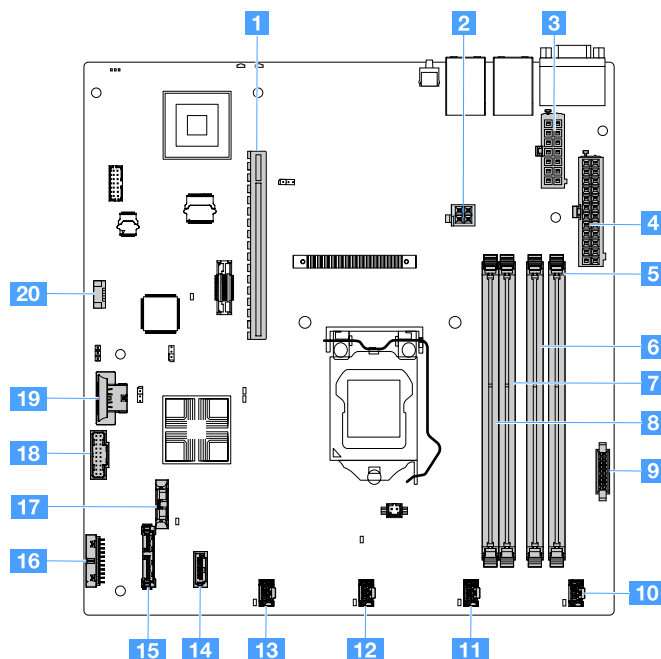


図 11. システム・ボード上のコネクタ

<b>1</b> PCI ライザー・カード・コネクタ	<b>2</b> マイクロプロセッサ電源コネクタ
<b>3</b> パワー・サブライ・コネクタ	<b>4</b> バックプレーン電源コネクタ
<b>5</b> DIMM スロット 1	<b>6</b> DIMM スロット 2
<b>7</b> DIMM スロット 3	<b>8</b> DIMM スロット 4
<b>9</b> 分電盤コネクタ	<b>10</b> システム・ファン 1 コネクタ
<b>11</b> システム・ファン 2 コネクタ	<b>12</b> システム・ファン 3 コネクタ
<b>13</b> システム・ファン 4 コネクタ	<b>14</b> Mini SAS コネクタ
<b>15</b> SATA 光学式ドライブ・コネクタ	<b>16</b> オペレーション情報パネル・コネクタ
<b>17</b> コイン型電池コネクタ	<b>18</b> 前面 USB コネクタ
<b>19</b> USB ハイパーバイザー・キー・コネクタ	<b>20</b> 作動温度の機能拡張キット・コネクタ

## システム・ボードのスイッチとジャンパー

このトピックは、システム・ボードにあるジャンパーおよびスイッチの位置を確認し、その機能についての理解を深める役に立ちます。

### 重要：

- スwitchの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにしてください。次に、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。v ページの「安全について」、97 ページの「サーバー・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に」、および 13 ページの「サーバーの電源をオフにする」に記載されている情報を確認します。
- システム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。

- スイッチ・ブロックに透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにステッカーを取り除いて廃棄する必要があります。

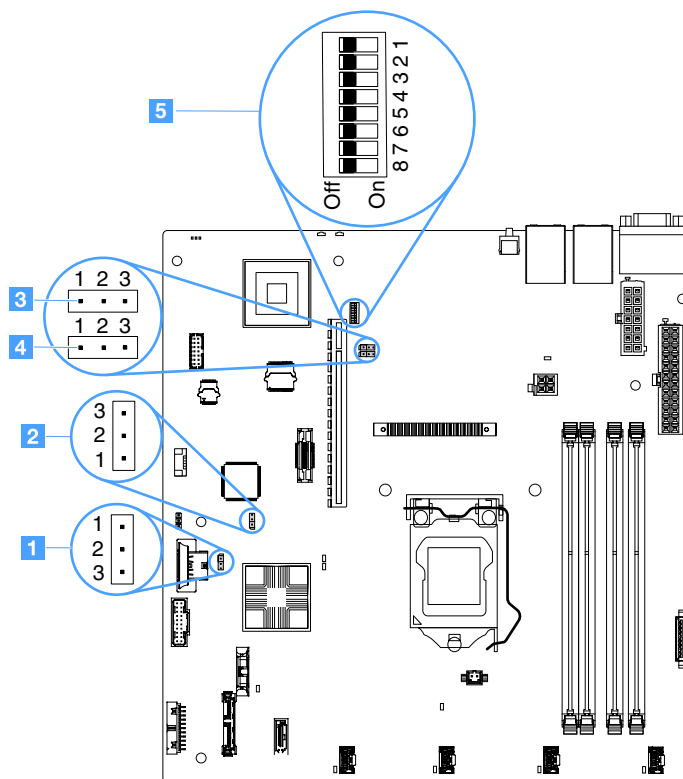


図12. システム・ボードのスイッチおよびジャンパー

<b>1</b> CMOS クリア・ジャンパー	<b>2</b> UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP24)
<b>3</b> TPM 物理プレゼンス・ジャンパー (JP39)	<b>4</b> 共有 NIC ジャンパー
<b>5</b> SW1 スイッチ・ブロック	

以下の表は、システム・ボード上のジャンパーについて説明しています。

表 2. ジャンパーの定義

ジャンパー名	説明
CMOS クリア・ジャンパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ピン 1 と 2: (デフォルト): CMOS データを保持します。</li> <li>• ピン 2 と 3: CMOS データをクリアします。</li> </ul>
UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ピン 1 と 2: (デフォルト): プライマリー・サーバー・ファームウェア ROM ページをロードします。</li> <li>• ピン 2 と 3: バックアップからブートし 2 次 (バックアップ) サーバー・ファームウェア ROM ページをロードします。</li> </ul>
TPM 物理プレゼンス・ジャンパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ピン 1 と 2: デフォルトでオフ</li> <li>• ピン 2 と 3: システム TPM に物理プレゼンスを通知します。</li> </ul>
共有 NIC ジャンパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ピン 1 と 2: デフォルトでオン。LAN を共有します。</li> <li>• ピン 2 と 3: IMM 専用管理ポートとしてイーサネット・コネクタ 1 を設定します。</li> </ul>

ジャンパーがない場合、サーバーはピンがデフォルトに設定されているものとして対応します。

注：サーバーの電源をオンにする前に UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーの位置をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に変更すると、どちらのフラッシュ ROM ページがロードされるかを通知するアラートが出されます。サーバーの電源をオンにした後は、ジャンパーのピン位置を変更しないでください。これを行うと、予測不能な問題が発生する可能性があります。

表 3. SW1 スイッチ・ブロックの定義

スイッチ番号	デフォルト位置	説明
1, 3, 4, 5, 6, 7, 8	オフ	予約済み
2	オフ	<p>始動パスワードのオーバーライド。このスイッチの位置を変更すると、次回にサーバーの電源を入れたときに始動パスワード検査をバイパスして、Setup Utility を開始するため、始動パスワードを変更または削除できるようになります。始動パスワードのオーバーライド後に、スイッチをデフォルト位置に戻す必要はありません。管理者パスワードが設定されている場合、このスイッチの位置を変更しても管理者パスワード検査に影響を及ぼすことはありません。</p> <p>パスワードに関する追加情報については、33 ページの「パスワード」を参照してください。</p>

## システム・ボード LED

次の図は、システム・ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。

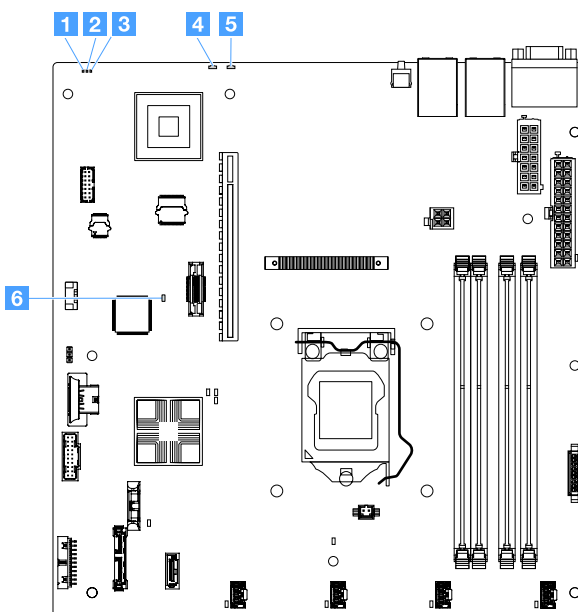


図 13. システム・ボード上の LED

<b>1</b> コンプレックス・プログラマブル・ロジック・デバイス (CPLD) ハートビート LED	<b>2</b> 電源 LED
<b>3</b> IMM ハートビート LED	<b>4</b> システム・エラー LED
<b>5</b> システム・ロケータ LED	<b>6</b> フィールド・プログラマブル・ゲート・アレイ (FPGA) エラー LED

---

## 第 4 章 構成情報

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティの使用法について説明します。

---

### ファームウェアの更新

重要：

- 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
- Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に格納されているすべてのデータをバックアップしてください。手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。
- 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

- **Lenovo XClarity Essentials OneCLI**

Lenovo XClarity Essentials OneCLI は、Lenovo サーバーの管理に使用できる複数のコマンド・ライン・アプリケーションのコレクションです。これの更新アプリケーションを使用して、サーバーのファームウェアおよびデバイス・ドライバーを更新できます。更新は、サーバー(インバンド)のホスト・オペレーティング・システム内で、またはサーバー(アウト・オブ・バンド)の BMC を介してリモートで実行できます。Lenovo XClarity Essentials OneCLI を使用したファームウェア更新に関する特定の詳細は [http://sysmgmt.lenovofiles.com/help/topic/toolstr\\_cli\\_lenovo/onecli\\_c\\_update.html](http://sysmgmt.lenovofiles.com/help/topic/toolstr_cli_lenovo/onecli_c_update.html) で入手できます。

- **Lenovo XClarity Essentials UpdateXpress**

Lenovo XClarity Essentials UpdateXpress は、グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を介して OneCLI のほとんどの更新機能を提供します。これを使用して、UpdateXpress System Pack (UXSP) 更新パッケージおよび個別の更新を取得してデプロイします。UpdateXpress システム・パックには、Microsoft Windows と Linux のファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新が含まれます。Lenovo XClarity Essentials UpdateXpress は、以下の場所から入手できます。  
<https://support.lenovo.com/uu/en/solutions/lvno-xpress>

- **Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator**

さらに、Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびプリブート診断の実行に適したブート可能メディアを作成し、Microsoft Windows オペレーティング・システムをデプロイすることができます。Lenovo XClarity Essentials BoMC は、以下の場所から入手できます。  
<https://datacentersupport.lenovo.com/uu/en/solutions/lvno-bomc>

サーバーのファームウェアは定期的に更新され、Lenovo Web サイト上でダウンロードできます。UEFI ファームウェア、デバイス・ドライバー、および Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、以下にアクセスしてください。

<https://datacentersupport.lenovo.com>

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、次に、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用して、ファームウェアをインストールします。

サーバー内のデバイスを交換した場合、そのデバイスのメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、CD または DVD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- IMM2.1ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に保管されています。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーおよびシステム・ボード上の ROM に保管されています。
- ServeRAID ファームウェアは、RAID アダプター (取り付けられている場合) 上の ROM に保存されています。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボード上の UEFI ROM に保存されます。

---

## サーバーの構成

サーバーを構成するには、以下のさまざまな要素を考慮してください。

- **Setup Utility**

Setup Utility は、UEFI ファームウェアの一部です。Setup Utility を使用して、起動デバイスのシーケンスの変更、日付と時刻の設定、およびパスワードの設定などの構成タスクを実行します。詳しくは、[29 ページの「Setup Utility プログラムの使用」](#)を参照してください。

- **Boot Manager**

Boot Manager は、UEFI ファームウェアの一部です。Boot Manager を使用して、Setup Utility で設定された起動シーケンスをオーバーライドし、先頭になる起動デバイスを一時的に割り当てます。詳しくは、[35 ページの「Boot Manager プログラムの使用」](#)を参照してください。

- **Lenovo ServerGuide セットアップとインストール CD**

ServerGuide プログラムは、*ServerGuide* セットアップとインストール CD に収録されています。このプログラムは、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールを備えています。RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本のハードウェア機能を構成し、オペレーティング・システムを簡単にインストールするには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。詳しくは、[28 ページの「ServerGuide セットアップとインストール CD の使用」](#)を参照してください。

- **Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)**

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) は、サーバーの構成、ファームウェアの更新、SDR/FRU (センサー・データ・レコード/現場交換可能ユニット) データの更新、リモート側でのネットワーク管理に使用します。IMM2.1 の使用について詳しくは、[36 ページの「Integrated Management Module 2.1 \(IMM2.1\) の使用」](#)を参照してください。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが1つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。組み込みハイパーバイザーの使用法について詳しくは、[39 ページの「組み込みハイパーバイザーの使用」](#)を参照してください。

- **リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能**

リモート・プレゼンスおよびブルー・スクリーン・キャプチャーは、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) の内蔵機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。



- ディスケット・イメージを IMM2.1 メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM2.1 がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM2.1 がサーバーを再起動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。詳しくは、37 ページの「リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用」を参照してください。

- **イーサネット・コントローラーの構成**

イーサネット・コントローラーの構成については、39 ページの「イーサネット・コントローラーの情報」を参照してください。

- **Features on Demand**

このサーバーは、Features on Demand (FoD) ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の FoD ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、39 ページの「Features on Demand Ethernet および Demand RAID ソフトウェアの有効化」を参照してください。

- **Lenovo XClarity Essentials OneCLI**

構成アプリケーションおよびコマンドを使用して現在のシステム構成設定を表示し、Lenovo XClarity Controller と UEFI に変更を加えることができます。保存された構成情報は、他のシステムを複製またはリストアするために使用できます。Lenovo XClarity Essentials OneCLI を使用したサーバーの構成について詳しくは、[http://sysmgmt.lenovofiles.com/help/topic/toolctr\\_cli\\_lenovo/onecli\\_c\\_settings\\_info\\_commands.html](http://sysmgmt.lenovofiles.com/help/topic/toolctr_cli_lenovo/onecli_c_settings_info_commands.html) を参照してください。

- **RAID 構成**

RAID の構成については、40 ページの「RAID 構成ユーティリティへのアクセス」を参照してください。

次の表は、RAID の構成と管理に使用できるアプリケーションをリストしています。

表 4. RAID の構成および管理用のサーバー構成とアプリケーション

サーバー構成	RAID 構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID の管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID M1210 SAS/SATA コントローラー ServeRAID M1215 SAS/SATA コントローラー ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラー ServeRAID M5225-2 GB SAS/SATA コントローラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>- LSI ユーティリティ: (レガシー BIOS ブート時に Setup Utility で Ctrl + C を押します。)</li> <li>- ServerGuide</li> <li>- ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- MegaRAID Storage Manager (MSM)、</li> <li>- ストレージ管理用 StorCLI (コマンド・ライン) ユーティリティ</li> </ul>
ソフトウェア RAID	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Intel ユーティリティ: (レガシー BIOS ブート時に Setup Utility で Ctrl + I を押します)</li> <li>- ServerGuide</li> <li>- ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- グラフィカル・ユーティリティ (Windows のみ)</li> <li>- コマンド・ライン: ストレージ管理用 rstcli (Windows) および mdadm (Linux) ユーティリティ</li> </ul>

ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII) および StorCLI について詳しくは、以下にアクセスしてください。

[http://public.dhe.ibm.com/systems/support/system\\_x\\_pdf/ibm\\_doc\\_mpt2sas\\_hiic-2011-09\\_user-guide.pdf](http://public.dhe.ibm.com/systems/support/system_x_pdf/ibm_doc_mpt2sas_hiic-2011-09_user-guide.pdf)

MegaRAID について詳しくは、以下にアクセスしてください。

<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5073015>

## ServerGuide セットアップとインストール CD の使用

以下の情報は、*ServerGuide* セットアップとインストール CD の使用についての概要として使用することができます。

*ServerGuide* セットアップとインストール CD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。*ServerGuide* プログラムは、サーバーのモデルとインストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。*ServerGuide* は、更新済みデバイス・ドライバーを提供し、場合によっては自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

*ServerGuide* を使用して Windows 2008 シリーズをデプロイする場合は、ServeRAID C110 が有効でも無効でも、システムでブルー・スクリーンが発生する場合があります。この問題を回避するには、以下を行います。

1. UEFI 設定を設定します。
2. 「Device and I/O Ports」設定を表示します。
3. 以下のいずれかを行って変更を保存します。
  - ServeRAID C110 が有効になっている場合は、「onboard SATA ports as」を「RAID」または「IDE」に変更します。
  - ServeRAID C110 が有効になっていない場合、「onboard SATA ports as」を IDE に変更します。

設定を保存した後、*ServerGuide* からリブートすると正常に戻ります。

*ServerGuide* セットアップとインストール CD のイメージを <https://support.lenovo.com/solutions/lnvo-toolkit> から無料でダウンロードできます。

*ServerGuide* セットアップとインストール CD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム・ディスクが必要です。

### ServerGuide の機能

*ServerGuide* プログラムのバージョンにより、使用できる機能が若干異なる場合があります。ご使用のバージョンについて確認するには、*ServerGuide* セットアップとインストール CD を開始して、オンラインで概要を確認してください。すべてのサーバー・モデルにおいてすべての機能がサポートされているわけではありません。

*ServerGuide* プログラムは、以下の特長を備えています。

- 使いやすいインターフェース
- ディスケットを使用しないセットアップ、および検出したハードウェアに基づく構成プログラム
- サーバーのモデルと検出されたハードウェア用のデバイス・ドライバーの提供
- セットアップ中に選択可能なオペレーティング・システムの区画サイズとファイル・システムのタイプ
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストールに関するヒントへのリンクが記載されたオンライン README ファイル
- システムの日付と時刻の設定

### セットアップおよび構成の概要

*ServerGuide* セットアップとインストール CD を使用して、サポートされている Lenovo サーバー・モデルを構成できます。セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを使用するサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して、論理ドライブを作成することができます。



## ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストール

このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて詳しく説明します。

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムのインストール所要時間を削減できます。このプログラムは、ハードウェアやインストールしようとするオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバーを提供します。ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについては、以下のリストを参照してください。

1. セットアップ処理が完了すると、オペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。(インストールを完了するために、ご使用のオペレーティング・システム・ディスクが必要になります。)
2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサ、ハードディスク・ドライブ・コントローラー、およびネットワーク・コントローラーに関する情報を保管します。次に、プログラムは更新されたデバイス・ドライバーがあるか CD を調べます。この情報は保管された後、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、選択されたオペレーティング・システムとインストール済みハードディスク・ドライブに基づき、オペレーティング・システム区画のオプションを表示します。
4. ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再起動するようにプロンプトを出します。この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

## ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、<https://datacentersupport.lenovo.com/us/en/solutions/server-os> からこのサーバー用の最新のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

## Setup Utility プログラムの使用

以下の作業を実行するには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Setup Utility プログラムを使用します。

- 構成情報の表示。
- デバイスおよび I/O ポートの割り当ての表示および変更。
- 日時の設定
- パスワードの設定と変更。
- サーバーの起動特性および起動デバイス順位の設定。
- 拡張ハードウェア機構の設定と変更。
- 省電力機能の設定値の表示、設定、および変更。
- エラー・ログの表示および消去。
- 構成競合の解決。

## Setup Utility プログラムの開始

Setup Utility プログラムを開始するには、以下を行います。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

注：サーバーが電源に接続されてから約 5 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードが設定されている場合、Setup Utility の完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力し

なければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup Utility の限定メニューしか利用できません。

ステップ3. 必要に応じて、表示または変更する設定を選択します。

## Setup Utility のメニュー選択項目

サーバー設定を表示または構成するには、Setup Utility メイン・メニューを使用します。

UEFI の Setup Utility のメイン・メニューには、次の選択項目が表示されています。ファームウェアのバージョンによっては、メニュー選択がここでの説明と少し異なる場合があります。

- **System Information** (Setup Utility の完全メニューでのみ使用可能)

サーバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。Setup Utility の他の選択項目を通じて変更を行うと、「System Information」にそれらの変更の一部が反映されます。「System Information」の設定値を直接変更することはできません。

- **System Summary**

マイクロプロセッサの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、およびインストール済みのメモリー容量など、構成情報を表示する場合、この項目を選択します。Setup Utility の他のオプションを使用して構成の変更を行った場合、その変更はシステム・サマリーに反映されますが、システム・サマリーから直接設定を変更することはできません。

- **Product Data** (Setup Utility の完全メニューでのみ使用可能)

システム・ボード ID、ファームウェアと Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) と診断コードの改訂レベルまたは発行日、およびバージョンと日付を表示するには、この選択項目を選択します。

- **System Settings**

サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **Adapters and UEFI Drivers**

サーバーに取り付けられた UEFI 1.10 準拠のアダプターとドライバーおよび UEFI 2.0 準拠のアダプターとドライバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。

- **Processors**

プロセッサの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **Memory**

メモリーの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **Devices and I/O Ports**

デバイスや入出力 (I/O) ポートの割り当てを表示または変更するには、この選択項目を選択します。シリアル・ポートおよびリモート・コンソール・リダイレクトを構成できます。内蔵イーサネット・コントローラー、SAS/SATA コントローラー、SATA 光学式ドライブ・チャンネル、PCI スロット、およびビデオ・コントローラーの有効化または無効化を行うことができます。デバイスを無効にすると、そのデバイスは構成することができず、オペレーティング・システムはそのデバイスを検出できません (これは、デバイスを切り離すことと同じです)。

- **Operating Modes**

オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。

- **Legacy Support**

レガシー・サポートを表示または設定する場合、この項目を選択します。

- **Force Legacy Video on Boot**

この選択項目を選択して、INT ビデオ・サポートを強制します (オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合)。

– **Rehook INT 19h**

デバイスがブート処理を制御することを有効または無効に設定するには、この項目を選択します。デフォルト設定は「**Disable**」です。

– **Legacy Thunk Support**

UEFI が UEFI 未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスと相互作用することを有効または無効にするには、この項目を選択します。デフォルト設定は「**Enable**」です。

– **Infinite Boot Retry**

この選択項目を選択して、UEFI によるレガシー・ブート順序の無限再試行を有効または無効にできます。デフォルト設定は「**Disable**」です。

– **Non-Planar PXE**

レガシー・モードでの非システム・ボード Preboot Execution Environment (PXE) を有効または無効にするには、この項目を選択します。

– **BBS Boot**

BIOS Boot Specification (BBS) 方法のレガシー・ブートを有効または無効にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

– **Security**

Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成するには、この選択項目を選択します。

– **Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)**

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) の設定を表示または変更する場合、この項目を選択します。

– **電源復元ポリシー**

電源喪失後の動作のモードを設定するには、この項目を選択します。

– **Commands on USB Interface**

この選択項目は、IMM2.1 の Ethernet over USB インターフェースを有効または無効にする場合に選択します。デフォルト設定は「**Enable**」です。

– **ネットワーク構成**

この選択項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM2.1 MAC アドレス、現行 IMM2.1 IP アドレス、およびホスト名の表示。静的 IMM2.1 IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。静的 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM2.1 IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM2.1 のリセット。

– **デフォルトにIMM2.1をリセット**

この選択項目を選択して、IMM2.1 を表示あるいはデフォルト設定にリセットします。

– **IMM2.1をリセット**

この選択項目を選択して、IMM2.1 をリセットします。

– **Recovery and RAS**

POST Attempts およびシステム・リカバリー設定を表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Backup Bank Management**

バックアップ・バンク管理設定を表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Disk GPT Recovery**

ディスク GPT リカバリー・オプションを表示または変更するには、この項目を選択します。

– **POST Attempts**

POST に対する試行の回数値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **POST Attempts Limit**

Nx 回ブート失敗パラメーターを表示または変更するには、この項目を選択します。

- **System Recovery**

システム・リカバリー設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **POST Watchdog Timer**

POST ウォッチドッグ・タイマーを表示する、または有効に設定する場合、この項目を選択します。

- **POST Watchdog Timer Value**

POST ロダー・ウォッチドッグ・タイマーの値を表示または設定するには、この選択項目を選択します。

- **Reboot System on NMI**

この選択項目を選択し、マスク不可割り込み (NMI) が発生するたびにシステムを再起動させる機能を有効または無効にします。デフォルト設定は「**Enable**」です。

- **Storage**

この選択項目を選択し、ストレージ・デバイス設定を表示あるいは変更します。

- **Network**

この選択項目を選択し、ネットワーク・デバイス・オプション (iSCSI など) を表示あるいは変更します。

- **Drive Health**

ブレード・サーバーに取り付けられているコントローラーの状況を表示するには、この項目を選択します。

- **Date and Time (Setup Utility の完全メニューでのみ使用可能)**

この項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (時:分:秒) で設定します。

- **Start Options (Setup Utility の完全メニューでのみ使用可能)**

始動シーケンス、PXE ブート・オプション、PCI 装置のブート優先順位などの始動オプションを表示または変更するには、この項目を選択します。起動オプションの変更は、サーバーを起動すると有効になります。

起動シーケンスは、サーバーがブート・レコードを検出するためにデバイスをチェックする順序を指定します。サーバーは、最初に検出したブート・レコードから起動します。サーバーに Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアがあり、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合には、Wake on LAN 機能の起動シーケンスを指定できます。たとえば、CD-RW/DVD ドライブにディスクが入っているかどうかをチェックしてから、ハードディスク・ドライブをチェックし、その後、イーサネット・コントローラーをチェックする起動シーケンスを定義できます。

- **Boot Manager**

デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブート方法の選択、ブート・モードの変更、またはシステムの再起動を行うには、この選択項目を選択します。

- **System Event Log (Setup Utility の完全メニューでのみ使用可能)**

この選択項目は、POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・イベント・マネージャーに入る場合に選択します。矢印キーを使用して、エラー・ログ内のページ間を移動できます。

POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

システム・イベント・ログには、POST イベントおよびシステム管理割り込み (SMI) イベントと、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが含まれます。

**重要：**サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログをクリアしてください。また、修復を完了するかエラーを修正した後も、システム・イベント・ログを消去して、サーバー前面のシステム・エラー LED をオフにしてください。

– **POST Event Viewer**

POST イベント・ビューアーに入って POST エラー・メッセージを表示するには、この選択項目を選択します。

– **System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

– **Clear System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを消去する場合に選択します。

• **User Security**

パスワードを設定、変更、または削除する場合、この項目を選択します。詳しくは、[33 ページの「パスワード」](#)を参照してください。

– **Set Power-on Password**

始動パスワードを設定または変更する場合、この項目を選択します。詳しくは、[34 ページの「始動パスワード」](#)を参照してください。

– **Clear Power-on Password**

始動パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、[34 ページの「始動パスワード」](#)を参照してください。

– **Set Administrator Password**

管理者パスワードを設定または変更する場合、この項目を選択します。管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのものであり、Setup Utility の完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードを設定している場合、パスワード・プロンプトが出されたときに管理者パスワードを入力したときにのみ、Setup Utility の完全メニューを使用できます。詳しくは、[34 ページの「管理者パスワード」](#)を参照してください。

– **Clear Administrator Password**

管理者パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、[34 ページの「管理者パスワード」](#)を参照してください。

• **Save Settings**

Setup Utility で行った変更を保存する場合、この項目を選択します。

• **Restore Settings**

この選択項目を選択し、Setup Utility で行った変更をキャンセルし、前の設定値に戻します。

• **Load Default Settings**

この選択項目を選択し、Setup Utility で行った変更をキャンセルし、工場出荷時の設定に戻します。

• **Exit Setup**

この項目を選択し、Setup Utility を終了します。Setup Utility で行った変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

## パスワード

「User Security」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワードを設定、変更、削除できます。

「User Security」メニュー選択項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

始動パスワードのみを設定している場合、システム起動を完了するため、および Setup Utility の完全メニューにアクセスするために、始動パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのものであり、Setup Utility の完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードのみを設定している場合、システムの起動を完了するためにパスワードを入力する必要はありませんが、Setup Utility メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザーの始動パスワードおよびシステム管理者の管理者パスワードを設定した場合、システム起動を完了するには始動パスワードを入力する必要があります。システム管理者は、管理者パスワードを入力すると、Setup Utility の完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、および削除するためのユーザー権限を与えることができます。始動パスワードを入力したユーザーは、Setup Utility の限定メニューにのみアクセスできます。ユーザーは、システム管理者から権限が与えられている場合、始動パスワードの設定、変更、および削除を行うことができます。

### 始動パスワード

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまではシステムの起動は完了しません。パスワードには、6文字から20文字までの印刷可能なASCII文字を任意に組み合わせて使用できます。

始動パスワードを設定すると、Unattended Start モードを有効にできます。このモードでは、キーボードとマウスはロックしたままでオペレーティング・システムを起動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。Setup Utility を開始して、始動パスワードをリセットします。

**注意：**管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

- サーバーからバッテリーを取り外し、30秒待ってから、再度取り付けます。
- システム・ボード・スイッチ・ブロック (SW1) のスイッチ2を有効にして始動パスワードのスイッチの位置を変更し、パスワード検査をバイパスします(詳しくは、[22 ページの「システム・ボードのスイッチとジャンパー」](#)を参照)。

**注意：**スイッチの設定を変更する、あるいはジャンパーを移動する前にはサーバーの電源をオフにしてください。次に、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してください。安全についての情報は、[v ページの「安全について」](#)を参照してください。本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

スイッチ・ブロック SW1 上のすべてのスイッチのデフォルト位置は、「オフ」です。

サーバーの電源がオフの間に、スイッチ・ブロック (SW1) のスイッチ2を「オン」位置に移動して、始動パスワード・オーバーライドを有効にします。Setup Utility を開始して、始動パスワードをリセットできます。スイッチを前の位置に戻す必要はありません。

始動パスワード・オーバーライド・スイッチは、管理者パスワードには影響しません。

### 管理者パスワード

管理者パスワードを設定している場合、Setup Utility の完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。パスワードには、6文字から20文字までの印刷可能なASCII文字を任意に組み合わせて使用できます。

**注意：**管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

## Boot Manager プログラムの使用

Boot Manager は標準装備されたメニュー方式の構成プログラムであり、Setup Utility の設定を変更することなく、一時的に最初の起動デバイスを再定義するために使用できます。

Boot Manager プログラムを使用するには、以下を行います。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。
- ステップ 2. サーバーを再起動します。
- ステップ 3. プロンプト「<F12> Select Boot Device」が表示されたら、F12 を押します。
- ステップ 4. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメニューから項目を選択し、Enter を押します。

次回にサーバーが起動するときには、Setup Utility で設定された起動シーケンスに戻ります。

## サーバー・ファームウェアのバックアップの開始

システム・ボードには、サーバー・ファームウェアのバックアップ・コピー・エリアが入っています。サーバー・ファームウェアの更新処理中にサーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合は、バックアップ・コピーを使用します。

サーバーを強制的にバックアップ・コピーから起動するには、サーバーの電源をオフにして、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーをバックアップ位置 (ピン 2 と 3) に設定して、UEFI リカバリー・モードを有効にします。UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーの位置については、[22 ページの「システム・ボードのスイッチとジャンパー」](#)を参照してください。

サーバー・ファームウェアの 1 次コピーがリストアされるまでは、バックアップ・コピーを使用してください。1 次コピーが復元されたら、サーバーの電源をオフにして、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーを 1 次の位置 (ピン 1 と 2) に戻します。

## UEFI のデフォルトをロードした後の Power Policy オプションのデフォルトの設定値への変更

電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値は IMM2.1 によって設定されます。

電源ポリシー・オプションをデフォルト設定に変更するには、以下を行います。

- ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

**注：**サーバーが AC 電源に接続されてから約 20 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

- ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードを設定している場合、Setup Utility の完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合は、Setup Utility の限定メニューしか使用できません。
- ステップ 3. 「System Settings」 → 「Integrated Management Module」を選択してから、「Power Restore Policy」の設定を「Restore」に設定します。
- ステップ 4. 「System Configuration and Boot Management」 → 「Save Settings」に戻ります。
- ステップ 5. 戻って、「Power Policy」(デフォルト)の設定値をチェックし、これが「Restore」に設定されていることを確認します。



## Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) の使用

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第2世代です。これは、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにまとめています。

IMM2.1 は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートしています。

- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)
- POST が完了しなかった場合、またはオペレーティング・システムが停止してオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の、自動サーバー再起動 (ASR)。
- 仮想メディア・キー。これにより、リモート・プレゼンス・サポート (リモート・ビデオ、リモート・キーボード/マウス、およびリモート・ストレージ) が可能になります。
- ブート・シーケンス操作
- コマンド・ライン・インターフェース
- 構成の保存とリストア
- DIMM エラー・アシスタンス。UEFI は、POST 中に検出された障害のある DIMM を無効にし、IMM2.1 は、関連したシステム・エラー LED を点灯します
- 温度、電圧、ファン障害、パワー・サプライ障害、および電源バックプレーン障害用のファン速度制御を備えた環境モニター
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) Specification V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート
- 無効システム構成 (CONFIG) LED サポート
- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新。
- マスク不可能割り込み (NMI) の検出および報告
- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー
- PCI 構成データ
- 電源/リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)
- パワー・サプライの入力電力の照会
- ROM ベースの IMM2.1 ファームウェアのフラッシュ更新
- Serial over LAN (SOL)
- Telnet または SSH プロトコルを介したシリアル・ポート・リダイレクト
- SMI 処理。
- システム・イベント・ログ (SEL) - ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ

IMM2.1は、管理ユーティリティー・プログラムである ipmitool を使用して、以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

- **コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)**  
コマンド・ライン・インターフェースにより、IPMI 2.0 プロトコルを介してサーバー管理機能に直接アクセスできます。コマンド・ライン・インターフェースを使用し、サーバーの電源の制御、システム情報の表示、およびサーバーの識別を行うコマンドを発行します。1つ以上のコマンドをテキスト・ファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。
- **Serial over LAN**



リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再起動、サーバーの識別、およびその他の管理機能を実行することができます。すべての標準 Telnet クライアント・アプリケーションは、SOL 接続へのアクセスが可能です。

IMM2.1 についての詳細は、以下に掲載されている「*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*」を参照してください。

[http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/product\\_page.html](http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/product_page.html)

## リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) に組み込まれています。

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。

IMM2.1 がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM2.1 がサーバーを再起動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用できます。

### IMM2.1 ホスト名の取得

インストール後初めて IMM2.1 にログオンする場合、IMM2.1 のデフォルトは DHCP になっています。DHCP サーバーが利用不能の場合、IMM2.1 は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を使用します。デフォルトの IPv4 ホスト名は「IMM-」(IMM2.1 MAC アドレスの最後の 12 文字を追加) です。デフォルトのホスト名は、サーバーの背面にあるパワー・サプライについている IMM2.1 ネットワーク・アクセス・タグにも示されています。サーバーを起動しないでホスト名を取得できます。

IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) は、IMM2.1 のデフォルトのホスト名から導き出されます。リンク・ローカル・アドレスを導き出すには、以下を行います。

- ステップ 1. IMM2.1 MAC アドレスの最後の 12 文字をとります (たとえば、5CF3FC5EAAD0)。
- ステップ 2. この番号を 16 進文字のペアに分けます (たとえば、5C:F3:FC:5E:AA:D0)。
- ステップ 3. 16 進文字を最初の 6 文字と最後の 6 文字に分けます。
- ステップ 4. 12 文字の中央に「FF」と「FE」を追加します (たとえば、5C F3 FC FF FE 5E AA D0)。
- ステップ 5. 最初の 16 進文字のペアを 2 進数に変換します (たとえば 5=0101、C=1100 で、結果は 01011100 F3 FC FF FE 5E AA D0)。
- ステップ 6. 左から 7 番目の 2 進文字数を (0 なら 1 に、1 なら 0 に) 反転させます。結果は 01011110 F3 FF FE 5E AA D0 となります。
- ステップ 7. 2 進数を 16 進数に戻します (たとえば、5E F3FCFFFE5EAAD0)。

### IMM2.1 用の IP アドレスの取得

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM2.1 の IP アドレスまたはホスト名が必要です。IMM2.1 の IP アドレスは、Setup Utility を使用して取得できます。ま

た、IMM2.1 のホスト名は、IMM2.1 ネットワーク・アクセス・タグから取得できます。サーバーには、IMM2.1 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。

IP アドレスを取得するには、以下を行います。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

注：サーバーが電源に接続されてから約 5 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。(このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。素早く F1 を押してください)。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定している場合、Setup Utility の完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。

ステップ 3. Setup Utility のメイン・メニューから「System Settings」を選択します。

ステップ 4. 「Integrated Management Module」を選択します。

ステップ 5. 「Network Configuration」を選択します。

ステップ 6. IP アドレスを見つけ、書き留めます。

ステップ 7. Setup Utility を終了します。

## Web インターフェースへのログイン

IMM2.1 Web インターフェースにログインするには、以下を行います。

ステップ 1. サーバーに接続されているシステムで、Web ブラウザーを開きます。「Address」または「URL」フィールドに、接続する IMM2.1 の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

注：インストール後初めて IMM2.1 にログオンする場合、IMM2.1 のデフォルトは DHCP になっています。DHCP ホストが利用不能の場合、IMM2.1 は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を割り当てます。IMM2.1 ネットワーク・アクセス・タグは IMM2.1 のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

ステップ 2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。IMM2.1 を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。ログインの試行はシステム・イベント・ログにすべて記録されます。

注：IMM2.1 は、最初はユーザー名 USERID とパスワード PASSWORD (英字の O でなくゼロ) を使用して設定されます。読み取りおよび書き込み権限が付与されています。このデフォルトのパスワードは、初回ログイン時に変更する必要があります。

ステップ 3. 「ログイン」をクリックしてセッションを開始します。「システムの状況とヘルス」ページにシステム・ステータスのクイック・ビューが表示されます。

注：IMM2.1 GUI を使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「システム・ステータス」 → 「システムの状態」でメッセージ「Booting OS or in unsupported OS」が表示される場合は、Windows Server® 2008 または 2012 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 または 2012 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与える場合があります。

```
netsh advfirewall firewall set icmpsetting type=8 mode=ENABLE
```

デフォルトで、icmp パケットは Windows Server ファイアウォールによってブロックされます。Web インターフェースと CLI インターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM2.1 GUI は「OS booted」状況に変わります。

## 組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの Lenovo USB フラッシュ・デバイスで使用可能です。

USB フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクタに接続できます。コネクタの位置を確認するには、[21 ページの「システム・ボード・コネクタ」](#)を参照してください。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが1つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにするソフトウェアの一種です。USB フラッシュ・デバイスは、ハイパーバイザーをアクティブにするために必要です。

組み込みハイパーバイザーの使用を開始するには、Setup Utility の起動シーケンスに USB フラッシュ・デバイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを起動シーケンスに追加するには、以下を行います。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

注：サーバーが電源に接続されてから約 5 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。

ステップ 3. Setup Utility のメイン・メニューから「Boot Manager」を選択します。

ステップ 4. 「Add Boot Option」を選択し、次に「Generic Boot Option」→「Embedded Hypervisor」を選択します。Enter キーを押してから、Esc を押します。

ステップ 5. 「Change Boot Order」→「Change the order」を選択します。上下矢印キーを使用して「Embedded Hypervisor」を選択し、プラス (+) キーとマイナス (-) キーを使用して、ブート順序内で「Embedded Hypervisor」を移動します。「Embedded Hypervisor」がブート順序内の正しい位置になったら、Enter キーを押します。「Commit Changes」を選択して Enter キーを押します。

ステップ 6. 「Save Settings」を選択し、次に「Exit Setup」を選択します。

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、<http://www-03.ibm.com/systems/x/os/vmware/esxi/>からイメージをダウンロードすることができます。

追加情報と手順については、「VMware vSphere documentation」(<http://www.vmware.com/support/pubs/>)を参照してください。

## イーサネット・コントローラーの情報

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。このコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps ネットワークへの接続インターフェースと、ネットワーク上でデータの送受信を同時に行うことができる全二重 (FDX) 機能を提供します。サーバーのイーサネット・コネクタがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

ジャンパーの設定やコントローラーの構成は必要ありません。ただし、デバイス・ドライバーをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。

デバイス・ドライバーを見つけるには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスします。

## Features on Demand Ethernet および Demand RAID ソフトウェアの有効化

以下の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにできます。

- Fibre Channel over Ethernet (FCoE)

- iSCSI ストレージ・プロトコル
- RAID

FCoE および iSCSI ストレージ・プロトコルおよび RAID は、IMM2.1 に統合されています。

詳しくは、「*Lenovo Features on Demand ユーザーズ・ガイド*」を参照してください。資料をダウンロードするには、<https://fod.lenovo.com/lkms> にアクセスしてログインし、「Help (ヘルプ)」をクリックします。

## RAID 構成ユーティリティへのアクセス

Setup Utility を使用して、RAID アレイを構成するユーティリティにアクセスすることができます。

アレイを構成する特定の手順は、ご使用の RAID カードによって異なります。詳しくは、ご使用の RAID カード用の説明書を参照してください。ご使用の RAID カード用のユーティリティにアクセスするには、以下を行います。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

注：サーバーが電源に接続されてから約 5 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

ステップ 2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードが設定されている場合、Setup Utility の完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力しなければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup Utility の限定メニューしか利用できません。

ステップ 3. 「System Settings」 → 「Storage」を選択します。

ステップ 4. ご使用の RAID カードに適したデバイス・ドライバを選択し、Enter キーを押します。次に、ご使用の RAID カードの説明書にある指示に従います。

## Lenovo XClarity Essentials OneCLI

Lenovo XClarity Essentials (LXCE) は、お客様が Lenovo ThinkSystem、System x、および ThinkServer サーバーをより効率的に、コスト効率よく、簡単に管理できるようにする、サーバー管理ユーティリティのコレクションです。

- [Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator \(BoMC\)](#) は、ブート可能メディアを作成するために使用するソフトウェア・アプリケーションです。ブート可能メディアは、ファームウェア更新の適用、プリブート診断の実行、サポートされている ThinkSystem、System x、および BladeCenter システムへの Microsoft Windows オペレーティング・システムのデプロイに使用できます。
- [Lenovo XClarity Essentials OneCLI](#) はいくつかのコマンドライン・アプリケーションのコレクションです。サーバーの構成、サーバーのサービス・データの収集、ファームウェアとデバイス・ドライバの更新、サーバーの電源管理機能の実行に使用することができます。
- [XClarity Essentials UpdateXpress](#) は、UpdateXpress System Packs (UXSP) や個別更新を取得し、ご使用のローカル・システムまたはリモート・システムに適用できる、ソフトウェア・アプリケーションです。詳細については、<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-CENTER> にアクセスしてください。

## Lenovo XClarity Administrator の使用

Lenovo XClarity Administrator の初期セットアップには以下が含まれています。

- ネットワークの準備
- Lenovo XClarity Administrator 仮想アプライアンスのインストールおよび構成
- システムの管理
- 自動問題通知のセットアップ (オプション)

ご使用の環境に実装されたネットワーク・トポロジーに応じてシステムを管理するために、管理可能なシステムをネットワークに接続し、Lenovo XClarity Administrator 仮想アプライアンスを設定する方法には、さまざまなものがあります。サーバーの管理に Lenovo XClarity Administrator を使用する予定がある場合は、Lenovo XClarity Administrator に適用可能な最新の更新と暫定修正があるかどうかを確認する必要があります。VMware ESXi ベースおよび Hyper-V 環境への Lenovo XClarity Administrator のインストールおよび Lenovo XClarity Administrator の更新のダウンロードについては、<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-XCLARIT>

Lenovo XClarity Administrator には 90 日間の試用ライセンスがあり、限定された期間、すべての機能 (オペレーティング・システム・デプロイメント、ファームウェアの保守および構成管理を含む) を使用できます。90 日の試用期間終了後に引き続き Lenovo XClarity Administrator を使用するには、Lenovo XClarity Administrator それぞれの全機能有効化ライセンスを購入する必要があります。ライセンスは、以下から購入してダウンロードできます。  
<https://support.lenovo.com/us/en/documents/lno-xcaupd>

## 汎用固有 ID (UUID) の更新

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。Lenovo XClarity Essentials OneCLI を使用して、UEFI ベースのソリューションで UUID を更新します。Lenovo XClarity Essentials OneCLI は、ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンを確実にダウンロードできるようにする、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。

注：Lenovo XClarity Provisioning Manager を使用して、ソリューションの UUID を更新できます。

1. ソリューションを起動し、F1 を押して Lenovo XClarity Provisioning Manager システム・セットアップ・インターフェースを表示します。
2. 「システムの要約」ページで「VPD の更新」をクリックします。
3. UUID を更新します。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI をダウンロードするには、次のサイトにアクセスしてください。

<https://datacentersupport.lenovo.com/us/en/solutions/HT116433>

Lenovo XClarity Essentials OneCLI は、Lenovo XClarity Controller に UUID を設定します。以下のいずれかの方法を選択して Lenovo XClarity Controller にアクセスし、UUID を設定します。

- ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセスなど)
- ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)

ステップ 1. OneCLI パッケージ (他の必要なファイルも含まれています) をソリューションにコピーし、解凍します。OneCLI と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。

ステップ 2. OneCLI をインストールした後、次のコマンド構文を使用して UUID を設定します。

```
onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

**<uuid\_value>**

ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

**[access\_method]**

以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:  
onecli config set SYSTEM\_PROD\_DATA.SysInfoUUID <uuid\_value> --user <user\_id>  
--password <password>

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:  
onecli config set SYSTEM\_PROD\_DATA.SysInfoUUID <uuid\_value>

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:  
このアクセス方式を使用する場合は、*access\_method* の値を指定する必要はありません。

例:  
onecli config set SYSTEM\_PROD\_DATA.SysInfoUUID <uuid\_value>

注: KCS アクセス方式では、IPMI/KCS インターフェースを使用します。これには IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して Lenovo XClarity Controller にアクセスする場合、「*host*」および「*xcc\_external\_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
[--imm xcc_user_id:xcc_password@xcc_external_ip]
```

または

```
[--bmc xcc_user_id:xcc_password@xcc_external_ip]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

#### *xcc\_external\_ip*

BMC/IMM/XCC 外部 LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

#### *xcc\_user\_id*

BMC/IMM/XCC アカウント名 (12 アカウントのうちの一つ)。デフォルト値は USERID です。

#### *xcc\_password*

BMC/IMM/XCC アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの一つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: BMC、IMM、または XCC の外部 LAN IP アドレス、アカウント名、およびパスワードは、すべてこのコマンドで有効です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:  
onecli config set SYSTEM\_PROD\_DATA.SysInfoUUID <uuid\_value>

ステップ 3. Lenovo XClarity Controller を再起動します。

ステップ 4. ソリューションを再起動します。

## DMI/SMBIOS データの更新

システム・ボードを交換した場合、デスクトップ管理インターフェース (DMI) を更新する必要があります。Lenovo XClarity Essentials OneCLI を使用して、UEFI ベースのソリューションで DMI を更新します。Lenovo XClarity Essentials OneCLI は、ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンを確実にダウンロードできるようにする、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。

注: Lenovo XClarity Provisioning Manager を使用して、ソリューションの資産タグを更新できます。

1. ソリューションを起動し、F1 を押して Lenovo XClarity Provisioning Manager システム・セットアップ・インターフェースを表示します。
2. 「システムの要約」ページで「VPD の更新」をクリックします。



3. 資産タグ情報を更新します。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI をダウンロードするには、次のサイトにアクセスしてください。

<https://datacentersupport.lenovo.com/us/en/solutions/HT116433>

Lenovo XClarity Essentials OneCLI は、Lenovo XClarity Controller に DMI を設定します。以下のいずれかの方法を選択して Lenovo XClarity Controller にアクセスし、DMI を設定します。

- ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセスなど)
- ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)

ステップ 1. Lenovo XClarity Essentials OneCLI をインストールした後、次のコマンドを入力して DMI を設定します。

```
onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> [access_method]
onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> [access_method]
onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

**<m/t\_model>**

ソリューションのマシン・タイプおよび型式番号。mtm xxxxyyy と入力してください。ここで、xxxx はマシン・タイプ、yyy はソリューション・モデルの番号です。

**<s/n>**

ソリューションのシリアル番号。sn zzzzzzz と入力します。ここで、zzzzzz はシリアル番号です。

**<asset\_method>**

ソリューションの資産タグ番号。asset aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa と入力します。ここで、aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa は資産タグ番号です。

**[access\_method]**

以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

```
[--imm xcc_user_id:xcc_password@xcc_internal_ip]
```

または

```
[--bmc xcc_user_id:xcc_password@xcc_internal_ip]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

**xcc\_internal\_ip**

BMC/IMM/XCC 内部 LAN/USB IP アドレス。デフォルト値は 169.254.95.118 です。

**xcc\_user\_id**

BMC/IMM/XCC アカウント名 (12 アカウントのうちの一つ)。デフォルト値は USERID です。

**xcc\_password**

BMC/IMM/XCC アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの一つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注：

1. BMC、IMM、または XCC の内部 LAN/USB IP アドレス、アカウント名、およびパスワードは、すべてこのコマンドで有効です。

2. いずれのパラメーターも指定しない場合、OneCLI はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、オンライン認証の LAN アクセス方式を使用して OneCLI が Lenovo XClarity Controller にアクセスできない場合は、OneCLI は自動的に認定されていない KCS アクセス方式を使用します。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合: このアクセス方式を使用する場合は、*access\_method* の値を指定する必要はありません。

注: KCS アクセス方式では、IPMI/KCS インターフェースを使用します。これには IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例です。

```
onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して Lenovo XClarity Controller にアクセスする場合、「*host*」および「*xcc\_external\_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
[--imm xcc_user_id:xcc_password@xcc_external_ip]
```

または

```
[--bmc xcc_user_id:xcc_password@xcc_external_ip]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

#### *xcc\_external\_ip*

BMC/IMM/XCC LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

#### *xcc\_user\_id*

BMC/IMM/XCC アカウント (12 アカウントのうちの一つ)。デフォルト値は USERID です。

#### *xcc\_password*

BMC/IMM/XCC アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの一つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: BMC、IMM、または XCC の内部 LAN/USB IP アドレス、アカウント名、およびパスワードは、すべてこのコマンドで有効です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <xcc_ip>
onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <xcc_ip>
onecli config set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <xcc_ip>
```

ステップ 2. ソリューションを再起動します。

---

## オンボード SATA ソフトウェア RAID の構成

オンボード SATA RAID 機能の有効化、RAID ボリュームの作成、RAID ボリュームの削除、スペアとしてマークを行って、オンボード SATA ソフトウェア RAID を構成できます。



## Onboard SATA RAID 機能の有効化

注：選択は、キーボードの矢印キーを使用して行います。

Onboard SATA RAID 機能を有効にするには、次のようにします。

1. Setup Utility プログラムを起動します。29 ページの「[Setup Utility プログラムの開始](#)」を参照してください。
2. 「System settings」 → 「Devices and I/O ports」を選択します。
3. 「Onboard SATA mode」を選択し、Enter キーを押します。
4. 「RAID」を選択して Enter キーを押します。
5. ESC を 2 回押して、Setup Utility プログラムのメインメニューに戻ります。
6. 「Save Settings」を選択して、Enter キーを押します。
7. Setup Utility プログラムを終了します。

## RAID ボリュームの作成

このセクションでは、Intel Rapid Storage Technology エンタープライズ UEFI HII を使用して、RAID ボリュームを作成する方法について説明します。

RAID ボリュームを作成するには、以下を行います。

1. Setup Utility プログラムを起動します。29 ページの「[Setup Utility プログラムの開始](#)」を参照してください。
2. 「System settings」 → 「Storage」を選択して Enter キーを押します。
3. 「Intel RSTe SATA コントローラー」を選択して Enter キーを押します。
4. 「Create RAID Volume」を選択し、Enter キーを押します。
5. 「Name」フィールドに適切な RAID ボリュームの名前を入力し、Enter キーを押します。
6. 「RAID Level」フィールドで、矢印キーを使用して RAID レベルを選択し、Enter キーを押します。
7. 矢印キーを使用して「Select Disk」フィールドでハードディスク・ドライブを選択し、Enter キーを押します。
8. 必要に応じて、ステップ 7 を繰り返して複数のハードディスク・ドライブを選択します。
9. 「Stripe Size」フィールドで、矢印キーを使用してストライプ・サイズを選択し、Enter キーを押します。
10. 「Capacity (MB)」フィールドにボリューム・サイズを入力し、Enter キーを押します。
11. 「Create Volume」を選択し、Enter キーを押します。
12. 確認を求められたら、「Y」を押して警告メッセージを受け入れ、ボリュームを作成します。
13. 必要に応じてステップ 4 に戻り、さらに RAID ボリュームを作成します。

## RAID ボリュームの削除

このセクションでは、Intel Rapid Storage Technology エンタープライズ UEFI HII を使用して、RAID ボリュームを削除する方法について説明します。

RAID ボリュームを削除するには、以下を行います。

1. Setup Utility プログラムを起動します。29 ページの「[Setup Utility プログラムの開始](#)」を参照してください。
2. 「System settings」 → 「Storage」を選択して Enter キーを押します。
3. 「Intel RSTe SATA コントローラー」を選択して Enter キーを押します。
4. 「RAID Volume」フィールドで、矢印キーを使用して削除する RAID ボリュームを選択し、Enter キーを押します。

5. 「Delete」を選択し、Enter キーを押します。
6. 確認を求められたら「Y」を押して、選択した RAID ボリュームの削除を確定します。RAID ボリュームを削除すると、ハードディスク・ドライブは非 RAID の状態にリセットされます。
7. RAID ボリュームの削除後、次のことを行うことができます。
  - ステップ 4 に戻って、さらに RAID ボリュームを削除します。
  - RAID ボリュームの作成については、45 ページの「RAID ボリュームの作成」を参照してください。
  - Setup Utility プログラムを終了します。

## ディスクをスペアとしてマーク付け

スペア・ドライブとしてハードディスク・ドライブにマークを付けるには、次のようにします。

1. Setup Utility プログラムを起動します。29 ページの「Setup Utility プログラムの開始」を参照してください。
2. 「System settings」 → 「Storage」を選択して Enter キーを押します。
3. 「Intel RSTe SATA コントローラー」を選択して Enter キーを押します。
4. 上下の矢印キーを使用して「Non-RAID Physical Disks」フィールドで非 RAID 物理ディスクを選択し、Enter キーを押します。
5. 「Mark as Spare」を選択し、Enter キーを押します。
6. 確認を求められたら「Y」を押して操作を確定します。

注：スペア・ドライブとしてハードディスク・ドライブにマークを付けると、ドライブのすべてのデータは削除されます。

注：ご使用のサーバーに以下の Linux オペレーティング・システムのいずれかがインストールされている場合、対応する処置に従って続行してください。

- Redhat Enterprise Linux 6.7 オペレーティング・システムの場合は、次の行を `/etc/mdadm.conf` ファイルの最後に追加して、オペレーティング・システムを再起動します。  
`POLICY domain=DOMAIN path=* metadata=imsm action=spare-same-slot`
- SUSE Linux Enterprise Server 11.4 オペレーティング・システムの場合は、次のようにします。
  1. `/etc/mdadm.conf` ファイルの最後に次の行を追加します。  
`POLICY domain=DOMAIN path=* metadata=imsm action=spare-same-slot`
  2. ルート・ユーザーとして次のコマンドを実行します。  
`# chkconfig -s mdadm on`  
`# /etc/init.d/mdadm start`

---

## 第 5 章 トラブルシューティング

この章では、サーバーで発生した問題を解決するために役立つ診断ツールとトラブルシューティング情報について説明します。

この章の情報を使用しても問題の診断や訂正ができない場合は、[683 ページの付録 D「ヘルプおよび技術サポートの入手」](#)を参照してください。

---

### ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援をせずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードが記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

### 問題の診断

IBM または Lenovo 認定保証サービス・プロバイダーに連絡する前に、以下の手順をここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

ステップ 1. 問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。

問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。この操作を行う対象には、以下の項目があります。

- ハードウェア・コンポーネント
- デバイス・ドライバーおよびファームウェア
- システム・ソフトウェア
- UEFI ファームウェア
- システム入力電力またはネットワーク接続

ステップ 2. Light path 診断 LED、イベント・ログ、およびエラー・コードを確認します。

次の項目は、ハードウェアおよびソフトウェアの問題を簡単に診断する役に立ちます。

- Light path 診断 LED ([53 ページの「Light path 診断」](#)を参照)
- イベント・ログ ([56 ページの「イベント・ログ」](#)を参照)
- ソフトウェアまたはオペレーティング・システム・エラー・コード (製造メーカーの Web サイトの資料またはヒントを参照)

ステップ 3. LXCE OneCLI を実行して、システム・データを収集します。

ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには LXCE OneCLI を実行します。IBM または認定保証サービス提供者に連絡する際に、この情報を提供してください。OneCLI の実行方法の手順については、「[LXCE OneCLI ユーザー・ガイド](#)」を参照してください。

OneCLI コードの最新バージョンおよび「[LXCE OneCLI ユーザー・ガイド](#)」をダウンロードするには、<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-DSA> にアクセスします。

#### ステップ 4. コードの更新を確認して、適用します。

多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバで使用可能である場合があります。サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、以下にアクセスしてください。

<https://datacentersupport.lenovo.com>

**注意：**誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバの更新をインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

**重要：**一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

##### a. UpdateXpress システム更新をインストールします。

UpdateXpress システム・パックまたは UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress System Pack には、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびプリブート診断の実行に適したブート可能メディアを作成することができます。UpdateXpress System Packs について詳しくは、以下を参照してください。

<https://datacentersupport.lenovo.com>

Bootable Media Creator プログラムについて詳しくは、以下を参照してください。

<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-BOMC>

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress システム・パックあるいは UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。手動でシステム更新をインストールするには、以下の 2 つのステップを参照してください。

##### b. 手動のシステム更新をインストールします。

###### 1. 既存のコード・レベルを判別します。

*OneCLI* インベントリー・レポートで、「ファームウェア/VPD」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「ソフトウェア」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

###### 2. 最新レベルではないコードがあれば、更新をダウンロードしてインストールします。

サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、以下にアクセスしてください。

<https://datacentersupport.lenovo.com>

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていない場合でも、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

#### ステップ 5. 構成の誤りを確認して、訂正します。

サーバーが誤って構成されている場合、それを有効にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバー構成を誤って変更した場合、有効だったシステム機能が作動を停止することがあります。

- a. インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを確認します。

・サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプションのデバイス、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認するには、<http://www.lenovo.com/serverproven/>を参照してください。サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、そのハードウェアを取り外すかそのソフトウェアをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別します。IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。

- b. サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。

多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。チェックアウト手順の実行については、50 ページの「[チェックアウト手順を実行する前の予防措置](#)」を参照してください。サーバーの構成については、25 ページの第 4 章「[構成情報](#)」を参照してください。

#### ステップ 6. コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。

問題が特定の機能に関連している場合 (たとえば、RAID ハードディスク・ドライブが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合) には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

RAID やイーサネット・コントローラーなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

オペレーティング・システム、IBM ソフトウェア、デバイスに関する問題については、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

#### ステップ 7. トラブルシューティング手順および retain のヒントを確認します。

トラブルシューティング手順および retain のヒントには、既知の問題および推奨される解決策が文書化されています。トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

#### ステップ 8. トラブルシューティング表を使用します。

識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、62 ページの「[症状別トラブルシューティング](#)」を参照してください。

単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。その手順で問題を解決できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

問題が残る場合は、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を得てください。オンライン・サービス要求を開くには、[http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open\\_service\\_request](http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request) にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。



## オンライン・サービス要求を開く

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに IBM によって確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの light path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、[http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open\\_service\\_request](http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request) にアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

---

## Service Bulletin

Lenovo では、サポートの Web サイトで常時更新し、Lenovo System x3250 M6 サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントとテクニックを提供しています。

Lenovo System x3250 M6 サーバーに使用可能な Service Bulletin を検索するには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスして、3633 および 3943 と retain を検索してください。

---

## チェックアウト手順

このセクションでは、問題を診断するための追加情報を提供します。

### チェックアウト手順を実行する前の予防措置

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- 安全上の注意をお読みください。v ページの「安全について」を参照してください。
- Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (システム・ボード、イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハードディスク・ドライブなど) の基本テスト方式を提供します。DSA を使用して、一部の外部デバイスをテストすることもできます。問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、DSA を使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

**重要：**複数のエラー・コードあるいは複数の light path 診断 LED が 1 つのマイクロプロセッサ・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサまたはマイクロプロセッサ・ソケットに関係している可能性があります。

- DSA を実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハードディスク・ドライブ・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判別する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハードディスク・ドライブ) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合には、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
  - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
  - 1 つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認デバイスにも接続されている場合。
  - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

**重要：**サーバーが共有 HDD クラスターの一部である場合は、一度に1つだけテストを実行してください。「クイック」テストや「通常」テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハードディスク・ドライブ診断テストが有効にされることがあります。

- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は、513 ページの付録 B 「UEFI (POST) エラー・コード」を参照してください。サーバーが停止されるが、エラー・メッセージが表示されない場合は、62 ページの「症状別トラブルシューティング」および 75 ページの「未解決問題の解決」を参照してください。
- パワー・サプライの問題については、74 ページの「電源の問題の解決」、70 ページの「電源問題」、および 55 ページの「パワー・サプライ LED」を参照してください。
- 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、56 ページの「イベント・ログ」および 525 ページの付録 C 「DSA 診断テスト結果」を参照してください。

## チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順を実行するには、以下を行います。

ステップ 1. サーバーはクラスターの一部ですか。

- **いいえ:** 51 ページのステップ 2 に進みます。
- **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。51 ページのステップ 3 に進みます。

ステップ 2. 以下を実行します。

- a. パワー・サプライ LED を確認します。55 ページの「パワー・サプライ LED」を参照してください。
- b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
- c. すべての内蔵デバイスおよび外付けデバイスの互換性を <http://www.lenovo.com/serverproven/> でチェックします。
- d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
- e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
- f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
- g. サーバーの電源をオンにします。サーバーが起動しない場合は、62 ページの「症状別トラブルシューティング」を参照してください。
- h. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点灯している場合は、light path 診断 LED をチェックします。53 ページの「Light path 診断」を参照してください。
- i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
  - POST の正常終了 (59 ページの「POST」を参照)
  - 起動の正常終了 (オペレーティング・システム・デスクトップの読み取り可能な表示によって示されます)

ステップ 3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。

- **いいえ:** 62 ページの「症状別トラブルシューティング」で障害の徴候を見つけ出します。必要があれば、75 ページの「未解決問題の解決」を参照してください。
- **はい:** DSA を実行します。60 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照してください。
  - DSA がエラーを報告する場合は、525 ページの付録 C 「DSA 診断テスト結果」の指示に従ってください。
  - DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、75 ページの「未解決問題の解決」を参照してください。

---

## 診断ツール

次のツールは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立ちます。

- **Light path 診断**

Light path 診断を使用して、システム・エラーを迅速に診断します。詳しくは、[53 ページの「Light path 診断」](#)を参照してください。

- **イベント・ログ**

イベント・ログでは、エラーが検出された場合に生成されるエラー・コードとメッセージをリストしています。詳しくは、[56 ページの「イベント・ログ」](#)を参照してください。

- **Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)**

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が1つのチップに組み合わされています。IMM2.1 は、高度なサービス・プロセッサの制御、監視、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が発生すると、IMM2.1は問題の診断に役立つLEDを点灯し、IMM2.1 イベント・ログにエラーを記録し、さらにユーザーに対してアラートを発行します。オプションで、IMM2.1 はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM2.1 は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3
- 共通情報モデル (CIM)
- Web ブラウザー

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) について詳しくは、[36 ページの「Integrated Management Module 2.1 \(IMM2.1\) の使用」](#)、[193 ページの付録 A「Integrated Management Module 2.1 \(IMM2.1\) のエラー・メッセージ」](#) および「[Integrated Management Module II User's Guide](#)」([http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/product\\_page.html](http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/product_page.html))を参照してください。

- **Dynamic System Analysis Preboot (DSA Preboot)**

DSA Preboot 診断プログラムは、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されます。DSA Preboot は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーの主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA Preboot は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- Drive Health 情報
- IMM2.1 構成情報
- IMM2.1 環境情報
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- Light path 診断の状況
- マイクロプロセッサ、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付け済みの場合) の診断も提供します。



- Emulex イーサネット・コントローラー
- IMM2.1 I2C バス
- Light path 診断パネル
- メモリー・モジュール
- マイクロプロセッサ
- 光ディスク・デバイス (CD または DVD)
- SAS または SATA ドライブ
- LSI コントローラー
- Broadcom イーサネット・コントローラー
- FusionIO ストレージ
- Intel GPU
- NVIDIA GPU

DSA Preboot のサーバーでの実行について詳しくは、[60 ページ](#)の「[DSA Preboot 診断プログラムの実行](#)」を参照してください。

また、現象の問題を診断して解決できます。詳しくは、[62 ページ](#)の「[症状別トラブルシューティング](#)」を参照してください。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- Lenovo サポート Web サイト (<http://www.lenovo.com/support>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。

## Light path 診断

Light path 診断は、サーバーの各種外部コンポーネントおよび内部コンポーネント上にある LED のシステムで、これを使用して障害のあるコンポーネントを特定することができます。エラーが発生すると、フロント・パネル、オペレーター情報パネルのパスに沿って、次に障害が起こったコンポーネント上で、LED が点灯します。特定の順序で LED を確認することにより、多くの場合、エラーの原因を確認できます。




エラーを示す LED が点灯すると、サーバーが電源に接続されたままであり、パワー・サプライが正しく作動していれば、それらの LED はサーバーの電源がオフになってもそのまま点灯しています。

サーバーの内部の light path 診断 LED を確認する前に、「安全について」([v ページ](#)の「[安全について](#)」) および [98 ページ](#)の「[静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い](#)」をお読みください。

エラーが発生したら、サーバー前面の light path 診断 LED を見て、オペレーター情報パネルを確認します。

次の表では、オペレーター情報パネル上の LED および検出された問題を修正するための推奨アクションについて説明します。

表 5. Light path 診断 LED のステータスと操作

LED	説明	操作
システム・ロケーター LED  (青色)	この LED はプレゼンス検出 LED として使用されます。Systems Director または IMM2.1 を使用して、この LED をリモートで点灯させることができます。	この LED は、複数のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見付けるのに使 用します。
チェック・ログ LED  (オレンジ色)	LED がオン: エラーが発生し、特定の手順 を実行しなければ切り分けを行えません。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. IMM2.1 イベント・ログおよびシステム・エラー・ログで、このエラーに関する情報を確認してください。</li> <li>2. 必要に応じてログを保存した後、そのログをクリアします。</li> </ol>
システム・エラー LED  (オレンジ色)	LED がオン: エラーが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システム・ロケーター LED を確認し、ログ LED を確認して、指示に従います。</li> <li>2. IMM2.1 イベント・ログおよびシステム・エラー・ログで、このエラーに関する情報を確認してください。</li> <li>3. 必要に応じてログを保存した後、そのログをクリアします。</li> </ol>

## エラー LED

このセクションでは、システム・ボードのエラー LED と、検出された問題を修正するための推奨アクションについて説明しています。

システム・ボードにはエラー LED があり、エラーの発生源を特定する役に立ちます。診断プログラムを実行して、エラーの原因を検出します。59 ページの「[Dynamic System Analysis](#)」を参照してください。

このサーバーが AC 電源に接続されていて、パワー・サプライが正常に作動していれば、サーバーがオンになっていなくても、LED は点灯したままになっているように設計されています。この機能は、オペレーティング・システムがシャットダウンされているときに問題を特定するのに役立ちます。

注：サーバーから電源を切り離す際、電源が取り外されると LED が点灯しないため、LED を見ることはできません。電源を切り離す前に、オペレーション情報パネルで点灯している LED、システム・ボード上のサーバー内部の LED を含めて、どの LED が点灯しているか書き留めておきます。

ほとんどのエラーは、最初にサーバーのオペレーター情報パネルのシステム・エラー LED の点灯によって示されます。この LED が点灯した場合は、サーバー内の別の場所にある 1 つ以上の LED も点灯していることがあり、そこからエラーの原因を突き止めることができます。

LED を確認するためにサーバーの内部で作業するときは、事前に v ページの「[安全について](#)」と 98 ページの「[静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い](#)」をお読みください。

エラーが発生した場合またはシステム・エラーがあると思われる場合は、以下を行ってください。

1. サーバー前面のオペレーター情報パネルをチェックします。システム・エラー LED が点灯しているときは、エラーが発生したことを確認します。
2. IMM2.1 イベント・ログおよびシステム・エラー・ログで、このエラーに関する情報を確認してください。
3. サーバー・カバーの内側にあるシステム・サービス・ラベルを見ると、内部コンポーネントの概要が分かります。このラベルには通常、エラーを修正するため必要な手順も記載されています。

エラー LED の位置については、24 ページの「[システム・ボード LED](#)」を参照してください。

次の表では、システム・ボードの LED および検出された問題を修正するための推奨操作について説明します。

- IMM2.1 ハートビート LED: サーバーが電源に接続されている場合、この LED は短い間隔で点滅して、IMM2.1 コードがロード中であることを示します。ロードが完了すると、LED は一時的に短い点滅を停止してから、長い間隔で点滅して、IMM2.1 が完全に作動可能であることを示します。こうなると、電源制御ボタンを押してサーバーを起動できます。  
サーバーが電源に接続されてから 30 秒以内に LED が点滅を開始しない場合は、以下を行います。
  1. (トレーニングを受けた技術員のみ) ファームウェアをリカバリーします。[77 ページの「サーバー・ファームウェアのリカバリー \(UEFI 更新の失敗\)」](#)を参照してください。
  2. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- システム・エラー LED: LED が点灯している場合、マイクロプロセッサ VRD または電源電圧調節装置で障害が発生したことを示しています。この場合、トレーニングを受けた技術員に依頼してシステム・ボードを交換する必要があります。
- CPLD ハートビート LED: この LED が 1 Hz で点滅する場合は、正常に機能しており操作は必要ありません。LED が点滅していない場合は、システム・ボードを交換します (トレーニングを受けた技術員のみ)。

## パワー・サプライ LED

このセクションでは、サーバーの背面にあるパワー・サプライ LED、および検出された問題を修正するための推奨アクションについて説明します。

サーバーを起動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- マイクロプロセッサ 1 個
- 4 GB DIMM 1 個
- 電源
- 電源コード
- 冷却ファン 4 つ

サーバーの背面にある LED およびコネクターの位置については、[17 ページの「背面図」](#)を参照してください。

次の表では、パワー・サプライの LED の各種の組み合わせが示す問題と、検出された問題を修正するための推奨処置について説明します。

表 6. パワー・サプライ LED

AC 電源 LED	DC 電源 LED	パワー・サプライ・エラー LED	説明	操作
オン	オン	オフ	正常に作動	操作は必要はありません。
オフ	オフ	オフ	サーバーへの AC 電源供給がないか、AC 電源の問題。AC 電源を接続していないときは、この現象は正常です。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバーへの AC 電源をチェックします。</li> <li>2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。</li> <li>3. サーバーを再起動します。エラーが解決されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。</li> <li>4. 問題が解決しない場合は、パワー・サプライを交換します。</li> </ol>

表 6. パワー・サプライ LED (続き)

AC 電源 LED	DC 電源 LED	パワー・サプライ・エラー LED	説明	操作
オン	オフ	オフ	障害のあるシステム・ボードまたは障害のあるパワー・サプライ この現象は一般的には、パワー・サプライが完全に差し込まれていない状態を示します。これはシステムの電源をオンにする前の正常な状態です。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバーの電源をオフにし、サーバーの電源コードを切り離し、電源コードを再接続します。</li> <li>2. システム・ボード・エラー (障害) LED が点灯していない場合は、パワー・サプライを交換します。</li> <li>3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード・エラー LED が点灯している場合は、システム・ボードを交換します。</li> </ol>
オン	オフまたは点滅	オン	パワー・サプライに障害がある	パワー・サプライを交換してください。
オン	オン	オン	パワー・サプライに障害があるが、作動可能である。	パワー・サプライを交換してください。

## システム・パルス LED

このセクションでは、システムの電源オンと電源オフおよびブート進行をモニターする、システム・ボード上のシステム・パルス LED について説明します。

以下の LED はシステム・ボードにあり、システムの電源オンと電源オフの順序付けおよびブート進行を監視します。これらの LED の場所については、[24 ページの「システム・ボード LED」](#)を参照してください。

CPLD ハートビート LED: この LED が 1 Hz で点滅する場合は、正常に機能しており操作は必要ありません。LED が点滅していない場合は、システム・ボードを交換します (トレーニングを受けた技術員のみ)。

IMM2.1 ハートビート LED: LED のステータスは以下の IMM2.1 ハートビート順序付けプロセスの各種ステージを説明しています。

1. この LED が高速で点滅している場合 (約 4 Hz)、IMM2.1 コードがロード・プロセス中であることを示します。
2. この LED が一時的にオフになるときは、IMM2.1 コードのロードが完了したことを示します。
3. この LED が一時的にオフになってから低速で点滅し始める場合 (約 1 Hz)、IMM2.1 が完全に作動可能であることを示します。この時点で、電源制御ボタンを押してサーバーを電源オンできます。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 給電部をサーバーに接続してから 30 秒以内にこの LED が点滅しない場合は、システム・ボードを交換します。

## イベント・ログ

エラー・コードとメッセージは、POST イベント・ログ、システム・イベント・ログ、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) イベント・ログ、および DSA イベント・ログなどのさまざまなイベント・ログに記録されます。

- **POST イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードとメッセージが入っています。POST イベント・ログの内容は、Setup Utility から表示できます。[29 ページの「Setup](#)

[Utility プログラムの開始](#)を参照してください。POST エラー・コードについては、[513 ページの付録 B「UEFI \(POST\) エラー・コード](#)」を参照してください。

- **システム・イベント・ログ:** このログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。システム・イベント・ログの内容は、Setup Utility および Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (IPMI イベント・ログとして) 表示できます。システム・イベント・ログにはサイズの制限があります。ログがフルになっても、新しい項目が既存の項目を上書きしません。したがって、Setup Utility を使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する必要があります。エラーのトラブルシューティング中に最新のイベントを分析できるようにするには、システム・イベント・ログを保管してからクリアする必要がある場合があります。システム・イベント・ログについて詳しくは、[193 ページの付録 A「Integrated Management Module 2.1 \(IMM2.1\) のエラー・メッセージ](#)」を参照してください。

メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細は画面の右側に表示されます。1 つの項目から次の項目に移動するには、上下の矢印キーを使用します。

一部の IMM2.1 センサーでは、それぞれの設定値に達すると、表明イベントがログに記録されます。設定値の条件がなくなると、対応するイベントがログに記録されます。ただし、すべてのイベントが検出タイプのイベントというわけではありません。

- **Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) イベント・ログ:** このログには、すべての IMM2.1 イベント、POST イベント、およびシステム管理割り込み (SMI) イベントのフィルタリングされたサブセットが含まれます。IMM2.1 Web インターフェースから IMM2.1 イベント・ログを表示することができます。詳しくは、[38 ページの「Web インターフェースへのログイン](#)」を参照してください。IMM2.1 イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) Preboot プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することもできます。IMM2.1 エラー・メッセージについて詳しくは、[193 ページの付録 A「Integrated Management Module 2.1 \(IMM2.1\) のエラー・メッセージ](#)」を参照してください。
- **DSA イベント・ログ:** このログは、Dynamic System Analysis (DSA) Preboot プログラムによって生成され、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM2.1 シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして) を時系列でまとめたものです。DSA および DSA メッセージについて詳しくは、[59 ページの「Dynamic System Analysis](#)」および [525 ページの付録 C「DSA 診断テスト結果](#)」を参照してください。

## Setup Utility からのイベント・ログの表示

サーバー起動後に POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、以下を行います。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。

ステップ 3. 「System Event Log」を選択し、以下のいずれかを行います。

- POST イベント・ログを表示するには、「POST Event Viewer」を選択します。
- システム・イベント・ログを表示するには、「System Event Log」を選択します。

## サーバーを再起動せずにイベント・ログの表示

サーバーがハングしていない状態で IMM2.1 がネットワークに接続されているときは、サーバーを再起動しないで 1 つ以上のイベント・ログを表示するいくつかの方式があります。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI をすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、または IMM2.1 イベント・ログ (シャーシ・イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた OneCLI ログを表示することができます。また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、サーバーを再起動



する必要があります。OneCLI のインストール、または DSA Preboot の CD イメージのより新しいバージョンの確認とダウンロードは、<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-DSA> にアクセスしてください。

IPMItool がサーバーにインストール済みの場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示できます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、最新バージョンの IPMItool が付属しています。IPMI の概要については、<http://www.ibm.com/developerworks/linux/blueprints/> にアクセスして「Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on Lenovo Linux platforms (Lenovo Linux プラットフォームでの Intelligent Platform Management Interface (IPMI) の使用)」をクリックします。

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) Web インターフェースにある「イベント・ログ」リンクから IMM2.1 イベント・ログを表示できます。詳しくは、[38 ページの「Web インターフェースへのログイン」](#)を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。最初の 3 つの状態では、サーバーの再起動は通常必要ありません。

表 7. イベント・ログを表示する方法

状態	操作
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されている。	<p>以下の方法のいずれかを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Lenovo XClarity Essentials OneCLI を実行してシステム・イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または Lenovo サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。</li> <li>IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。</li> <li>IMM2.1 に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。</li> </ul>
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lenovo XClarity Essentials OneCLI を実行してシステム・イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または Lenovo サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。</li> <li>IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。</li> <li>IMM2.1 に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。</li> </ul>
サーバーは停止しておらず、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) はネットワークに接続されています。	Web ブラウザーで IMM2.1 の IP アドレスを入力し、「イベント・ログ」ページに進みます。詳しくは、 <a href="#">37 ページの「IMM2.1 ホスト名の取得」</a> 、および <a href="#">38 ページの「Web インターフェースへのログイン」</a> を参照してください。
サーバーは停止しており、IMM2.1 との間で通信を行うことができません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>DSA Preboot がインストールされている場合は、サーバーを再起動して F2 を押し、DSA Preboot を起動して、イベント・ログを表示します。詳しくは、<a href="#">60 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」</a>を参照してください。</li> <li>代わりに、サーバーを再起動し、F1 を押して Setup Utility を開始して、POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することもできます。詳しくは、<a href="#">57 ページの「Setup Utility からのイベント・ログの表示」</a>を参照してください。</li> </ul>

## イベント・ログの消去

イベント・ログを消去するには、以下を行います。

注：サーバーが再起動されるたびに、POST エラー・ログが自動的に消去されます。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。

ステップ 3. IMM2.1 システム・イベント・ログを消去するには、「System Event Log」 → 「Clear System Event Log」を選択してから、Enter キーを 2 回押します。

## POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション・デバイスの動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストをパワーオン・セルフテストまたは POST と呼びます。

注：ビープ・コードではサーバーの状況を表示することはできません。

始動パスワードが設定されている場合、要求されたときにパスワードを入力する必要があります。その後「Enter」を押して POST の実行を開始します。

POST 中に問題が検出された場合、エラー・メッセージが画面に表示され、POST イベント・ログにも送信されます。詳しくは、[513 ページの付録 B「UEFI \(POST\) エラー・コード」](#)を参照してください。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが POST イベント・ログに送信されます。詳しくは、[56 ページの「イベント・ログ」](#)を参照してください。

## Dynamic System Analysis

Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題の診断に役立つシステム情報を収集し、分析します。Lenovo はユーザーに DSA Preboot 版を提供します。

LXCE OneCLI は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。OneCLI は、サーバーのオペレーティング・システム上で稼働し、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- Drive Health 情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリ情報 (PCI および USB 情報を含む)
- Light path 診断の状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、[525 ページの付録 C「DSA 診断テスト結果」](#)を参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、[75 ページの「未解決問題の解決」](#)を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注：DSA Preboot は、プログラムを起動した際、応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な現象です。

## DSA Preboot

DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再起動する必要があります。DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD や DVD などのブート可能メディアを作成することができます。詳細については、BoMC ユーザーズ・ガイドを参照してください。ユーザー・ガイドは、次の Web サイトからダウンロードできます。

<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-BOMC>

DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行するとサーバーが停止する場合があります (デバイスのリセットなど)。このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付けられている場合) に対する診断を行います。

- Emulex イーサネット・コントローラー
- 光ディスク・デバイス (CD または DVD)
- テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
- メモリー
- マイクロプロセッサ
- チェックポイント・パネル
- I2C バス
- SAS ドライブおよび SATA ドライブ

サーバーを再起動できる場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

DSA Preboot プログラムの詳細とダウンロードについては、以下にアクセスしてください。

<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-DSA>

## DSA Preboot 診断プログラムの実行

注：DSA メモリー・テストは、終了までに最大 30 分かかります。問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、以下を行います。

ステップ 1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべてのデバイスの電源をオフにします。

ステップ 2. すべての接続されているデバイスの電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。

ステップ 3. プロンプト「<F2> **Diagnostics**」が表示されたら、F2 を押します。

注：DSA Preboot 診断プログラムは、プログラムを起動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な現象です。ロード・プロセスには、最大 10 分かかります。

ステップ 4. オプションで、スタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了する場合は「Quit to DSA」を選択します。

注：スタンドアロン・メモリー診断環境を終了した後、再びスタンドアロン・メモリー診断環境にアクセスするためにはサーバーを再起動する必要があります。

ステップ 5. 「gui」と入力するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「cmd」と入力して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。

ステップ 6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。



診断プログラムでハードウェアのエラーが検出されないのに、通常のサーバー操作時に問題が続く場合は、診断プログラムのエラーが原因である場合があります。診断プログラムのエラーと思われる場合は、プログラムに付属の情報を参照してください。

1つの問題で複数のエラー・メッセージが出る場合があります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に診断プログラムを実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

テストの途中でサーバーがハングし、続行できなくなった場合には、サーバーを再起動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。問題が解決しない場合は、サーバーのハング時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

## 診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

**パス:** テストはエラーなしに完了しました。

**失敗:** テストでエラーが検出されました。

**異常終了:** サーバー構成が原因で、テストを進めることができませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

## テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送

テストの完了後テスト・ログを表示して結果を見るには、以下を行います。

- DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は、「Status」列で「Success」リンクをクリックします。
- DSA 対話式メニューを使用している場合は、:x と入力して「Execute Test」メニューを終了します。次に、「completed tests」を選択して結果を表示します。
- グラフィカル・ユーザー・インターフェース内の「Diagnostic Event Log」を選択します。

DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで copy コマンドを入力します。

サーバーの問題の診断に役立てるために、DSA エラー・ログを Lenovo サービスおよびサポートに送信することもできます。

---

## 自動サービス要求 (コール・ホーム)

Lenovo は、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に Lenovo サポートをコールできるツールを提供しています。

このツールは、Lenovo サポートによる問題診断処理の迅速化に役立ちます。

## Electronic Service Agent

Electronic Service Agent™ は、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリ情報の監視、追跡、取り込みを行います。また、Lenovo サポートに保守可能な問題を直接報告します。

これらのシステム・データは手動でも収集できますが、Electronic Service Agent は、最小のシステム・リソースしか使用せず、また<http://www-01.ibm.com/support/esa/> から容易にダウンロードできるため、代替手段として適しています。

---

## エラー・メッセージ

Lenovo は Web サイトおよび PDF ファイルでエラー・メッセージを提供しています。Web サイトを参照する場合は、問題の検出時に生成される UEFI/POST、IMM2.1、および DSA のエラー・コードとメッセージが表示されます。

PDF ファイルを表示する場合は、以下のトピックを参照してください。

- [193 ページの付録 A 「Integrated Management Module 2.1 \(IMM2.1\) のエラー・メッセージ」](#)
- [513 ページの付録 B 「UEFI \(POST\) エラー・コード」](#)
- [525 ページの付録 C 「DSA 診断テスト結果」](#)

---

## 症状別トラブルシューティング

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

これらの表の中に該当の問題に対する解決策が見つからない場合、サーバーのテストについては [525 ページの付録 C 「DSA 診断テスト結果」](#) を、DSA Preboot プログラムの実行に関する追加情報は [60 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」](#) を参照してください。問題の解決に役立つ追加情報については、[47 ページの「ここから開始します」](#) を参照してください。

注：

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- Lenovo サポート Web サイト (<http://www.lenovo.com/support>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

新しいソフトウェアまたは新しいオプションのデバイスを追加した後にサーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、以下を行います。

- ステップ 1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している場合は、light path 診断 LED ([53 ページの「Light path 診断」](#) を参照) をチェックします。
- ステップ 2. 追加したソフトウェアを除去、または追加したデバイスを取り外します。
- ステップ 3. Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します ([525 ページの付録 C 「DSA 診断テスト結果」](#) を参照)。
- ステップ 4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しいデバイスを取り付け直します。

## 一般的な問題

表 8. 一般的な現象と処置

現象	操作
カバー・ラッチが破損している、LED が機能しない、あるいはこれと類似の問題が発生した。	部品が CRU であれば、交換してください。その部品がマイクロプロセッサまたはシステム・ボードの場合は、トレーニングを受けた技術員が部品を交換する必要があります。
画面はオンになっているが、サーバーが停止している。F1 を押しても Setup Utility を開始できない。	79 ページの「Nx 回ブート失敗」、および 77 ページの「サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)」を参照してください。

## 光学式ドライブの問題

表 9. 光学式ドライブの現象と処置

現象	操作
光学式ドライブが認識されない。	<ol style="list-style-type: none"><li>次の点を確認します。<ul style="list-style-type: none"><li>光学式ドライブが接続されている (1 次または 2 次) SATA コネクタが、Setup Utility で有効になっている。</li><li>ケーブルおよびジャンパーがすべて正しく取り付けられている。</li><li>光学式ドライブ用の正しいデバイス・ドライバーがインストールされている。</li></ul></li><li>光学式ドライブの診断プログラムを実行します。</li><li>以下のコンポーネントを取り付け直します。<ol style="list-style-type: none"><li>光学式ドライブこがくしき</li><li>光学式ドライブ・ケーブル</li></ol></li><li>ステップ 3 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再起動します。</li><li>(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。</li></ol>
CD または DVD が正しく作動しない。	<ol style="list-style-type: none"><li>CD または DVD をクリーニングします。</li><li>CD または DVD を新規 CD または DVD メディアと取り替えます。</li><li>光学式ドライブの診断プログラムを実行します。</li><li>コネクタと信号ケーブルのピンに曲がりや損傷がないことを確認します。</li><li>光学式ドライブを取り付け直します。</li><li>光学式ドライブを交換します。</li></ol>
光学式ドライブ・トレイが正常に作動しない。	<ol style="list-style-type: none"><li>サーバーの電源がオンになっていることを確認します。</li><li>まっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先をトレイ解放穴に差し込みます。</li><li>光学式ドライブを取り付け直します。</li><li>光学式ドライブを交換します。</li></ol>

## ハードディスク・ドライブの問題

表 10. ハードディスク・ドライブの現象と処置

現象	操作
ハードディスク・ドライブ診断テストで認識されないドライブがある。	診断テストで示されたドライブを取り外し、再度ハードディスク・ドライブ診断テストを実行します。残りのドライブが認識された場合、取り外したドライブを新しいドライブと交換します。
ハードディスク・ドライブ診断テスト中にサーバーが応答しなくなる。	サーバーが応答を停止したときにテストしていたハードディスク・ドライブを取り外し、再度診断テストを実行します。ハードディスク・ドライブの診断テストが正常に実行される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
オペレーティング・システムの起動中にハードディスク・ドライブが検出されない。	すべてのハードディスク・ドライブとケーブルを付け直してから、ハードディスク・ドライブ診断テストを実行してください。
ハードディスク・ドライブがハードディスク・ドライブ診断テストにパスしたが、問題は継続する。	SCSI ハードディスク診断テストを実行します。60 ページの「 <a href="#">DSA Preboot 診断プログラムの実行</a> 」を参照してください。 注：このテストは、RAID アレイを備えるサーバー、または SATA ハードディスク・ドライブを備えるサーバーでは使用できません。
ハードディスク・ドライブの障害が発生し、関連する黄色のハードディスク・ドライブ状況 LED が点灯している (ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ)。	<ol style="list-style-type: none"> <li>RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーと、そのコントローラーに接続されたデバイスを再構成します。</li> <li>DSA ディスク・ドライブ・テストを実行します。59 ページの「<a href="#">Dynamic System Analysis</a>」を参照してください。</li> <li>ドライブがテストを失敗する場合、ドライブを交換します。</li> </ol>
新たに取り付けられたハードディスク・ドライブが認識されない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>関連する黄色のハードディスク・ドライブ状況 LED を確認します。LED が点灯している場合、ドライブに障害があることを示します。</li> <li>LED が点灯している場合、ベイからドライブを外し、45 秒間待ちます。その後ドライブ・アセンブリがハードディスク・ドライブ・バックプレーンに接続していることを確認して、ドライブを再度取り付けます。</li> <li>関連する緑色のハードディスク・ドライブ活動 LED および黄色のステータス LED を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯していない場合、コントローラーがドライブを認識し、正常に作動していることを示します。DSA ハードディスク・ドライブ・テストを実行して、ドライブが検出されているかどうかを判別してください。</li> <li>緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED がゆっくり点滅している場合、コントローラーがドライブを認識し、再作成していることを示します。</li> <li>いずれの LED も点灯または点滅していない場合は、ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを確認します (ステップ 4 に進む)。</li> <li>緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯している場合、ドライブを交換します。LED の活動状況が変わらない場合は、ステップ 4 に進みます。LED の活動に変化がある場合は、ステップ 1 に戻ります。</li> </ul> </li> <li>ハードディスク・ドライブ・バックプレーンが正しく取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられている場合、バックプレーンを曲げたり、動かすことなく、ドライブ・アセンブリをバックプレーンに正常に接続することができます。</li> <li>バックプレーン電源ケーブルを取り付け直し、ステップ 1 から 3 までを繰り返します。</li> <li>バックプレーン信号ケーブルを取り付け直し、ステップ 1 から 3 までを繰り返します。</li> <li>バックプレーン信号ケーブルまたはバックプレーンに問題がある可能性があります。</li> </ol>

表 10. ハードディスク・ドライブの現象と処置 (続き)

現象	操作
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 影響を受けたバックプレーン信号ケーブルを交換します。</li> <li>• 影響を受けたバックプレーンを交換します。</li> </ul> <p>8. SAS/SATA アダプターおよびハードディスク・ドライブに対して DSA テストを実行します。59 ページの「<a href="#">Dynamic System Analysis</a>」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アダプターがテストに合格したがドライブが認識されない場合は、バックプレーン信号ケーブルを交換してテストを再度実行します。</li> <li>• バックプレーンを交換します。</li> <li>• アダプターがテストに失敗する場合は、バックプレーン信号ケーブルをアダプターから切り離してから再度テストを実行します。</li> <li>• アダプターがこのテストに失敗する場合は、アダプターを交換します。</li> </ul> <p>9. 76 ページの「<a href="#">問題判別のヒント</a>」を参照してください。</p>
<p>複数のハードディスク・ドライブに障害が発生した。</p>	<p>ハードディスク・ドライブ、RAID カード、およびサーバーのデバイス・ドライバーとファームウェアが最新レベルになっていることを確認します。</p> <p><b>重要：</b>一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。</p>
<p>複数のハードディスク・ドライブがオフラインである。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ストレージ・サブシステム・ログを検査して、バックプレーンやケーブルなどの問題が、ストレージ・サブシステム内で起きていないか確認します。</li> <li>2. 76 ページの「<a href="#">問題判別のヒント</a>」を参照してください。</li> </ol>
<p>交換したハードディスク・ドライブが再ビルドされない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ハードディスク・ドライブがアダプターに認識されているか (緑色のハードディスク・ドライブ活動 LED が点滅しているか) 確認します。</li> <li>2. SAS/SATA RAID アダプターの資料を検査して、正しい構成パラメーターおよび設定値か判別します。</li> </ol>
<p>緑色のハードディスク・ドライブ活動 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。(ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ドライブを使用しているときに緑色のハードディスク・ドライブ活動 LED が点滅しない場合は、DSA ディスク・ドライブ・テストを実行してください。59 ページの「<a href="#">Dynamic System Analysis</a>」を参照してください。</li> <li>2. 以下の手順のいずれかを使用してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ドライブがテストをパスする場合、バックプレーンを交換します。</li> <li>• ドライブがテストを失敗する場合、ドライブを交換します。</li> </ul> </li> </ol>
<p>黄色のハードディスク・ドライブ状況 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。(ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 黄色のハードディスク・ドライブ LED と RAID カード・ソフトウェアが示すドライブのステータスが同じではない場合は、以下を行います。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a. サーバーの電源を切ります。</li> <li>b. SAS/SATA アダプターを取り付け直します。</li> <li>c. バックプレーン信号ケーブルおよび電源ケーブルを取り付け直します。</li> <li>d. ハードディスク・ドライブを取り付け直します。</li> <li>e. サーバーの電源を入れ、ハードディスク・ドライブ LED の活動を確認します。</li> </ol> </li> <li>2. 76 ページの「<a href="#">問題判別のヒント</a>」を参照してください。</li> </ol>

## ハイパーバイザーの問題

表 11. ハイパーバイザーの現象と処置

現象	操作
オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが予期したブート順序にリストされない、ブート・デバイスのリストに表示されない、または類似の問題が発生した。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、起動時にブート・マネージャーの「&lt;F12&gt; Select Boot Device」で選択されていることを確認します。</li> <li>2. 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがコネクタに正しく取り付けられていることを確認します。129 ページの「USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し」、および 130 ページの「USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け」を参照してください。</li> <li>3. オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。</li> <li>4. 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。</li> </ol>

## 再現性の低い問題

表 12. 再現性の低い問題と処置

現象	操作
時々起こる問題、または診断が困難な問題。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続されたデバイスにしっかりと接続されている。</li> <li>• サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れている。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。これにより、サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。</li> </ul> </li> <li>2. システム・エラー・ログまたは IMM2.1 イベント・ログをチェックします。56 ページの「イベント・ログ」を参照してください。</li> </ol>

## キーボード、マウス、または USB デバイスの問題

表 13. キーボード、マウス、または USB デバイスの現象と処置

現象	操作
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。</li> <li>• サーバーとモニターの電源がオンになっている。</li> </ul> </li> <li>2. Setup Utility を実行して USB デバイス・オプションを有効にします。</li> <li>3. キーボードが USB ハブに接続されている場合は、キーボードをハブから取り外してサーバーに直接接続します。</li> <li>4. キーボードを交換します。</li> </ol>
マウスまたは USB デバイスが機能しない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• マウスまたは USB デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されている。</li> <li>• マウスまたは USB デバイスのドライバーが正しくインストールされている。</li> <li>• サーバーとモニターの電源がオンになっている。</li> <li>• マウス・オプションが Setup Utility で有効にされている。</li> </ul> </li> <li>2. USB マウスまたは USB デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたは USB デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。</li> <li>3. マウスまたは USB デバイスを交換します。</li> </ol>



## メモリーの問題

注：DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

表 14. メモリーの問題と処置

現象	操作
<p>Setup Utility に表示されるシステム・メモリーの量が、取り付けられている物理メモリーの量より少ない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• オペレーター情報パネル上のエラー LED がどれも点灯していない。</li> <li>• システム・ボードの DIMM エラー LED が何も点灯していない。</li> <li>• メモリー・モジュールが正しく取り付けられている。</li> <li>• 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。</li> <li>• メモリーを変更した場合には、Setup Utility でメモリー構成を更新したか。</li> <li>• すべてのメモリー・バンクが有効になっている。サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に無効にしたか、メモリー・バンクが手動で無効にされた可能性があります。</li> <li>• サーバーを最小メモリー構成にしたときに、メモリー・ミスマッチがない。</li> </ul> </li> <li>2. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。</li> <li>3. 以下のようにして、POST エラー・ログをチェックします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって無効にされていた場合は、その DIMM を交換します。</li> <li>• DIMM がユーザーまたは POST によって無効にされた場合は、DIMM を取り付け直します。その後、Setup Utility を実行して、DIMM を有効にします。</li> </ul> </li> <li>4. Setup Utility ですべての DIMM が初期化されていることを確認し、次にメモリー診断を実行します。60 ページの「<a href="#">DSA Preboot 診断プログラムの実行</a>」を参照してください。</li> <li>5. DIMM を一度に 1 ペアずつ追加し、各ペアごとに DIMM が一致していることを確認します。</li> <li>6. DIMM を取り付け直します。</li> <li>7. Setup Utility を使用してすべての DIMM を再度有効にし、サーバーを再起動します。</li> <li>8. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a. DIMM</li> <li>b. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード</li> </ol> </li> </ol>
<p>あるブランチ内の複数行の DIMM に障害があることが確認されている。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再起動します。</li> <li>2. 障害のある DIMM を交換します。</li> <li>3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。</li> </ol>
<p>メモリー・エラーは、チャンネル内の 1 つのメモリー・モジュールに障害がある場合に発生します。</p>	<p>たとえば、スロット 1 またはスロット 2 のメモリー・モジュールに障害があると思われる場合は、以下を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スロット 1 のメモリー・モジュールをスロット 3 のメモリー・モジュールと交換します。</li> <li>2. サーバーを再起動します。</li> <li>3. このエラーが引き続き発生するかどうかを確認します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a. 発生する場合は、スロット 2 のメモリー・モジュールが故障していることを意味します。その場合、スロット 2 のメモリー・モジュールを新しいメモリー・モジュールに交換します。</li> </ol> </li> </ol>

表 14. メモリーの問題と処置 (続き)

現象	操作
	<p>b. 発生しない場合は、スロット 1 のメモリー・モジュールが故障していることを意味します。その場合、スロット 1 のメモリー・モジュールを新しいメモリー・モジュールに交換します。</p> <p>詳細については、以下のヒントのファイルを参照してください。  <a href="http://www.lenovo.com/support">http://www.lenovo.com/support</a></p>

## モニターの問題

Lenovo モニターの中には、セルフテスト機能を備えているものがあります。モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属している資料を参照して、モニターをテストおよび調整します。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

表 15. モニターおよびビデオの現象と処置

現象	操作
モニターのテスト。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。</li> <li>2. サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサーバーでテストしてみます。</li> <li>3. 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした場合は、ビデオ・デバイス・ドライバに原因があることが考えられます。</li> <li>4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。</li> </ol>
画面に何も表示されない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクタに直接接続してみます。</li> <li>2. 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• サーバーの電源がオンになっている。サーバーの電源がオフの場合は、70 ページの「電源問題」を参照してください。</li> <li>• モニター・ケーブルが正しく接続されている。</li> <li>• モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。</li> <li>• サーバーの電源をオンにしたときに、POST エラーが生成されない。</li> </ul> </li> <li>3. モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します (該当する場合)。</li> <li>4. 損傷したサーバー・ファームウェアがビデオに影響を及ぼしていないことを確認します。25 ページの「ファームウェアの更新」を参照してください。</li> <li>5. システム・ボードのチェックポイント LED を監視し、コードが変化する場合は、次のステップに進みます。</li> <li>6. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a. モニター</li> <li>b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合)</li> <li>c. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード</li> </ol> </li> </ol>



表 15. モニターおよびビデオの現象と処置 (続き)

現象	操作
<p>サーバーの電源をオンにした時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブランクになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。</li> <li>• アプリケーションに必要なデバイス・ドライバがインストールされている。</li> </ul> </li> <li>2. ビデオ診断を実行します。60 ページの「<a href="#">DSA Preboot 診断プログラムの実行</a>」を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。この場合は、75 ページの「<a href="#">未解決問題の解決</a>」を参照してください。</li> <li>• (トレーニングを受けた技術員のみ)サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。</li> </ul> </li> </ol>
<p>モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他のデバイス(変圧器、電気製品、蛍光灯、および他のモニターなど)の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。そのような場合は、モニターの電源をオフにしてください。 <p>注意：電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。</p> <p>デバイスとモニターの間を 305 mm 以上離し、モニターをオンにします。</p> <p>注：Lenovo 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測不能な問題が発生することがあります。</p> </li> <li>2. モニターとケーブルを取り付け直します。</li> <li>3. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a. モニター</li> <li>b. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボード</li> </ol> </li> </ol>
<p>画面に誤った文字が表示される。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します(25 ページの「<a href="#">ファームウェアの更新</a>」を参照)。</li> <li>2. モニターとケーブルを取り付け直します。</li> <li>3. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a. モニター</li> <li>b. (トレーニングを受けた技術員のみ)システム・ボード</li> </ol> </li> </ol>

## ネットワーク接続の問題

表 16. ネットワーク接続の問題と処置

現象	操作
<p>SSL が有効にされた状態で LDAP アカウントを使用したログインが失敗する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライセンス・キーが有効であることを確認します。</li> <li>2. 新規のライセンス・キーを生成して、再度ログインします。</li> </ol>

## オプションのデバイスの問題

表 17. オプション・デバイスの問題と処置

現象	操作
取り付けした Lenovo オプション・デバイスが作動しない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>デバイスがサーバーで使用できるように設計されている。以下に進みます: <a href="http://www.lenovo.com/serverproven/">http://www.lenovo.com/serverproven/</a></li> <li>デバイスに付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。</li> <li>取り付けした他のデバイスやケーブルを外していない。</li> <li>Setup Utility で構成情報を更新した。メモリーまたは他のデバイスを変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。</li> </ul> </li> <li>取り付けしたデバイスを取り付け直します。</li> <li>取り付けしたデバイスを交換します。</li> </ol>
前に動作していた Lenovo オプション・デバイスが動作しなくなった。	<ol style="list-style-type: none"> <li>デバイスのケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。</li> <li>デバイスにテスト手順が付属している場合は、その手順を使用してデバイスをテストします。</li> <li>障害のあるデバイスを取り付け直します。</li> <li>障害のあるデバイスを交換します。</li> </ol>

## オペレーティング・システムのブートの問題

表 18. オペレーティング・システムのブートの問題と処置

現象	操作
<p>以下のオペレーティング・システムでは、自動ブートはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SUSE Linux® Enterprise Server 11 (Service Pack 1 適用済み)</li> <li>Red Hat® Enterprise Linux 6</li> </ul>	<p>ブート項目を手動で作成するには、以下を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>サーバーの電源をオンにして、F1 キーを押して Setup Utility に入ります。</li> <li>「Boot Manager」を選択します。</li> <li>「Add Boot Option」を選択します。</li> <li>ストリング「*.efi」が付いたブート項目を選択します。</li> <li>「OS_Install」などの説明を入力します。その後、「Commit Changes」を選択します。</li> </ol> <p>詳細については、以下のヒントのファイルを参照してください。 <a href="http://www.lenovo.com/support">http://www.lenovo.com/support</a></p>

## 電源問題

表 19. 電源の問題と処置

現象	操作
<p>電源制御ボタンが作動せず、リセット・ボタンも作動しない(サーバーは起動しない)。</p> <p>注：電源制御ボタンは、サーバーを電源に接続した直後の約 20 秒間は機能しません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>サーバーの電源コードを切り離します。</li> <li>電源コードを再接続します。</li> <li>(トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 1a および 1b を繰り返します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが起動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。</li> <li>サーバーが起動しない場合は、強制パワーオン・ジャンパーを使用して電源制御ボタンをバイパスします。22 ページの「システム・ボードのスイッチとジャンパー」を参照してください。サーバーが起動する場合は、オペ</li> </ul> </li> </ol>

表 19. 電源の問題と処置 (続き)

現象	操作
	<p>レーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. 次の点を確認します。             <ol style="list-style-type: none"> <li>a. 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。</li> <li>b. 取り付けたメモリーのタイプが正しい。</li> <li>c. DIMM が完全に取り付けられているか。</li> <li>d. パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。</li> </ol> </li> <li>5. 以下のコンポーネントを取り付け直します。             <ol style="list-style-type: none"> <li>a. DIMM</li> <li>b. (トレーニングを受けた技術員のみ) 内部コンポーネントへ行くすべてのパワー・サプライ・ケーブル</li> <li>c. (トレーニングを受けた技術員のみ) 電源スイッチ・コネクタ</li> </ol> </li> <li>6. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。             <ol style="list-style-type: none"> <li>a. DIMM</li> <li>b. 電源</li> <li>c. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード</li> </ol> </li> <li>7. オプションのデバイスを取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再起動してください。これでサーバーが起動する場合は、パワー・サプライがサポートできるデバイスの合計数を超えるデバイスが取り付けられていることが考えられます。</li> <li>8. <a href="#">55 ページの「パワー・サプライ LED」</a> を参照してください。</li> </ol>
<p>サーバーの電源がオフにならない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 拡張構成と電力インターフェース (ACPI) オペレーティング・システムを使用しているか、非 ACPI オペレーティング・システムかを調べます。非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、以下を行います。             <ol style="list-style-type: none"> <li>a. Ctrl + Alt + Delete を押します。</li> <li>b. 電源制御ボタンを 5 秒以上押してサーバーの電源をオフにします。</li> <li>c. サーバーを再起動します。</li> <li>d. もしサーバーが POST で障害を起こし電源制御ボタンが働かない場合は、電源コードを 5 秒間外してから、電源コードを再接続してサーバーを再起動してください。</li> </ol> </li> <li>2. それでも問題が続くか、ACPI 対応のオペレーティング・システムを使用している場合は、システム・ボードが原因の可能性がります。</li> </ol>
<p>サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。</p>	<p><a href="#">75 ページの「未解決問題の解決」</a> を参照してください。</p>

## シリアル・ポートの問題

表 20. シリアル・ポートの問題と処置

現象	操作
オペレーティング・システムによって識別されたシリアル・ポートの数が、取り付けられたシリアル・ポートの数より少ない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Setup Utility で各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも無効にされていない。</li> <li>シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。</li> </ul> </li> <li>シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。</li> <li>シリアル・ポート・アダプターを交換します。</li> </ol>
シリアル・デバイスが動作しない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>デバイスはサーバーと互換性がある。</li> <li>シリアル・ポートは有効になっており、固有のアドレスが割り当てられている。</li> <li>デバイスが正しいコネクタに接続されている。</li> </ul> </li> <li>以下のコンポーネントを取り付け直します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>障害を起こしているシリアル・デバイス</li> <li>シリアル・ケーブル</li> </ol> </li> <li>次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>障害を起こしているシリアル・デバイス</li> <li>シリアル・ケーブル</li> <li>(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード</li> </ol> </li> </ol>

## ServerGuide の問題

表 21. ServerGuide の問題と処置

現象	操作
ServerGuide Setup and Installation CD が起動しない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>サーバーが ServerGuide プログラムをサポートしており、起動可能 (ブート可能) な DVD ドライブを備えていることを確認します。</li> <li>起動 (ブート) シーケンスの設定が変更された場合は、DVD ドライブがその起動シーケンスの最初になっていることを確認します。</li> <li>複数の DVD ドライブが取り付けられている場合は、1 次ドライブとして1つのドライブだけが設定されていることを確認してください。その1次ドライブから CD を起動してください。</li> </ol>
ServeRAID マネージャー・プログラムが、取り付けられているすべてのドライブを認識できないか、またはオペレーティング・システムをインストールできません。	<ol style="list-style-type: none"> <li>ハードディスク・ドライブが正しく接続されていることを確認します。</li> <li>SAS ハードディスク・ドライブのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。</li> </ol>
オペレーティング・システムのインストール・プログラムがよくループする。	ハードディスク上でさらに多くのスペースを使用可能にしてください。

表 21. ServerGuide の問題と処置 (続き)

現象	操作
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムの CD を起動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートされていることを確認してください。サポートされるオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、 <a href="https://support.lenovo.com/solutions/lnvo-toolkit">https://support.lenovo.com/solutions/lnvo-toolkit</a> にアクセスし、ご使用の ServerGuide バージョン用のリンクをクリックして、サポートされる Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスクロールダウンします。
オペレーティング・システムをインストールできない(オプションが選択不可能)。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認します。サポートしている場合は、論理ドライブが定義されていないか (SCSI RAID サーバーの場合)、または ServerGuide システム区画が存在していません。ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認します。

## ソフトウェアの問題

表 22. ソフトウェアの問題と処置

現象	操作
ソフトウェアが原因と思われる問題	<ol style="list-style-type: none"> <li>その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。メモリー所要量については、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。アダプターまたはメモリー・モジュールを取り付けた場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。</li> <li>そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。</li> <li>他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。</li> <li>このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。</li> </ul> </li> <li>ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。</li> <li>ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。</li> </ol>

## USB コネクタの問題

表 23. USB コネクタの問題と処置

現象	操作
USB デバイスが機能しない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい USB デバイス・ドライバーがインストールされている。</li> <li>オペレーティング・システムが USB デバイスをサポートしている。</li> </ul> </li> <li>Setup Utility プログラムで USB 構成オプションが正しく設定されていることを確認します。詳しくは、29 ページの「<a href="#">Setup Utility プログラムの使用</a>」を参照してください。</li> <li>USB ハブを使用している場合は、USB デバイスをハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。</li> </ol>

## チップ・セット・ドライバーの取り付けの問題

表 24. チップ・セット・ドライバーの取り付けの問題と処置

現象	操作
Windows オペレーティング・システムがインストールされているサーバーで、すべて・チップ・ドライバーをインストールした後、黄色の感嘆符がデバイス・マネージャー・ウィンドウの PCI デバイスに表示される。	Intel Rapid Storage Technology enterprise (RSTe) NVMe ドライバー用のドライバーをインストールします。  ドライバーをダウンロードするには、以下にアクセスします。 <a href="http://support.lenovo.com/us/en/products/Servers/Lenovo-x86-servers/Lenovo-System-x3250-M6/3633/downloads/DS120488">http://support.lenovo.com/us/en/products/Servers/Lenovo-x86-servers/Lenovo-System-x3250-M6/3633/downloads/DS120488</a>  注：このドライバーをインストールしなくても、サーバーの機能に影響はありません。

## 電源の問題の解決

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。たとえば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。電源の問題を診断するために使用する一般的な手順は、次のとおりです。

- ステップ 1. サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。
- ステップ 2. 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。また、短絡があるかどうか (たとえば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか) を調べます。
- ステップ 3. サーバーの電源をオンにし、システム・ボード上の点灯している LED を確認します。24 ページの「システム・ボード LED」を参照してください。
- ステップ 4. サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。
- ステップ 5. サーバーがサーバーの起動に必要な最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部デバイスおよび外部デバイスへのケーブルおよび電源コードを切り離します。75 ページの「未解決問題の解決」を参照してください。
- ステップ 6. すべての AC 電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。サーバーが正常に起動する場合は、サーバーの電源をオフにしてアダプターを取り付け直してから、サーバーをオンにします。問題が特定されるまで、他のデバイスを 1 つずつ再取り付けする操作を繰り返してください。

サーバーが最小構成でも起動しない場合は、55 ページの「パワー・サプライ LED」を参照して、問題が特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に 1 つずつ交換します。

## イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。イーサネット・コントローラーに関する情報を参照するには、イーサネット・コントローラーのデバイス・ドライバーの readme ファイルおよびオペレーティング・システムの資料を参照してください。

以下の手順を試してみてください。

- ステップ 1. サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバーがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
- ステップ 2. イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
  - ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されていることが必要です。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。



- イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するよう設定した場合は、カテゴリ 5 の配線を使用する必要があります。
- 2つのサーバーを (ハブを使用せずに) 直接接続する場合、または X ポートを備えるハブを使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブが X ポートを備えているかどうか判断するには、ポートのラベルを調べてください。ラベルに X が記載されている場合は、ハブは X ポートを備えています。

ステップ 3. ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。

ステップ 4. サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクタ、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。

- イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク・状況 LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクタまたはケーブルに欠陥があるか、またはハブに問題がある可能性があります。
- イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。

ステップ 5. サーバー背面の LAN 活動 LED をチェックしてください。LAN 活動 LED は、イーサネット・ネットワークでデータがアクティブであるときに点灯します。LAN 活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。

ステップ 6. 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェックします。

ステップ 7. クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを確認します。

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

---

## 未解決問題の解決

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できない場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用して未解決問題を解決してください。

ソフトウェア問題が障害 (連続的または断続的) の原因であると思われる場合は、[73 ページの「ソフトウェアの問題」](#)を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの破損または UEFI ファームウェアの破損が、未解決問題の原因となる場合があります。CMOS データをリセットするには、CMOS クリア・ジャンパー (JP1) を使用して CMOS メモリーを消去し、始動パスワードをオーバーライドします。詳しくは、[21 ページの「システム・ボード・コネクタ」](#)を参照してください。UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、[77 ページの「サーバー・ファームウェアのリカバリー \(UEFI 更新の失敗\)」](#)を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、以下を行います。

ステップ 1. サーバーの電源を切ります。

ステップ 2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。

ステップ 3. 障害を特定できるまで、以下のデバイスを一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。



- 外付けデバイス (プリンター、マウス、Lenovo 製以外のデバイスなど)。
- サージ抑制デバイス (サーバー上)
- 各アダプター
- ハードディスク・ドライブ

注：サーバーの起動に必要な最小構成は、1つのマイクロプロセッサと1つの4GB DIMM です。

ステップ 4. サーバーの電源をオンにします。問題が解決しない場合は、次のコンポーネントを次の順序で確かめてください。

1. パワー・サプライ
2. メモリー
3. マイクロプロセッサ
4. システム・ボード

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

ネットワーキングの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストに合格した場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

---

## 問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。可能であれば、Lenovo に支援を要求するときはこれらの情報を準備しておいてください。

サーバーのモデル番号とシリアル番号は、前面ベゼルに貼付されている ID ラベルに記載してあります。

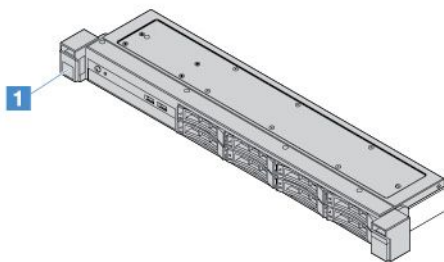


図 14. サーバー前面の ID ラベル

- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサまたはハードディスク・ドライブのアップグレード
- 障害の現象
  - サーバーは診断テストに失敗しますか?
  - 起こったことは何ですか?いつ?どこで?
  - 障害は単一のサーバーで起きましたか、それとも複数のサーバーで起きましたか?
  - その障害は再現可能ですか?
  - この構成が正常に作動したことがありましたか?
  - 構成が失敗する前に何か変更を行いましたか?
  - これは、元々報告されていた障害ですか?
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- 構成オプションの設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

Lenovo に保守を依頼する方法については、[683 ページの付録 D「ヘルプおよび技術サポートの入手」](#)を参照してください。

---

## サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)

**重要：**一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- **インバンド方式:** ブート・ブロック・ジャンパーを使用する (自動ブート・リカバリー) か、サーバー・ファームウェア更新パッケージを使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーします。
- **アウト・オブ・バンド方式:** IMM2.1 Web インターフェースを使用して、ファームウェアと最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを更新します。

注：サーバー・ファームウェア更新パッケージは、以下のいずれかの方法で入手できます。

- <http://www.lenovo.com/support> で更新パッケージを検索してダウンロードする。
- Lenovo サービス技術員に連絡する。電話番号は、<http://www.ibm.com/services> または <http://www.ibm.com/planetwide> に記載されています。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、1次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。UEFI ファームウェアのブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。1次バンクのサーバー・ファームウェアが破損した場合、手動でUEFI ブート・バックアップ・ジャンパー(JP16)のバックアップ・バンクをブートできます。イメージが破損している場合は、自動ブート・リカバリー機能で自動的に実行されます。

## インバンドの手動リカバリー方式

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を1次バンクに復元するには、以下を行います。

- ステップ 1. [v ページの「安全について」](#) および [97 ページの「サーバー・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に」](#) をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
- ステップ 3. サーバー・カバーをロック解除し取り外します。[98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」](#) を参照してください。
- ステップ 4. システム・ボード上のUEFI ブート・バックアップ・ジャンパーを見つけます。[22 ページの「システム・ボードのスイッチとジャンパー」](#) を参照してください。
- ステップ 5. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーをピン 1 および 2 からピン 2 および 3 に移動して、UEFI リカバリー・モードを有効にします。
- ステップ 6. サーバーのカバーを取り付け直し、電源コードをすべて再接続します。
- ステップ 7. サーバーを再起動します。システムは電源オン・セルフテスト (POST) を開始します。
- ステップ 8. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージがサポートするオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
- ステップ 9. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従って、ファームウェア更新を実行します。
- ステップ 10. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外してから、サーバーのカバーを取り外します。[98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」](#) を参照してください。
- ステップ 11. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーをピン 2 および 3 からプライマリー位置 (ピン 1 および 2) に戻します。
- ステップ 12. カバーを再び取り付けます。[99 ページの「サーバー・カバーの取り付け」](#) を参照してください。
- ステップ 13. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ 14. サーバーの電源をオンにします。システムは電源オン・セルフテスト (POST) を開始します。これによって1次バンクがリカバリーされない場合、引き続き次のステップを実行します。
- ステップ 15. サーバーのカバーを取り外します。[98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」](#) を参照してください。
- ステップ 16. コイン型電池を取り外すことにより、CMOS をリセットします。[139 ページの「コイン型電池の取り外し」](#) を参照してください。
- ステップ 17. コイン型電池をサーバーから約 5 分から 15 分間取り外したままにします。
- ステップ 18. コイン型電池を再び取り付けます。[140 ページの「コイン型電池の取り付け」](#) を参照してください。

ステップ 19.カバーを再び取り付けます。99 ページの「サーバー・カバーの取り付け」を参照してください。

ステップ 20.取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ 21.サーバーの電源をオンにします。システムは電源オン・セルフテスト (POST) を開始します。

ステップ 22.これらのリカバリー作業で問題が解決しない場合は、Lenovo サービス技術員に連絡してサポートを依頼してください。

## インバンドの自動ブート・リカバリー方式

注：ログ項目が表示される場合、または **Booting Backup Image** がファームウェア・スプラッシュ画面に表示される場合は、この方式を使用します。それ以外の場合はインバンド手動リカバリー方式を使用してください。

自動ブート・リカバリー・プロセスが開始される前に、以下を確認してください。

- ダウンロードしたファームウェア更新パッケージがサポートするオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
- ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従って、ファームウェア更新を実行します。

## アウト・オブ・バンド方式

[http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/product\\_page.html](http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/product_page.html) で IMM2.1 資料 (「*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*」) を参照してください。

---

## 自動ブート・リカバリー (ABR)

サーバーが起動するときに、Integrated Management Module II が 1 次バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユーザーに 1 次バンクのファームウェアを回復する機会を与えます。UEFI ファームウェアを回復する手順については、77 ページの「サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)」を参照してください。1 次バンクのファームウェアを回復したら、以下を行います。

ステップ 1. サーバーを再起動します。

ステップ 2. 「Press F3 to restore to primary」のプロンプトが表示されたら、F3 を押して 1 次バンクからサーバーを起動します。

---

## Nx 回ブート失敗

デバイスの追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更、およびファームウェアまたはアプリケーションのコードの問題により、サーバーの POST (電源オン・セルフテスト) が失敗することがあります。これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーは自動的に再起動し、POST を再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再起動する必要があります。

指定された回数の連続試行 (自動でも手動でも) の後、Nx 回ブート失敗機能により、サーバーはデフォルトの UEFI 構成に復帰し、Setup Utility が開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再起動できるようにします。サーバーがデフォルト構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Setup Utility で Nx 回ブート失敗機能を起動させる連続再起動試行の回数を設定できます。回数を指定するには、「System Settings」→「Recovery」→「POST Attempts」→「POST Attempts Limit」をク

リックします。その後、次の使用可能なオプションから項目を選択します。「3」、「6」、「9」、および「**Disable Nx-boot failure**」。

---

## 第 6 章 部品リスト、Lenovo System x3250 M6

この章で説明する交換可能なコンポーネントは、81 ページの「交換可能なサーバー・コンポーネント」で特に指定されている場合を除き、Lenovo System x3250 M6 サーバーで利用が可能です。更新された部品リストについては、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

---

### 交換可能なサーバー・コンポーネント

このトピックでは、Lenovo System x3250 M6 の交換可能なサーバー・コンポーネントについて説明します。

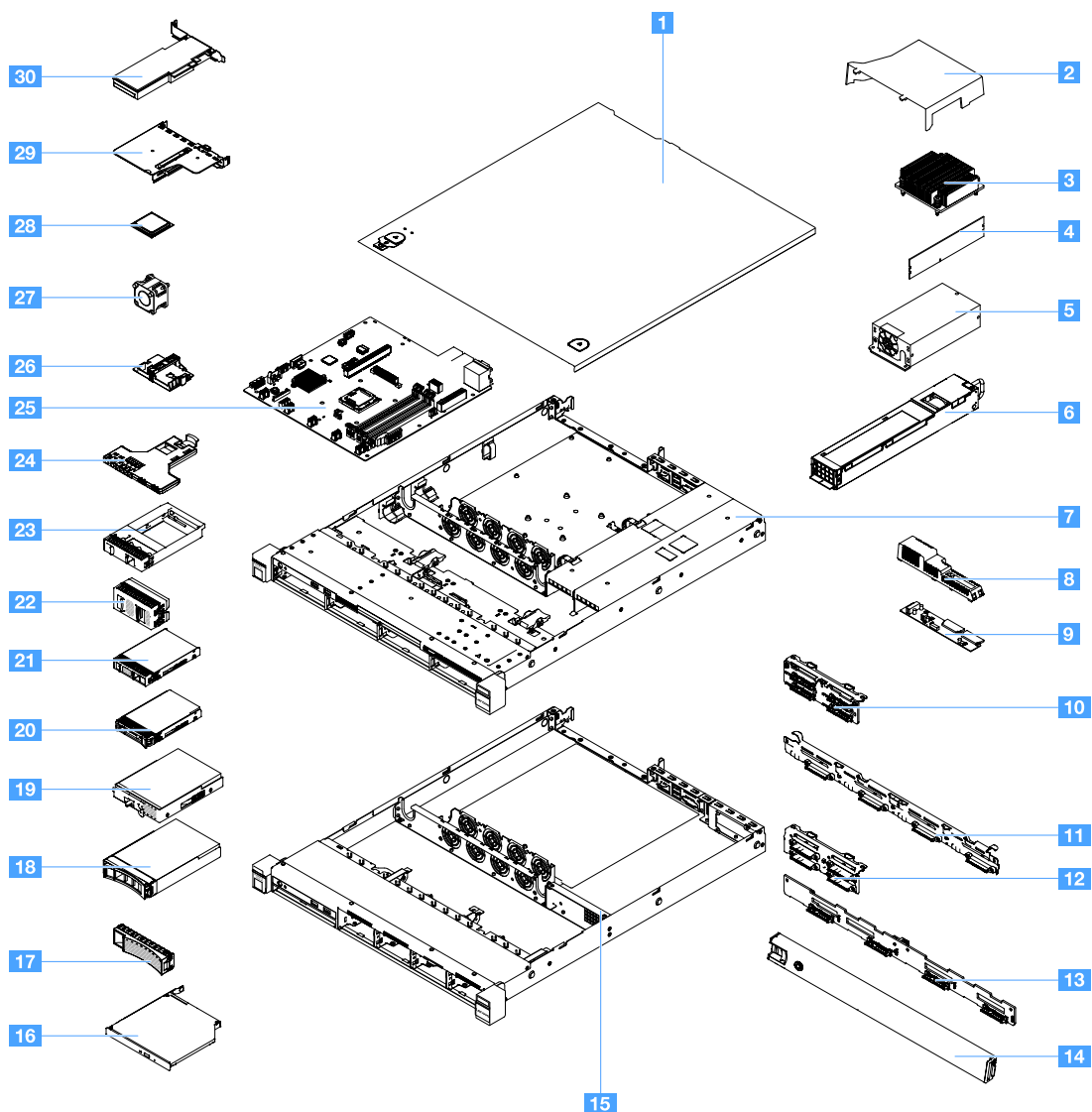
交換可能なコンポーネントは、構造部品と現場交換可能ユニット (FRU) から構成されます。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アSEMBリー、カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。構造部品のリストについては、93 ページの「構成部品」を参照してください。
- **Tier 1 の、お客様での取替え可能部品 (CRU):** Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様での取替え可能部品 (CRU):** Lenovo が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「保証情報」資料を参照してください。サービスと支援を受ける方法については、683 ページの付録 D「ヘルプおよび技術サポートの入手」を参照してください。

最新のオプション・サポート計画については、<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照してください。

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。構造部品のリストについては、93 ページの「構成部品」を参照してください。



下表にはサーバー交換可能コンポーネントの部品番号が記載されています。

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
3	ヒートシンク		00YJ784
4	メモリー、4 GB dual-rank 1.2 V、DDR4、2133 MHz、ECC UDIMM	46W0811	
4	メモリー、8 GB dual-rank 1.2 V、DDR4、2133 MHz、ECC UDIMM	46W0815	
4	メモリー、8 GB single-rank 1.2 V、DDR4、2400 MHz、ECC UDIMM (Kabylake)	01KN323	
4	メモリー、8 GB single-rank 1.2 V、DDR4、2400 MHz、ECC UDIMM	01KN344	
4	メモリー、16 GB dual-rank 1.2 V、DDR4、2400 MHz、ECC UDIMM	01KN346	
4	メモリー、16 GB dual-rank 1.2 V、DDR4、2133 MHz、ECC UDIMM	46W0819	
4	メモリー、16 GB dual-rank 1.2 V、DDR4、2400 MHz、ECC UDIMM (Kabylake)	01KN327	
5	固定パワー・サプライ、300 ワット		00YD993



索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
6	ホット・スワップ・パワー・サプライ、460 ワット	69Y5939	
6	AcBel パワー・サプライ、460 ワット	00YJ944	
6	AcBel パワー・サプライ、460 ワット	00MX952	
9	分電盤		00YJ453
10	バックプレート・アセンブリー、4 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ、ソフトウェア RAID		00YE174
10	バックプレート・アセンブリー、4 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ、ハードウェア RAID		00YE172
10	バックプレート・アセンブリー、8 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ、ハードウェア RAID		00YE173
11	バックプレート・アセンブリー、4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ、ソフトウェア RAID		00YE171
10	バックプレート・アセンブリー、4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ、ハードウェア RAID		00YE170
12	バックプレーン、4 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ	00FJ755	
13	バックプレーン、4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ	00FJ752	
16	ウルトラ・スリム SATA DVD-ROM、9.5 mm	00FL352	
16	ウルトラ・スリム SATA マルチ・バーナー、9.5 mm	00FL353	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、500 GB、7.2 K	81Y9787	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、2 TB、7.2 K	00FN114	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、4 TB、7.2 K	00FN144	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、6 TB、7.2 K	00FN174	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、8 TB、7.2 K	00WH127	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、2 TB、7.2 K	00FN189	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、2 TB、7.2 K	00YK001	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、4 TB、7.2 K	00FN209	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、4 TB、7.2 K	00YK006	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、6 TB、7.2 K	00FN229	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、8 TB、7.2 K	00WH122	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、10 TB、7.2 K	00YK337	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、300 GB、15 K	00WG676	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、600 GB、15 K	00WG681	
18	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、1 TB、7.2 K	81Y9791	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、480 GB	00YK238	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、800 GB	00YK243	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、1.2 GB	00YK248	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、1.6 GB	00YK253	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、240 GB	01GV869	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、480 GB	01GV874	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、960 GB	01GV879	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、1.92 TB	01GV884	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、480 GB	01KR517	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、960 GB	01KR522	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、1.92 TB	01KR527	
18	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、3.84 TB	01KR532	
19	ハードディスク・ドライブ、3.5 型シンプル・スワップ、SATA、500 GB、7.2 K	81Y9803	
19	ハードディスク・ドライブ、3.5 型シンプル・スワップ、SATA、2 TB、7.2 K	00FN119	
19	ハードディスク・ドライブ、3.5 型シンプル・スワップ、SATA、4 TB、7.2 K	00FN149	
19	ハードディスク・ドライブ、3.5 型シンプル・スワップ、SATA、10 TB、7.2 K	00YK342	
19	ハードディスク・ドライブ、3.5 型シンプル・スワップ、SATA、1 TB、7.2 K	81Y9807	
19	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、12 TB、7.2 K	01GV056	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
19	ハードディスク・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、12 TB、7.2 K	01GV061	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、1.2 TB S3520	01GR808	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、1.6 TB S3520	01GR823	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、800 GB、S3520	01KR472	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、240 GB	01GR900	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、480 GB	01GR852	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、960 GB	01GR857	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SAS、3.84 TB	01GR792	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、3.84 TB	01GV091	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、240 GB	01GT771	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、480 GB	01GT772	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、960 GB	01GT773	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、480 GB	01KR449	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、960 GB	01KR450	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、1.92 TB	01KR451	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、1.92 TB	01KR483	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、3.84 TB	01KR484	
19	ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型、ホット・スワップ SATA、240 GB	01KR488	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、900 GB	01GV041	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、2.4 TB、10 K	01GV071	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、1 TB、7.2 K	00AJ142	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、2 TB、7.2 K	00NA527	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、1 TB、7.2 K	00NA492	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、2 TB、7.2 K	00NA497	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、300 GB、15 K	00WG661	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、600 GB、15 K	00WG666	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、900 GB、15 K	01GV036	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、300 GB、10 K	00WG686	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、600 GB、10 K	00WG691	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、900 GB、10 K	00WG696	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、1.2 TB、10 K	00WG701	
20	ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、1.8 TB、10 K	00NA272	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、120 GB	00WG621	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、200 GB	00YC321	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、240 GB	00WG626	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、240 GB	00YC391	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、240 GB	01GR837	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、400 GB	00YC326	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、480 GB	00WG631	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、480 GB	00YC396	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、480 GB	00YK213	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、480 GB	01GR842	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、800 GB	00WG636	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、800 GB	00YC331	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、800 GB	00YK218	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、960 GB	00YC401	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、960 GB	01GR847	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、3.84 TB	01GR787	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、1.2 TB、S3520 シリーズ	01GR803	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、1.6 TB S3520	01GR818	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、240 GB	01GV844	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、480 GB	01GV849	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、960 GB	01GV854	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、1.92 TB	01GV859	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、3.84 TB	01GV864	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、800 GB、S3520	01KR467	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、480 GB	01KR497	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、960 GB	01KR502	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、1.92 TB	01KR507	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、3.84 TB	01KR512	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、1.2 TB、10 K	00WG721	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、240 GB	01GT768	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、480 GB	01GT769	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、960 GB	01GT770	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、480 GB	01KR446	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、960 GB	01KR447	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、1.92 TB	01KR448	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、1.92 TB	01KR481	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、3.84 TB	01KR482	
20	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、240 GB	01KR487	
21	ハードディスク・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、1.2 TB	00YK223	
21	ハードディスク・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、1.6 TB	00YK228	
21	ハードディスク・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、1 TB、7.2 K	00NA627	
21	ハードディスク・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、2 TB、7.2 K	00NA537	
23	ハードディスク・ドライブ・フィラー、2.5 型ハードディスク・ドライブ 1 台	00FW856	
24	前面 I/O 部品	00AL324	
25	システム・ボード (Skylake)		00YJ451
25	システム・ボード (Kabylake)		01GT311
27	システム・ファン	00YJ785	
28	マイクロプロセッサ、Intel Pentium G4620、3.7 GHz、2400 MHz、51 W (2 コア、Kabylake)		01GT303
28	マイクロプロセッサ、Intel Pentium G4520、3.6 GHz、3 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE094
28	マイクロプロセッサ、Intel Pentium G4600、3.6 GHz、2400 MHz、51 W (2 コア、Kabylake)		01GT304
28	マイクロプロセッサ、Intel Pentium G4500、3.5 GHz、3 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE095
28	マイクロプロセッサ、Intel Pentium G4600T、3.0 GHz、2400 MHz、35 W (2 コア、Kabylake)		01GT305
28	マイクロプロセッサ、Intel Pentium G4500T、3.0 GHz、3 MB、2133 MHz、35 W (2 コア)		00YE096
28	マイクロプロセッサ、Intel Pentium G4560、3.5 GHz、2400 MHz、54 W (2 コア、Kabylake)		01GT306
28	マイクロプロセッサ、Intel Pentium G4400、3.3 GHz、3 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE097
28	マイクロプロセッサ、Intel Pentium G4560T、2.9 GHz、2400 MHz、35 W (2 コア、Kabylake)		01GT307
28	マイクロプロセッサ、Intel Pentium G4400T、2.9 GHz、3 MB、2133 MHz、35 W (2 コア)		00YE098

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
28	マイクロプロセッサ、Intel Core-i3 7320、4.1 GHz、2400 MHz、51W (2 コア、Kabylake)		01GT298
28	マイクロプロセッサ、Intel Core-i3 7300、4.0 GHz、2400 MHz、51 W (2 コア、Kabylake)		01GT299
28	マイクロプロセッサ、Intel Core-i3 6320、3.9 GHz、4 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE089
28	マイクロプロセッサ、Intel Core-i3 6300、3.8 GHz、4 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE090
28	マイクロプロセッサ、Intel Core-i3 7300T、3.5 GHz、2400 MHz、35 W (2 コア、Kabylake)		01GT300
28	マイクロプロセッサ、Intel Core-i3 6300T、3.3 GHz、4 MB、2133 MHz、35 W (2 コア)		00YE091
28	マイクロプロセッサ、Intel Core-i3 7100、3.9 GHz、2400 MHz、51 W (2 コア、Kabylake)		01GT301
28	マイクロプロセッサ、Intel Core-i3 6100、3.7 GHz、3 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE092
28	マイクロプロセッサ、Intel Core-i3 7100T、3.4 GHz、2400 MHz、35 W (2 コア、Kabylake)		01GT302
28	マイクロプロセッサ、Intel Core-i3 6100T、3.2 GHz、3 MB、2133 MHz、35 W (2 コア)		00YE093
28	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E3-1280 v6、3.9 GHz、2400 MHz、72 W (4 コア、Kabylake)		01GT292
28	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E3-1280 v5、3.7 GHz、8 MB キャッシュ、2133 MHz、80 W (4 コア)		00YE086
28	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E3-1270 v6、3.8 GHz、2400 MHz、72 W (4 コア、Kabylake)		01GT293
28	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E3-1270 v5、3.6 GHz、8 MB キャッシュ、2133 MHz、80 W (4 コア)		00YE082
28	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E3-1260L v5、2.9 GHz、8 MB キャッシュ、2133 MHz、45 W (4 コア)		00YE087
28	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E3-1240L v5、2.1 GHz、8 MB キャッシュ、2133 MHz、25 W (4 コア)		00YE088
28	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E3-1240 v6、3.7 GHz、2400 MHz、72 W (4 コア、Kabylake)		01GT294
28	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E3-1240 v5、3.5 GHz、8 MB キャッシュ、2133 MHz、80 W (4 コア)		00YE083
28	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E3-1230 v6、3.5 GHz、2400 MHz、72 W (4 コア、Kabylake)		01GT295
28	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E3-1230 v5、3.4 GHz、8 MB キャッシュ、2133 MHz、80 W (4 コア)		00YE084
28	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E3-1225 v6、3.3 GHz、2400 MHz、73 W (4 コア、Kabylake)		01GT297
28	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E3-1220 v6、3.0 GHz、2400 MHz、72 W (4 コア、Kabylake)		01GT296



索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
28	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E3-1220 v5、3.0 GHz、8 MB キャッシュ、2133 MHz、80 W (4 コア)		00YE085
28	マイクロプロセッサ、Intel Celeron G3950、3.0 GHz、2400 MHz、51 W (2 コア、Kabylake)		01GT308
28	マイクロプロセッサ、Intel Celeron G3930、2.9 GHz、2400 MHz、51 W (2 コア、Kabylake)		01GT309
28	マイクロプロセッサ、Intel Celeron G3920、2.9 GHz、2 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE099
28	マイクロプロセッサ、Intel Celeron G3900、2.8 GHz、2 MB、2133 MHz、65 W (2 コア)		00YE100
28	マイクロプロセッサ、Intel Celeron G3930T、2.7 GHz、2400 MHz、35 W (2 コア、Kabylake)		01GT310
28	マイクロプロセッサ、Intel Celeron G3900T、2.6 GHz、2 MB、2133 MHz、35 W (2 コア)		00YE101
30	ServeRAID M1210 SAS/SATA コントローラー	00JY196	
30	ServeRAID M1215 SAS/SATA コントローラー	46C9115	
30	ServeRAID M5225 SAS/SATA コントローラー	00AE939	
30	ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラー	46C9111	
30	ServeRAID M5200 シリーズ 1GB キャッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8657	
30	ServeRAID M5200 シリーズ 1GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8661	
30	ServeRAID M5200 シリーズ 2GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8665	
30	ServeRAID M5200 シリーズ 4GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8669	
30	N2215 SAS/SATA HBA	47C8676	
30	N2225 SAS/SATA HBA	00AE914	
30	QLogic 8 Gb FC シングル・ポート HBA	00Y5628	
30	QLogic 8 Gb FC デュアル・ポート HBA	00Y5629	
30	Emulex 8 Gb FC シングル・ポート HBA	42D0491	
30	Emulex 8 Gb FC デュアル・ポート HBA	00JY848	
30	Intel X710 2x10GbE SFP+ アダプター	81Y3522	
30	Intel X710-DA2 2x10GbE SFP+ アダプター	01DA902	
30	Broadcom NetXtreme I デュアル・ポート GbE アダプター	90Y9373	
30	Intel I350-T2 2xGbE BaseT アダプター	00AG512	
30	Intel I350-T4 4xGbE BaseT アダプター	00AG522	
30	Intel X710-T4 4x10 Gb BaseT アダプター	01GR282	
30	Emulex VFA5.2 2x10 GbE SFP+ PCIe アダプター	01KR603	
30	Emulex VFA5.2 2x10 GbE SFP+ PCIe アダプター	00AG573	
30	Intel X550-T2 デュアル・ポート 10GBase-T アダプター	00MM862	
	作動温度の機能拡張キット	46W9221	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	バッテリー、3.0 V	33F8354	
	ラベル、シャーシ	00YE179	
	シリアル・ポート・アップグレード・キット	00KC965	
	PCI ライザー・カード	00YJ452	
	Silicom x540 NIC カード	01PG489	
	光学式ブランク・フィルター	00KF416	
	4 個の 2.5 型 BP ブラケット	00KF692	
	4G USB メモリー・キー	00WH143	
	2.8 m、10A/250 V、C13 to IRAM 2073 (アルゼンチン) 回線コード	39M5068	
	4.3 m、10A/125 V、C13 to NEMA 5-15P (米国) 回線コード	39M5076	
	回線コード - 2.8m、10A/250V、C13 to AS/NZ 3112 (オーストラリア/ニュージーランド)	39M5102	
	2.8 m、10A/230 V、C13 to CEE7-VII (ヨーロッパ) 回線コード	39M5123	
	2.8 m、10A/250 V、C13 to DK2-5a (デンマーク) 回線コード	39M5130	
	2.8 m、10A/250 V、C13 to SABS 164 (南アフリカ) 回線コード	39M5144	
	2.8 m、10A/250 V、C13 to BS 1363/A (英国) 回線コード	39M5151	
	2.8 m、10A/250 V、C13 to SEV 1011-S24507 (スイス) 回線コード	39M5158	
	2.8 m、220-240 V、C13 to CEI 23-16 (イタリア/チリ) 回線コード	39M5165	
	2.8 m、10A/250 V、C13 to SI 32 (イスラエル) 回線コード	39M5172	
	2.8 m、12A/125 V、C13 to JIS C-8303 (日本) 回線コード	39M5199	
	4.3 m、12A/100 V、C13 to JIS C-8303 (日本) 回線コード	39M5200	
	2.8 m、220-240 V、C13 to GB 2099.1 (中国) 回線コード	39M5206	
	2.8 m、220-240 V、C13 to KETI (韓国) 回線コード	39M5219	
	2.8 m、250 V、C13 to NBR 14136 (ブラジル) 回線コード	39M5240	
	2.8 m、10 A/240 V、C13 to CN 10917-3 (台湾) 回線コード	39M5254	
	1.5 m、10 A/100-250 V、C13 to IEC 320-C14 ラック電源ケーブル	39M5375	
	4.3 m、10 A/100-250 V、C13 to IEC 320-C14 ラック電源ケーブル	39M5378	
	2.8 m、10 A/100-250 V、C13 to IEC 320-C20 ラック電源ケーブル	39M5392	
	2.8 m、10 A/125 V、C13 to CN 10917 (台湾) 回線コード	39M5463	
	QLogic 10 Gb SFP+ SR 光トランシーバー	42C1816	
	SFP+ SR トランシーバー	46C3449	
	Brocade 10 Gb SFP+ SR 光トランシーバー	46C9297	
	425 mm & 925 mm ServeRAID M5200 シリーズ・フラッシュ電源モジュール	46C9793	
	ServeRAID M5200 シリーズ 1 GB キャッシュ/RAID 5 アップグレード	44W3392	
	ServeRAID M5200 シリーズ 1 GB フラッシュ/RAID 5 アップグレード	44W3393	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	ServeRAID M5200 シリーズ 2 GB フラッシュ/RAID 5 アップグレード	44W3394	
	ServeRAID M5200 シリーズ 4 GB フラッシュ/RAID 5 アップグレード	44W3395	
	RDX 3.0 外付けテープ・ドライブ	00MW718	
	キーボード、プロフェッショナル、米国英語 103P RoHS v2	00AL883	
	キーボード、ポインティング・デバイス、米国英語 103P RoHS v2	00MW364	
	マウス、2 ボタン光学式ホイール	00MW370	
	RDX 3.0 外付け TD	00MW718	
	ケーブル、3 メーター外部 USB 3.0	00MW395	
	ケーブル、Mini-SAS、4 台の 3.5 型ハードディスク・ドライブ・バックプレート、ソフトウェア RAID	00YJ410	
	ケーブル、Mini-SAS、4 台の 2.5 型ハードディスク・ドライブ・バックプレート、ソフトウェア RAID	00YJ411	
	ケーブル、Mini-SAS、4 台の 3.5 型ハードディスク・ドライブ・バックプレート、ハードウェア RAID	00YJ412	
	ケーブル、Mini-SAS、4 台の 2.5 型ハードディスク・ドライブ・バックプレート (第 1)、ハードウェア RAID	00YJ413	
	ケーブル、Mini-SAS、4 台の 2.5 型ハードディスク・ドライブ・バックプレート (第 2)、ハードウェア RAID	00YJ414	
	ケーブル、Mini-SAS、3.5 型 4 台または 2.5 型最初の 4 台のハードディスク・ドライブ・バックプレーン	00YJ415	
	ケーブル、Mini-SAS、4 台の 2.5 型ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (第 2)	00YJ416	
	電源ケーブル、バックプレーン、4 台の 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ	00YJ417	
	電源ケーブル、バックプレーン、4 台の 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ	00YJ418	
	電源ケーブル、システム・ボード	00YJ419	
	電源ケーブル、マイクロプロセッサ	00YJ420	
	信号ケーブル、システム・ボードへの分電盤	00YJ421	
	ケーブル、SATA スリムライン	81Y6774	
	ケーブル、Mini-SAS 1 m、6 Gbps、SFF-8644 - SFF-8088	00YE304	
	ケーブル、Mini-SAS 2 m、6 Gbps、SFF-8644 - SFF-8088	00YE305	
	ケーブル、Mini-SAS 4 m、6 Gbps、SFF-8644 - SFF-8088	00YE306	
	ケーブル、Mini-SAS 6 m、6 Gbps、SFF-8644 - SFF-8088	00YE307	
	ServeRAID M5100/M5200 シリーズ・フラッシュ電源モジュール	00JY023	
	ケーブル、構成 (8 つの HDD)		
	ケーブル、電源 (4 つのホット・スワップ HDD 用)		
	ケーブル、SATA スリムライン		
	ケーブル、SAS 信号 (840 mm)		

消耗部品 (別売り部品) は「Lenovo 保証の内容と制限」の対象外です。以下の消耗部品は、小売店で購入可能です。

索引	説明	部品番号
1	サーバー・カバー、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載モデル用	00YE167
1	サーバー・カバー、固定パワー・サプライ搭載モデル用	00YE168
2	エアー・バッフル	00AL326
7	シャーシ・アセンブリー、3.5 型 HDD (ホット・スワップ・パワー・サプライ・モデル)	00YE164
15	シャーシ・アセンブリー、2.5 型 HDD (固定パワー・サプライ・モデル)	00YE165
	シャーシ・アセンブリー、2.5 型 HDD (ホット・スワップ・パワー・サプライ・モデル)	00YE166
	シャーシ・アセンブリー、3.5 型 HDD (固定パワー・サプライ・モデル)	00YE163
8	分電盤カバー	00YE169
17	ハードディスク・ドライブ・フィルター、3.5 型ホット・スワップ	69Y5364
17	ハードディスク・ドライブ・フィルター、3.5 型シンプル・スワップ	69Y5368
26	RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダー	00Y8545
	光学式ドライブ・フィルター	00YE175
	ラック・リリース・ラッチ (左)	00YE176
	ラック・リリース・ラッチ (右)	00YE177
	PCI ライザー・カード・ケージ	00YE192
	ラベル、システム・サービス、FRU/CRU	00YE353
	レール・キット	00MV390
	パワー・サプライ・フィルター	49Y4821

## 構成部品

構造部品は、Lenovo の「保証の内容と制限」の対象外です。構造部品は Lenovo 小売店で注文できます。

以下の構成部品は、小売店で購入できます。

表 25. 構造部品、タイプ 3633 および 3943

索引	説明	部品番号
14	セキュリティー・ベゼル	00KF695
22	2.5 型ハードディスク・ドライブ・フィルター (ハードディスク・ドライブ 2 台用)	00KF683

構成部品を注文するには、以下を行います。

注：Lenovo Web サイトは定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

1. <http://www.ibm.com> に進みます。
2. 「Products (製品)」メニューから、「Upgrades, accessories & parts (アップグレード、アクセサリ、および部品)」を選択します。

3. 「Obtain maintenance parts (保守部品の入手)」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注文します。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの Lenovo 担当員にお問い合わせください。

## 電源コード

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用される Lenovo 電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) にリストされており、Canadian Standards Association (CSA) の認証を受けています。

115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルト (米国における) 用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、タンデム・ブレード型、15 アンペア 250 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお求めいただけます。

電源コードの部品番号	使用される国または地域
39M5206	中国
39M5102	オーストラリア、フィジー、キリバス、ナウル、ニュージーランド、パプアニューギニア
39M5123	アフガニスタン、アルバニア、アルジェリア、アンドラ、アンゴラ、アルメニア、オーストリア、アゼルバイジャン、ベラルーシ、ベルギー、ベニン、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、ブルガリア、ブルキナ・ファソ、ブルンジ、カンボジア、カメルーン、カーボベルデ、中央アフリカ共和国、チャド、コモロ、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、コートジボワール、クロアチア共和国、チェコ共和国、ダオメー、ジブチ、エジプト、赤道ギニア、エリトリア、エストニア、エチオピア、フィンランド、フランス、仏領ギニア、仏領ポリネシア、ドイツ、ギリシャ、グアドループ島、ギニア、ギニアビサウ、ハンガリー、アイスランド、インドネシア、イラン、カザフスタン、キルギスタン、ラオス、ラトビア、レバノン、リトアニア、ルクセンブルグ、マケドニア (旧ユーゴスラビア共和国)、マダガスカル、マリ、マルチニーク島、モーリタニア、モーリシャス、マヨット島、モルドバ共和国、モナコ、モンゴル、モロッコ、モザンビーク、オランダ、ニューカレドニア、ニジェール、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、レユニオン島、ルーマニア、ロシア連邦、ルワンダ、サントメプリンシペ、サウジアラビア、セネガル、セルビア、スロバキア、スロベニア共和国、ソマリア、スペイン、スリナム、スウェーデン、シリアアラブ共和国、タジキスタン、タヒチ、トーゴ、チュニジア、トルコ、トルクメニスタン、ウクライナ、上ボルタ、ウズベキスタン、バヌアツ、ベトナム、ウォリス・フテュナ、ユーゴスラビア、ザイール
39M5130 39M5179	デンマーク
39M5144	バングラデシュ、レソト、マカオ、モルジブ、ナミビア、ネパール、パキスタン、西サモア、南アフリカ、スリランカ、スワジランド、ウガンダ

電源コードの部品番号	使用される国または地域
39M5151	アブダビ、バーレーン、ボツワナ、ブルネイ・ダルサラーム、チャネル諸島、中国(香港)、キプロス、ドミニカ、ガンビア、ガーナ、グレナダ、イラク、アイルランド、ヨルダン、ケニヤ、クウェート、リベリア、マラウィ、マレーシア、マルタ、ミャンマー(ビルマ)、ナイジェリア、オマーン、ポリネシア、カタール、セントクリストファー・ネイビス、サンタルチア、セントビンセント・グレナディーン、セイシェル、シエラ・レオネ、シンガポール、スーダン、タンザニア(共和国)、トリニダード・トバゴ、UAE(ドバイ)、英国、イエメン、ザンビア、ジンバブエ
39M5158	リヒテンシュタイン、スイス
39M5165	チリ、イタリア、社会主義人民リビア・アラブ国
39M5172	イスラエル
39M5095	220 - 240 V アンティグア・バーブーダ、アルバ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、バーミューダ、ボリビア、カイコス諸島、カナダ、ケイマン諸島、コロンビア、コスタリカ、キューバ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアム島、グアテマラ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、メキシコ、ミクロネシア(連邦)、オランダ領アンティル諸島、ニカラグア、パナマ、ペルー、フィリピン、サウジアラビア、タイ、台湾、アメリカ合衆国、ベネズエラ
39M5076 39M5081	110 - 120 V アンティグア・バーブーダ、アルバ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、バーミューダ、ボリビア、カイコス諸島、カナダ、ケイマン諸島、コロンビア、コスタリカ、キューバ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアム島、グアテマラ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、メキシコ、ミクロネシア(連邦)、オランダ領アンティル諸島、ニカラグア、パナマ、ペルー、フィリピン、サウジアラビア、タイ、台湾、アメリカ合衆国、ベネズエラ
39M5463	台湾
39M5087	タイ
39M5219	北朝鮮、韓国
39M5199	日本
39M5068	アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイ
39M5226	インド
39M5240 39M5241	ブラジル
39M5375 39M5377 39M5378 39M5509 39M5512	カナダ、米国





---

## 第 7 章 サーバー・コンポーネントの取り外しと取り付け

この章では、サーバーのハードウェアの取り外しおよび取り付けを行う方法について説明します。メモリー・モジュール、PCIe カード、他のサーバー・オプションなどの新しいハードウェア・デバイスを増設することによって、サーバーの機能を拡張することができます。また、障害のあるハードウェア・デバイスを交換することによって、サーバーを保守することができます。サーバー・オプションの扱い方については、このトピックに記載されている正しい取り付けまたは取り外しの方法と併せて、そのオプションに添付されている説明書を参照してください。

保証条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「保証情報」を参照してください。サービスと支援を受ける方法については、[683 ページの付録 D「ヘルプおよび技術サポートの入手」](#)を参照してください。

---

### サーバー・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に

**注意：**電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、システムは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、デバイスの取り付けまたは取り外しを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

### システムの信頼性に関するガイドライン

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- 各ドライブ・ベイにドライブが取り付けられていること。ドライブがない場合は、フィルターと電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられている必要があります。
- サーバーにリダンダント電源が備わっている場合は、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられていること。
- サーバー冷却システムが正しく機能できるように、サーバーの回りに十分なスペースを確保してあること。約 50 mm の空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。ファンの前には物を置かないでください。冷却と通気を確保するため、サーバーの電源を入れる前にサーバー・カバーを取り付けます。サーバーのカバーを取り外して長時間 (30 分以上) サーバーを操作すると、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。
- オプションのアダプターに付属する配線手順に従っている。
- 障害の起きたファンは早急に交換している。
- ホット・スワップ・ドライブは、取り外してから 2 分以内に元どおりに取り付けること。
- エアー・バッフルを取り付けた状態でサーバーを作動させること。エアー・バッフルを取り付けずにサーバーを作動させると、マイクロプロセッサが過熱する原因となります。

### 電源オンされているサーバーの内部での作業

電源オンされているサーバー内部での作業のガイドライン

**注意：**サーバーの電源がオンになっているときにサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止するおそれがあり、それによってデータが失われる可能性があります。このような問題が起きないように、電源をオンにしたサーバー内部の作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の静電気防止対策を採用してください。

システム・ボード LED を見る、あるいはホット・スワップ・コンポーネントを交換するためには、カバーを外したままサーバーの電源をオンにしておく必要がある場合があります。電源をオンにしたサーバーの内部で作業する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 腕の部分がゆったりした衣服を着用しないでください。サーバー内部の作業をする前に、長袖シャツのボタンを留めてください。サーバー内部の作業中はカフス・ボタンを着けないでください。
- サーバー内部にネクタイやスカーフが垂れ下がらないようにしてください。
- ブレスレット、ネックレス、リング、緩みのある腕時計などの装身具は外してください。
- サーバーの上に身体を乗り出したときに、シャツのポケットから落下する可能性があるペンや鉛筆などを取り出してください。
- クリップや、ヘアピン、ねじなどの金属製品がサーバー内部に落ちないように注意してください。

## 静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い

**注意：**静電気は、サーバーやその他の電子デバイスを損傷します。損傷を避けるために、静電気の影響を受けやすいデバイスは、取り付ける準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気の放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。たとえば、静電気放電用リスト・ストラップがある場合は、これを利用してください。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップまたはその他の接地システムを使用してください。
- デバイスは、端またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだの接合部、ピン、または露出した回路には触れないでください。
- 他の人が手で触ったり、デバイスに損傷を与える可能性のある場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に2秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。
- 部品をそのパッケージから取り出して、それを下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。デバイスを下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに入れます。部品をサーバーのカバーや金属面の上には置かないでください。
- 寒い天候では、部品の取り扱いには特に注意してください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるためです。

---

## サーバー・コンポーネントの取り外しと取り付け

このセクションでは、サーバー・コンポーネントの取り外しと取り付けについて説明します。

### 構成部品の取り外しと取り付け

構成部品の取り付けはお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が構成部品の導入を行った場合は、料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

#### サーバー・カバーの取り外し

サーバー・カバーを取り外す場合は、以下を行います。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ 2. サーバーをラックに取り付け済みの場合、サーバーをラックから取り外します。サーバーに付属の「ラック搭載手順」を参照してください。
- ステップ 3. サーバーからサーバー・コンポーネントを取り外す前に、サーバーを作業場所に置きます。

ステップ4. 親指をそれぞれ青色のカバー・リリース・ボタン **1** および **2** の上に置きます。ボタン **1** をしっかりと押し、サーバー・カバーがシャーシから外れるまでサーバー背面の方にスライドさせます。

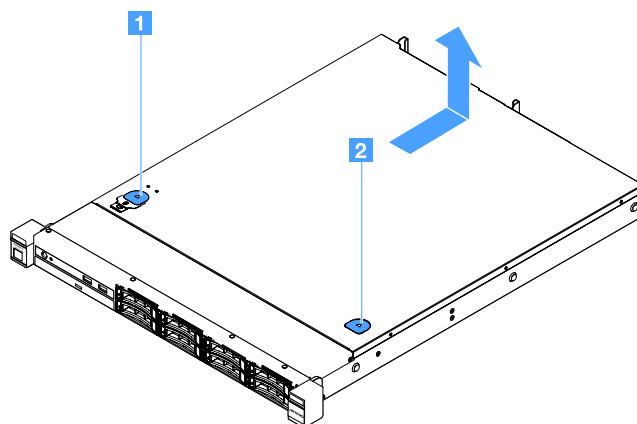


図15. サーバー・カバーの取り外し

ステップ5. サーバー・カバーを持ち上げてサーバーから外し、横に置きます。

注意：冷却と通気を確保するため、サーバーの電源を入れる前にサーバー・カバーを取り付けます。

### サーバー・カバーの取り付け

サーバー・カバーを取り付けるには、以下を行います。

注：すべての構成部品が正しく再配置されており、サーバーの内部に工具が残されていたり、ねじが緩んだままになっていないことを確認します。

ステップ1. サーバー・カバーをサーバー上部に置きます。

ステップ2. サーバー・カバーをサーバー前面方向にスライドさせます。サーバー・カバーがサーバー上のすべての差し込みタブときちんとかみ合っているかどうかを確認します。

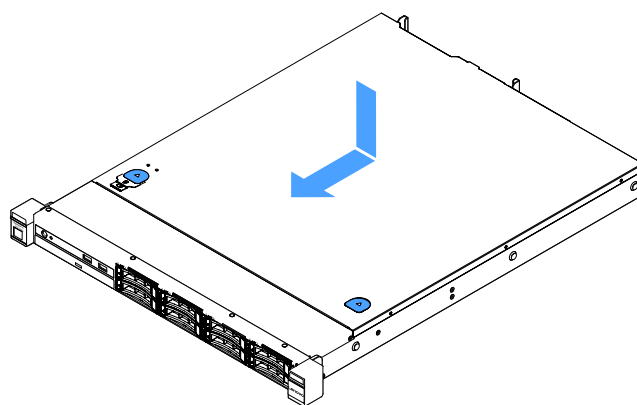


図16. サーバー・カバーの取り付け

ステップ3. サーバーをラックに取り付けます。サーバーに付属の「ラック搭載手順」を参照してください。

ステップ4. すべての外部ケーブルを取り付け直します。次に、サーバーおよび周辺機器の電源をオンにします。

## エアー・バッフルの取り外し

エアー・バッフルを取り外すには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。

ステップ3. エアー・バッフルをつかんで、サーバーから持ち上げて取り外します。

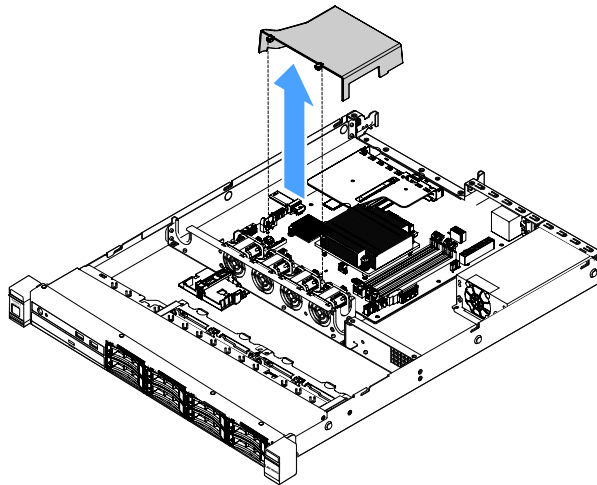


図17. エアー・バッフルの取り外し

注意：冷却と通気を確保するため、サーバーの電源をオンにする前にエアー・バッフルを取り付けてください。エアー・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

## エアー・バッフルの取り付け

エアー・バッフルを取り外した場合、それを取り付け直すか、古いエアー・バッフルが故障している場合は新しいものを取り付ける必要があります。

エアー・バッフルを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. エアー・バッフルのタブ **1** を、サーバー・ファン・ケージの切り欠きに合わせます。次に、エアー・バッフルをサーバー内に収め、しっかり固定されるまでエアー・バッフルを押しします。

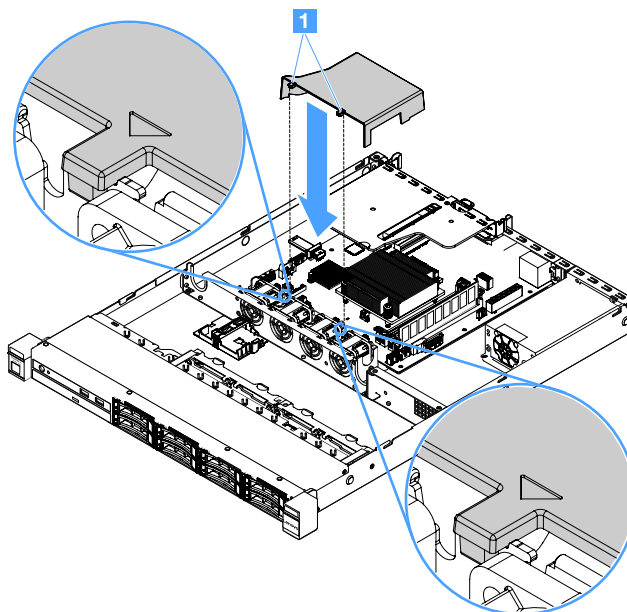


図18. エアー・バッフルの取り付け

ステップ2. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

### セキュリティー・ベゼルの取り外し

セキュリティー・ベゼルを取り外すには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。

ステップ2. セキュリティー・ベゼルのロックを解除して開放位置にするには、鍵を使用します。

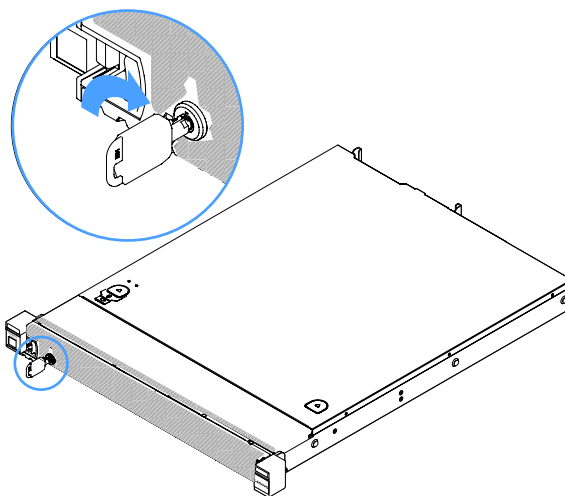


図19. セキュリティー・ベゼルのロック解除

ステップ3. リリース・ラッチ **1** を押して、セキュリティー・ベゼルを外側に回転させてシャーシから取り外します。

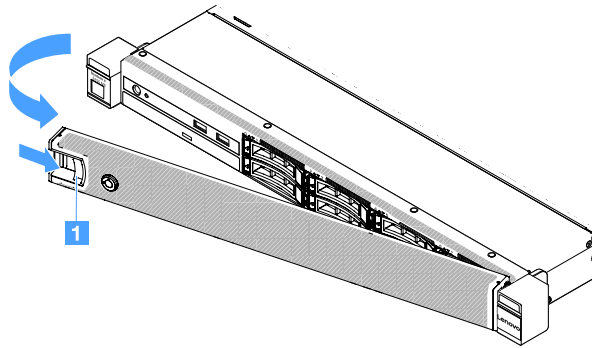


図20. セキュリティー・ベゼルの取り外し

### セキュリティー・ベゼルの取り付け

セキュリティー・ベゼルを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。

ステップ2. セキュリティー・ベゼルのタブを、シャーシ右サイドのスロットに慎重に挿入します。次に、リリース・ラッチを押し続けながら、セキュリティー・ベゼルの反対側が所定の位置にカチッと音を立てて収まるまで、セキュリティー・ベゼルを内側に回転させます。

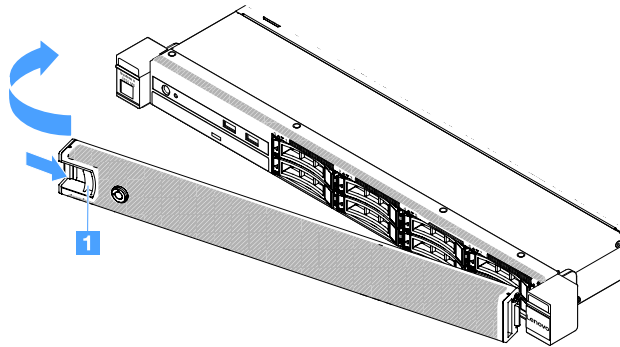


図21. セキュリティー・ベゼルの取り付け

ステップ3. セキュリティー・ベゼルをロックして閉位置にするには、鍵を使用します。

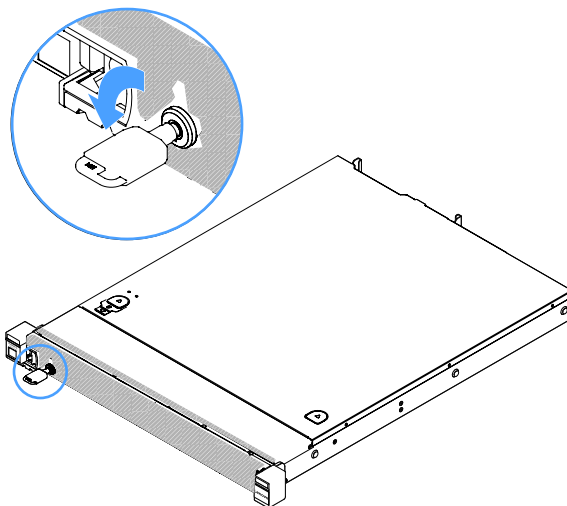


図22. セキュリティー・ベゼルのロック

### PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ3. PCI ライザー・カード・アセンブリーの青色のタブをつかみ、PCI ライザー・カード・アセンブリーを持ち上げてシャーシから外します。

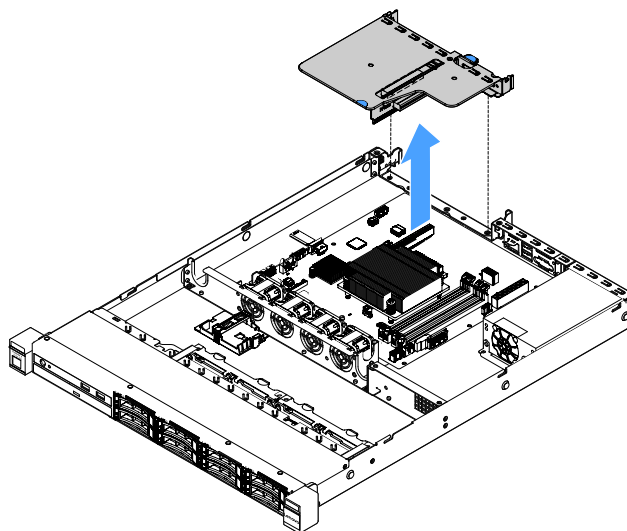


図23. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

ステップ4. PCI ライザー・カード・アセンブリーのアダプターからケーブルをすべて取り外します。



ステップ5. アダプターをPCIライザー・カード・アセンブリーから取り外します。122ページの「アダプターの取り外し」を参照してください。

ステップ6. PCIライザー・カード・アセンブリーを、平らな帯電防止面に置きます。

ステップ7. PCIライザー・カード・アセンブリーを取り付けます。104ページの「PCIライザー・カード・アセンブリーの取り付け」を参照してください。

## PCIライザー・カード・アセンブリーの取り付け

PCIライザー・カード・アセンブリーを取り外した場合は、サーバーの電源をオンにする前に取り付けます。PCIライザー・カード・アセンブリーを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. 適切なアダプターをPCIライザー・カード・アセンブリーに取り付けます。123ページの「アダプターの取り付け」を参照してください。

ステップ2. PCIライザー・カード・アセンブリーを取り外したときに切り離れたアダプター・ケーブルをすべて再接続します。

ステップ3. PCIライザー・カード・アセンブリーをサーバー背面のガイドおよびシステム・ボードのPCIライザー・カード・コネクタに注意深く位置合わせします。次に、青いタブに指を置き、PCIライザー・カード・アセンブリーを押し下げます。ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボードのコネクタに完全に収まったか確認してください。

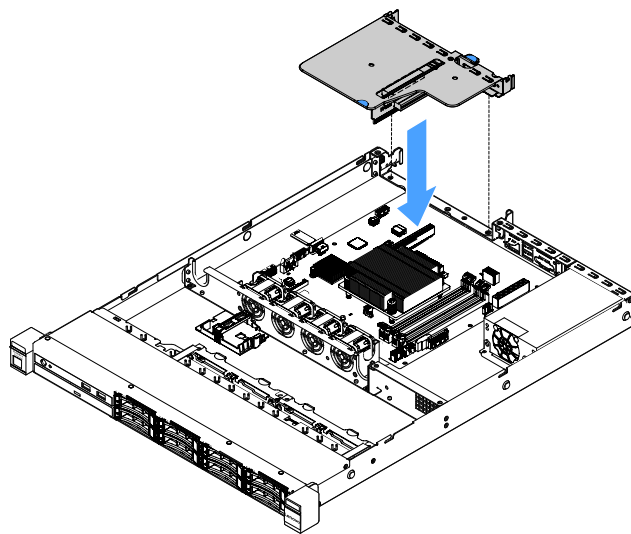


図24. PCIライザー・カード・アセンブリーの取り付け

ステップ4. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

## フラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外し

注：フラッシュ電源モジュール・ホルダーは、2.5型ドライブ・サーバー・モデルでのみサポートされています。

フラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り外すには、以下を実行します。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。

ステップ3. フラッシュ電源モジュールを取り外します。126 ページの「RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し」を参照してください。

ステップ4. ホルダーを固定している2本のねじを取り外して、ホルダーを取り外します。

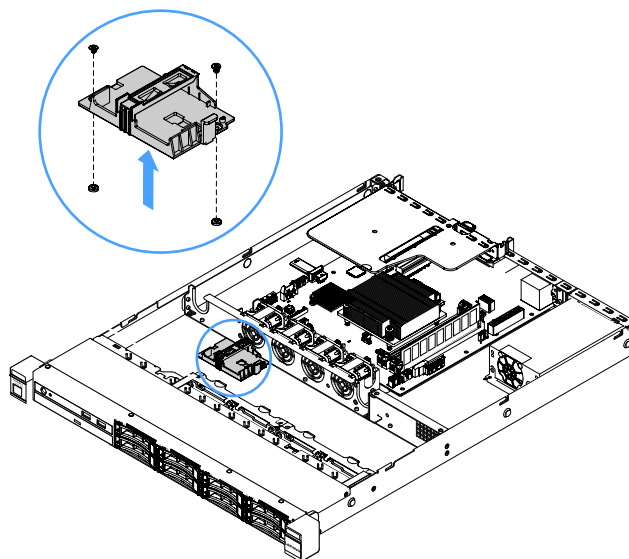


図25. フラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外し

ステップ5. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

### フラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り付け

注：RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーは、2.5 型ドライブ・サーバー・モデルでのみサポートされています。

フラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り付けるには、以下を実行します。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。

ステップ3. ホルダーをシャーシ上に図のように配置し、ホルダーのねじ穴をシャーシのねじ穴と合わせます。次に、2本のねじを取り付けて、ホルダーがシャーシにしっかりと固定されていることを確認します。

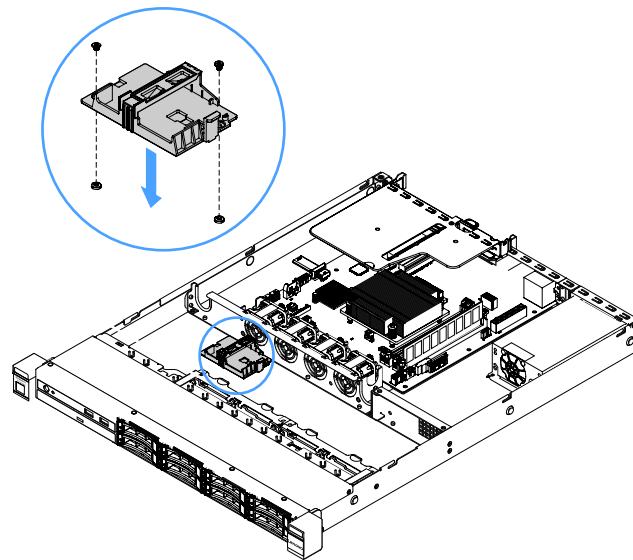


図26. フラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り付け

ステップ4. フラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り付けます。127ページの「RAIDアダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け」を参照してください。

ステップ5. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

## Tier 1 CRU の取り外しと取り付け

Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の取り付けは、お客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

### DIMM の取り外し

DIMM を取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ3. エアー・バッフルを取り外します。100ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照してください。

ステップ4. 慎重に DIMM スロットの各端にある保持クリップ **1** を開き、DIMM を取り外します。

**注意：**保持クリップの破損や DIMM スロットの損傷を防止するために、クリップは慎重に取り扱ってください。

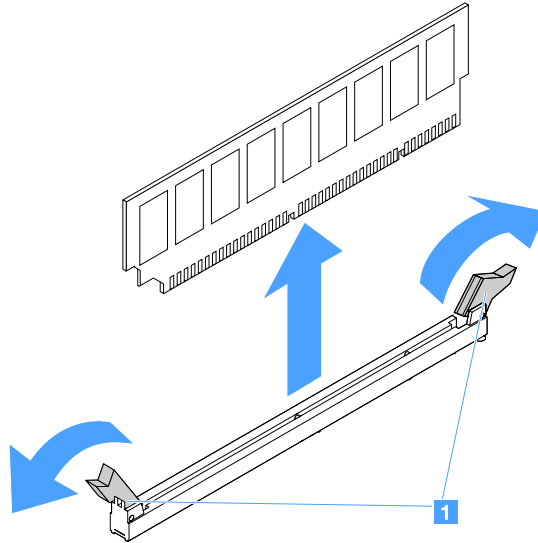


図 27. DIMM の取り外し

ステップ5. DIMM を1個のみ取り付けられている場合は、新しい DIMM を取り付けます。109 ページの「DIMM の取り付け」を参照してください。

### DIMM 取り付けのガイドライン

以下のヒントは、サーバーがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付ける際に考慮すべきその他の情報についての説明です。

- 取り付ける DIMM をサーバーがサポートしていることを確認します。以下に進みます：  
<http://www.lenovo.com/serverproven/>
- DIMM を取り付けまたは取り外すと、サーバー構成情報が変更されます。サーバーを再起動すると、システムにより、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージが表示されます。サーバー構成情報の表示は、Setup Utility プログラムを使用して行うことができます。29 ページの「Setup Utility プログラムの使用」を参照してください。
- このサーバーは、業界標準の DDR4、2133 MHz、PC4-17000 (single-rank または dual-rank)、unbuffered DIMM (エラー修正コード (ECC) 付き) のみをサポートします。
- サーバーは、最大4つの single-rank または dual-rank Unbuffered DIMM をサポートします。
- サーバーの最大作動速度は、サーバーに取り付けられた最も遅い DIMM により決まります。
- DIMM のペアを DIMM スロット3 および 1 に取り付ける場合は、DIMM スロット1 および3 に取り付ける DIMM のサイズと速度が相互に一致している必要があります。ただし、DIMM スロット4 と2 に取り付けた DIMM とサイズおよび速度が同じである必要はありません。
- 互換性があれば、さまざまなメーカーの DIMM を同じペアに使用することができます。
- DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを見てください。ラベル上の情報は、x GB nRxx PC4-xxxxxx-xx-xx-xx という形式です。「nRxx」は、DIMM が single-rank (n=1) または dual-rank (n=2) であることを示しています。
- 使用できるメモリー容量は、システム構成に応じて少なくなります。メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。取り付けられているメモリーの合計容量および構成済みのメモリー容

量を表示するには、Setup Utility を実行します。追加情報については、26 ページの「サーバーの構成」を参照してください。

- DDR4 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。

*gggGBpheRxffPC4-wwwaa-mccd-bb*

ここで、それぞれ以下の意味があります。

- *gggGB* は DIMM の合計容量です (たとえば 1 GB、2 GB、または 4 GB)。
- *pheR* は、パッケージ・ランクの数およびパッケージ・ランクごとの論理ランクの数です。  
*p* には以下の変数が入ります。
  - 1 = 1 パッケージ・ランクの SDRAM が取り付けられています
  - 2 = 2 パッケージ・ランクの SDRAM が取り付けられています
  - 3 = 3 パッケージ・ランクの SDRAM が取り付けられています
  - 4 = 4 パッケージ・ランクの SDRAM が取り付けられています
- *he*: スタック DRAM を使用するモジュール用のモノリシック DRAM のためのスペースです。  
*h* は DRAM パッケージ・タイプです。以下の変数が入ります。
  - D = マルチロード DRAM スタック (DDP)
  - Q = マルチロード DRAM スタック (QDP)
  - D = シングルロード DRAM スタック (3DS)
- *e*: SDP、DDP および QDP では空白、3DS スタックを使用するモジュールではパッケージ・ランク当たりの論理ランクです。  
以下の変数が入ります。
  - 2 = 各パッケージ・ランクに 2 論理ランク
  - 4 = 各パッケージ・ランクに 4 論理ランク
  - 8 = 各パッケージ・ランクに 8 論理ランク
- *xff* は SDRAM のデバイス編成またはビット幅です (x4、x8、x16 など)
  - x4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 本の DQ 線)
  - x8 = x8 編成
  - x16 = x16 編成
- *www* は DIMM 速度 (MBps) です (たとえば、2133、2400、2666、2933、または 3200)  
*aa* は、SDRAM のスピード・グレードです。
- *m* は、DIMM のタイプです。
  - E = ECC (x8 ビット・モジュール・データ・バス) 付き Unbuffered DIMM (UDIMM) (x64 ビット基本データ・バス)
  - L = ECC (x8 ビット・モジュール・データ・バス) 付き Load Reduced DIMM (LRDIMM) (x64 ビット基本データ・バス)
  - E = ECC (x8 ビット・モジュール・データ・バス) 付き Registered DIMM (RDIMM) (x64 ビット基本データ・バス)
  - U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
- *cc* は、DIMM 設計のリファレンス設計ファイルです。
- *d* は、使用された参照設計の改訂番号です。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂のエンコードおよび追加レベルです。

システム・ボード上の DIMM スロットを見つけるには、21 ページの「システム・ボード・コネクター」を参照してください。

次のセクションでは、ユーザーが考慮する必要がある unbuffered DIMM に固有の追加情報について説明しています。

### Unbuffered DIMM (UDIMM)

以下のヒントでは、UDIMM の取り付け時に考慮すべき事項について説明します。

- メモリー・チャンネルは、取り付け済みの DIMM 間に共通する最低周波数で作動します。
- サーバーで使用可能な UDIMM オプションは、4 GB、8 GB、および 16 GB DIMM です。
- このサーバーは、チャンネルあたり最大 2 つの single-rank または dual-rank UDIMM をサポートします。
- 各チャンネルに同じランクの DIMM を取り付けることをお勧めします。
- 次の表は、サポートされる UDIMM 装着構成のリストです。

表 26. チャンネルごとのサポートされる UDIMM 装着構成

チャンネルごとの DIMM スロット	各チャンネルに取り付けられた DIMM	DIMM のタイプ	DIMM 速度	DIMM ごとのランク (任意の組み合わせ)
2	1	Unbuffered DDR4 ECC	2133/2400	Dual-rank
2	2	Unbuffered DDR4 ECC	2133/2400	Dual-rank

- 次の表は、rank UDIMM を使用した DIMM の最大装着数です。

表 27. ランク付き UDIMM を使用した最大メモリー装着構成 (モデルにより異なる)

UDIMM の数	DIMM のタイプ	サイズ	メモリー合計
4	dual-rank UDIMM	16 GB	64 GB

- 次の表は、システム・パフォーマンスを最適化するための、UDIMM メモリーの取り付け順序を示しています。

表 28. DIMM の取り付け順序

DIMM の数	取り付け順序 (DIMM スロット)
最初の DIMM ペア	3, 1
2 番目の DIMM ペア	4, 2

## DIMM の取り付け

DIMM を取り付けるには、以下を行います。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ 2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ 3. エアー・バッフルを取り外します。100 ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照してください。
- ステップ 4. システム・ボード上の DIMM スロットを確認します。次に、109 ページの「Unbuffered DIMM (UDIMM)」を参照し、取り付けの規則と順序を確認します。

ステップ 5. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。次に DIMM をパッケージから取り出します。

ステップ 6. DIMM スロットの両端にある保持クリップ **1** を開きます。次に、DIMM をスロットに取り付けます。

**注意：** 保持クリップを破損したり、DIMM スロットを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。

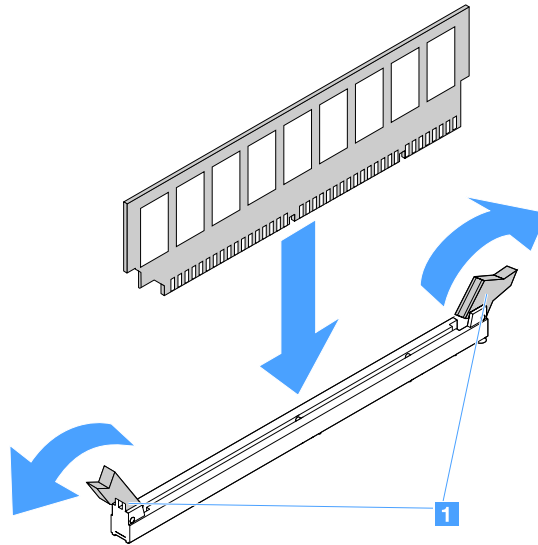


図 28. DIMM の取り付け

ステップ 7. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクタにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクタにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

**注：** DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

ステップ 8. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

## ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し

各ドライブに割り当てられたドライブ ID は、サーバーの前面に印刷されています。この ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。詳しくは、15 ページの「前面図」を参照してください。

### 注意：

- ハードディスク・ドライブ・コネクタを損傷しないように、ハードディスク・ドライブを取り付けるか取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにハードディスク・ドライブまたはフィラーを取り付けない状態で、2分を超えてサーバーを動作させないでください。
- ハードディスク・ドライブ、HDD コントローラ (システム・ボードに組み込まれたコントローラを含む)、HDD バックプレーン、または HDD ケーブルを変更する前に、ハードディスク・ドライブに保存されているすべての重要なデータをバックアップしてください。
- RAID アレイのいずれかのコンポーネントを取り外す前には、すべての RAID 構成情報とドライブ内のデータをバックアップしてください。

ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り外すには、以下を行います。



- ステップ1. セキュリティー・ベゼルを取り外します。101 ページの「[セキュリティー・ベゼルの取り外し](#)」を参照してください。
- ステップ2. 解放ボタン **1** を押して、ドライブのハンドル **2** を開きます。次に、ハンドルをつかんで、ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブをドライブ・ベイから引き抜きます。

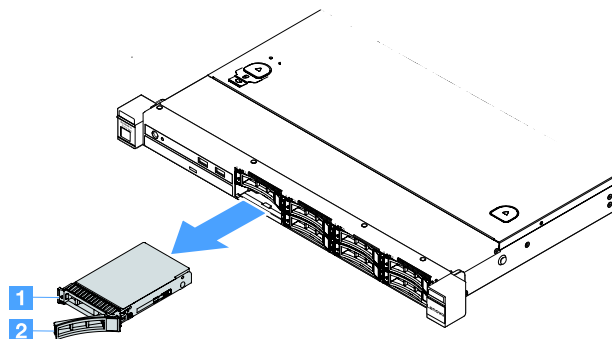


図29. 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し

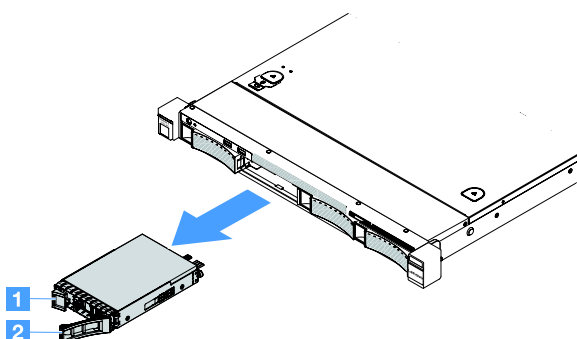


図30. 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し

- ステップ3. ベイに新しいホット・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り付けるか、フィラーを取り付けます。
- ステップ4. セキュリティー・ベゼルを再度取り付けます。102 ページの「[セキュリティー・ベゼルの取り付け](#)」を参照してください。

### ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け

各ドライブに割り当てられたドライブ ID は、サーバーの前面に印刷されています。この ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。詳しくは、15 ページの「[前面図](#)」を参照してください。

**注意：**ハードディスク・ドライブ・コネクタを損傷しないように、ハードディスク・ドライブを取り付けるか取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。

以下のヒントには、このサーバーがサポートするハードディスク・ドライブのタイプと、ハードディスク・ドライブの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

- このトピックの説明のほかに、ハードディスク・ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。

- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS または SATA ハードディスク・ドライブを取り付けている場合、そのデバイスの SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- サーバーには、最大 8 個の 2.5 型または 4 個の 3.5 型ホット・スワップ SAS または SATA ハードディスク・ドライブを取り付けることができます。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイと PCI および PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。ドライブを取り付けるときは、後でデバイスを取り外す場合に備えて、ベイから外した EMC シールドとフィルターを保存しておきます。
- サーバーでサポートされているオプション・デバイスの完全なリストについては、以下を参照してください。  
<http://www.lenovo.com/serverproven/>

ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ 1. セキュリティー・ベゼルを取り外します。101 ページの「[セキュリティ・ベゼルの取り外し](#)」を参照してください。
- ステップ 2. ドライブが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブを帯電防止パッケージから取り出し、帯電防止面の上に置きます。

ステップ3. ドライブ・ベイの中ハードディスク・ドライブを取り付けます。

- a. ハードディスク・ドライブ・フィルター **1** を取り外します。フィルターは安全な場所に保管してください。必ず、トレイ・ハンドル **2** を「開(ロック解除)」位置にします。
- b. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
- c. トレイ・ハンドルをロック位置に閉じます。

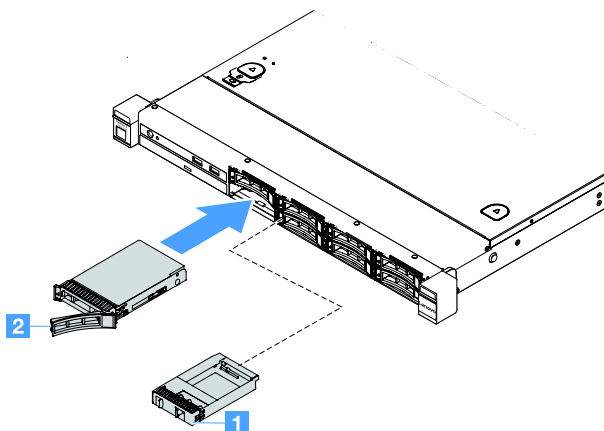


図31. 2.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け

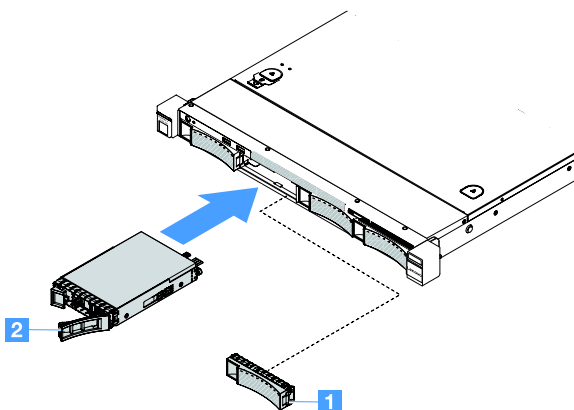


図32. 3.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け

ステップ4. ハードディスク・ドライブ状況 LED を調べ、ハードディスク・ドライブが正常に動作しているかどうかを確認します。ドライブの黄色のハードディスク・ドライブ状況 LED が継続的に点灯している場合、そのドライブには障害があるため、再取り付けの必要があります。緑色のハードディスク・ドライブ活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

注：ServeRAID アダプターを使用してサーバーを RAID 操作用に構成する場合、ハードディスク・ドライブの取り付け後にディスク・アレイを再構成する必要性が生じる可能性があります。RAID 操作の追加情報、および ServeRAID アダプターの使用に関する完全な説明については、ServeRAID アダプター資料を参照してください。

ステップ5. セキュリティー・ベゼルを再度取り付けます。102 ページの「[セキュリティー・ベゼルの取り付け](#)」を参照してください。

## シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し

各ドライブに割り当てられたドライブ ID は、サーバーの前面に印刷されています。この ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。詳しくは、[15 ページの「前面図」](#)を参照してください。

### 注意:

- ハードディスク・ドライブ・コネクタを損傷しないように、ハードディスク・ドライブを取り付けるか取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにハードディスク・ドライブまたはフィラーを取り付けない状態で、2分を超えてサーバーを動作させないでください。

シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り外すには、以下を行います。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ 2. セキュリティー・ベゼルを取り外します。[101 ページの「セキュリティー・ベゼルの取り外し」](#)を参照してください。

ステップ3. シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り外します。

- 2.5 型ドライブの場合は、リリース・ラッチ **1** を左にスライドさせながら、同時にハードディスク・ドライブをドライブ・ベイから引き出します。

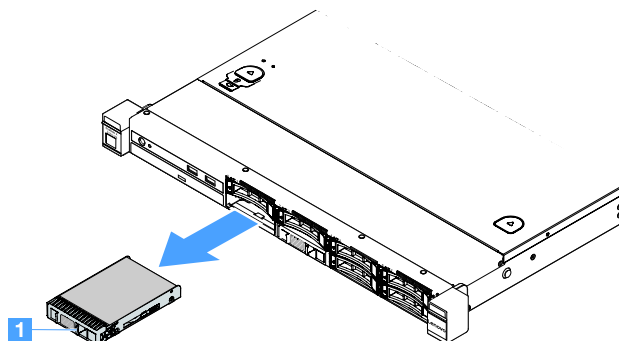


図 33. 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し

- 3.5 型ドライブの場合は、サーバーからドライブ・ベイ・フィラー **1** を取り外します。次に、リリース・ラッチ **2** を右にスライドさせながら、同時にハードディスク・ドライブをドライブ・ベイから引き出します。

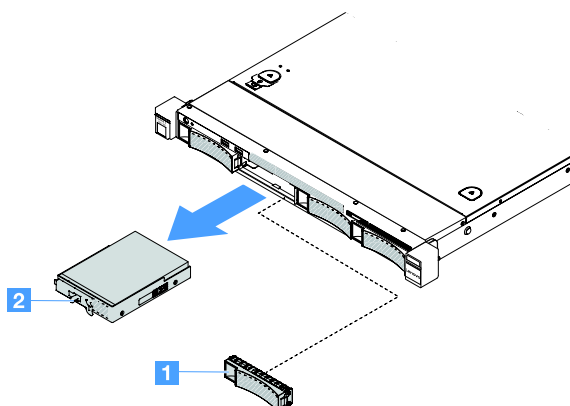


図 34. 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し

ステップ4. 必要に応じて、新しいドライブを取り付けてからフィラーを再度取り付けるか、直接フィラーを取り付けます。

ステップ5. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ステップ6. セキュリティー・ベゼルを再度取り付けます。102 ページの「セキュリティー・ベゼルの取り付け」を参照してください。

### シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け

各ドライブに割り当てられたドライブ ID は、サーバーの前面に印刷されています。この ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。詳細情報については、15 ページの「前面図」を参照してください。

シンプル・スワップ SAS または SATA ハードディスク・ドライブを取り付ける前に、次の情報をお読みください。サポートされているハードディスク・ドライブのリストについては、<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照してください。

- このトピックの説明のほかに、ハードディスク・ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判断してください。SAS または SATA デバイスを取り付ける場合は、そのデバイスの SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- サーバーには、最大 8 個の 2.5 型または 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ SAS または SATA ハードディスク・ドライブを取り付けることができます。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイと PCI および PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。ドライブを取り付けるときは、後でデバイスを取り外す場合に備えて、ベイから外した EMC シールドとフィラーを保存しておきます。
- サーバーでサポートされているオプション・デバイスの完全なリストについては、以下を参照してください。  
<http://www.lenovo.com/serverproven/>

シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ 2. セキュリティー・ベゼルを取り外します。101 ページの「[セキュリティー・ベゼルの取り外し](#)」を参照してください。
- ステップ 3. 空のドライブ・ベイからフィラーを取り外します。
- ステップ 4. ドライブが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブを帯電防止パッケージから取り出し、帯電防止面の上に置きます。

ステップ5. ドライブ・ベイの中ハードディスク・ドライブを取り付けます。

- 2.5 型ドライブの場合は、リリース・ラッチ **1** を左にスライドさせます。次に、ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。

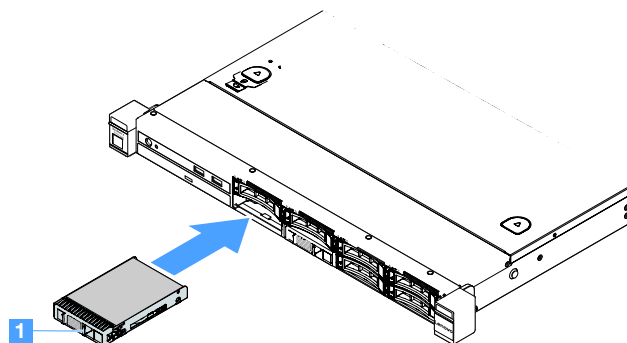


図35. 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け

- 3.5 型ドライブの場合は、リリース・ラッチ **2** を右にスライドさせ、ドライブが止まるまで静かにベイ内に押し込みます。次に、フィラーを再び取り付けます。

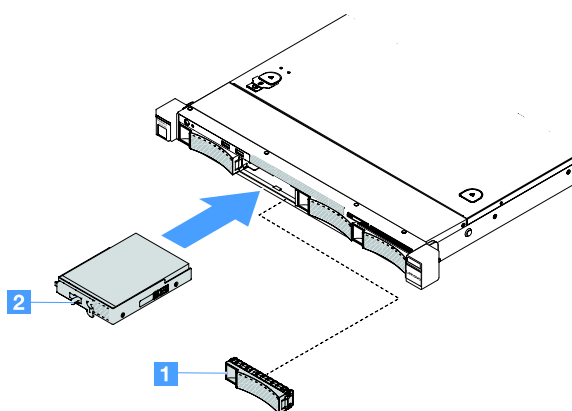


図36. 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け

ステップ6. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ステップ7. セキュリティー・ベゼルを再度取り付けます。102 ページの「セキュリティー・ベゼルの取り付け」を参照してください。

## 光学式ドライブの取り外し

光学式ドライブを取り外すには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

ステップ2. セキュリティー・ベゼルを取り外します。101 ページの「セキュリティー・ベゼルの取り外し」を参照してください。

ステップ3. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。



ステップ4. リリース・タブ **1** を図のように押すと同時に、光学式ドライブをつかんでドライブを背面から押して、ベイからスライドさせて取り出します。

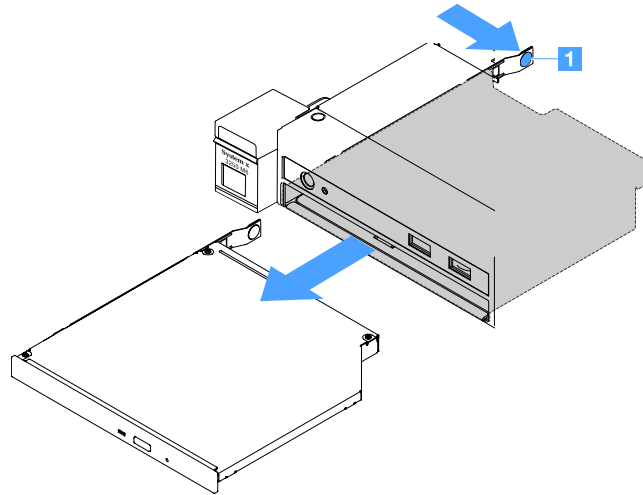


図37. 光学式ドライブの取り外し

ステップ 5. 光学式ドライブ・ケーブルを取り外します。

- a. システム・ボードから光学式ドライブ・ケーブルを切り離します。
- b. コネクター・ラッチ (ケーブル・コネクターの左側) を図のように押し、ケーブル・コネクターをつかんで右にスライドさせます。次に、光学式ドライブ・ケーブルをシャーシのコネクター・ブラケットから取り外します。

注意：光学式ドライブ・ケーブルを切り離すときは力を入れすぎないようにしてください。

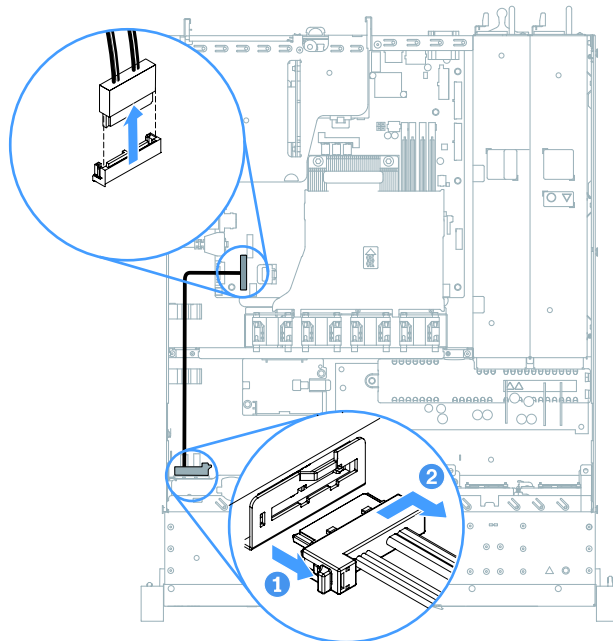


図 38. 光学式ドライブ・ケーブル切り離し

ステップ 6. 光学式ドライブから取り外したドライブの保持クリップを光学式ドライブ・フィルターの側面に取り付けます。120 ページの「光学式ドライブの取り付け」を参照してください。次に、光学式ドライブ・フィルターを光学式ドライブ・ベイに差し込み、カチッと音がして所定の位置に収まるまでスライドさせます。

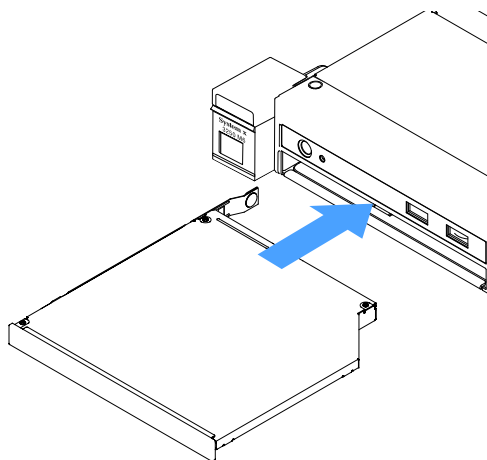


図 39. 光学式ドライブ・フィルターの取り付け

ステップ7. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ステップ8. セキュリティー・ベゼルを再度取り付けます。102 ページの「セキュリティー・ベゼルの取り付け」を参照してください。

## 光学式ドライブの取り付け

以下のヒントでは、サーバーがサポートする光学式ドライブのタイプの説明と、光学式ドライブを取り付けるときに考慮すべき事項について説明します。サポートされる光学式ドライブのリストについては、以下を参照してください。

<http://www.lenovo.com/serverproven/>

- このトピックの説明のほかに、光学式ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- すべてのケーブル、および光学式ドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。
- このサーバーは、1つのウルトラ・スリム SATA 光学式ドライブをサポートします。

光学式ドライブを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

ステップ2. セキュリティー・ベゼルを取り外します。101 ページの「セキュリティー・ベゼルの取り外し」を参照してください。

ステップ3. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。

ステップ4. 光学式ドライブ・フィルターを取り外します。

ステップ5. 光学式ドライブ・ケーブルを接続します。このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクタも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。

- a. コネクタとシャーシのコネクタ・ブラケットを位置合わせし、ケーブル・コネクタをブラケットに挿入して、しっかり取り付けられるまで右にスライドさせます。
- b. ケーブルのもう一方の端をシステム・ボードに接続します。

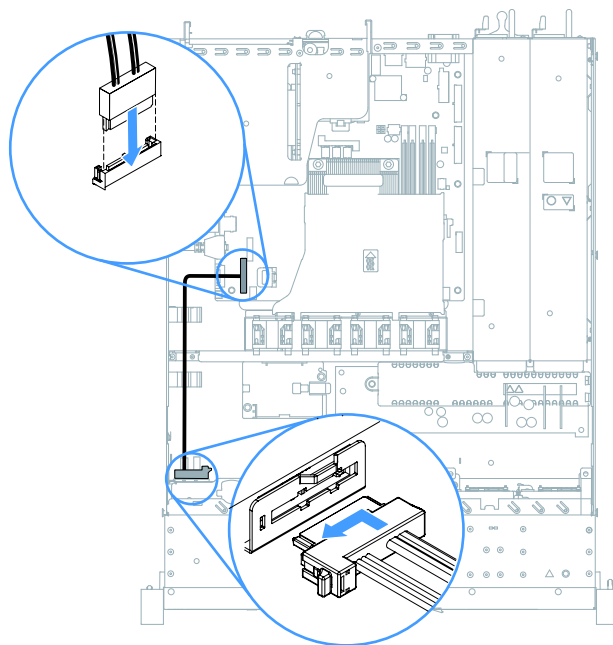


図40. 光学式ドライブのケーブル接続

- ステップ6. 新しい光学式ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。次に、光学式ドライブを帯電防止パッケージから取り出し、帯電防止面の上に置きます。
- ステップ7. 光学式ドライブに付属の説明書に従い、ジャンパーまたはスイッチを設定します。
- ステップ8. 光学式ドライブ・フィルターから取り外したドライブの保持クリップを新しい光学式ドライブの側面に取り付けます。保持クリップの位置合わせピン **1** の位置が光学式ドライブの対応する穴と合っていることを確認します。

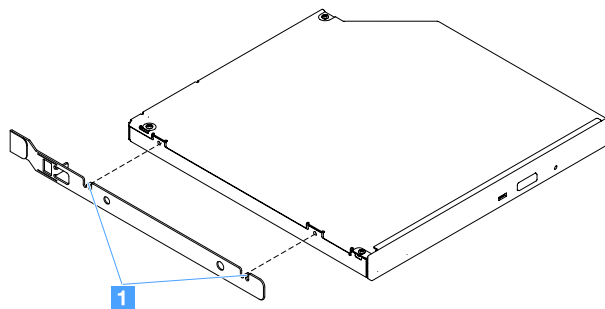


図41. 光学式ドライブ保持クリップの取り付け

ステップ9. 光学式ドライブをドライブ・ベイに位置合わせします。光学式ドライブをベイに差し込み、カチッと音がして所定の位置に収まるまでスライドさせます。

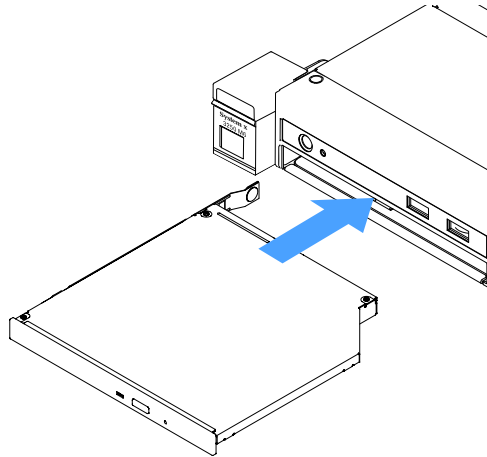


図42. 光学式ドライブの取り付け

ステップ10. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ステップ11. セキュリティー・ベゼルを再度取り付けます。102 ページの「セキュリティー・ベゼルの取り付け」を参照してください。

## アダプターの取り外し

アダプターを取り外すには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。

ステップ3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。

ステップ4. アダプターからケーブルを切り離します。

ステップ5. アダプターの上端を慎重につかみ、アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーから取り外します。

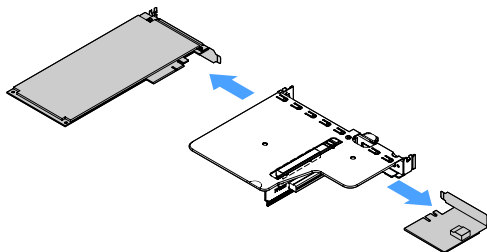


図43. アダプターの取り外し

ステップ6. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

## アダプターの取り付け

以下のヒントは、サーバーがサポートするアダプターのタイプと、アダプターを取り付けるときに考慮すべきその他の情報について説明します。

- 取り付けるアダプターをサーバーがサポートしていることを確認するには、以下を参照してください。  
<http://www.lenovo.com/serverproven/>
- このトピックの説明に追加して、アダプターに付属の資料に記載の説明にも従ってください。
- アダプターが UEFI ベース・サーバーで適切に機能するように、アダプター・ファームウェアおよびサポートするデバイス・ドライバーが最新バージョンに更新されていることを確認してください。
- アダプター・スロットは PCI ライザー・カード・アセンブリーにあります。アダプター・スロット 1 および 2 にアクセスするためには、まず PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外す必要があります。
  - **1** ServeRAID M1210 SAS/SATA コントローラー専用
  - **2** 1 つの PCI Express Gen3 x8 ハーフサイズ、フルハイトのアダプターをサポート

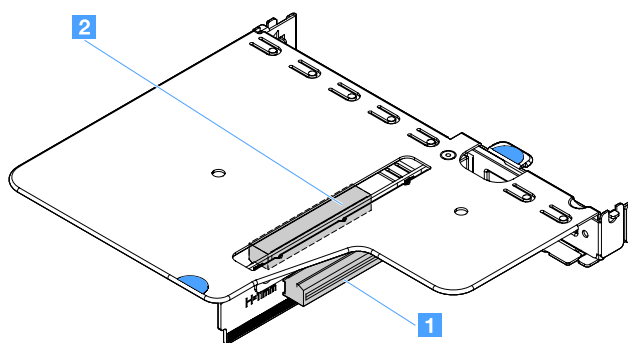


図 44. PCI ライザー・カード・アセンブリー

注：

- アダプターが既に構成されている場合は、可能な場合はアダプターを交換する前に構成情報をバックアップまたは記録します。詳しい手順については、ご使用のアダプターの資料を参照してください。
- ServeRAID アダプターを交換する場合は、交換が終了したら外部構成として交換用アダプターに RAID 構成をインポートします。詳しくは、<https://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086126> を参照してください。

アダプターを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ 2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ 3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ 4. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
- ステップ 5. アダプターを、コンポーネントが上を向くようにして平らで帯電防止された面に置き、必要であればアダプター・メーカーの説明に従いジャンパーまたはスイッチをセットします。
- ステップ 6. アダプターにケーブルを接続します。

ステップ7. PCI ライザー・カード・アセンブリーのスロットのそばにアダプターを配置します。次に、アダプターをライザー・カード・アセンブリーにしっかり押し込みます。アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリーにしっかり取り付けられていることを確認します。

**重要：** 金属製のアダプター・ブラケットの U 字の形の開口部が、PCI ライザー・カード・ケージ **1** のタブ **2** に噛み合っていることを確認してください。

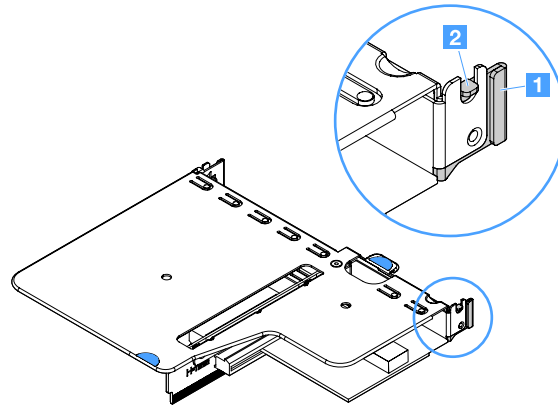


図 45. アダプターの取り付け

ステップ8. アダプター・ケーブルを配線します。173 ページの「内部ケーブルの配線」を参照してください。

ステップ9. PCI ライザー・カード・アセンブリーを再び取り付けます。104 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け」を参照してください。

**注意：** アダプターの取り付け時に、アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリーに正しく収まっていること、および PCI ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上のライザー・カード・コネクタにしっかり取り付けられていることを確認してから、サーバーの電源をオンにします。アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボード、PCI ライザー・カード・アセンブリー、またはアダプターが損傷するおそれがあります。

ステップ10. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

注：

- オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID 操作用に構成されている場合、アダプターを取り付けた後にディスク・アレイの再構成が必要になる場合があります。RAID 操作に関する追加情報および ServeRAID マネージャーの使用に関する詳しい説明については、*Lenovo ServeRAID Support CD* に収録されている ServeRAID の資料を参照してください。
- サーバーの再起動時、既存の RAID 構成を新規の ServeRAID SAS/SATA コントローラーにインポートするようにプロンプトが出されます。

### ServeRAID SAS/SATA コントローラー・メモリー・モジュールの取り外し

注：本書では、Lenovo ServeRAID SAS/SATA コントローラーを略して SAS/SATA アダプターまたは ServeRAID アダプターと記載することがあります。

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り外すには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

- ステップ 2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ 3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ 4. ServeRAID アダプターを取り外します。122 ページの「アダプターの取り外し」を参照してください。
- ステップ 5. メモリー・モジュールをつかみ、持ち上げて ServeRAID アダプターから取り外します。

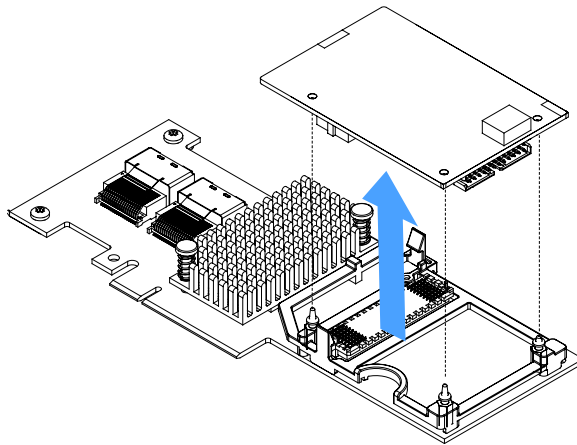


図 46. ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し

- ステップ 6. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

### ServeRAID SAS/SATA コントローラー・メモリー・モジュールの取り付け

注：本書では、Lenovo ServeRAID SAS/SATA コントローラーを略して SAS/SATA アダプターまたは ServeRAID アダプターと記載することがあります。

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ 2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ 3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ 4. ServeRAID アダプターを取り外します。122 ページの「アダプターの取り外し」を参照してください。
- ステップ 5. メモリー・モジュールが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからメモリー・モジュールを取り出します。



ステップ 6. メモリー・モジュールの下部にあるボード間コネクタ**1**を、ServeRAID アダプターのコネクタ**2**と位置合わせします。ServeRAID アダプター 3 つの取り付けスタッドが、メモリー・モジュールの対応する穴と合っていることを確認します。2 つのコネクタ**1**と**2**がしっかり結合されるまで、メモリー・モジュールを ServeRAID アダプターに慎重に押し込みます。

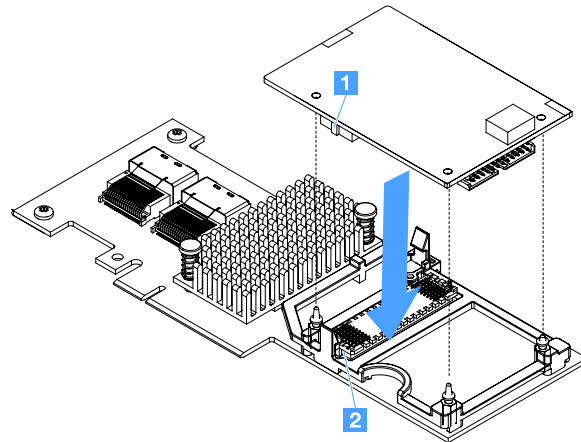


図 47. ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り付け

ステップ 7. ServeRAID アダプターを再取り付けします。123 ページの「アダプターの取り付け」を参照してください。

ステップ 8. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

### RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し

注：RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールは、2.5 型ドライブ・サーバー・モデルでのみサポートされています。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り外すには、以下を行います。

ステップ 1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

ステップ 2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。

- ステップ3. RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り外します。
- 保持器具を取り外します。
  - 保持クリップを開きます。
  - リリース・タブを外側に引きます。
  - バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを持ち上げて、ホルダーから取り外します。

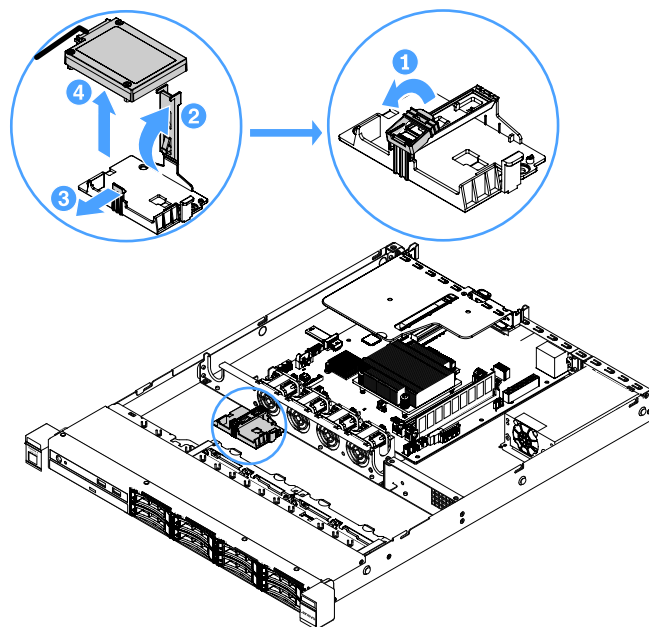


図48. RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し

- ステップ4. バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールからケーブルを切り離します。  
ステップ5. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

### RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け

バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールが付属している RAID アダプターを取り付ける場合、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサーバー内の別の場所に取り付ける必要がある場合があります。ご使用のサーバー・モデルによっては、バッテリーはリモート側で光学式ドライブ・ケージまたはバックプレーンの近くに取り付ける必要があります。

注：RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールは、2.5 型ドライブ・サーバー・モデルでのみサポートされています。

RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサーバーに取り付けるには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。

- ステップ4. PCI ライザー・カード・アセンブリーに RAID アダプターを取り付けます。123 ページの「[アダプターの取り付け](#)」を参照してください。
- ステップ5. ケーブルの一方の端を RAID アダプターのコネクタに接続します。該当のケーブルがケーブル・クリップを通り、バッテリー・ホルダーに被さったり邪魔になるケーブルがないことを確認してください。

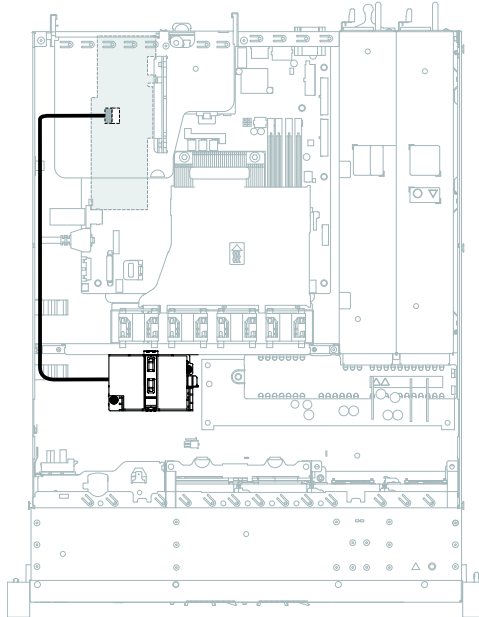


図49. RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのケーブル接続

注意：このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクタも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。

- ステップ6. ケーブルのもう一方の端を、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールに接続します。次に、保持器具を取り外し、バッテリー・ホルダーまたはモジュールホルダーの保持クリップを開きます。

ステップ7. バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り付けます。

- a. リリース・タブを外側に引きます。
- b. バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをホルダー内に配置し、ホルダーがバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをしっかりと固定していることを確認します。
- c. 保持クリップがカチッと音がして所定の位置に収まり、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールが所定の位置にしっかりと保持されるまで、保持クリップを押し下げます。
- d. 保持器具を取り付けます。

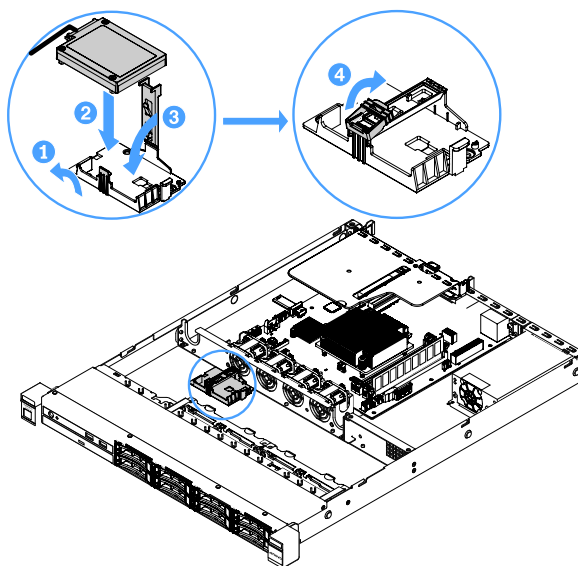


図 50. RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け

注：リモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの位置は、取り付けるリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのタイプによって異なります。

ステップ8. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

## USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ3. エアー・バッフルを取り外します。100 ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ5. システム・ボード上で USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクタを見付けます。21 ページの「システム・ボード・コネクタ」を参照してください。

ステップ6. フラッシュ・デバイス・コネクタ上のロック・バーをスライドさせてロック解除位置にし、USB フラッシュ・デバイスをコネクタから引き出します。

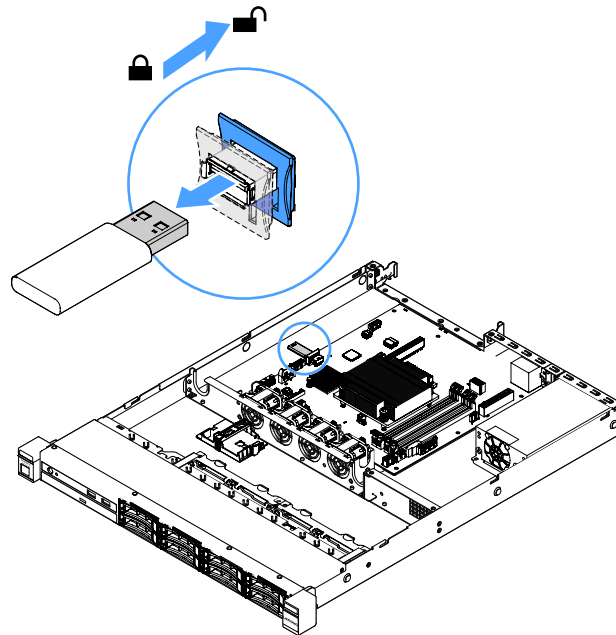


図 51. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

ステップ7. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

### USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ3. エアー・バッフルを取り外します。100 ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. PCI ライザー・カード・アセンブリを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリの取り外し」を参照してください。
- ステップ5. システム・ボード上で USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクタを見付けます。21 ページの「システム・ボード・コネクタ」を参照してください。

ステップ 6. USB フラッシュ・デバイスをシステム・ボード上のコネクタと位置合わせし、しっかりと装着されるまでコネクタに押し込みます。次に、フラッシュ・デバイス・コネクタのロック・バーをロック位置までスライドさせます。

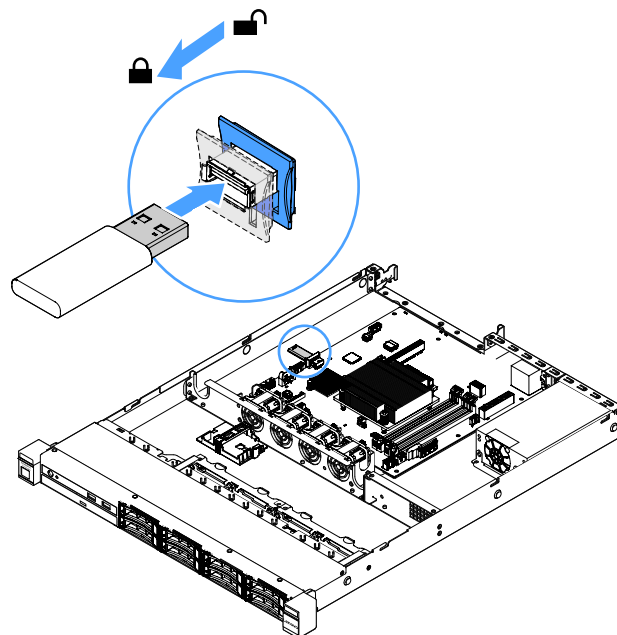


図 52. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

ステップ 7. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

### 前面 I/O 部品の取り外し

前面 I/O 部品には、オペレーター情報パネルおよび 2 本のケーブルがあります。

前面 I/O 部品を取り外すには、以下を行います。

ステップ 1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

ステップ 2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。

ステップ3. USB ケーブルおよびオペレーター情報パネル・ケーブルをシステム・ボードから切り離します。

- USB ケーブルを外すには、USB ケーブル・コネクタの上部にあるリリース・ラッチ **1** を押します。次に、USB ケーブル・コネクタを引き出してシステム・ボードの USB コネクタから取り外します。
- オペレーター情報パネル・ケーブル・コネクタを外すには、ケーブル・コネクタの両側にあるリリース・ラッチ **2** を押します。次に、システム・ボードのオペレーター情報パネル・コネクタからケーブル・コネクタを引き出し、取り外します。

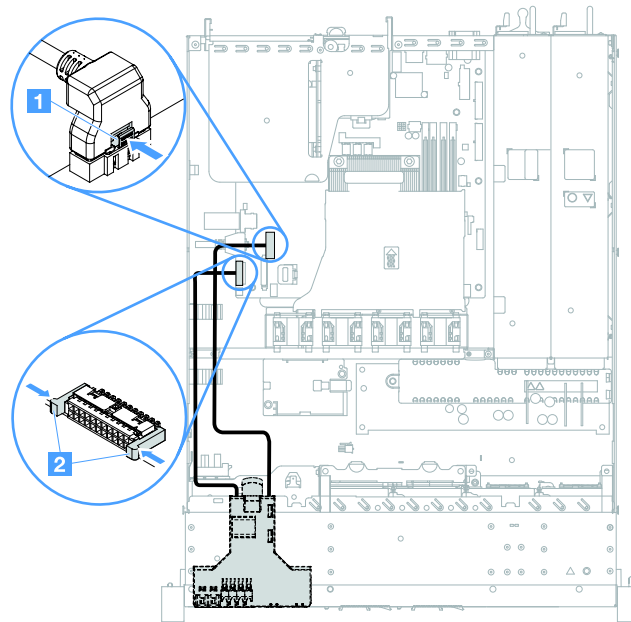


図 53. USB ケーブルおよびオペレーター情報パネル・ケーブルの取り外し

ステップ4. 前面 I/O 部品の後部にあるリリース・タブを見つけます。次に、リリース・タブを持ち上げ、前面 I/O 部品を慎重に引き抜きます。

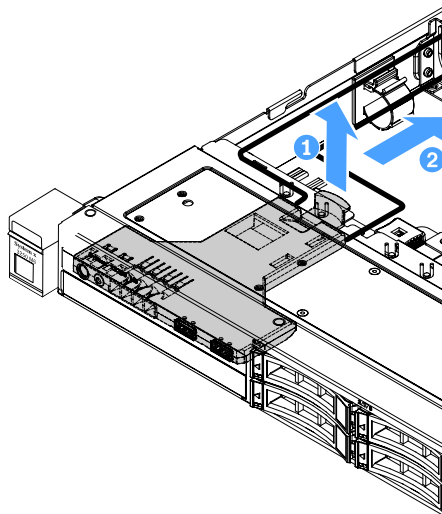


図54. 前面 I/O 部品の取り外し

ステップ5. 新しい前面 I/O 部品を取り付けます。133 ページの「前面 I/O 部品の取り付け」を参照してください。

### 前面 I/O 部品の取り付け

前面 I/O 部品には、オペレーター情報パネルおよび2本のケーブルがあります。分電盤を前面 I/O 部品から取り外した場合、サーバーの電源を入れる前に新しいものを取り付けます。

前面 I/O 部品を取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. 図のように、前面 I/O 部品を、カチッと音がして所定の位置に収まるまで慎重にサーバー内に押し込みます。

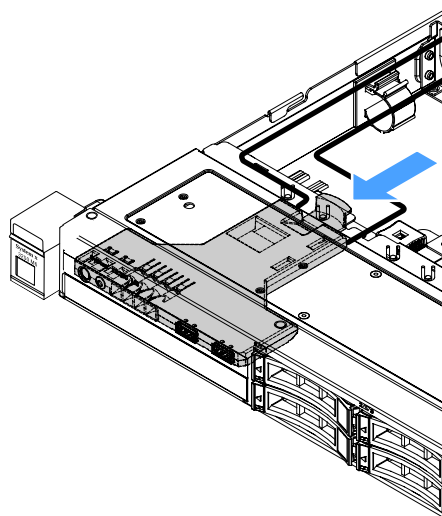


図55. 前面 I/O 部品の取り付け



- ステップ2. USB ケーブルおよびオペレーター情報パネル・ケーブルをシステム・ボード上のコネクタに再接続します。適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。
- ステップ3. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

### 作動温度の機能拡張キットの取り外し

作動温度の機能拡張キットを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. システム・ボードから作動温度の機能拡張キット・コネクタを切り離します。

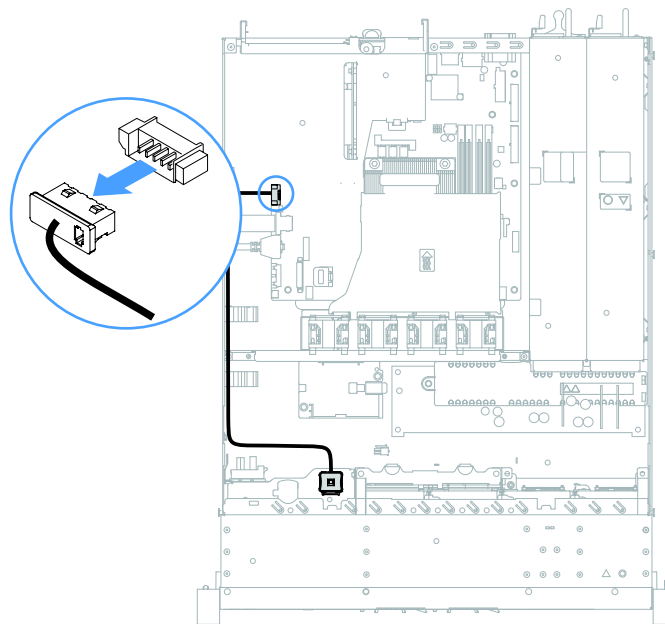


図 56. 2.5 型ドライブ・モデルでの作動温度の機能拡張キットのケーブルの切り離し

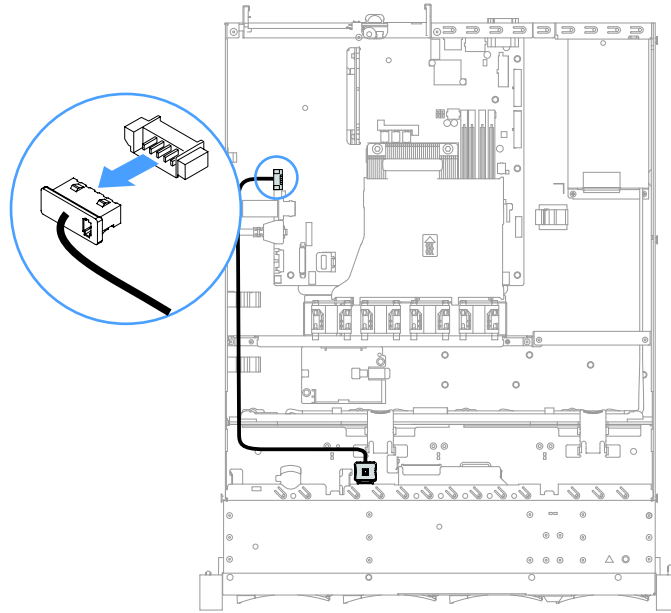


図 57. 3.5 型ドライブ・モデルでの作動温度の機能拡張キットのケーブルの切り離し

ステップ 5. ハードディスク・ドライブ・ケージのスロット **2** から作動温度の機能拡張キット **1** を切り離します。

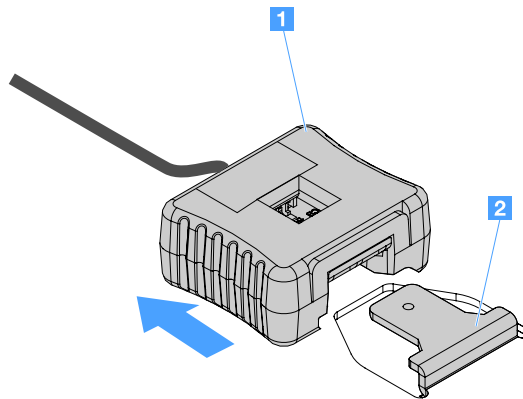


図 58. 作動温度の機能拡張キットの取り外し

ステップ 6. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

### 作動温度の機能拡張キットの取り付け

作動温度の機能拡張キットを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ 2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ 3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。

ステップ4. システム・ボードに作動温度の機能拡張キット・コネクタを接続します。

ステップ5. ケーブルをシャーシに沿って配線します。適切なケーブルがケーブル・クリップを通してあることを確認してください。

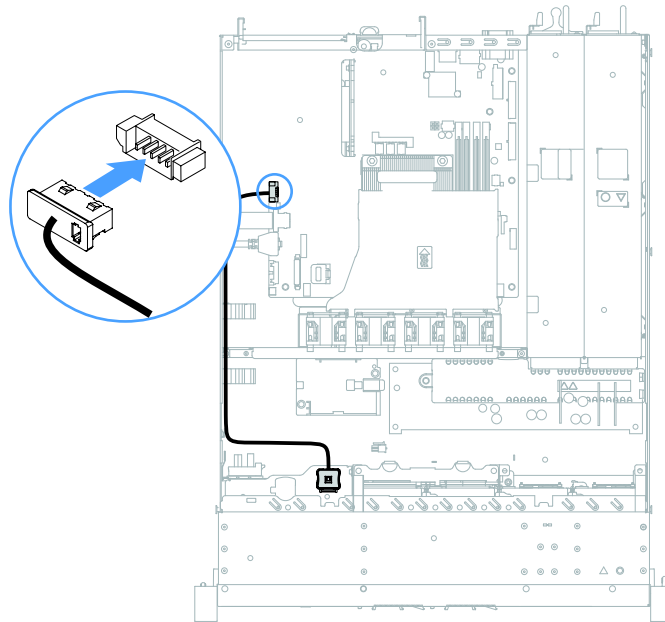


図 59. 2.5 型ドライブ・モデルでの作動温度の機能拡張キットのケーブル接続

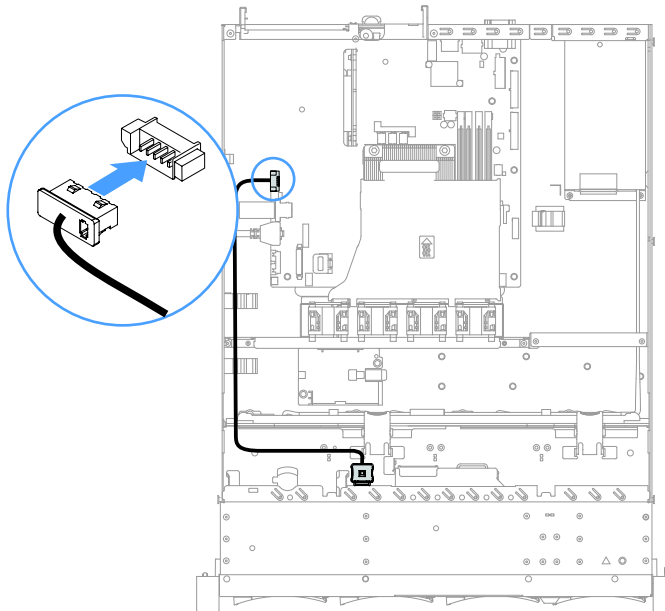


図 60. 3.5 型ドライブ・モデルでの作動温度の機能拡張キットのケーブル接続

注意：このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクタも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。

ステップ 6. 作動温度の機能拡張キット **1** を、カチッと音がして所定の位置にロックされるまでハードディスク・ドライブ・ケージのスロット **2** に差し込みます。

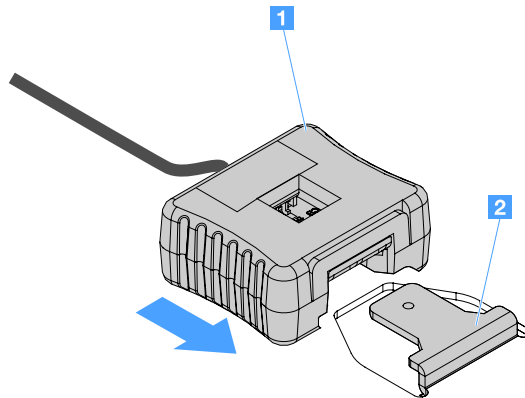


図 61. 作動温度の機能拡張キットの取り付け

ステップ 7. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

### システム・ファンの取り外し

システム・ファンを取り外すには、以下を行います。

- ステップ 1. IMM2.1 イベント・ログを調べて、交換が必要なファンを判別します。エラー・メッセージについては、193 ページの付録 A「Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ」を参照してください。
- ステップ 2. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ 3. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ 4. エアー・バッフルを取り外します。100 ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照してください。
- ステップ 5. システム・ボードからファン・ケーブルを切り離します。コネクタへのファン・ケーブルの引き回しを記録します。ファンを取り付けるときに、ファン・ケーブルを同じ経路で配線する必要があります。

ステップ6. ファンを上の人差し指と親指でつまみ、サーバーからファンを取り出します。

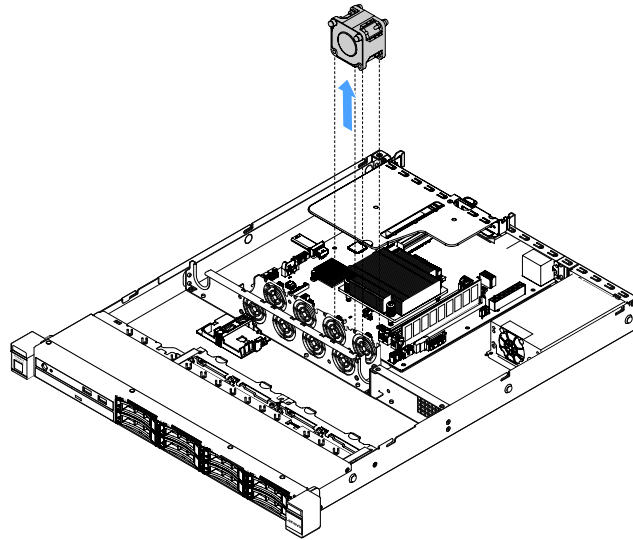


図 62. システム・ファンの取り外し

ステップ7. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

### システム・ファンの取り付け

システム・ファンを取り付けるには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ3. エアー・バッフルを取り外します。100 ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. ファンの排気方向を示す矢印がサーバーの背面を指すように、新しいファンの向きを定めます。

注：正しい排気は、サーバーの前面から背面への向きです。

ステップ5. ファンをブラケットに挿入します。次に、ファン・ケーブルをファン・ブラケットのファン・ケーブル・スロット内に配線します。ファンの2つのグレーで柔らかなタブが、ファン・ブラケットの対応するスロットにしっかりと収まっていることを確認します。

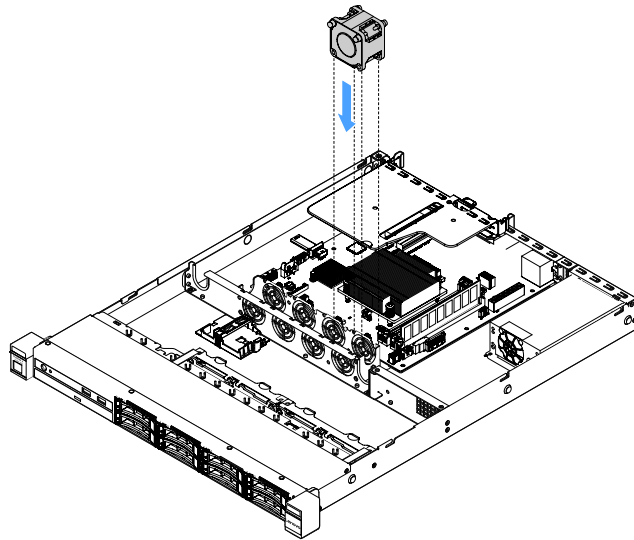


図 63. システム・ファンの取り付け

ステップ6. 新しいファン・ケーブルをシステム・ボードに接続します。システム・ボード上のファン・コネクタの位置を確認するには、21 ページの「システム・ボード・コネクタ」を参照してください。

ステップ7. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

## コイン型電池の取り外し

以下のヒントでは、コイン型電池の取り外し時に考慮すべき事項について説明します。

- Lenovo は安全性を考慮してこの製品を設計しました。リチウムコイン型電池は適切に取り扱い、危険を避ける必要があります。コイン型電池を交換するときは、以下の指示に従ってください。

注：米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。

- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常のごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定のビジネス・パートナーにご連絡ください。

注：コイン型電池の交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻を再設定する必要があります。



警告：

リチウム・バッテリーを交換する場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイ

プのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100° C (212° F) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

注：コイン型電池を取り外した後は、新しいものを取り付ける必要があります。140 ページの「[コイン型電池の取り付け](#)」を参照してください。

コイン型電池を取り外すには、以下を行います。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ 2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「[サーバー・カバーの取り外し](#)」を参照してください。
- ステップ 3. 必要に応じて、エア・バッフルを取り外します。100 ページの「[エア・バッフルの取り外し](#)」を参照してください。
- ステップ 4. コイン型電池の位置を確認します。21 ページの「[システム・ボード・コネクタ](#)」を参照してください。
- ステップ 5. コイン型電池を取り外します。

注意：

- 正しくコイン型電池を取り外さないと、システム・ボード上のソケットが損傷する可能性があります。ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
- 過度の力でコイン型電池を傾けたり押ししたりしないでください。

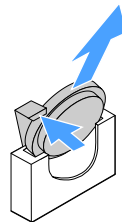


図 64. コイン型電池の取り外し

ステップ 6. コイン型電池を廃棄する場合は地方自治体の条例または規則に従ってください。

## コイン型電池の取り付け

以下のヒントでは、コイン型電池の取り付け時に考慮すべき事項について説明します。

- コイン型電池に付属している取扱説明書や手順書に従ってください。
- Lenovo は安全性を考慮してこの製品を設計しました。リチウム・バッテリーは適切に取り扱い、危険を避ける必要があります。コイン型電池を取り付けるときは、以下の指示に従ってください。

注：米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。

- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常のごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定のビジネス・パートナーにご連絡ください。

注：コイン型電池の取り付け後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。



**警告：**

リチウム・バッテリーを取り付ける場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの取り付けには同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100° C (212° F) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

コイン型電池を取り付けるには、以下を行います。

ステップ 1. 新しいコイン型電池を取り付けます。コイン型電池保持器具にバッテリーがしっかり収まっているか確認します。

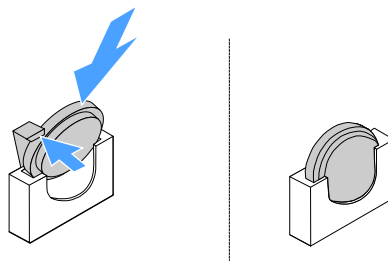


図 65. コイン型電池の取り付け

ステップ 2. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ステップ 3. Setup Utility を起動して、構成をリセットします。

- a. システムの日付と時刻を設定します。
- b. 始動パスワードを設定します。



c. サーバーを再構成します。

詳しくは、[29 ページの「Setup Utility プログラムの開始」](#)を参照してください。

## 固定パワー・サプライの取り外し

固定パワー・サプライの取り外しを行うときは、次の注意事項をお読みください。



警告：

パワー・サプライまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

注：固定パワー・サプライを取り外した後は、新しいものを取り付ける必要があります。[143 ページの「固定パワー・サプライの取り付け」](#)を参照してください。

固定パワー・サプライを取り外すには、以下を行います。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ 2. サーバーのカバーを取り外します。[98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」](#)を参照してください。
- ステップ 3. システムボードおよび内部デバイスのコネクタからパワー・サプライ・ケーブルを切り離します。次に、ケーブルを保持クリップから取り外します。

注：パワー・サプライ・ケーブルのすべての配線を記録して、パワー・サプライを取り付けるときパワー・サプライ・ケーブルを同じ経路で配線できるように備えます。
- ステップ 4. 固定パワー・サプライを取り外します。
  - a. パワー・サプライをシャーシの後部に固定しているねじを取り外します。
  - b. パワー・サプライをサーバーの前面方向に押し、パワーサプライをシャーシから外します。
  - c. パワー・サプライをシャーシから持ち上げて取り出します。

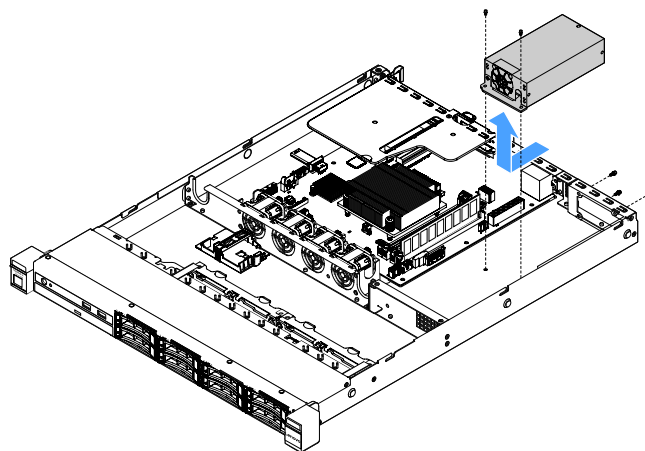


図 66. 固定パワー・サプライの取り外し

### 固定パワー・サプライの取り付け

固定パワー・サプライの取り付けを行うときは、次の注意事項をお読みください。



警告：

パワー・サプライまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

固定パワー・サプライを取り付けるには、以下を行います。

ステップ 1. 固定パワー・サプライを取り付けます。

- a. シャーシ上にパワー・サプライを配置します。
- b. パワー・サプライがシャーシにはまるまで、パワー・サプライをサーバーの背面方向に押し込みます。
- c. パワー・サプライをシャーシに固定するねじを取り付けます。

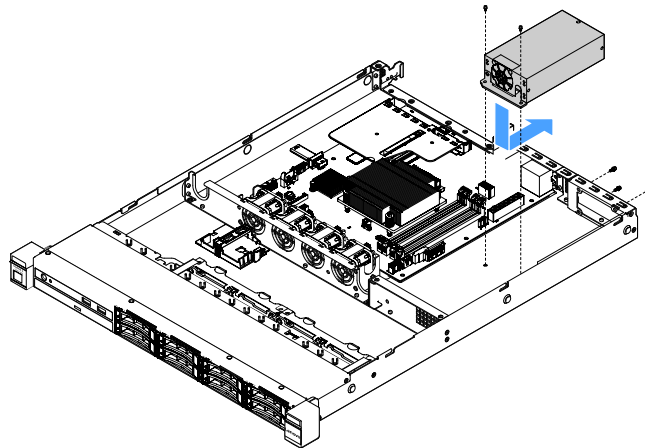


図 67. 固定パワー・サプライの取り付け

ステップ 2. 内部パワー・サプライ・ケーブルをパワー・サプライからシステム・ボード上のパワー・サプライ・コネクタおよび CPU 電源コネクタに接続します。システム・ボード上の電源コネクタの位置を確認するには、[21 ページの「システム・ボード・コネクタ」](#)を参照してください。

ステップ 3. 内部のパワー・サプライ・ケーブルを配線し、保持クリップで固定します。

ステップ 4. 以下のようにして、パワー・サプライをテストします。

- a. 新しいパワー・サプライ用の AC 電源コードの一方の端をパワー・サプライ・コネクタに接続し、電源コードの他方の端を適切に接地された電源コンセントに接続します。システム・ボードのスタンバイ電源 LED が点灯していることを確認します。[24 ページの「システム・ボード LED」](#)を参照してください。
- b. スタンバイ電源 LED が点灯していない場合は、この手順を中止して新しいパワー・サプライを入手します。
- c. 電源制御ボタンを押します。サーバー前面のパワーオン LED が点灯するのを確認します。サーバーが起動する場合は、次のステップに進みます。サーバーが起動しない場合は、AC 電源コードを切り離してサービスを依頼してください。

ステップ 5. サーバーの電源をオフにし、AC 電源コードを切り離します。

ステップ 6. 部品交換を完了します。[189 ページの「部品交換の完了」](#)を参照してください。

ステップ 7. 電源制御ボタンを押します。サーバー前面のパワーオン LED が点灯するのを確認します。

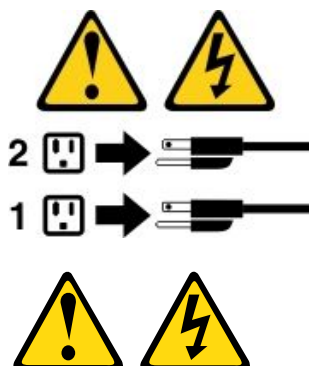
## ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し

パワー・サプライを取り外す場合は、以下の予防措置を守ってください。



警告：

デバイスの電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、デバイスに供給されている電流をオフにするものではありません。デバイスには2本以上の電源コードが使われている場合があります。デバイスから完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。



警告：

パワー・サプライまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

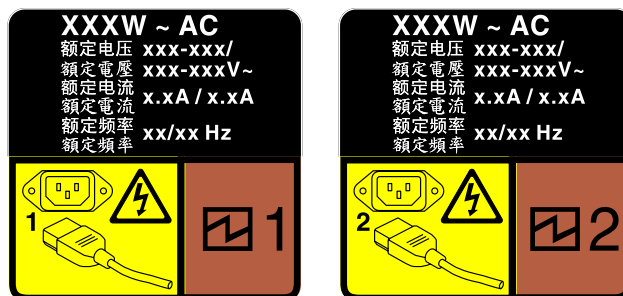


図 68. カバー上のホット・スワップ・パワー・サプライのラベル

ホット・スワップ・パワー・サプライを取り外すには、以下を行います。

注意：冗長性を得るために2つのパワー・サプライが取り付けられている場合、このタイプのパワー・サプライはホット・スワップ専用です。パワー・サプライが1台しか取り付けられていない場合は、パワー・サプライを取り外す前に、まずサーバーの電源をオフにする必要があります。

ステップ 1. サーバーがラックに取り付けられている場合は、ケーブル管理アームを後ろに引いて、サーバー背面およびパワー・サプライにアクセスできるようにします。

ステップ2. ホット・スワップ・パワー・サプライから電源コードを抜きます。

ステップ3. ハンドルの方向に解放タブを押すと同時にハンドルを慎重に引いて、ホット・スワップ・パワー・サプライをスライドさせシャーシから取り出します。

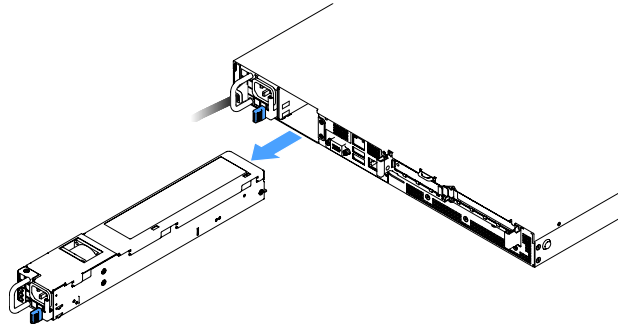


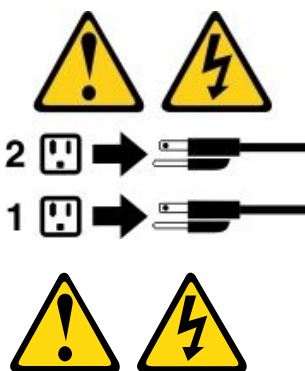
図 69. ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し

ステップ4. パワー・サプライ・フィルターまたは新しいパワー・サプライを取り付けてパワー・サプライ・ベイを覆います。146 ページの「ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け」を参照してください。

### ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

以下のヒントでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 460 ワット・パワー・サプライ・サーバー・モデルの場合、標準的な出荷形態では、460 ワット・パワー・サプライが1つのみサーバーに取り付けられています。冗長性およびホット・スワップをサポートするには、追加の460 ワット・ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける必要があります。特定のカスタマイズされたモデルでは、出荷時に2つのパワー・サプライが取り付けられている場合もあります。
- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされるオプションのデバイスのリストについては、<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照してください。



警告：

パワー・サプライまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

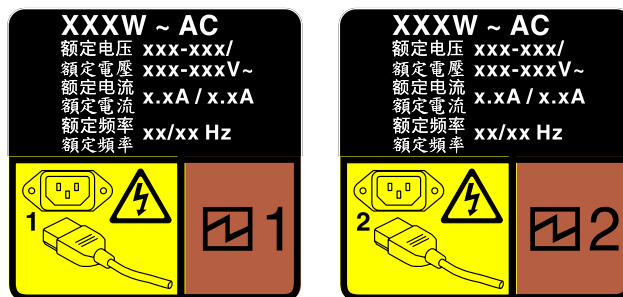


図70. カバー上のホット・スワップ・パワー・サプライのラベル

ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. パワー・サプライ・フィルターを取り外します。次に、ホット・スワップ・パワー・サプライを、リリース・ラッチがカチッと音がして所定の位置に収まるまでベイ内にスライドさせます。

**重要：**サーバーの通常動作時に適正な冷却を確保するために、パワー・サプライ・ベイが両方とも占拠されている必要があります。つまり、それぞれのベイにパワー・サプライが取り付けられているか、片方にパワー・サプライ、もう片方にパワー・サプライ・フィルターが取り付けられている必要があります。

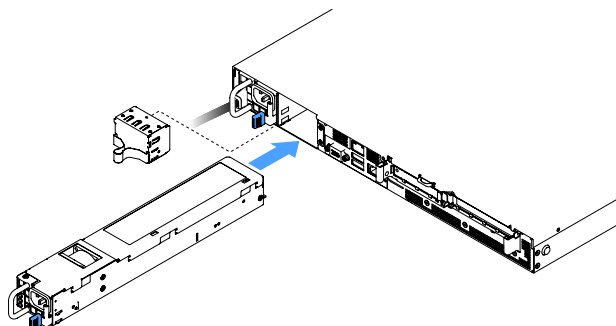


図71. ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

ステップ2. 電源コードの片方の端を新しいパワー・サプライのコネクターに接続し、次に電源コードのもう片方の端を正しく接地された電源コンセントに接続します。

ステップ3. サーバーの電源がオフの場合は、サーバーの電源をオンにします。パワー・サプライ上の AC 電源 LED が点灯して、パワー・サプライが正しく動作していることを示していることを確認します。サーバーの電源がオンになったら、パワー・サプライ上の DC 電源 LED も点灯していることを確認します。

## PCI ライザー・カード・アセンブリーからの PCI ライザー・カードの取り外し

PCI ライザー・カード・アセンブリーから PCI ライザー・カードを取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ4. PCI ライザー・カードをライザー・カード・ブラケットに固定しているねじを取り外します。次に、PCI ライザー・カードを取り外します。

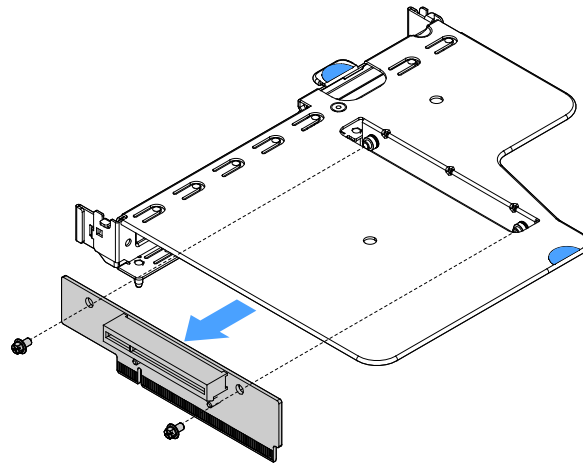


図72. PCI ライザー・カードの取り外し

ステップ5. ライザー・カード・アセンブリーに新しい PCI ライザー・カードを取り付けます。148 ページの「ライザー・カード・アセンブリーへの PCI ライザー・カードの取り付け」を参照してください。

## ライザー・カード・アセンブリーへの PCI ライザー・カードの取り付け

PCI ライザー・カード・アセンブリーから PCI ライザー・カードを取り外した場合は、サーバーの電源をオンにする前に新しい PCI ライザー・カードを PCI ライザー・カード・アセンブリーに取り付けます。

PCI ライザー・カード・アセンブリーに PCI ライザー・カードを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. PCI ライザー・カードの穴をライザー・カード・ブラケットの穴に合わせます。次に、ねじを取り付けて PCI ライザー・カードをライザー・カード・ブラケットに固定します。

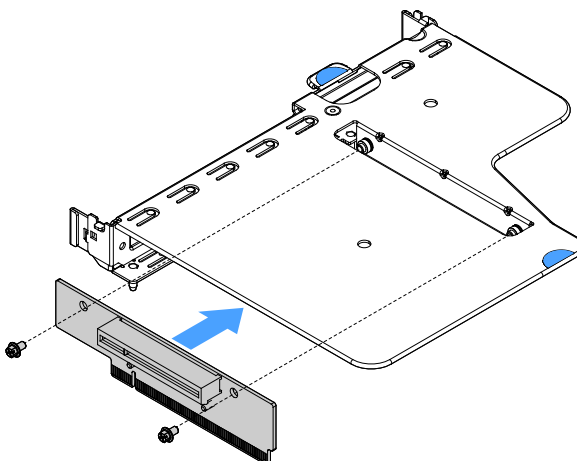


図 73. PCI ライザー・カード・ブラケットの取り付け

- ステップ 2. 必要な場合は、アダプターを取り付けます。123 ページの「アダプターの取り付け」を参照してください。次に、アダプター用のケーブルを接続します。
- ステップ 3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを再び取り付けます。104 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け」を参照してください。
- ステップ 4. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

## 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し

注：2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り外した後は、新しいものを取り付ける必要があります。150 ページの「2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け」を参照してください。

2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り外すには、以下を行います。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ 2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ 3. ハードディスク・ドライブまたはフィラーをサーバーから取り出します。110 ページの「ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し」を参照してください。
- ステップ 4. すべてのケーブルをハードディスク・ドライブ・バックプレーンから切り離します。



ステップ 5. バックプレーン上の青色のタブを持ち上げ、バックプレーンをシャーシから取り外します。

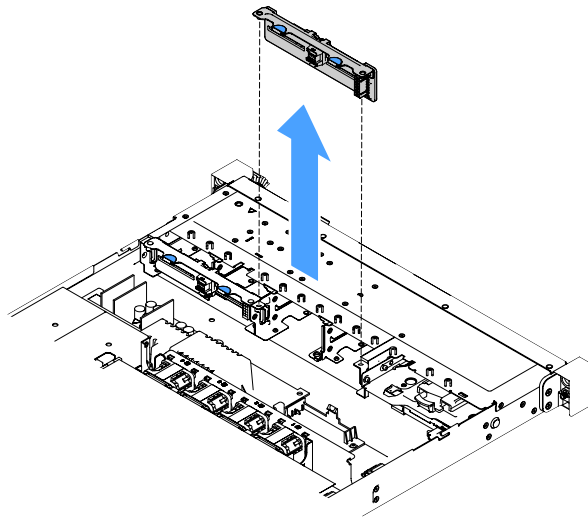


図 74. 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し

## 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け

次の図は、2つ目の2.5型ハードディスク・ドライブ・バックプレーンのアップグレード・キットの内容を示しています。

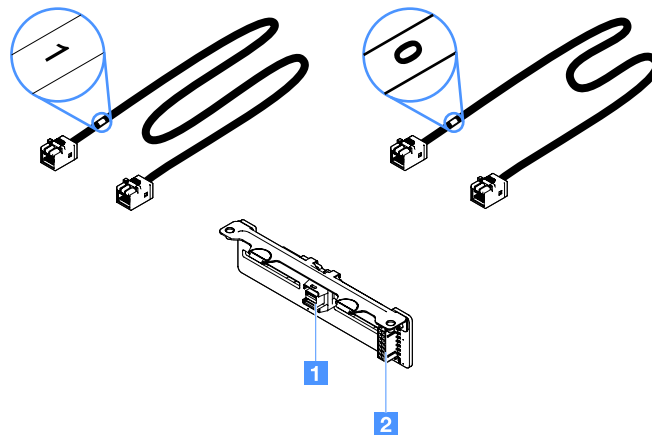


図 75. 2つ目の2.5型ハードディスク・ドライブ・バックプレーンのアップグレード・キット

**1** Mini-SAS 信号ケーブル・コネクタ

**2** 電源コネクタ

2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. バックプレーンの位置をシャーシ内のバックプレーン位置合わせスロットに合わせます。次に、ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを、シャーシ内に完全に収まるまで慎重に下ろします。

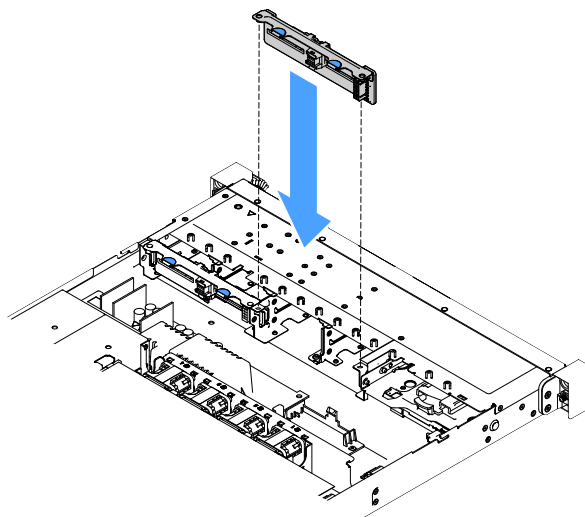


図76. 2.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け

ステップ2. ハードディスク・ドライブ・バックプレーンから取り外したすべてのケーブルを再接続します。

ステップ3. 2つ目のバックプレーンを取り付ける必要がある場合はステップ4を繰り返してください。

ステップ4. RAIDアダプターを取り付けます。123ページの「アダプターの取り付け」を参照してください。

ステップ5. 電源ケーブルおよび信号ケーブルを接続します。以下のトピックを参照してください。

- 184ページの「ホット・スワップHDDケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATAコントローラーおよびホット・スワップ・パワー・サプライ」
- 179ページの「ホット・スワップHDDケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATAコントローラーおよび固定パワー・サプライ」

ステップ6. ハードディスク・ドライブとフィルラーを再取り付けします。111ページの「ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け」を参照してください。

ステップ7. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

## 2.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取り外し

注：2.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーを取り外した後は、新しいものを取り付ける必要があります。152ページの「2.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取り付け」を参照してください。

2.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーを取り外すには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。

- ステップ 3. PCI ライザー・カード・アセンブリーが取り付けられている場合は、これを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- ステップ 4. RAID アダプターあるいはシステム・ボードからケーブルを切り離します。173 ページの「内部ケーブルの配線」を参照してください。次に、ケーブル・クリップから対応するケーブルを取り外します。
- ステップ 5. 取り付けられているハードディスク・ドライブまたはフィラーをドライブ・ベイから取り外します。114 ページの「シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し」を参照してください。
- ステップ 6. バックプレート・アセンブリー上の青色のタブをつかんで、バックプレート・アセンブリーをシャーシから持ち上げます。

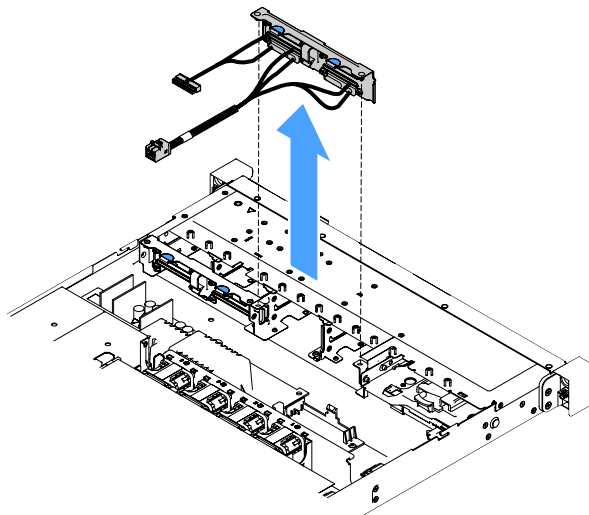


図 77. 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取り外し

## 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取り付け

2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーには、以下の 3 つのタイプがあります。以下の図で、タイプ a および b は、RAID アダプターを搭載したサーバー・モデル用です。タイプ c は、オンボード・ソフトウェア RAID 構成を持つサーバー・モデル用です。

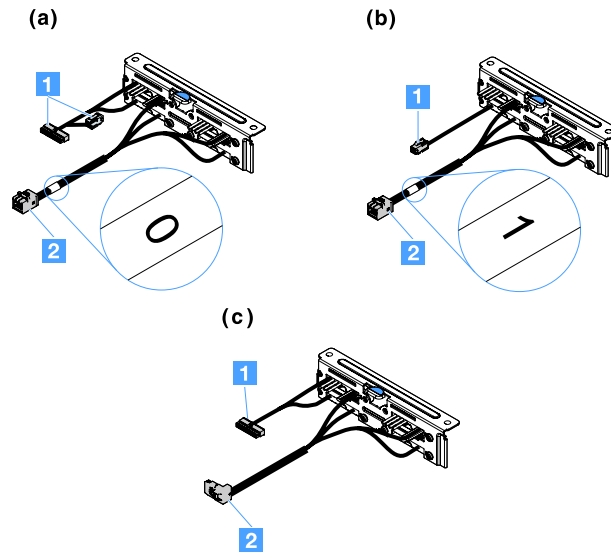


図 78. 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリー

**1** 電源コネクタ

**2** Mini-SAS 信号コネクタ

2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーを取り付けるには、以下を行います。

ステップ 1. バックプレート・アセンブリーを、シャーシのバックプレート・アセンブリー位置合わせスロットと位置合わせします。次に、バックプレート・アセンブリーを、しっかりとシャーシ内に装着されるように慎重にシャーシ内に下ろします。

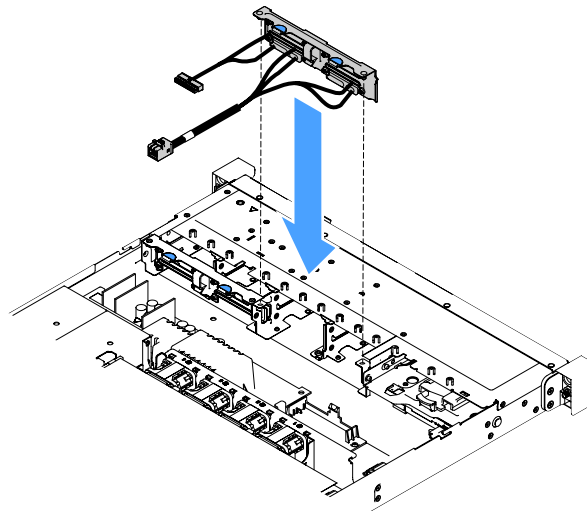


図 79. 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取り付け

ステップ 2.

ケーブルを RAID アダプターまたはシステム・ボードに接続します。以下のトピックを参照してください。

- [177 ページの「シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: オンボード RAID」](#)
- [181 ページの「シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよび固定パワー・サプライ」](#)
- [186 ページの「シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよび冗長パワー・サプライ」](#)

ステップ 3. ハードディスク・ドライブまたはフィラーを再取り付けします。[115 ページの「シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け」](#)を参照してください。

ステップ 4. 部品交換を完了します。[189 ページの「部品交換の完了」](#)を参照してください。

### 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し

注：3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り外した後は、新しいものを取り付ける必要があります。[155 ページの「3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け」](#)を参照してください。

3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り外すには、以下を実行します。

ステップ 1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

ステップ 2. サーバーのカバーを取り外します。[98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」](#)を参照してください。

ステップ 3. PCI ライザー・カード・アセンブリーが取り付けられている場合は、これを取り外します。[103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」](#)を参照してください。

ステップ 4. 取り付けられているハードディスク・ドライブまたはフィラーをドライブ・ベイから取り外します。[110 ページの「ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し」](#)を参照してください。

ステップ5. 次の図に示すように、シャーシの保持ラッチを回転させます。次に、バックプレーン・アセンブリーを慎重に外側に引いて持ち上げ、シャーシから取り出します。

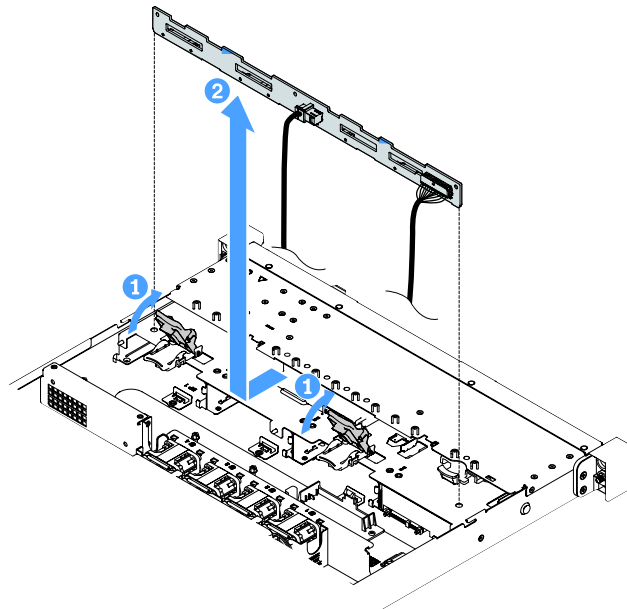


図80. 3.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り外し

ステップ6. すべてのケーブルをハードディスク・ドライブ・バックプレーンから切り離します。

### 3.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け

3.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. ハードディスク・ドライブ・バックプレーンにケーブルを接続します。

ステップ2. バックプレーン・アセンブリーをシャーシの位置合わせスロット内に慎重に下ろします。次に、保持ラッチを閉じてバックプレーンをシャーシに固定します。

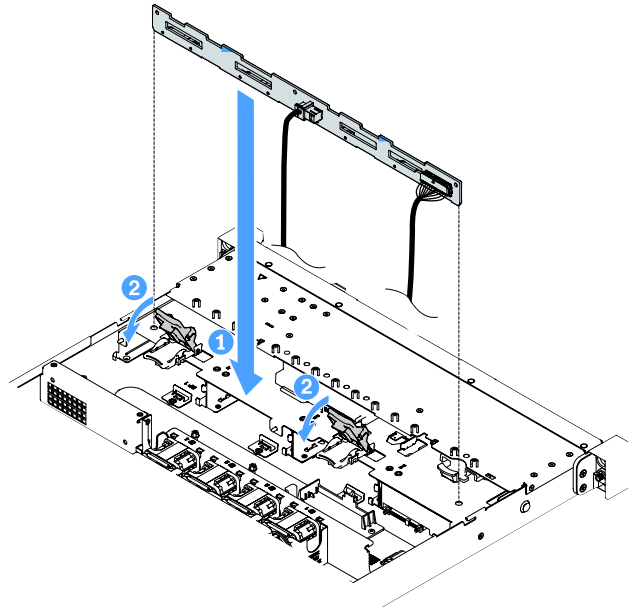


図81. 3.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの取り付け

ステップ3. すべてのケーブルをシステム・ボードまたはRAIDアダプターに接続します。179ページの「ホット・スワップHDDケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよび固定パワー・サプライ」を参照してください。

ステップ4. ハードディスク・ドライブとフィルターを取り付けます。111ページの「ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け」を参照してください。

ステップ5. 部品交換を完了します。189ページの「部品交換の完了」を参照してください。

### 3.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取り外し

注：3.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーを取り外した後は、新しいものを取り付ける必要があります。158ページの「3.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取り付け」を参照してください。

3.5型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーを取り外すには、以下を実行します。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。

ステップ3. PCIライザー・カード・アセンブリーが取り付けられている場合は、これを取り外します。103ページの「PCIライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。

ステップ4. RAIDアダプターあるいはシステム・ボードからケーブルを切り離します。173ページの「内部ケーブルの配線」を参照してください。次に、ケーブル・クリップから対応するケーブルを取り外します。

- ステップ 5. 取り付けられているハードディスク・ドライブまたはフィラーをドライブ・ベイから取り外します。114 ページの「シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り外し」を参照してください。
- ステップ 6. シャーシの保持ラッチを上回転させます。次に、バックプレート・アセンブリーを慎重に外側に引いて持ち上げ、シャーシから取り出します。

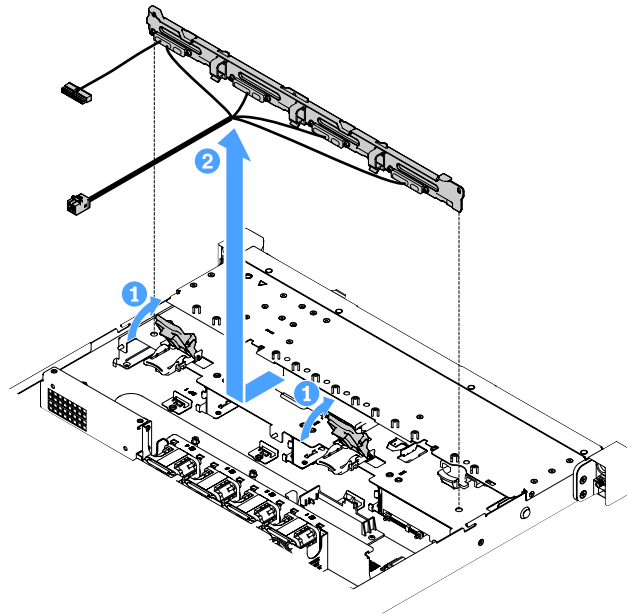


図 82. 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取り外し



### 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリの取り付け

3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリには、以下の2つのタイプがあります。以下の図で、タイプ b はオンボード・ソフトウェア RAID 構成を持つサーバー・モデル用です。

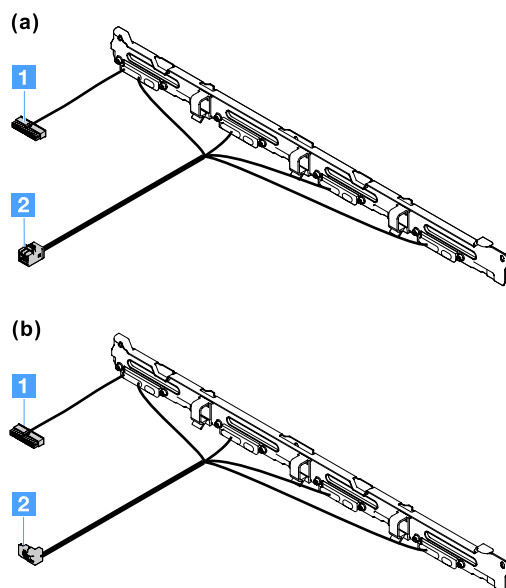


図 83. 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリ

**1** 電源コネクタ

**2** Mini-SAS 信号コネクタ

3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. バックプレート・アセンブリーをシャーシの位置合わせスロット内に慎重に下ろします。次に、保持ラッチを閉じてバックプレート・アセンブリーをシャーシに固定します。

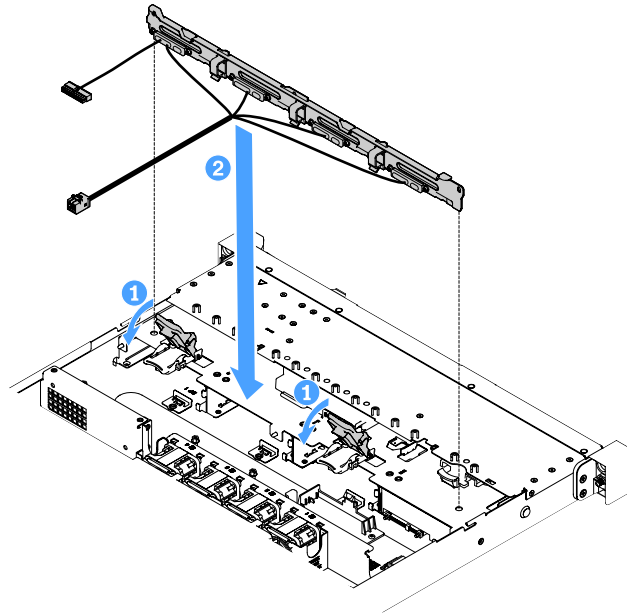


図84. 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの取り付け

ステップ2.

ケーブルを RAID アダプターまたはシステム・ボードに接続します。以下のトピックを参照してください。

- [177 ページの「シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: オンボード RAID」](#)
- [186 ページの「シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよび冗長パワー・サプライ」](#)
- [181 ページの「シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよび固定パワー・サプライ」](#)

ステップ3. ハードディスク・ドライブとフィラーを取り付けます。 [115 ページの「シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け」](#)を参照してください。

ステップ4. 部品交換を完了します。 [189 ページの「部品交換の完了」](#)を参照してください。

## Tier 2 CRU の取り外しと取り付け

このセクションでは、Tier 2 CRU の取り外しと取り付けについて説明します。

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付けを依頼することもできます。本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

### マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し (トレーニングを受けた技術員のみ)

以下の注記には、このサーバーがサポートするマイクロプロセッサのタイプと、マイクロプロセッサとヒートシンクの取り付けまたは取り外し時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

- サーバーは、1つの Intel land grid array (LGA) 1151 デュアルコアまたはクアッドコア・マイクロプロセッサをサポートします。マイクロプロセッサのタイプ、速度、および L3 キャッシュはサーバーのモデルに依存します。
- マイクロプロセッサに付属の資料を読み、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどうか判断してください。最新レベルのサーバー・ファームウェアをダウンロードするには、<http://www.lenovo.com/support> および <https://datacentersupport.lenovo.com> にアクセスしてください。
- マイクロプロセッサはシステム・ボード上のオンボード電圧調節装置を使用します。

#### 注意：

- マイクロプロセッサおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが劣化するおそれがあります。
- 取り付けあるいは取り外し中にマイクロプロセッサを落とすと接点を傷つけます。
- マイクロプロセッサの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサは、必ずエッジ部分を持つようにしてください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- ソケットのピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
- マイクロプロセッサからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、アルコール・ワイプを使用して熱伝導グリースを拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度塗布する必要があります。164 ページの「熱伝導グリース」を参照してください。
- 新しいマイクロプロセッサまたは新しいヒートシンクを取り外した後は、新規のものを取り付ける必要があります。162 ページの「マイクロプロセッサおよびヒートシンク取り付け(トレーニングを受けた技術員のみ)」を参照してください。

マイクロプロセッサとヒートシンクを取り外すには、以下を行います。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ 2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ 3. エアー・バッフルを取り外します。100 ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照してください。

ステップ4. ヒートシンクを取り外します。

警告：



ヒートシンクは、通常の運用中は非常に熱くなります。ヒートシンクに触れる前に、冷却する時間をとってください。

- a. ドライバーを使用して、拘束ねじ **1** を緩めます。それぞれのねじが緩むまでねじを回転させてください。
- b. マイクロプロセッサとの密着状態が解除されるまで、すべてのねじを交互に緩めます。
- c. ヒートシンクを慎重にひねってマイクロプロセッサから取り外してから、ヒートシンクを持ち上げてシステム・ボードから取り外します。

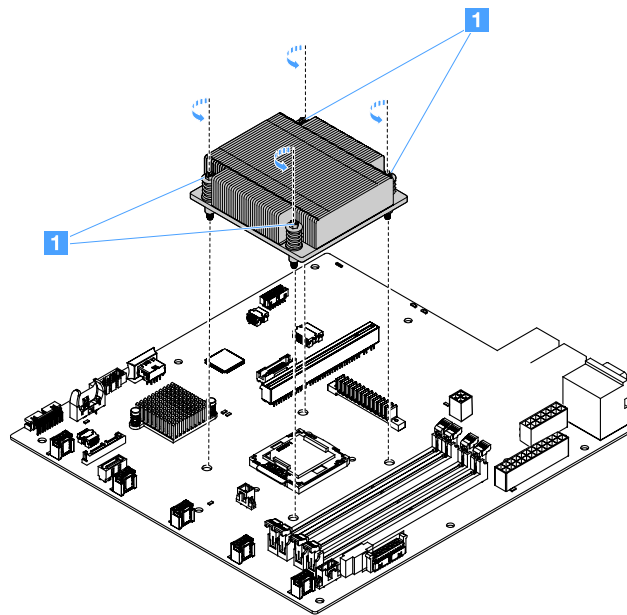


図85. ヒートシンクの取り外し

ステップ5. 取り外し後は、ヒートシンクを清潔で平らな面に置きます。

ステップ 6. マイクロプロセッサを取り外します。

- a. ハンドルを慎重に少しだけ押し下げ、次にハンドルを外側に押して、マイクロプロセッサ保持ラッチを開きます。
- b. マイクロプロセッサ・ブラケットを開放します。ブラケットをオープン位置で保持します。
- c. マイクロプロセッサの端を持って、慎重にマイクロプロセッサを真っすぐ上に持ち上げ、ソケットから取り出します。

**注意：**マイクロプロセッサの取り扱いには慎重に行ってください。取り外し中にマイクロプロセッサを落とすと、接触部分を損傷する可能性があります。また、マイクロプロセッサの接点が皮膚からの油脂などによって汚れると、接点とソケット間の接触不良の原因になる場合があります。

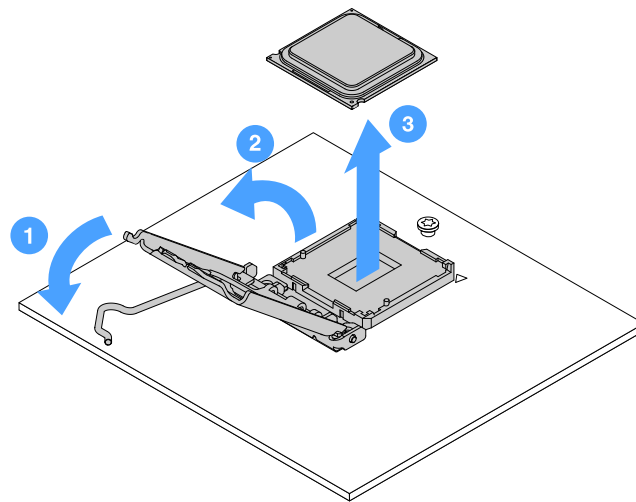


図 86. マイクロプロセッサの取り外し

ステップ 7. マイクロプロセッサを帯電防止面に置きます。

**注意：**ソケットのピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

### マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け (トレーニングを受けた技術員のみ)

以下の注記には、このサーバーがサポートするマイクロプロセッサのタイプと、マイクロプロセッサとヒートシンクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

- サーバーは、1つの Intel land grid array (LGA) 1151 デュアルコアまたはクアッドコア・マイクロプロセッサをサポートします。マイクロプロセッサのタイプ、速度、および L3 キャッシュはサーバーのモデルに依存します。
- マイクロプロセッサに付属の資料を読み、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどうか判断してください。最新レベルのサーバー・ファームウェアをダウンロードするには、<http://www.lenovo.com/support> および <https://datacentersupport.lenovo.com> にアクセスしてください。
- マイクロプロセッサはシステム・ボード上のオンボード電圧調節装置を使用します。
- このサーバーでは、マイクロプロセッサ速度が自動的に設定されます。したがって、マイクロプロセッサ周波数選択ジャンパーまたはスイッチを設定する必要はありません。
- 熱伝導グリース保護カバー (たとえば、プラスチック・キャップやテープ裏打ちシール) がヒートシンクから外れている場合は、ヒートシンクの下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを

下に置いたりしないでください。熱伝導グリースの塗布や取り扱いについての詳細は、164 ページの「熱伝導グリース」を参照してください。

注：マイクロプロセッサからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、熱伝導グリースの再塗布が必要になります。

**注意：**

- マイクロプロセッサおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが劣化するおそれがあります。
- 取り付けあるいは取り外し中にマイクロプロセッサを落とすと接点を傷つけます。
- マイクロプロセッサ接点は繊細です。マイクロプロセッサの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサは、必ずエッジ部分を持つようにしてください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- ソケットのピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
- 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合、静電気により損傷を受けないように注意してください。これらの部品の取り扱い方法については、98 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」を参照してください。
- マイクロプロセッサがソケットにはまる方向は1つしかありません。
- マイクロプロセッサからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、アルコール・ワイプを使用して熱伝導グリースを拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度塗布する必要があります。164 ページの「熱伝導グリース」を参照してください。

マイクロプロセッサとヒートシンクを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. マイクロプロセッサを取り付けます。

- a. マイクロプロセッサをソケットと位置合わせし (位置合わせマーク **1** と切り欠きの位置に注意)、マイクロプロセッサをソケットの上に注意深く置きます。
- b. マイクロプロセッサ・ブラケット・フレームを閉じます。
- c. マイクロプロセッサ保持ラッチのハンドルを所定の位置に固定してラッチを閉じます。

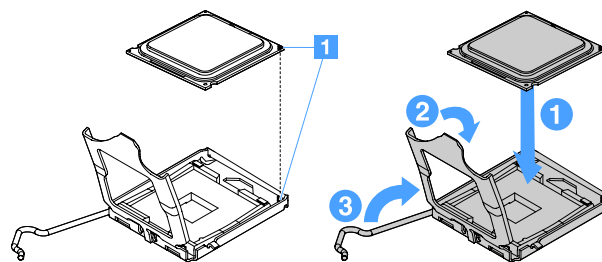


図 87. マイクロプロセッサの取り付け

ステップ2. マイクロプロセッサにヒートシンクを取り付けます。

注意：ヒートシンクの下部にある熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。マイクロプロセッサあるいはヒートシンクの熱伝導グリースが汚れた場合は、アルコール・ワイプを使用して、マイクロプロセッサまたはヒートシンク上の汚れた熱伝導グリースを拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度ヒートシンクに塗布してください。

- ラベルの矢印が DIMM の方向を向くようにヒートシンクの位置を合わせ、熱伝導グリース側を下にしてヒートシンクをマイクロプロセッサの上に配置します。
- ヒートシンクのねじをシステム・ボードのねじ穴と位置合わせします。
- ドライバーを使用して、それぞれのねじ **1** を交互にきつくなるまで締めます。可能であれば、それぞれのねじを 1 回につき完全に 2 回転させてください。ねじがきつく締まるまで繰り返します。

**注意：**サーバー背面に近い方の 2 本のねじが締められると、ねじ頭がヒートシンクの面と平らにならなくなります。過度の力でねじを締めすぎないようにしてください。

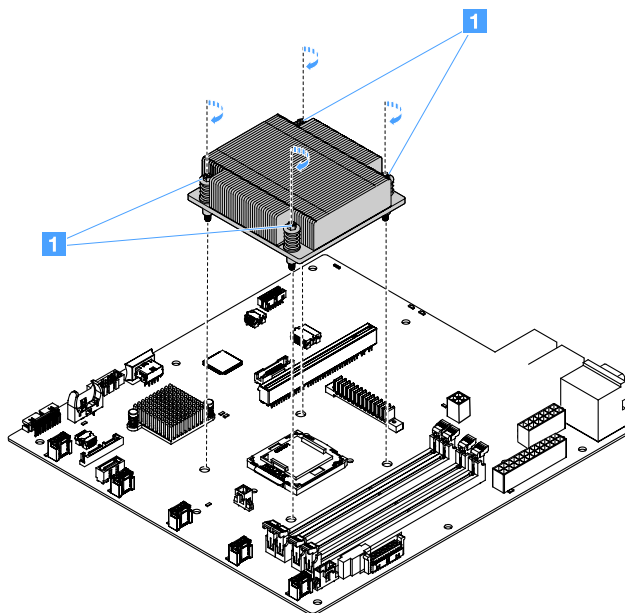


図 88. ヒートシンクの取り付け

ステップ 3. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

### 熱伝導グリース

ヒートシンクをマイクロプロセッサ上部から取り外した場合は、必ず熱伝導グリースを交換してください。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサおよびヒートシンク上の黒ずんだり汚れている熱伝導グリースを交換します。

98 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」をお読みください。

マイクロプロセッサとヒートシンクの黒ずんだり汚れている熱伝導グリースを交換するには、以下を行います。

- ステップ 1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
- ステップ 2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。
- ステップ 3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

**注：**すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。

- ステップ 4. クリーニング・パッドのきれいな部分で、マイクロプロセッサの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。クリーニング・パッドは、熱伝導グリースをすべて拭き取ったら廃棄してください。



ステップ5. 熱伝導グリース用の注射器を使用して、マイクロプロセッサの上部またはヒートシンクの底部に 0.02 ml の点を等間隔に 9 つ **1** 配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これを行うのは、グリースを均等に配置するためです。

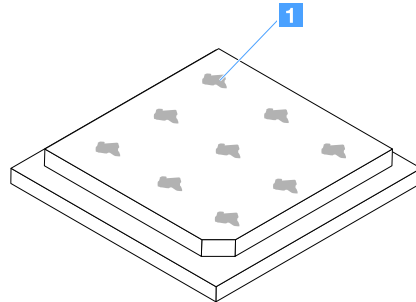


図89. マイクロプロセッサの熱伝導グリース

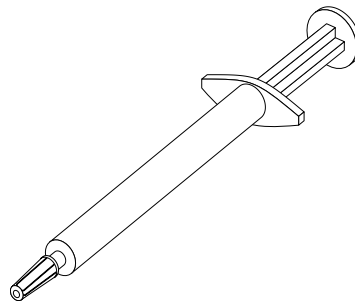


図90. 熱伝導グリースの注射器

注：注射器の1目盛りは0.01 ml です。グリースが適切に塗布されると、注射器には約半分 (0.22 ml) のグリースが残ります。

ステップ6. ヒートシンクをマイクロプロセッサの上に取り付けます。162 ページの「[マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け \(トレーニングを受けた技術員のみ\)](#)」を参照してください。

## 分電盤カバーの取り外し

分電盤カバーを取り外すには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「[サーバー・カバーの取り外し](#)」を参照してください。

ステップ3. すべての SAS/SATA 信号ケーブルおよび分電盤カバーを通して接続されているその他のすべてのケーブルを取り外します。173 ページの「[内部ケーブルの配線](#)」を参照してください。



ステップ4. 分電盤カバーからねじを取り外します。次に、分電盤カバーを持ち上げてサーバーから取り外します。

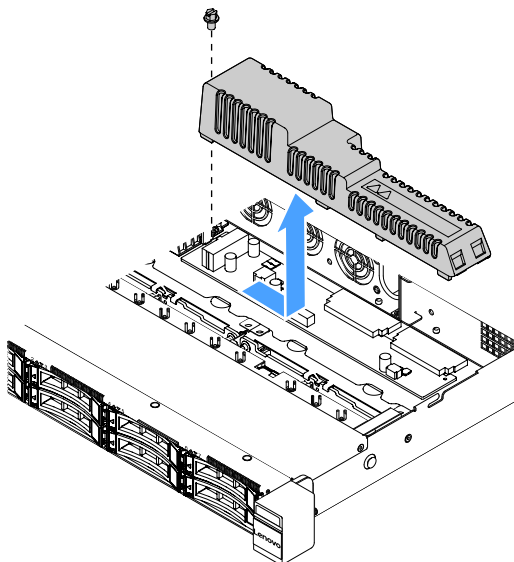


図91. 分電盤カバーの取り外し

ステップ5. 分電盤カバーを取り付け直すか、新しいものを取り付けます。166 ページの「[分電盤カバーの取り付け](#)」を参照してください。

### 分電盤カバーの取り付け

分電盤カバーを移動した場合は、それを取り付け直すか、古いものが故障している場合は新しいものを取り付けます。

分電盤カバーを取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. 分電盤カバーを取り付けます。

- a. 分電盤カバーのねじ穴を、シャーシ上の取り付けスタッドに合わせます。
- b. 分電盤カバーを分電盤の上に下ろします。
- c. ねじを取り付けて、分電盤カバーを所定の位置に固定します。

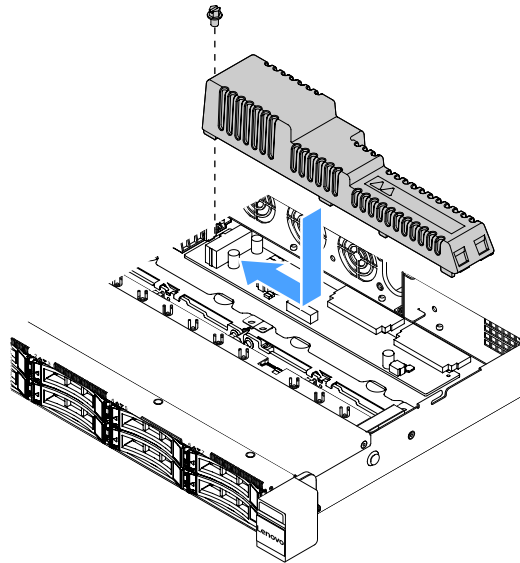


図92. 分電盤カバーの取り付け

ステップ2. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

## 分電盤の取り外し

分電盤を取り外すには、以下を行います。

- ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。
- ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。
- ステップ3. 分電盤カバーを取り外します。165 ページの「分電盤カバーの取り外し」を参照してください。次に、ケーブルをケーブル・タイから緩めます。
- ステップ4. 分電盤ケーブルをシステム・ボードから切り離します。次に、分電盤の取り外しに邪魔なすべてのケーブルをシステム・ボードから切り離します。

ステップ5. ねじを取り外します。次に、分電盤を持ち上げてサーバーから取り外します。

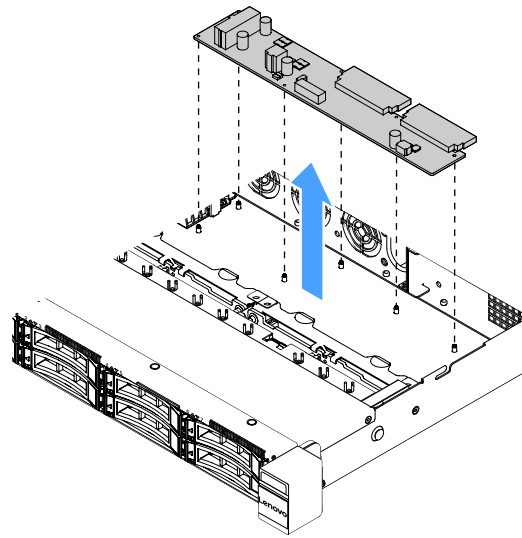


図93. 分電盤の取り外し

ステップ6. 新しい分電盤を取り付けます。168 ページの「分電盤の取り付け」を参照してください。

### 分電盤の取り付け

分電盤を移動した場合、サーバーの電源を入れる前に新しいものを取り付けます。

分電盤を取り付けるには、以下を行います。

ステップ1. 分電盤のねじ穴をシャーシの取り付けスタッドに位置合わせし、分電盤をシャーシの上に下ろします。次に、ねじを取り付けて、分電盤を所定の位置に固定します。

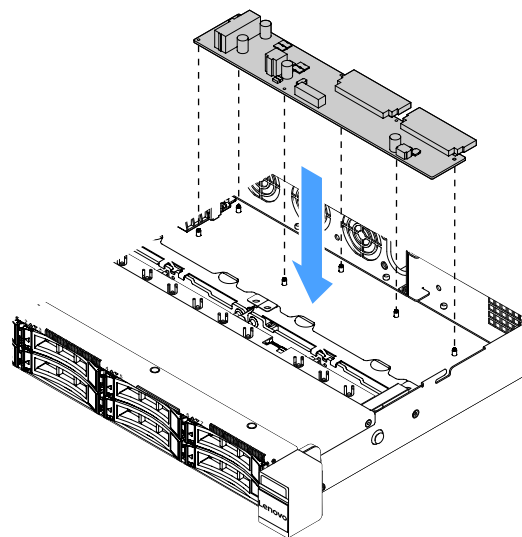


図94. 分電盤の取り付け

ステップ2. ケーブルを分電盤に接続します。

ステップ3. 分電盤カバーを取り付けます。166 ページの「分電盤カバーの取り付け」を参照してください。

ステップ4. ケーブルをシステム・ボードのパワー・サプライ・コネクタ、マイクロプロセッサ電源コネクタ、分電盤コネクタに接続します。21 ページの「システム・ボード・コネクタ」を参照してください。

注意：ケーブルをシステム・ボードに接続する際に、ワイヤー部分をつかまないでください。コネクタをつかみ、ケーブルをシステム・ボードに垂直に接続してください。

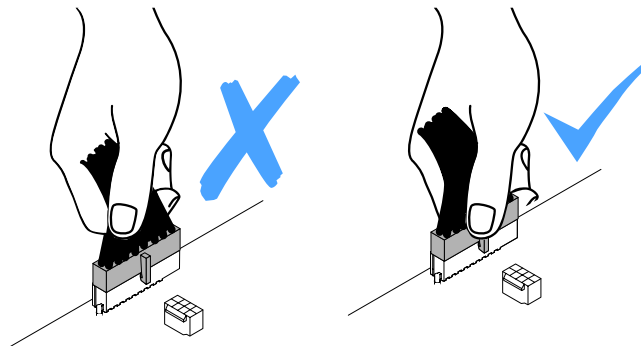


図95. 電源ケーブル・コネクタのシステム・ボード上への接続

ステップ5. 部品交換を完了します。189 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

## システム・ボードの取り外し

始める前に、以下の情報に注意してください。

- システム・ボードの交換後は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様が CD イメージで用意する、既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。
- システム・ボードを交換する場合は、必ず、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) 拡張アップグレードを取り外し、新しいシステム・ボードにそれを取り付けてください。
- システム・ボードを交換する前に、有効化した Features on Demand (FoD) キーのバックアップを必ず取ってください。システム・ボードを交換した後、FoD 機能を再アクティブ化します。FoD のアクティベーションおよびアクティベーション・キーのインストールを自動化するには、「*Lenovo Features on Demand ユーザーズ・ガイド*」の説明を参照してください。資料をダウンロードするには、<https://fod.lenovo.com/lkms> にアクセスしてログインし、「Help (ヘルプ)」をクリックします。

注：システム・ボードを取り外した後は、新しいものを取り付ける必要があります。171 ページの「システム・ボードの取り付け」を参照してください。

システム・ボードを取り外すには、以下を行います。

ステップ1. サーバーの電源を切ります。次に、すべての外部ケーブルを切り離してから、すべての周辺装置を取り外します。

ステップ2. サーバーのカバーを取り外します。98 ページの「サーバー・カバーの取り外し」を参照してください。

ステップ3. エアー・バッフルを取り外します。100 ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照してください。

ステップ4. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。103 ページの「PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し」を参照してください。

ステップ 5. 各ケーブルがシステム・ボードのどこに接続されているかを記録してから、それらのケーブルを切り離します。

**注意：**事前にケーブル・コネクタのすべてのラッチ、ケーブル・クリップ、リリース・タブ、またはロックを外しておきます。173 ページの「[内部ケーブルの配線](#)」を参照してください。ケーブルを取り外す前にそれらを解除しないと、システム・ボード上のケーブル・コネクタが損傷します。ケーブル・コネクタが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

ステップ 6. システム・ボードに取り付けられている以下のコンポーネントをすべて取り外し、帯電防止された安全な場所に置きます。

- アダプター (122 ページの「[アダプターの取り外し](#)」を参照)
- DIMM (106 ページの「[DIMM の取り外し](#)」を参照)
- マイクロプロセッサおよびヒートシンク (159 ページの「[マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し \(トレーニングを受けた技術員のみ\)](#)」を参照)

**注：**

- 熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが劣化するおそれがあります。
- 各ヒートシンクとマイクロプロセッサの組み合わせを維持して再取り付けしてください。マイクロプロセッサと元のヒートシンクが一致しない場合、新しいヒートシンクの取り付けが必要になる場合があります。
- リモート RAID バッテリー・ホルダー (104 ページの「[フラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外し](#)」を参照)

ステップ7. システム・ボードを取り外します。

- システム・ボードをシャーシに固定している9本のねじを取り外し、ねじを安全な場所に置きます。
- システム・ボードの端の2か所 **1** を慎重に持ちます。システム・ボード上のコネクタに触れないでください。
- システム・ボードを持ち上げて傾け、サーバー前面方向に少し引きます。
- サーバーからシステム・ボードを慎重に持ち上げて取り外します。

注：サーバーからシステム・ボードを取り外す場合は、シャーシの側面にあるケーブル・クリップおよびシステム・ボード上のコネクタに触れないでください。シャーシ内部の周辺コンポーネントに損傷を与えないようにしてください。

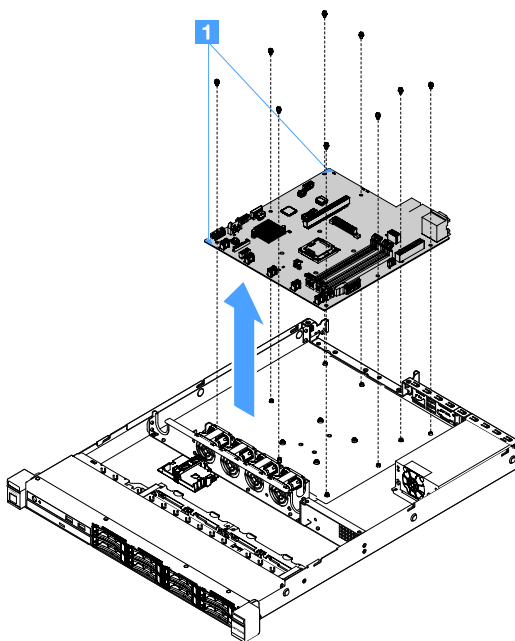


図96. システム・ボードの取り外し

サーバー・コンポーネントまたはオプション・デバイスの返却を求められた場合は、梱包方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用の梱包材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

障害のあるシステム・ボードを返却する前に、必ず新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケット・カバーを取り外して、障害のあるシステム・ボードに取り付けてください。

## システム・ボードの取り付け

始める前に、以下の情報に注意してください。

- サーバー内でコンポーネントを再組み立てた後は、すべてのケーブルを注意深く配線して、ケーブルに過度の力が加からないようにしてください。
- システム・ボードを取り付ける場合は、必ず、障害が発生したシステム・ボードから **Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) 拡張アップグレード** を取り外し、それを新規のシステム・ボードに取り付けてください。拡張アップグレードについて詳しくは、[37 ページの「リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用」](#) を参照してください。

- 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

システム・ボードを取り付けるには、以下を行います。

ステップ 1. システム・ボードが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからシステム・ボードを取り出します。

注：サーバー内のシステム・ボードを持ったり取り付けたりする場合は、シャーシの側面にあるケーブル・クリップおよびシステム・ボード上のコネクタに触れないでください。シャーシ内部の周辺コンポーネントに損傷を与えないようにしてください。

ステップ 2. システム・ボードの隅 2 か所 **1** を注意深く持ち、システム・ボードのねじ穴をシャーシの対応する取り付けスタッドと位置合わせして、取り外した 9 本のねじを取り付けます。

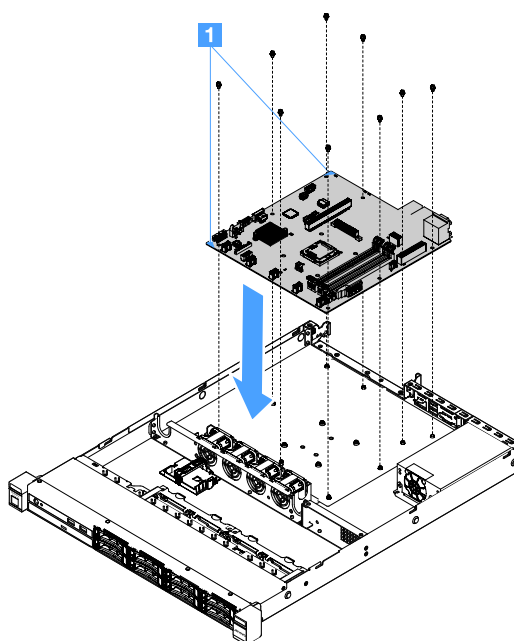


図 97. システム・ボードの取り付け

ステップ 3. 障害が発生したシステム・ボードから取り外していた以下のコンポーネントをすべて取り付けます。

注：サーバー・ケーブルがシステム・ボードの下に引っ掛からないように気を付けてください。

1. マイクロプロセッサおよびヒートシンク (162 ページの「[マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け \(トレーニングを受けた技術員のみ\)](#)」を参照)
2. DIMM (109 ページの「[DIMM の取り付け](#)」を参照)
3. アダプター (123 ページの「[アダプターの取り付け](#)」を参照)
4. リモート RAID バッテリー・ホルダー (105 ページの「[フラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り付け](#)」を参照)

ステップ 4. 部品交換を完了します。189 ページの「[部品交換の完了](#)」を参照してください。

ステップ 5. 新しいシステム・ボードからマイクロプロセッサ・ソケット・カバーを取り外して、それを障害のあるシステム・ボードに取り付けます。

ステップ 6. Setup Utility を起動して、構成をリセットします。

- a. システムの日付と時刻を設定します。
- b. 始動パスワードを設定します。
- c. サーバーを再構成します。

詳しくは、29 ページの「Setup Utility プログラムの使用」を参照してください。

ステップ 7. 最新の RAID ファームウェアを使用してサーバーを更新するか、または CD イメージから事前設定済みのファームウェアを復元してください。25 ページの「ファームウェアの更新」を参照してください。

ステップ 8. UUID を更新します。41 ページの「汎用固有 ID (UUID) の更新」を参照してください。

ステップ 9. DMI/SMBIOS を更新します。42 ページの「DMI/SMBIOS データの更新」を参照してください。

ステップ 10. FoD を再アクティブ化します。FoD のアクティベーションおよびアクティベーション・キーのインストールを自動化するには、「*Features on Demand ユーザーズ・ガイド*」の説明を参照してください。資料をダウンロードするには、<https://fod.lenovo.com/lkms> にアクセスしてログインし、「Help (ヘルプ)」をクリックします。

## 内部ケーブルの配線

このセクションでは、サーバーに一部のコンポーネントを取り付ける際のケーブルの配線について説明します。

ケーブルを接続するには、以下の手順に従います。

- 内部ケーブルを接続または切り離す前に、サーバーの電源をオフにします。
- その他の配線の手順については、外部デバイスに付属の説明書を参照してください。先にケーブルを配線してから、デバイスをサーバーに接続した方が楽な場合があります。
- 一部のケーブルのケーブル ID は、サーバーおよびオプション・デバイスに付属のケーブルに印刷されています。この ID を使用して、ケーブルを正しいコネクタに接続します。

## 光学式ドライブのケーブル接続

このトピックでは、光学式ドライブの内部ケーブルの配線について説明します。

注：

- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクタも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。
- 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。



光学式ドライブをシステム・ボードに接続するには、以下を行います。

1. 光学式ドライブ・ケーブルの一方の端をコネクタ・ブラケットのスロットに挿入します。次に、図のようにコネクタを左にスライドさせて、ブラケットにしっかり装着します。
2. 光学式ドライブ・ケーブルのもう一方の端を、システム・ボードに接続します。

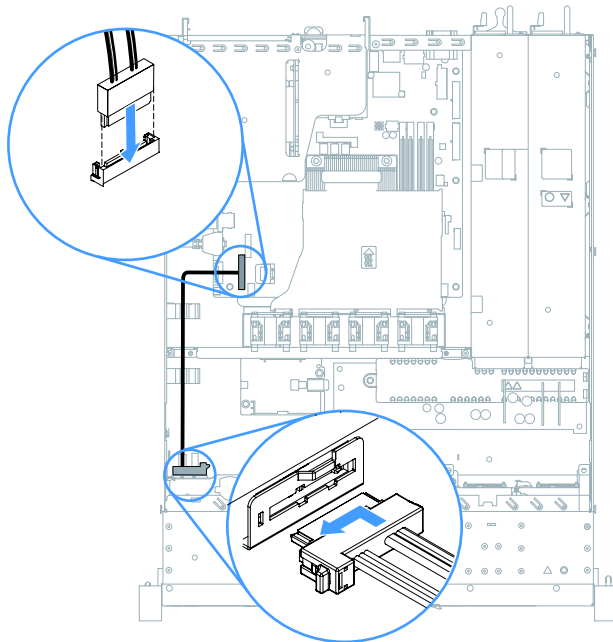


図 98. 光学式ドライブのケーブル接続

### 作動温度の機能拡張キットのケーブル接続

このトピックでは、作動温度の機能拡張キットのケーブルの配線について説明します。

注：

- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクタも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。
- 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

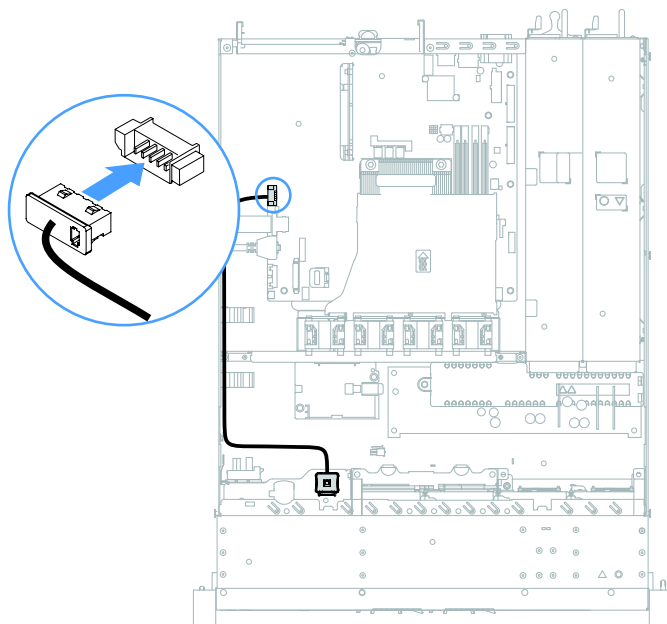


図 99. 2.5 型ハードディスク・ドライブ・モデルでの作動温度の機能拡張キットのケーブル接続

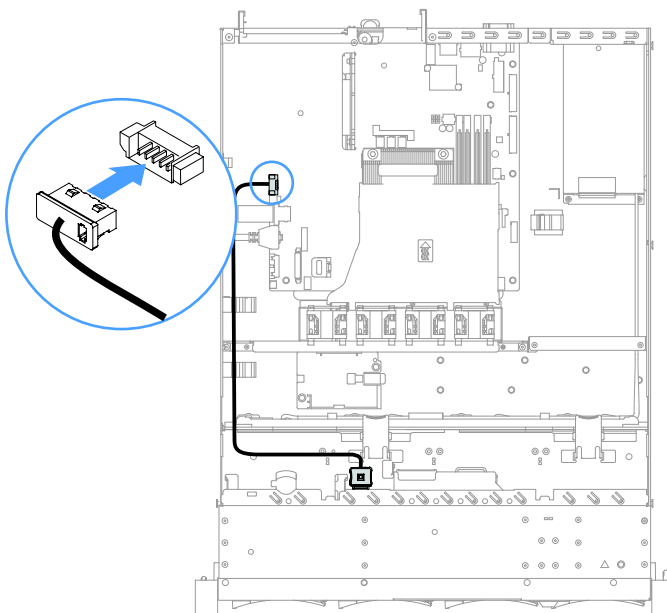


図 100. 3.5 型ハードディスク・ドライブ・モデルでの作動温度の機能拡張キットのケーブル接続

### 固定パワー・サプライのケーブル接続

このトピックでは、固定パワー・サプライのケーブルの配線について説明します。

注：

- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクタも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。
- 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。
- **1**: システム・ボード上の電源コネクタに接続します。
- **2**: システム・ボード上マイクロプロセッサの電源コネクタに接続します。

21 ページの「システム・ボード・コネクタ」を参照してください。

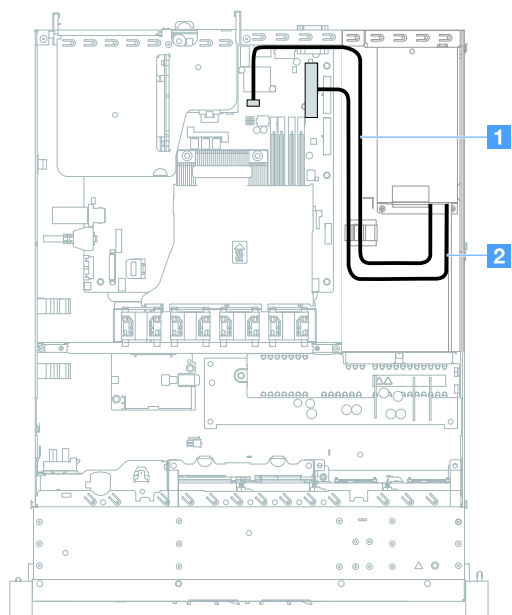


図 101. 固定パワー・サプライのケーブル接続

### 前面 USB モジュールおよびオペレーター情報パネルのケーブル接続

このトピックでは、前面 USB モジュールおよびオペレーター情報パネルの内部ケーブルの配線について説明します。

注：

- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクタも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。
- 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

- **1**: リリース・ラッチを押してシステム・ボード上の前面 USB コネクタに接続します。
- **2**: リリース・ラッチを均等に押し込み、システム・ボードのオペレーター情報パネル・コネクタに接続します。

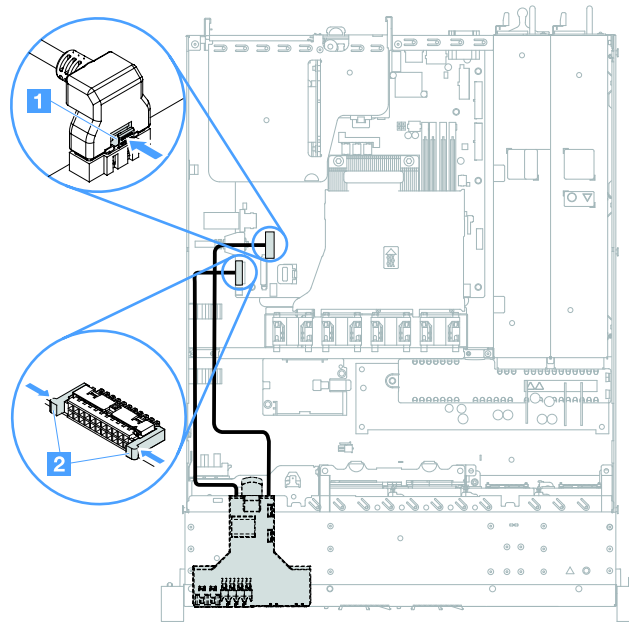


図 102. オペレーター情報パネルのケーブル接続

### シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: オンボード RAID

このトピックでは、シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブとオンボード RAID の内部ケーブルの接続について説明します。

- **1**: システム・ボードのバックプレーン電源コネクタと、ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーの電源コネクタに接続します。
- **2**: システム・ボードの Mini-SAS コネクタに接続し、Mini-SAS ケーブルの 4 つのコネクタはハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーに接続します。

注:

- Mini-SAS ケーブルは、デフォルトでハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーに取り付けられています。
- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクタも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。
- 電源コードおよび Mini-SAS ケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認します。

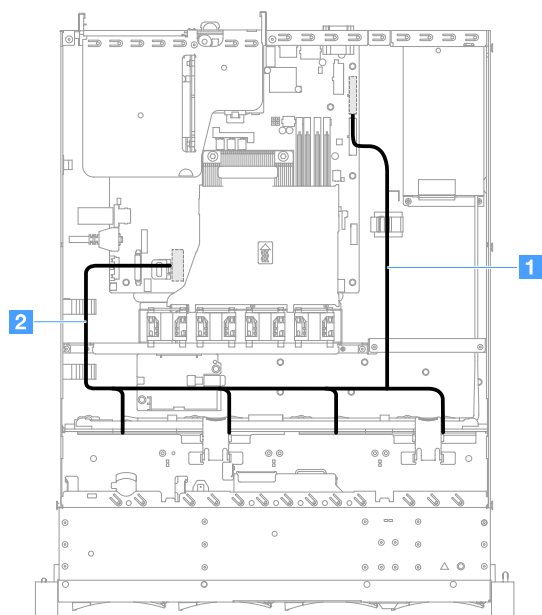


図 103. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 3.5 型、 オンボード RAID、 および固定パワー・サプライ

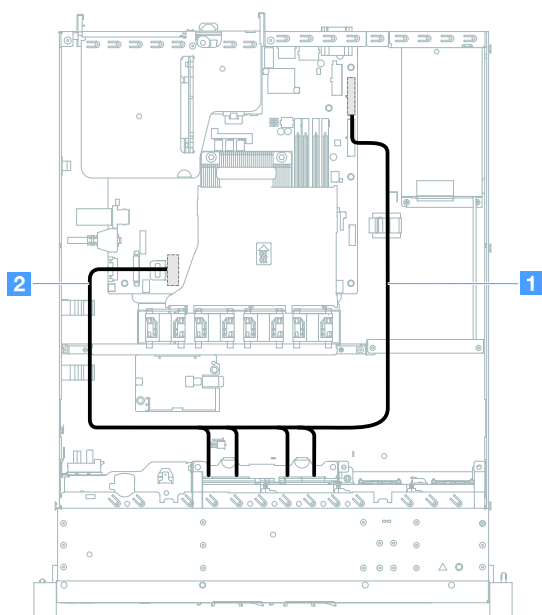


図 104. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 2.5 型、 オンボード RAID、 および固定パワー・サプライ

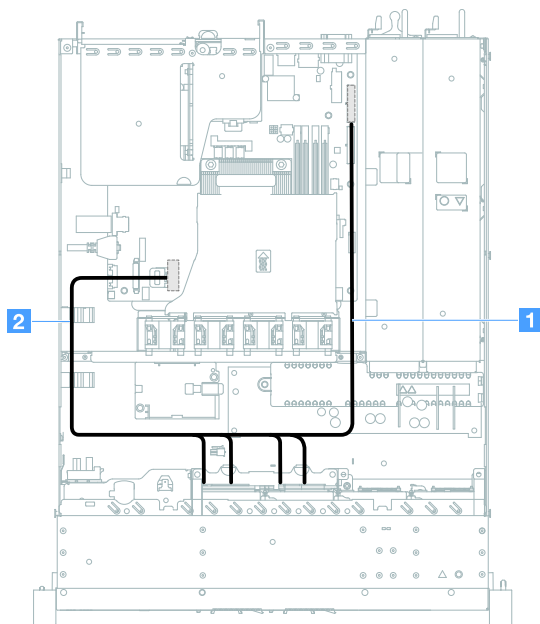


図 105. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 2.5 型、オンボード RAID、およびホット・スワップ・パワー・サプライ

### ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよび固定パワー・サプライ

- **1**: システム・ボードのバックプレーン電源コネクタと、ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの電源コネクタに接続します。
- **2**: ServeRAID SAS/SATA コントローラーのコネクタ 0 とハードディスク・ドライブ・バックプレーンの Mini-SAS コネクタに接続します。

#### 注:

- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクタも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。
- 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

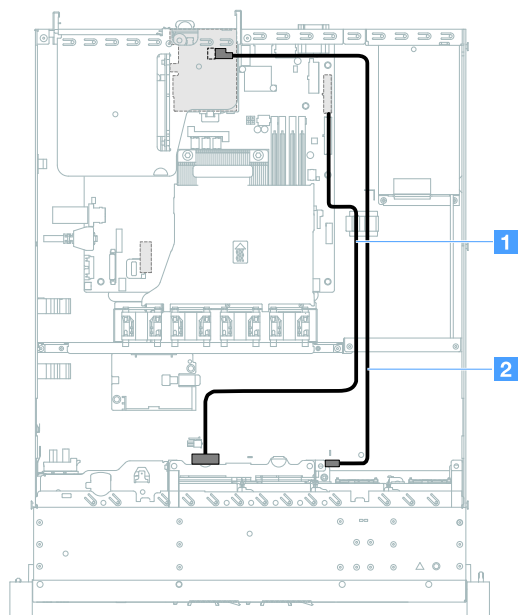


図 106. ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: 2.5 型、右側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

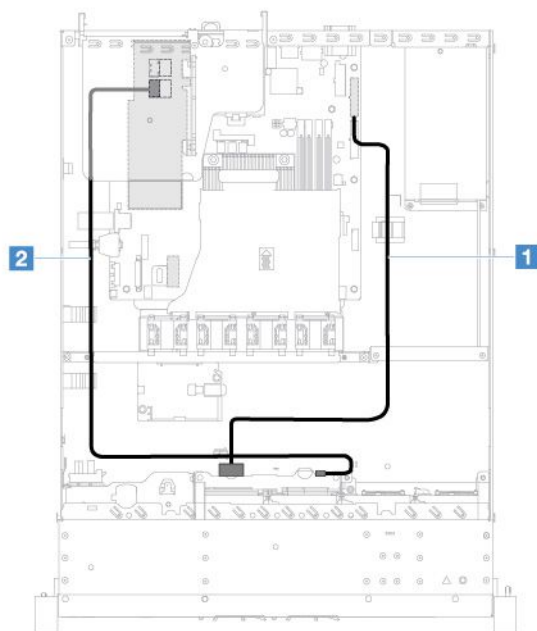


図 107. ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: 2.5 型、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

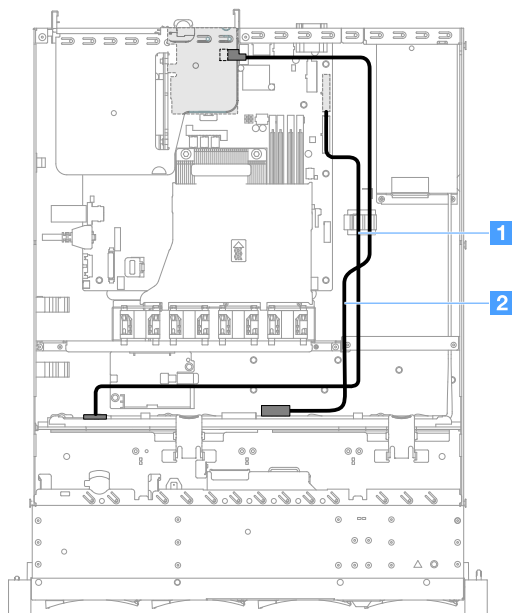


図 108. ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: 3.5 型、右側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

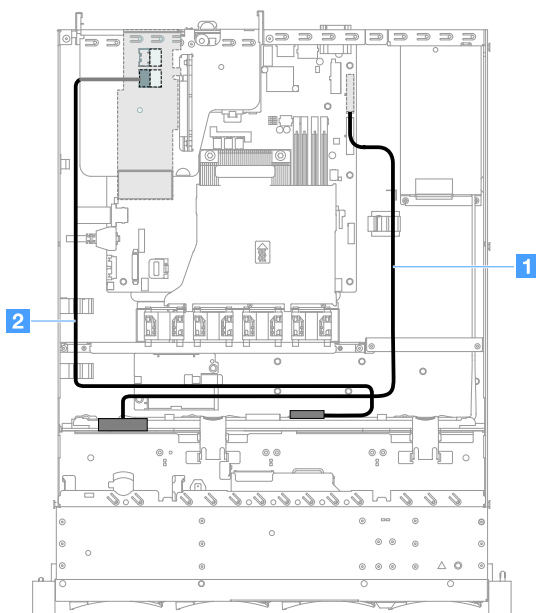


図 109. ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: 3.5 型、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

### シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよび固定パワー・サプライ

- **1**: システム・ボードのバックプレーン電源コネクタと、ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリの電源コネクタに接続します。
- **2**: ServeRAID SAS/SATA コントローラーのコネクタ 0 とハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリの 4 つのコネクタに接続します。



注：

- Mini-SAS ケーブルは、デフォルトでハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーに取り付けられています。
- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクタも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。
- 電源コードおよび Mini-SAS ケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認します。

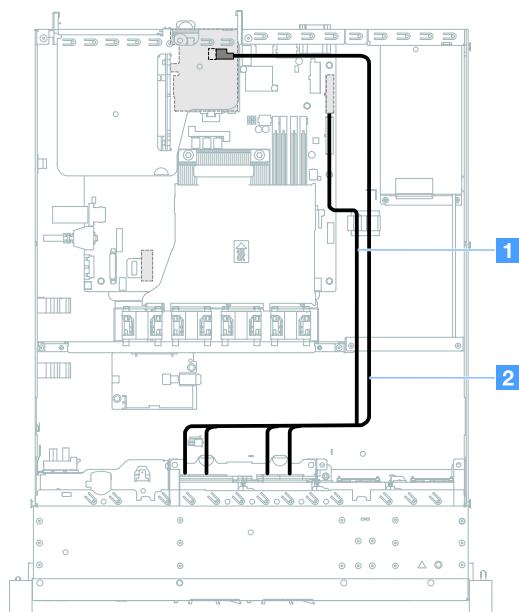


図 110. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 2.5 型、右側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

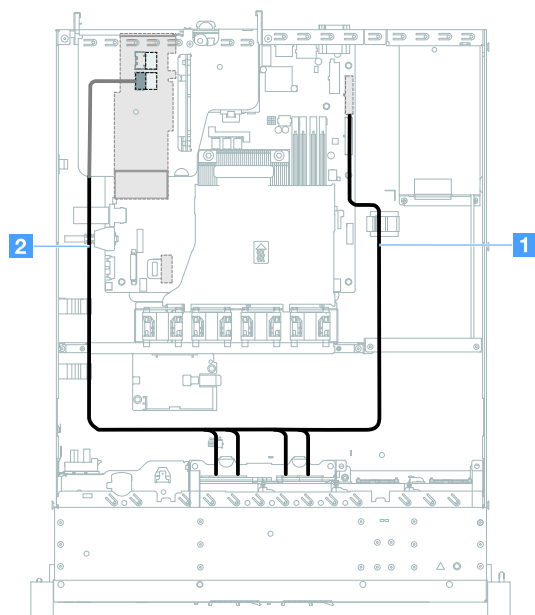


図 111. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 2.5 型、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

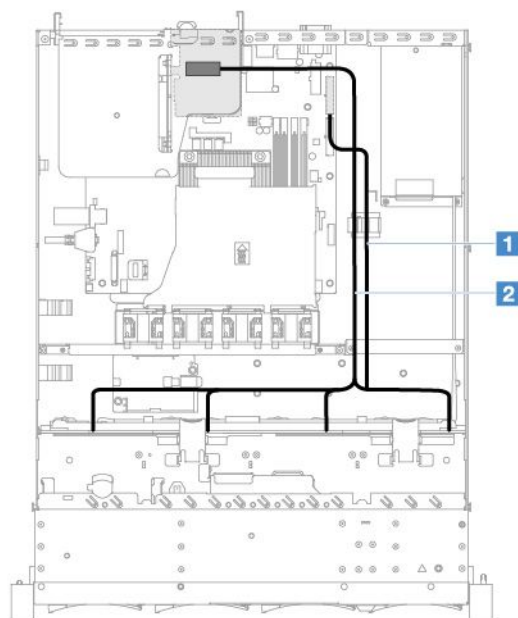


図 112. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 3.5 型、右側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

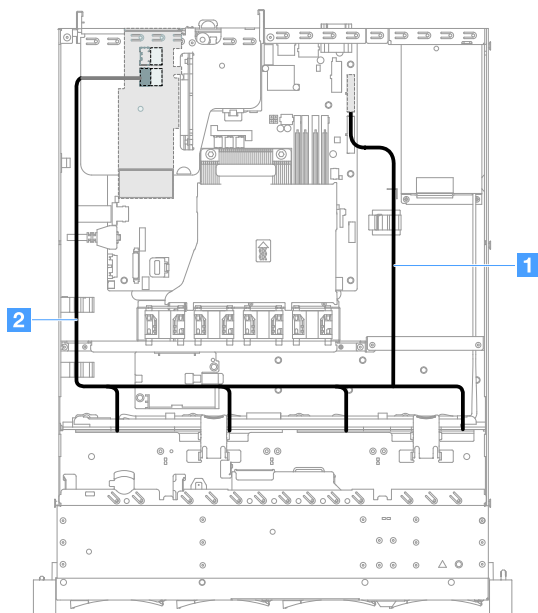


図 113. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 3.5 型、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

### ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよびホット・スワップ・パワー・サプライ

- **1**: システム・ボードのバックプレーン電源コネクタと、ハードディスク・ドライブ・バックプレーンの電源コネクタに接続します。
- **2**: ServeRAID SAS/SATA コントローラーのコネクタ 0 とハードディスク・ドライブ・バックプレーンの Mini-SAS コネクタに接続します。

#### 注:

- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクタも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。
- 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

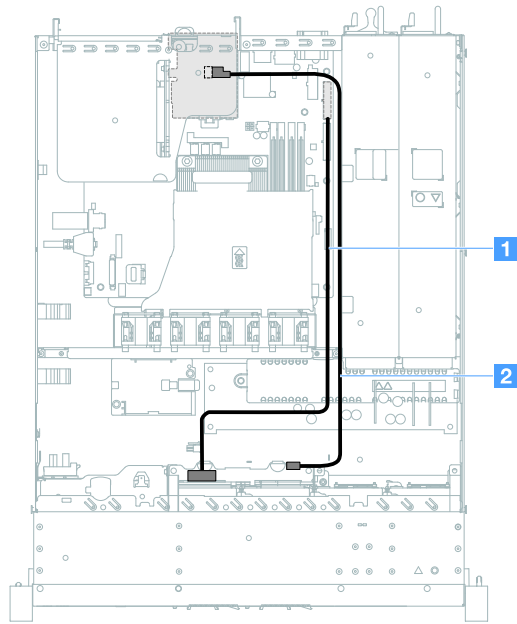


図 114. ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: 4 つの HDD、右側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

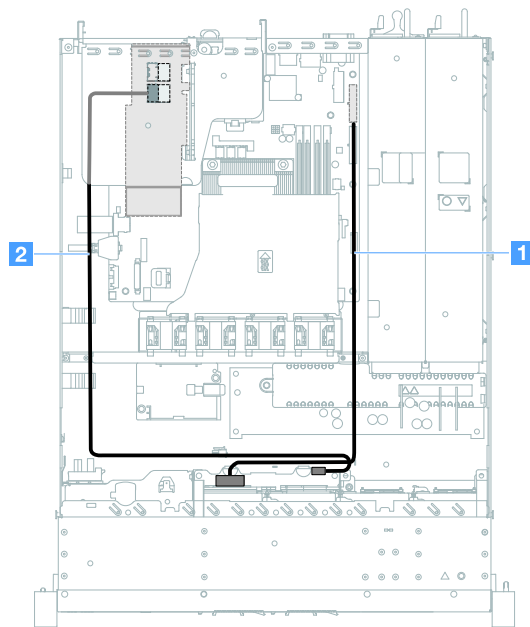


図 115. ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: 4 つの HDD、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ 8 台を装備したサーバー・モデルのケーブルを接続するには、以下を行います。

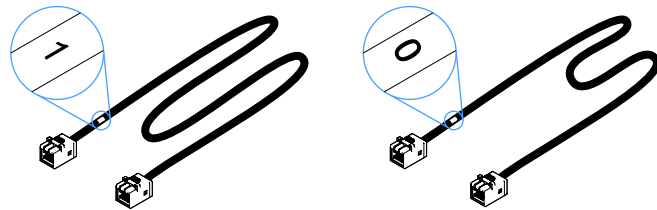


図 116. 2.5 型ハードディスク・ドライブ・バックプレーンのケーブル

1. 0 というラベルが付いているケーブルを、ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよびホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーン 1 のコネクタ 0 に接続します。
2. 1 というラベルが付いているケーブルを、ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよびホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーン 2 のコネクタ 1 に接続します。
3. 電源ケーブル **1** の一方の端のコネクタ 1 つをシステム・ボードのバックプレーン電源コネクタに接続します。次に、電源ケーブルの他方の端にある 2 つのコネクタを、ハードディスク・ドライブ・バックプレーン 1 および 2 の電源コネクタに接続します。

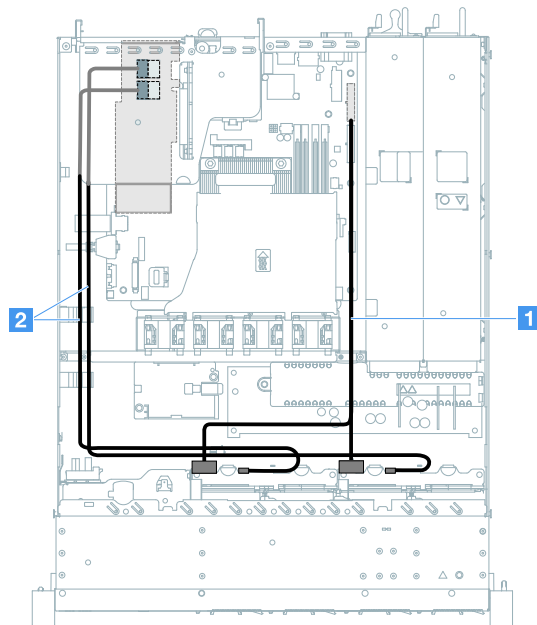


図 117. ホット・スワップ HDD ケーブルの接続: 8 つの HDD、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

### シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: ServeRAID SAS/SATA コントローラーおよび冗長パワー・サプライ

- **1**: システム・ボードのバックプレーン電源コネクタと、ハードディスク・ドライブ・バックプレーン・アセンブリの電源コネクタに接続します。
- **2**: ServeRAID SAS/SATA コントローラーのコネクタ 0 とハードディスク・ドライブ・バックプレーン・アセンブリの 4 つのコネクタに接続します。

注：

- Mini-SAS ケーブルは、デフォルトでハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリーに取り付けられています。
- このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクタも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。
- 電源コードおよび Mini-SAS ケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認します。

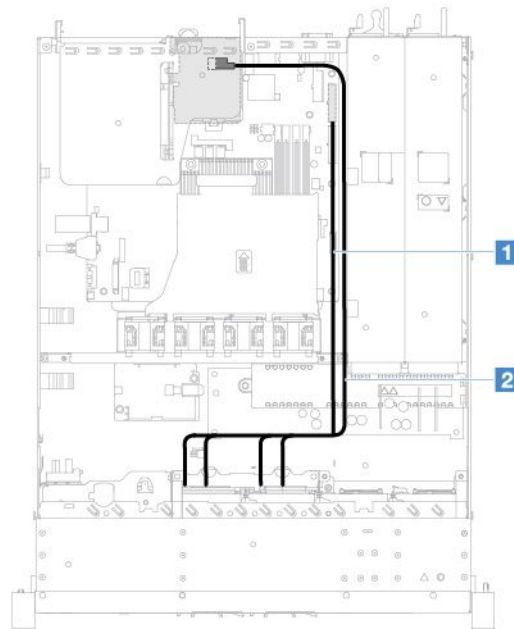


図 118. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 4 つの HDD、右側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

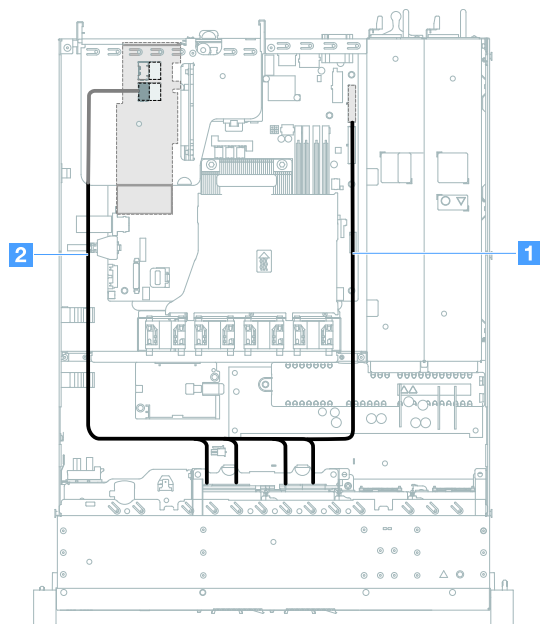


図 119. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 4 つの HDD、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ 8 台を装備したサーバー・モデルのケーブルを接続するには、以下を行います。

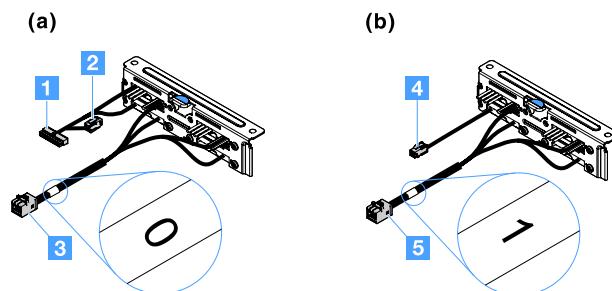


図 120. 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリー

- **1** システム・ボード上のバックプレーン電源コネクタに接続します。
- **3** ServeRAID SAS/SATA コントローラーのコネクター 0 に接続します。
- **4** 電源コネクタ **2** に接続します。
- **5** ServeRAID SAS/SATA コントローラーのコネクター 1 に接続します。

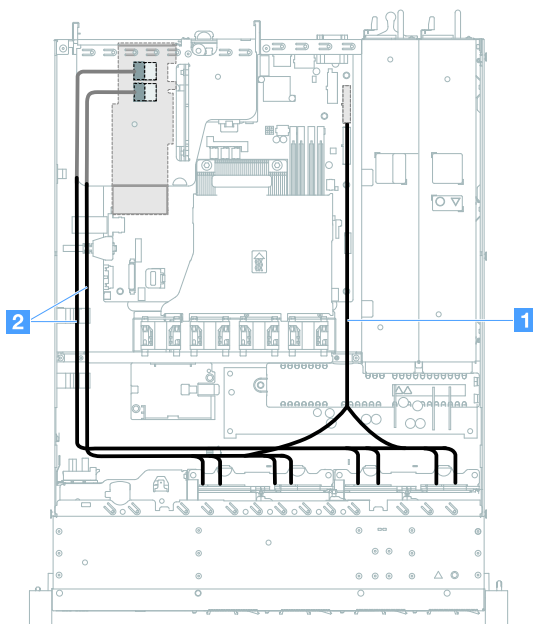


図 121. シンプル・スワップ HDD ケーブルの接続: 8 つの HDD、左側に取り付けられている ServeRAID SAS/SATA コントローラー

## 部品交換の完了

部品交換を完了させるには、以下を行います。

注：すべての構成部品が正しく再配置されており、サーバーの内部に工具が残されていたり、ねじが緩んだままになっていないことを確認します。

1. サーバーのケーブルを正しく配線し、固定します。各コンポーネントのケーブルの接続と配線情報を参照してください。173 ページの「内部ケーブルの配線」を参照してください。



2. サーバー・カバーを取り外した場合は、再取り付けします。99 ページの「サーバー・カバーの取り付け」を参照してください。
3. サーバーをラックに取り付けます。サーバーに付属の「ラック搭載手順」を参照してください。
4. 電源コードを再接続します。
5. サーバー構成を更新します。
  - a. デバイスを追加または取り外した後で初めてサーバーを起動したときは、新しい構成設定を保存します。Setup Utility プログラムは自動的に起動します。
  - b. 一部のオプション・デバイスのデバイス・ドライバーをインストールします。各デバイスに付属の資料をお読みください。
  - c. HDD および RAID アダプターを取り付けまたは取り外した場合は、ディスク・アレイを再構成します。RAID アダプターに付属の資料をお読みください。
  - d. イーサネット・コントローラーを構成します。39 ページの「イーサネット・コントローラーの情報」を参照してください。
6. サーバーを起動します。サーバーが正常に起動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認します。
7. ビジネス・パートナーのみ: 190 ページの「ビジネス・パートナー用の手順」の追加ステップを実行します。

## ビジネス・パートナー用の手順

このトピックでは、Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行することによる、新たに取り付けられたデバイスの検証に関するビジネス・パートナー用の手順を説明します。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、ビジネス・パートナーは以下も行う必要があります。

1. サーバーが正常に起動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認した後、DSA ストレス・テストを実行します。DSA の使用については、59 ページの「Dynamic System Analysis」を参照してください。
2. サーバーを複数回シャットダウンおよび再起動し、サーバーが正しく構成され、新しく取り付けたデバイスが正しく機能していることを確認します。
3. DSA ログをファイルとして保存し、そのファイルを Lenovo に送信します。190 ページの「Lenovo への DSA データの送信」を参照してください。
4. サーバーを出荷する場合は、損傷を受けていないオリジナルの配送用資材で再梱包し、Lenovo の配送手順に従ってください。

ビジネス・パートナー用のサポート情報は、<http://www.ibm.com/partnerworld> で入手できます。

## Lenovo への DSA データの送信

DSA データを Lenovo に送信する前に、以下の利用条件をお読みください。

<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html>

以下のいずれかの方式を使用して、DSA 診断データを Lenovo に送信できます。

- 標準アップロード:  
[http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send\\_http.html](http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html)
- システム・シリアル番号を指定した標準アップロード:  
[http://www.ecurep.ibm.com/app/upload\\_hw](http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw)
- セキュア・アップロード:

[http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send\\_http.html#secure](http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure)

- システム・シリアル番号を指定したセキュア・アップロード:

[https://www.ecurep.ibm.com/app/upload\\_hw](https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw)

## デバイスまたはコンポーネントの返却

デバイスまたはコンポーネントの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。



---

## 付録 A Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ

このセクションでは、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージについて詳しく説明します。

ハードウェア・イベントがサーバー上の IMM2.1 によって検出されると、IMM2.1 はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに記録します。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

### イベント ID

イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

### イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、この追加情報を変数で示します ([arg1]、[arg2] など)。

### 説明

追加情報でそのイベントが発生した理由を説明します。

### 重大度

状態の懸念度が示されます。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

#### 通知:

イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザー操作または正常に動作する状態の変更です。

#### 警告:

このイベントは、エラーほど重大ではありませんが、可能であれば、エラーになる前に状態を修正する必要があります。追加の監視や保守が必要な場合もあります。

#### エラー:

このイベントは、サービスや正常な機能が損なわれる障害状態またはクリティカルな状態です。

### アラート・カテゴリー

同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

*severity - device*

重大度は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- **クリティカル:** サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- **警告:** イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- **システム:** イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

デバイスは、イベント生成の原因となったサーバー内の特定のデバイスです。

### 保守可能

問題を修正するためにユーザー操作が必要かどうかを指定します。

### CIM 情報

CIM メッセージ・レジストリーによって使用されるメッセージ ID のプレフィックスとシーケンス番号を提供します。

### SNMP Trap ID

SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP trap ID。

### 自動的にサービスに連絡

このフィールドを「はい」に設定すると、Electronic Service Agent (ESA) が有効になり、イベント生成時には IBM サポートに自動的に通知されます。

IBM サポートからの連絡を待つ間に、そのイベントに対する推奨処置を実行することができます。

### ユーザー応答

イベントを解決するために実行すべき処置を示します。

問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください。

注：このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

以下に、IMM2.1 エラー・メッセージ、および検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アクションをリストします。IMM2.1 についての詳細は、「*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*」([http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/product\\_page.html](http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/product_page.html))を参照してください。

## 自動的にサポートに通知する IMM イベント

特定タイプのエラーが検出された場合に自動的にサポートに通知する (コール・ホームとも呼ばれます) ように、Integrated Management Module II (IMM2) を構成することができます。この機能を構成してある場合、自動的にサポートに通知されるイベントのリストについては、表を参照してください。

表 29. 自動的にサポートに通知されるイベント

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
40000086-00000000	ユーザー [arg1] によって、テスト用のコールホームが生成されました。	はい
40000087-00000000	ユーザー [arg1] による手動コールホーム : [arg2]。	はい
400000cb-00000000	RAID コントローラーはバッテリーに問題があります。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	はい
400000cc-00000000	RAID コントローラーは、リカバリー不能エラーを検出しました。コントローラーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	はい
400000d5-00000000	1 つ以上の仮想ドライブに問題が発生しています。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	はい
400000d6-00000000	RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])	はい

表 29. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
80010202-0701ffff	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(CMOS バッテリー)	はい
80010902-0701ffff	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(SysBrd 12V)	はい
806f0021-2201ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(Op ROM スペースなし)	はい
806f0021-2582ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(すべての PCI エラー)	はい
806f0021-3001ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(PCI 1)	はい
806f0021-3002ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(PCI 2)	はい
806f0108-0a01ffff	[PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。(パワー・サブライ 1)	はい
806f0108-0a02ffff	[PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。(パワー・サブライ 2)	はい
806f010c-2001ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 1)	はい
806f010c-2002ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 2)	はい
806f010c-2003ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 3)	はい
806f010c-2004ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 4)	はい
806f010c-2581ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(すべての DIMM)	はい
806f010d-0400ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(ドライブ 0)	はい
806f010d-0401ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(ドライブ 1)	はい
806f010d-0402ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(ドライブ 2)	はい
806f010d-0403ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(ドライブ 3)	はい

表 29. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010d-0404ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(ドライブ 4)	はい
806f010d-0405ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(ドライブ 5)	はい
806f010d-0406ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(ドライブ 6)	はい
806f010d-0407ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(ドライブ 7)	はい
806f010d-0410ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(Ext ドライブ)	はい
806f0207-0301ffff	[ProcessorElementName] で FRBI/BIST 状態の障害が発生しました。(CPU 1)	はい
806f020d-0400ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 0)	はい
806f020d-0401ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 1)	はい
806f020d-0402ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 2)	はい
806f020d-0403ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 3)	はい
806f020d-0404ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 4)	はい
806f020d-0405ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 5)	はい
806f020d-0406ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 6)	はい
806f020d-0407ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 7)	はい
806f020d-0410ffff	ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(Ext ドライブ)	はい
806f050c-2001ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 1)	はい

表 29. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f050c-2002ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 2)	はい
806f050c-2003ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 3)	はい
806f050c-2004ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 4)	はい
806f050c-2581ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(すべての DIMM)	はい
806f060d-0400ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 0)	はい
806f060d-0401ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 1)	はい
806f060d-0402ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 2)	はい
806f060d-0403ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 3)	はい
806f060d-0404ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 4)	はい
806f060d-0405ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 5)	はい
806f060d-0406ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 6)	はい
806f060d-0407ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(ドライブ 7)	はい
806f060d-0410ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(Ext ドライブ)	はい
806f0813-2582ffff	システム [ComputerSystemElementName] で訂正不能なバス・エラーが発生しました。(PCI)	はい
806f0813-2584ffff	システム [ComputerSystemElementName] で訂正不能なバス・エラーが発生しました。(CPU)	はい

## IMM イベントのリスト

このセクションでは、IMM から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

- 40000001-00000000 : 管理コントローラー [arg1] でネットワークの初期化が完了しました。  
このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了したユース・ケースに使用されます。



4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - IMM ネットワーク・イベント

**SNMP Trap ID**

37

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0001

**ユーザー応答**

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000002-00000000 : 証明機関 [arg1] が [arg2] 証明書エラーを検出しました。

このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラステッド CA 証明書のエラーがあるユース・ケースに使用されます。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - SSL 認証

**SNMP Trap ID**

22

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0002

**ユーザー応答**

インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

- 40000003-00000000 : ユーザー [arg3] によってイーサネット・データ転送速度が [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0003

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000004-00000000 : ユーザー [arg3] によってイーサネット二重化設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0004

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000005-00000000 : ユーザー [arg3] によってイーサネット MTU 設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0005

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000006-00000000 : ユーザー [arg3] によってイーサネットのローカル管理 MAC アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0006

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000007-00000000 : ユーザー [arg2] によってイーサネット・インターフェースが [arg1] になりました。

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを有効または無効にした場合に使用されます。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0007

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000008-00000000 : ユーザー [arg2] によってホスト名が [arg1] に設定されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更するユース・ケースに使用されます。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID

37

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0008

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000009-00000000 : ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - IMM ネットワーク・イベント

**SNMP Trap ID**

37

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0009

**ユーザー応答**

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000a-00000000 : ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP サブネット・マスクが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更するユース・ケースに使用されます。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

なし

**SNMP Trap ID**

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0010

**ユーザー応答**

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000b-00000000 : ユーザー [arg3] によってデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルト・ゲートウェイ IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0011

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000c-00000000 : [arg2] によって OS ウォッチドッグ応答が [arg1] になりました。  
このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが有効または無効にされた場合に使用されます。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0012

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000d-00000000 : DHCP [[arg1]] でエラーがありました。IP アドレスが割り当てられていません。  
このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができないユース・ケースに使用されます。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
警告

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0013

ユーザー応答  
問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができるネットワーク上に DHCP サーバーがあることを確認します。

- 4000000e-00000000 : リモート・ログインに成功しました。IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID: [arg1] です。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインするユース・ケースに使用されます。

4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID  
30

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0014

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000f-00000000 : ユーザー [arg3] がサーバー [arg2] を [arg1] にしようとしています。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行しているユース・ケースに使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0015

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000010-00000000: セキュリティー: ユーザー ID: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の Web クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0016

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。



- 40000011-00000000 : セキュリティー : ログイン ID : [arg1] によって [arg3] の CLI から [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

このメッセージは、ユーザーが Legacy CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0017

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- 40000012-00000000 : リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の Web ブラウザーからの Userid は [arg1] です。

このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかったユース・ケースに使用されます。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0018

#### ユーザー応答

正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

- 40000013-00000000 : リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の TELNET クライアントからの Userid は [arg1] です。

このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

システム - リモート・ログイン

#### SNMP Trap ID

30

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0019

#### ユーザー応答

正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

- 40000014-00000000 : システム [arg2] の [arg1] はユーザー [arg3] によってクリアされました。

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去されたユース・ケースに使用されます。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0020

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000015-00000000 : ユーザー [arg2] によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。

このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始されたユース・ケースに使用されます。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0021

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000016-00000000 : ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@[arg4], SN=[arg5], GW@[arg6], DNS1@[arg7].

このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられたユース・ケースに使用されます。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0022

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000017-00000000 : ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@[arg3], NetMsk=[arg4], GW@[arg5].  
このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられたユース・ケースに使用されます。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0023

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000018-00000000 : LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースはアクティブではなくなりました。  
このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなったユース・ケースに使用されます。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0024

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000019-00000000 : LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースがアクティブになりました。  
このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになったユース・ケースに使用されます。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0025

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000001a-00000000 : ユーザー [arg2] によって DHCP 設定が [arg1] に変更されました。  
このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更したユース・ケースに使用されます。

4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0026

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000001b-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルから復元されました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元したユース・ケースに使用されます。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0027

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000001c-00000000 : ウォッチドッグ [arg1] のスクリーン・キャプチャーが発生しました。

このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされたユース・ケースに使用されます。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0028

ユーザー応答  
オペレーティング・システム・エラーがない場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc\_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。

オペレーティング・システム・エラーがあった場合は、インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

- **4000001d-00000000** : ウォッチドッグ [arg1] がスクリーン・キャプチャーに失敗しました。

このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、スクリーン・キャプチャーが失敗したユース・ケースに使用されます。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

システム - その他

#### SNMP Trap ID

22

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0029

#### ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc\_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
5. IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- **4000001e-00000000** : バックアップ管理コントローラー [arg1] のメイン・アプリケーションを実行中です。

このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いたユース・ケースに使用されます。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

22

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0030

**ユーザー応答**

IMM ファームウェアを更新します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- 4000001f-00000000 : 管理コントローラー [arg1] が正しいファームウェアでフラッシュされていることを確認してください。管理コントローラーがファームウェアをサーバーと一致させることができません。

このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しないケース・ケースに使用されます。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

22

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0031

**ユーザー応答**

IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。



- 40000020-00000000 : デフォルト値を復元するため、管理コントローラー [arg1] のリセットが発生しました。

このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされたユース・ケースに使用されます。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0032

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000021-00000000 : 管理コントローラー [arg1] の時計が NTP サーバー [arg2] から設定されています。

このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定されたユース・ケースに使用されます。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0033

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000022-00000000 : 管理コントローラー [arg1] 構成データの SSL データは無効です。構成データ領域をクリアし、SSL を無効にしています。

このメッセージは、管理コントローラーが構成データに無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を無効にしている場合に使用されます。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0034

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しいことを確認します。
2. 証明書のインポートを再試行します。

- 40000023-00000000 : ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに成功しました。

このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレス (%d) からファームウェア・コンポーネント (MC メイン・アプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサ、またはリモート拡張ユニットのプロセッサ) を正常にフラッシュしたユース・ケースに使用されます。

4000002300000000 または 0x4000002300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0035

**ユーザー応答**

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000024-00000000 : ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに失敗しました。

このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかったユース・ケースに使用されます。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

22

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0036

**ユーザー応答**

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000025-00000000 : システム [arg2] の [arg1] は 75% 使用中です。

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルであるユース・ケースに使用されます。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - イベント・ログ 75% フル

**SNMP Trap ID**

35

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0037

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000026-00000000 : システム [arg2] の [arg1] は 100% 使用中です。

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルであるユー  
ス・ケースに使用されます。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

システム - イベント・ログの満杯率

#### SNMP Trap ID

35

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0038

#### ユーザー応答

古いログ項目がなくならないようにするには、古いログをテキスト・ファイルとして保存し、その  
ログを消去します。

- 40000027-00000000 : [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。

このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出され  
たユー・ケースに表示されます。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

システム - OS タイムアウト

#### SNMP Trap ID

21

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0039

## ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc\_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

- 40000028-00000000 : [arg1] によって管理コントローラーのテスト・アラートが生成されました。このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成したユース・ケースに使用されます。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - その他

## SNMP Trap ID

22

## CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0040

## ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000029-00000000 : セキュリティー : ユーザー ID : [arg1] によってアドレス [arg3] の SSH クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0041

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- 4000002a-00000000 : [arg1] ファームウェアがシステム [arg2] と内部で一致しません。[arg3] ファームウェアのフラッシュを試みてください。

このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0042

ユーザー応答

IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

- 4000002b-00000000 : ドメイン名が [arg1] に設定されました。

ユーザーによってドメイン名が設定されました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0043

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000002c-00000000 : ユーザー [arg2] によってドメイン・ソースが [arg1] に変更されました。  
ドメイン・ソースがユーザーによって変更されました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0044

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000002d-00000000 : ユーザー [arg2] によって DDNS 設定が [arg1] に変更されました。  
DDNS 設定がユーザーによって変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0045

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000002e-00000000 : DDNS の登録が正常に完了しました。ドメイン名は [arg1] です。

DDNS 登録および値

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0046

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000002f-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 が有効にされました。

ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0047



#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000030-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 が無効にされました。  
ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。  
4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0048

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000031-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が有効にされました。  
ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。  
4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0049

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000032-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が有効にされました。  
ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0050

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000033-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が有効化されました。  
ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0051

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000034-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が無効化されました。  
ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0052

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000035-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が無効にされました。ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0053

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000036-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が無効化されました。ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0054

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000037-00000000 : ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@[arg3] ,Pref=[arg4].  
IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0055

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000038-00000000 : ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@[arg3] ,Pref=[arg4], GW@[arg5].  
IPv6 静的アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0056

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000039-00000000 : ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@[arg4], Pref=[arg5]. IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0057

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000003a-00000000 : ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IPv6 静的アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 静的アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0058

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000003b-00000000 : DHCPv6 エラーです。IP アドレスが割り当てられていません。DHCPv6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0059

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
  2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。
- 4000003c-00000000 : [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。実装環境で OS ローター・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリ

System - ローター・タイムアウト

### SNMP Trap ID

26

### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0060

### ユーザー応答

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
  2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
  3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc\_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
  4. ウォッチドッグを無効にします。
  5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
- 4000003d-00000000 : ユーザー [arg3] によって Telnet ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

### 重大度

通知

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリ

なし

### SNMP Trap ID

### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0061

### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000003e-00000000 : ユーザー [arg3] によって SSH ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0062

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000003f-00000000 : ユーザー [arg3] によって Web-HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0063

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000040-00000000 : ユーザー [arg3] によって Web-HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として表示される場合もあります。



重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0064

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000041-00000000 : ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。  
ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。  
4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0065

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000042-00000000 : ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。  
ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。  
4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0066

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000043-00000000 : ユーザー [arg3] によって SNMP エージェント・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0067

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000044-00000000 : ユーザー [arg3] によって SNMP トラップのポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0068

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000045-00000000 : ユーザー [arg3] によって Syslog ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0069

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000046-00000000 : ユーザー [arg3] によってリモート・プレゼンス・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0070

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000047-00000000 : [arg3] によって LED の [arg1] 状態が [arg2] に変更されました。

ユーザーが LED の状態を変更しました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0071

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000048-00000000 : デバイス [arg1] のインベントリー・データが変更されました。新しいデバイス・データ・ハッシュ=[arg2]、新しいマスター・データ・ハッシュ=[arg3] です。

何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0072

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000049-00000000 : ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が有効にされました。ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0073

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004a-00000000 : ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が無効にされました。ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

## SNMP Trap ID

### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0074

### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004b-00000000 : ユーザー [arg2] によって SNMPv1 [arg1] が設定されました。Name=[arg3]、AccessType=[arg4]、Address=[arg5] です。

ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

### 重大度

通知

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリー

なし

## SNMP Trap ID

### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0075

### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004c-00000000 : ユーザー [arg1] によって LDAP サーバー構成が設定されました。SelectionMethod=[arg2]、DomainName=[arg3]、Server1=[arg4]、Server2=[arg5]、Server3=[arg6]、Server4=[arg7] です。

ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

### 重大度

通知

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリー

なし

## SNMP Trap ID

### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0076

### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004d-00000000 : ユーザー [arg1] によって LDAP が設定されました。RootDN=[arg2]、UIDSearchAttribute=[arg3]、BindingMethod=[arg4]、EnhancedRBS=[arg5]、TargetName=[arg6]、GroupFilter=[arg7]、GroupAttribute=[arg8]、LoginAttribute=[arg9] です。

ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

### 重大度

通知

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリー

なし

## SNMP Trap ID

### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0077

### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004e-00000000 : ユーザー [arg1] によってシリアル・リダイレクトが設定されました。Mode=[arg2]、BaudRate=[arg3]、StopBits=[arg4]、Parity=[arg5]、SessionTerminateSequence=[arg6] です。

ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

### 重大度

通知

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリー

なし

## SNMP Trap ID

### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0078

### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004f-00000000 : ユーザー [arg1] によって日付と時刻が設定されました。Date=[arg2]、Time=[arg3]、DST Auto-adjust=[arg4]、Timezone=[arg5] です。

ユーザーが日時設定を構成しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

### 重大度

通知

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリ

なし

## SNMP Trap ID

### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0079

### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000050-00000000 : ユーザー [arg1] によってサーバー全般設定が設定されました。Name=[arg2]、Contact=[arg3]、Location=[arg4]、Room=[arg5]、RackID=[arg6]、Rack U-position=[arg7] です。

ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

### 重大度

通知

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリ

なし

## SNMP Trap ID



## CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0080

## ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000051-00000000 : ユーザー [arg2] によってサーバーの電源オフ遅延が [arg1] に設定されました。ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

なし

## SNMP Trap ID

## CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0081

## ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000052-00000000 : ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が [arg2] 日の [arg3] 時にスケジュールされました。

ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

なし

## SNMP Trap ID

## CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0082

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000053-00000000 : ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が毎週 [arg2] の [arg3] 時にスケジュールされました。

ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0083

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000054-00000000 : ユーザー [arg3] によってサーバーの [arg1] [arg2] がクリアされました。

ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0084

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000055-00000000 : ユーザー [arg1] によって同期時刻が設定されました。Mode=[arg2]、NTPServerHost1=[arg3]:[arg4]、NTPServerHost2=[arg5]:[arg6]、NTPServerHost3=[arg7]:[arg8]、NTPServerHost4=[arg9]:[arg10]、NTPUpdateFrequency=[arg11] です。

ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0085

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000056-00000000 : ユーザー [arg1] によって SMTP サーバーが [arg2]:[arg3] に設定されました。

ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0086

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000057-00000000 : ユーザー [arg2] による Telnet [arg1] です。  
ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

4000005700000000 または 0x4000005700000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0087

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000058-00000000 : ユーザー [arg1] によって DNS サーバーが設定されました。  
UseAdditionalServers=[arg2]、PreferredDNStype=[arg3]、IPv4Server1=[arg4]、IPv4Server2=[arg5]、  
IPv4Server3=[arg6]、IPv6Server1=[arg7]、IPv6Server2=[arg8]、IPv6Server3=[arg9] です。  
ユーザーが DNS サーバーを構成します。

4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0088

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000059-00000000 : ユーザー [arg2] による LAN over USB [arg1] です。  
ユーザーが、USB-LAN を構成しました。  
4000005900000000 または 0x4000005900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0089

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005a-00000000 : ユーザー [arg1] によって LAN over USB ポート転送設定が設定されました。  
ExternalPort=[arg2]、USB-LAN port=[arg3] です。  
ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。  
4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0090

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005b-00000000 : ユーザー [arg2] によるセキュア Web サービス (HTTPS) [arg1] です。  
ユーザーが、セキュア Web サービスを有効または無効にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0091

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005c-00000000 : ユーザー [arg2] によるセキュアな CIM/XML(HTTPS) [arg1] です。

ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0092

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005d-00000000 : ユーザー [arg2] によるセキュアな LDAP [arg1] です。

ユーザーが、セキュア LDAP サービスを有効または無効にしました。

4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0093

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005e-00000000 : ユーザー [arg2] によって SSH [arg1] が無効にされました。ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。  
4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0094

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005f-00000000 : ユーザー [arg1] によってサーバーのタイムアウトが設定されました。EnableOSWatchdog=[arg2]、OSWatchdogTimeout=[arg3]、EnableLoaderWatchdog=[arg4]、LoaderTimeout=[arg5] です。  
ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。  
4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0095

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000060-00000000 : ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが追加されました。ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0096

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000061-00000000 : ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが削除されました。ユーザーがライセンス・キーを削除します。

4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ



自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0097

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000062-00000000 : ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインの全般設定が設定されました。AuthenticationMethod=[arg2]、LockoutPeriod=[arg3]、SessionTimeout=[arg4] です。

ユーザーが、グローバル・ログインの共通設定を変更しました。

4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0098

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000063-00000000 : ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインのアカウント・セキュリティーが設定されました。PasswordRequired=[arg2]、PasswordExpirationPeriod=[arg3]、MinimumPasswordReuseCycle=[arg4]、MinimumPasswordLength=[arg5]、MinimumPasswordChangeInterval=[arg6]、MaxmumLoginFailures=[arg7]、LockoutAfterMaxFailures=[arg8]、MinimumDifferentCharacters=[arg9]、DefaultIDExpired=[arg10]、ChangePasswordFirstAccess=[arg11] です。

ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティー設定を「レガシー」に変更しました。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0099

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000064-00000000 : ユーザー [arg1] が作成されました。

ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0100

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000065-00000000 : ユーザー [arg1] が削除されました。

ユーザー・アカウントが削除されました。

4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0101

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000066-00000000 : ユーザー [arg1] のパスワードが変更されました。

ユーザー・アカウントが変更されました。

4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0102

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000067-00000000 : ユーザー [arg1] の役割が [arg2] に設定されました。

ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0103

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000068-00000000 : ユーザー [arg1] のカスタム権限が設定されました : [arg2]。  
ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0104

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000069-00000000 : SNMPv3 セットにおけるユーザー [arg1]: AuthenticationProtocol=[arg2]、  
PrivacyProtocol=[arg3]、AccessType=[arg4]、HostforTraps=[arg5] です。

ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0105

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006a-00000000 : SSH クライアント・キーがユーザー [arg1] に追加されました。ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。  
4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0106

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006b-00000000 : SSH クライアント・キーが [arg2] からユーザー [arg1] にインポートされました。ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。  
4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0107

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006c-00000000 : SSH クライアント・キーがユーザー [arg1] から削除されました。  
ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0108

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006d-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルに保存されました。

ユーザーが管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0109

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006e-00000000 : ユーザー [arg1] によってアラート構成のグローバル・イベント通知が設定されました。RetryLimit=[arg2]、RetryInterval=[arg3]、EntryInterval=[arg4] です。  
ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。  
4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0110

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006f-00000000 : アラート受信者番号 [arg1] が更新されました。Name=[arg2]、DeliveryMethod=[arg3]、Address=[arg4]、IncludeLog=[arg5]、Enabled=[arg6]、EnabledAlerts=[arg7]、AllowedFilters=[arg8] です。  
ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。  
4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0111

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000070-00000000 : ユーザー [arg1] によって SNMP トラップが有効にされました。  
EnabledAlerts=[arg2]、AllowedFilters=[arg3] です。  
ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。  
4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知  
保守可能  
いいえ  
自動的にサポートに通知  
いいえ  
アラート・カテゴリー  
なし  
SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0112

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000071-00000000 : ユーザー [arg3] によって電源キャップ値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。  
電源キャップ値がユーザーによって変更されました。  
4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知  
保守可能  
いいえ  
自動的にサポートに通知  
いいえ  
アラート・カテゴリー  
なし  
SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0113

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。



- 40000072-00000000 : 電源キャップの最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。  
電源キャップの最小値が変更されました。  
4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0114

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000073-00000000 : 電源キャップの最大値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。  
電源キャップの最大値が変更されました。  
4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0115

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000074-00000000 : 電源キャップ値のソフト最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。  
ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0116

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000075-00000000 : 計測電力値が電源キャップ値を超えました。

電力上限値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0117

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000076-00000000 : 新規の電源キャップの最小値が電源キャップ値を超えました。

最小電源キャップが電源キャップを超えています。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度  
警告

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
警告 - 電源

SNMP Trap ID  
164

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0118

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000077-00000000 : ユーザー [arg1] によって電源キャップがアクティブ化されました。電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。  
4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0119

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000078-00000000 : ユーザー [arg1] によって電源キャップが非アクティブ化されました。電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。  
4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0120

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000079-00000000 : ユーザー [arg1] によって静的電力節減モードがオンにされました。  
ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。  
4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0121

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007a-00000000 : ユーザー [arg1] によって静的電力節減モードがオフにされました。  
ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。  
4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0122

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007b-00000000 : ユーザー [arg1] によって動的電力節減モードがオンにされました。  
ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。  
4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0123

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007c-00000000 : ユーザー [arg1] によって動的電力節減モードがオフにされました。  
ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。  
4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0124

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007d-00000000 : 電源キャップ・スロットルと外部スロットルが発生しました。  
電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。  
4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0125

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007e-00000000 : 外部スロットルが発生しました。  
外部スロットルが生じました。  
4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0126

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007f-00000000 : 電源キャップ・スロットルが発生しました。

電源キャップ・スロットルが生じました。

4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0127

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000080-00000000 : ユーザー [arg1] によってリモート制御セッションが [arg2] モードで開始されました。

リモート制御セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x4000008000000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

なし

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0128

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000081-00000000 : ユーザー [arg1] によって PXE ブートが要求されました。  
PXE ブートが要求されました。  
4000008100000000 または 0x4000008100000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知  
保守可能  
いいえ  
自動的にサポートに通知  
いいえ  
アラート・カテゴリ  
なし  
SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0129

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000082-00000000 : 計測された電源値が電源キャップ値を下回りました。  
電力上限値を超えた状態から回復しました。  
4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知  
保守可能  
いいえ  
自動的にサポートに通知  
いいえ  
アラート・カテゴリ  
警告 - 電源  
SNMP Trap ID  
164

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0130

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000083-00000000 : 新規最小電源キャップ値が電源キャップ値を下回りました。  
最小電力上限が、回復された電力上限を超えています。



4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリー**

警告 - 電源

**SNMP Trap ID**

164

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0131

**ユーザー応答**

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000084-00000000 : IMM ファームウェアがノード [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。

ノード間で IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリー**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

22

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0132

**ユーザー応答**

すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

- 40000085-00000000 : FPGA ファームウェアがノード [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。

ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0133

ユーザー応答

すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

- 40000086-00000000 : ユーザー [arg1] によってテスト・コール・ホームが生成されました。ユーザーによって、テスト用のコール・ホームが生成されました。  
4000008600000000 または 0x4000008600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0134

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000087-00000000 : ユーザー [arg1] による手動コール・ホーム : [arg2]。  
ユーザーによる手動コール・ホーム  
4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0135

ユーザー応答

Lenovo サポートが問題に対応します。

- 40000088-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元が完了しました。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0136

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000089-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元が完了できませんでした。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリー**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

22

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0137

**ユーザー応答**

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
  2. 45 秒後にサーバーを電源に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
  3. 操作を再試行します。
- 4000008a-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元を開始できませんでした。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリー**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

22

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0138

**ユーザー応答**

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを電源に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行します。

- 4000008b-00000000 : ストレージ [arg1] が変更されました。  
このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更されたユース・ケースに使用されます。  
4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID

37

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0139

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000008c-00000000 : セキュリティー: ユーザー ID: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の CIM クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。  
このメッセージは、ユーザーが CIM から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。  
4000008c00000000 または 0x4000008c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0140

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000008d-00000000 : リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した userid またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の CIM クライアントの Userid は [arg1] です。

このメッセージは、リモート・ユーザーが CIM からリモート制御セッションを確立できなかった場合に使用されます。

4000008d00000000 または 0x4000008d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0141

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000008e-00000000 : デバイス [arg1] の VPD が無効です。

デバイスの VPD が無効です。

4000008e00000000 または 0x4000008e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0142

ユーザー応答

Lenovo サポートが問題に対応します。

- 4000008f-00000000 : ベア・メタル接続プロセスが開始されました。

ベア・メタル接続プロセスが開始されました。

4000008f00000000 または 0x4000008f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000090-00000000 : ベア・メタル更新アプリケーションがステータス [arg1] を報告しました。  
ベア・メタル更新アプリケーションのステータスです。

4000009000000000 または 0x4000009000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0144

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000091-00000000 : ユーザー [arg1] がアクティブ・コンソール・セッションを終了しました。  
ユーザーがアクティブ・コンソール・セッションを終了しました

4000009100000000 または 0x4000009100000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0145

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000092-00000000 : TKLM サーバーがユーザー [arg1] によって設定されました。TKLMServer1=[arg2] Port=[arg3]、TKLMServer2=[arg4] Port=[arg5]、TKLMServer3=[arg6] Port=[arg7]、TKLMServer4=[arg8] Port=[arg9] です。

ユーザーが TKLM サーバーを構成しました

4000009200000000 または 0x4000009200000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0146

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000093-00000000 : ユーザー [arg1] によって TKLM サーバーのデバイス・グループが設定されました。TKLMServerDeviceGroup=[arg2] です。

ユーザーが TKLM デバイス・グループを構成しました

4000009300000000 または 0x4000009300000000 として表示される場合もあります。



重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0147

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000094-00000000 : ユーザー [arg1] が新規暗号鍵ペアを生成し、TKLM クライアントの自己署名証明書をインストールしました。  
ユーザーが新規暗号鍵ペアを生成し、TKLM クライアントの自己署名証明書をインストールしました  
4000009400000000 または 0x4000009400000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0148

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000095-00000000 : ユーザー [arg1] が新規暗号鍵と TKLM クライアントの証明書署名要求を生成しました。  
ユーザーが新規暗号鍵と、TKLM クライアントに対する証明書署名要求を生成しました  
4000009500000000 または 0x4000009500000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0149

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000096-00000000 : ユーザー [arg1] が [arg2] から TKLM クライアントの署名された証明書をインポートしました。  
ユーザーが TKLM クライアントの署名済み証明書をインポートしました。  
4000009600000000 または 0x4000009600000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0150

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000097-00000000 : ユーザー [arg1] が TKLM サーバーのサーバー証明書をインポートしました。  
ユーザーが TKLM サーバーのサーバー証明書をインポートしました  
4000009700000000 または 0x4000009700000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0151

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000098-00000000 : UEFI 定義が変更されました。

UEFI 定義変更が検出されました

4000009800000000 または 0x4000009800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0152

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000099-00000000 : セキュリティー : ユーザー ID : [arg1] によって IP アドレス [arg3] の IPMI クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

このメッセージは、ユーザーが IPMI から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

4000009900000000 または 0x4000009900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0153

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000009a-00000000 : セキュリティー: ユーザー ID: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の SNMP クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

このメッセージは、ユーザーが SNMP から管理コントローラーへのアクセスに失敗した場合に使用されます。

4000009a00000000 または 0x4000009a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0154

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000009b-00000000 : セキュリティー: ユーザー ID: [arg1] によって IPMI シリアル・クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

このメッセージは、ユーザーが IPMI シリアル・クライアントから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます

4000009b00000000 または 0x4000009b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - リモート・ログイン

**SNMP Trap ID**

30

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0155

**ユーザー応答**

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000009c-00000000 : リモート・ログインに成功しました。[arg2] シリアル・インターフェースからのログイン ID: [arg1] です。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインするユース・ケースに使用されます。

4000009c00000000 または 0x4000009c00000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - リモート・ログイン

**SNMP Trap ID**

30

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0156

**ユーザー応答**

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000009d-00000000 : IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID [arg1] はログオフしています。

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーからログオフした場合に使用されます。

4000009d00000000 または 0x4000009d00000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0157

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000009e-00000000 : IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID [arg1] はログオフしています。このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーからログオフ済みである場合に使用されます。4000009e00000000 または 0x4000009e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0158

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000009f-00000000 : ユーザー [arg1] がサーバー [arg2] との接続性を確認するために TKLM サーバー接続テストを開始しました。ユーザーが TKLM サーバー接続テストを開始しました。4000009f00000000 または 0x4000009f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0159

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a0-00000000 : ユーザー [arg1] が SMTP サーバー接続テストを開始しました。  
ユーザーが SMTP サーバー接続テストを開始しました。  
400000a000000000 または 0x400000a000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0160

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a1-00000000 : UEFI の報告 : [arg1]。  
UEFI 監査イベントがログに記録されました。  
400000a100000000 または 0x400000a100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

## SNMP Trap ID

### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0161

### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a2-00000000 : ユーザー [arg1] が [arg4] からのファイル [arg3] を [arg2] しました。  
ユーザーが URL またはサーバーからファイルをマウント/アンマウントしました  
400000a200000000 または 0x400000a200000000 として表示される場合もあります。

### 重大度

通知

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリー

システム - その他

## SNMP Trap ID

22

### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0162

### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a3-00000000 : ユーザー [arg1] が SMTP サーバーのリバースパスを [arg2] に設定しました。  
ユーザーが SMTP サーバーのリバースパス・アドレスを設定しました  
400000a300000000 または 0x400000a300000000 として表示される場合もあります。

### 重大度

通知

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリー

システム - その他

## SNMP Trap ID

22

### CIM 情報



Prefix: IMM ID: 0163

**ユーザー応答**

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a4-00000000 : ユーザー [arg1] が証明書を削除しました。

ユーザーが証明書を削除しました

400000a400000000 または 0x400000a400000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリー**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

22

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0164

**ユーザー応答**

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a5-00000000 : 証明書が取り消されました。

証明書が取り消されました

400000a500000000 または 0x400000a500000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリー**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

22

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0165

**ユーザー応答**

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a6-00000000 : サーバーが不明の理由で再起動されました。

サーバーが不明の理由で再起動されました

400000a600000000 または 0x400000a600000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0166

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a7-00000000 : サーバーがシャース制御コマンドによって再起動されました。

サーバーがシャース制御コマンドによって再起動されました

400000a700000000 または 0x400000a700000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0167

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a8-00000000 : サーバーがプッシュボタンを介してリセットされました。

サーバーがプッシュボタンを介してリセットされました

400000a800000000 または 0x400000a800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0168

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a9-00000000 : 電源プッシュボタンを介してサーバーに電源が入りました。

電源プッシュボタンを介してサーバーに電源が入りました

400000a900000000 または 0x400000a900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000aa-00000000 : ウォッチドッグが満了したときにサーバーが再起動されました。

ウォッチドッグが満了したときにサーバーが再起動されました。

400000aa00000000 または 0x400000aa00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0170

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000ab-00000000 : サーバーが OEM の理由で再起動されました。  
サーバーが OEM の理由で再起動されました  
400000ab00000000 または 0x400000ab00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0171

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000ac-00000000 : 電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。  
電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。  
400000ac00000000 または 0x400000ac00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0172

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000ad-00000000 : 電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。

電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。

400000ad00000000 または 0x400000ad00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0173

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000ae-00000000 : サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介してリセットされました。

サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介してリセットされました

400000ae00000000 または 0x400000ae00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0174

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000af-00000000 : プラットフォーム・イベント・フィルターを介してサーバーの電源サイクルが実行されました。

プラットフォーム・イベント・フィルターを介してサーバーの電源サイクルが実行されました

400000af00000000 または 0x400000af00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0175

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b0-00000000 : サーバーがソフト・リセットされました。

サーバーがソフト・リセットされました

400000b000000000 または 0x400000b000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0176

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b1-00000000 : リアルタイム・クロックを介してサーバーの電源が入りました (スケジュール電源投入)。

リアルタイム・クロックを介してサーバーの電源が入りました (スケジュール電源投入)

400000b100000000 または 0x400000b100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0177

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b2-00000000 : サーバーが不明の理由で電源オフされました。

サーバーが不明の理由で電源オフされました

400000b200000000 または 0x400000b200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0178

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b3-00000000 : サーバーがシャース制御コマンドによって電源オフされました。  
サーバーがシャース制御コマンドによって電源オフされました  
400000b300000000 または 0x400000b300000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0179

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b4-00000000 : サーバーがプッシュボタンを介して電源オフされました。  
サーバーがプッシュボタンを介して電源オフされました  
400000b400000000 または 0x400000b400000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他



SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0180

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b5-00000000 : ウォッチドッグが満了したときにサーバーが電源オフされました。  
ウォッチドッグが満了したときにサーバーが電源オフされました。  
400000b500000000 または 0x400000b500000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0181

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b6-00000000 : 電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。  
電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。  
400000b600000000 または 0x400000b600000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0182

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b7-00000000 : 電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。

電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。

400000b700000000 または 0x400000b700000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

システム - その他

#### SNMP Trap ID

22

#### CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0183

#### ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b8-00000000 : サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介して電源オフされました。

サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介して電源オフされました

400000b800000000 または 0x400000b800000000 として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

システム - その他

#### SNMP Trap ID

22

## CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0184

## ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b9-00000000 : リアルタイム・クロックを介してサーバーが電源オフされました (スケジュールされた電源オフ)。

リアルタイム・クロックを介してサーバーが電源オフされました (スケジュールされた電源オフ)

400000b900000000 または 0x400000b900000000 として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - その他

## SNMP Trap ID

22

## CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0185

## ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000ba-00000000 : 電源オン・リセットによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。

電源オン・リセットによって管理コントローラーのリセットが開始されました

400000ba00000000 または 0x400000ba00000000 として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - その他

## SNMP Trap ID

22

## CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0186

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000bb-00000000 : PRESET によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。  
PRESET によって管理コントローラーのリセットが開始されました  
400000bb00000000 または 0x400000bb00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0187

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000bc-00000000 : CMM ファームウェアによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。  
CMM によって管理コントローラーのリセットが開始されました  
400000bc00000000 または 0x400000bc00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0188

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000bd-00000000 : IMM ファームウェアによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。

IMM ファームウェアによって管理コントローラーのリセットが開始されました

400000bd00000000 または 0x400000bd00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0189

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000be-00000000 : [arg1] 証明書は有効期限切れで削除されました。

有効期限が切れた証明書が削除されました

400000be00000000 または 0x400000be00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0190

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000bf-00000000 : オペレーティング・システムのステータスが [arg1] に変更されました。  
オペレーティング・システムのステータスが変更されました  
400000bf00000000 または 0x400000bf00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0191

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000c1-00000000 : システムがセットアップを実行中です。  
システムがセットアップを実行中です  
400000c100000000 または 0x400000c100000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0193

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000c2-00000000 : ユーザー [arg1] によって [arg2] モードで開始されたりリモート制御セッションが終了されました。

リモート制御セッションが終了されました

400000c200000000 または 0x400000c200000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

22

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0194

**ユーザー応答**

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000c3-00000000 : [arg1] へのコール・ホームを完了できませんでした。[arg2] です。  
コール・ホームを完了できませんでした。

400000c300000000 または 0x400000c300000000 として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

22

**CIM 情報**

Prefix: IMM ID: 0195

**ユーザー応答**

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000c4-00000000 : IMM は、前のイベント [arg1] を記録しませんでした。  
IMM は、前のイベントを記録しませんでした。

400000c400000000 または 0x400000c400000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0196

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000c5-00000000 : UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextBoot のため有効になっています。  
UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextBoot のため有効になっています  
400000c500000000 または 0x400000c500000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0197

ユーザー応答  
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000c6-00000000 : UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextAc のため有効になっています。  
UEFI デプロイメント・ブート・モードは NextAC のため有効になっています  
400000c600000000 または 0x400000c600000000 として表示される場合もあります。

重大度



通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0198

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000c7-00000000 : UEFI デプロイメント・ブート・モードは無効にされました。  
UEFI デプロイメント・ブート・モードは無効にされました  
400000c700000000 または 0x400000c700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0199

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000c9-00000000 : ユーザー [arg1] は、システム [arg2] を Encapsulation ライト・モードにしました。  
Encapsulation ライト・モードのステータスの変更  
400000c900000000 または 0x400000c900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0201

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000ca-00000000 : RAID コントローラーによってバッテリー・エラーが検出されました。バッテリーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーによってバッテリー・エラーが検出されました

400000ca00000000 または 0x400000ca00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0202

ユーザー応答

LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

- 400000cb-00000000 : RAID コントローラーはバッテリーに問題があります。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーはバッテリーに問題があります

400000cb00000000 または 0x400000cb00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知  
はい

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0203

ユーザー応答  
LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

- 400000cc-00000000 : RAID コントローラーは、リカバリー不能エラーを検出しました。コントローラーを取り替える必要があります。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーは、リカバリー不能エラーを検出しました

400000cc00000000 または 0x400000cc00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
はい

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0204

ユーザー応答  
LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

- 400000cd-00000000 : RAID コントローラーは、1 つ以上の問題を検出しました。追加のサポートが必要な場合は、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーは、1 つ以上の問題を検出しました。

400000cd00000000 または 0x400000cd00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0205

ユーザー応答  
LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

- 400000ce-00000000 : RAID コントローラーは、サブシステム内に 1 つ以上の構成の変更が行われた可能性を検出しました。ドライブ LED のステータスを確認してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーは、サブシステム内に 1 つ以上の構成の変更が行われた可能性を検出しました

400000ce00000000 または 0x400000ce00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0206

ユーザー応答  
LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

- 400000cf-00000000 : 1 つ以上のユニットで筐体の問題が検出されました。格納装置を確認して問題を修復してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

1 つ以上のユニットで筐体の問題が検出されました

400000cf00000000 または 0x400000cf00000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0207

ユーザー応答  
Lenovo サポートが問題に対応します。

- 400000d0-00000000 : 筐体で接続の問題が検出されました。ケーブル構成を確認して問題を修復してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

筐体で接続の問題が検出されました

400000d000000000 または 0x400000d000000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0208

ユーザー応答  
Lenovo サポートが問題に対応します。

- 400000d1-00000000 : 筐体でファンの問題が検出されました。格納装置のファンが正常に動作しているか確認してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

筐体でファンの問題が検出されました

400000d100000000 または 0x400000d100000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0209

ユーザー応答  
Lenovo サポートが問題に対応します。

- 400000d2-00000000 : 筐体のパワー・サプライに問題が発生しています。格納装置のパワー・サプライが正常に動作しているか確認してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

筐体のパワー・サプライに問題が発生しています

400000d200000000 または 0x400000d200000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0210

ユーザー応答  
Lenovo サポートが問題に対応します。

- 400000d3-00000000 : 1つ以上の仮想ドライブが異常な状態で、この状態が原因で仮想ドライブが使用できなくなる可能性があります。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

1つ以上の仮想ドライブが異常な状態で、この状態が原因で仮想ドライブが使用できなくなる可能性があります

400000d300000000 または 0x400000d300000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0211

ユーザー応答  
LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

- 400000d4-00000000 : RAID コントローラーは、サブシステム内に 1 つ以上の構成の問題が発生した可能性を検出しました。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーは、サブシステム内に 1 つ以上の構成の問題が発生した可能性を検出しました  
400000d400000000 または 0x400000d400000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: IMM ID: 0212

ユーザー応答  
LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

- 400000d5-00000000 : 1 つ以上の仮想ドライブに問題が発生しています。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

1 つ以上の仮想ドライブに問題が発生しています

400000d500000000 または 0x400000d500000000 として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0213

ユーザー応答

LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

- 400000d6-00000000 : RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。この問題を解決するには、テクニカル・サポートに連絡してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました

400000d600000000 または 0x400000d600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0214

ユーザー応答

LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

- 400000d7-00000000 : RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました。イベント・ログを確認してください。イベントが同じディスクを対象としている場合は、そのドライブを交換してください。必要な場合は、テクニカル・サポートに追加のサポートを依頼してください。([arg1]、[arg2]、[arg3]、[arg4]、[arg5])

RAID コントローラーによってドライブ・エラーが検出されました

400000d700000000 または 0x400000d700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ



自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0215

ユーザー応答

LSI イベント ID により、ストレージの資料を確認してください。

- 80010002-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(CMOS バッテリー)

このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800100020701ffff または 0x800100020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電圧

SNMP Trap ID

13

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0476

ユーザー応答

システム・バッテリーを交換します。

- 80010202-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(CMOS バッテリー)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800102020701ffff または 0x800102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

はい

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

#### SNMP Trap ID

1

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

#### ユーザー応答

指定されたセンサーが CMOS バッテリーの場合は、システム・バッテリーを交換してください。  
指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V の場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. 「電源問題および電源問題の解決」の処置に従ってください。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

SysBrd 12V : SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

- 80010204-1d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(ファン 1 速度計)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユーザー・ケースに使用されます。

800102041d01ffff または 0x800102041d01ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

#### SNMP Trap ID

11

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

#### ユーザー応答

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED によって示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

- 80010204-1d02ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(ファン 2 速度計)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユー  
ス・ケースに使用されます。

800102041d02ffff または 0x800102041d02ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル-ファン障害

#### SNMP Trap ID

11

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

#### ユーザー応答

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED によって示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

- 80010204-1d03ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(ファン 3 速度計)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユー  
ス・ケースに使用されます。

800102041d03ffff または 0x800102041d03ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル-ファン障害

#### SNMP Trap ID

11

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

#### ユーザー応答

1. 障害を起こしているファン  $n$  を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED によって示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(  $n$  = ファン番号)

- 80010204-1d04ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(ファン 4 速度計)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800102041d04ffff または 0x800102041d04ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

#### ユーザー応答

1. 障害を起こしているファン  $n$  を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED によって示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(  $n$  = ファン番号)

- 80010701-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(周辺温度 1 温度計)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107010701ffff または 0x800107010701ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

警告 - 温度

## SNMP Trap ID

12

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0490

## ユーザー応答

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

- 80010701-0704ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCIE 温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107010704ffff または 0x800107010704ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

警告

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

警告 - 温度

## SNMP Trap ID

12

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0490

## ユーザー応答

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

- 80010701-0705ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(CPU VRM 温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107010705ffff または 0x800107010705ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

- 80010701-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(周辺温度 2 温度計)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107012701ffff または 0x800107012701ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0490

## ユーザー応答

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

- **80010701-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCH 温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107012d01ffff または 0x800107012d01ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

警告

### 保守可能

はい

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリ

警告 - 温度

### SNMP Trap ID

12

### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0490

## ユーザー応答

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

- **80010901-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(周辺温度 1 温度計)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800109010701ffff または 0x800109010701ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

エラー

### 保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

- 80010901-0704ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCIE 温度)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたケース・ケースに使用されます。

800109010704ffff または 0x800109010704ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。



- 80010901-0705ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(CPU VRM 温度)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザー・ケースに使用されます。

800109010705ffff または 0x800109010705ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

#### SNMP Trap ID

0

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

#### ユーザー応答

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアークラウドが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

- 80010901-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(周辺温度 2 温度計)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザー・ケースに使用されます。

800109012701ffff または 0x800109012701ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

#### SNMP Trap ID

0

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

#### ユーザー応答

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

- 80010901-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユー  
ス・ケースに使用されます。

800109012d01ffff または 0x800109012d01ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

#### SNMP Trap ID

0

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

#### ユーザー応答

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

- 80010902-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(SysBrd 12V)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユー  
ス・ケースに使用されます。

800109020701ffff または 0x800109020701ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

はい

## アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

## SNMP Trap ID

1

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

## ユーザー応答

指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

- 80010b01-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(周辺温度 1 温度計)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザー・ケースに使用されます。

80010b010701ffff または 0x80010b010701ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

## SNMP Trap ID

0

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0498

## ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと(サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。

2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、「サーバーの機能および仕様」を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010b01-0704ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCIe 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

80010b010704ffff または 0x80010b010704ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID  
0

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、「サーバーの機能および仕様」を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010b01-0705ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(CPU VRM 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

80010b010705ffff または 0x80010b010705ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

## SNMP Trap ID

0

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0498

## ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
  2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、「サーバーの機能および仕様」を参照)。
  3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
  4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- 80010b01-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(周辺温度 2 温度計)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

80010b012701ffff または 0x80010b012701ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

## SNMP Trap ID

0

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0498

## ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。

2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、「サーバーの機能および仕様」を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010b01-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCH 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

80010b012d01ffff または 0x80010b012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID  
0

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、「サーバーの機能および仕様」を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80030006-2101ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(署名検査の失敗)**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

800300062101ffff または 0x800300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0509

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **80030012-2301ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(OS リアルタイム・モジュール)**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

800300122301ffff または 0x800300122301ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0509

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **80030021-0782ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(PCIe Dev LK ダウン)**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

800300210782ffff または 0x800300210782ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8003010c-2581ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(純正以外の DIMM)**  
このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。  
8003010c2581ffff または 0x8003010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。
  2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション(ドライブやアダプターなど)を取り外し、合計電力使用量を削減してください。
- **8003010f-2101ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(IMM FW の破損)**  
このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。  
8003010f2101ffff または 0x8003010f2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ



## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - その他

## SNMP Trap ID

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

## ユーザー応答

1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション(ドライブやアダプターなど)を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

- **80030112-0601ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(SMM モード)**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800301120601ffff または 0x800301120601ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - その他

## SNMP Trap ID

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

## ユーザー応答

1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション(ドライブやアダプターなど)を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

SMM モニター:

- **80030121-0782ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(PCIe Dev LK ダウン)**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800301210782ffff または 0x800301210782ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション(ドライブやアダプターなど)を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

- 8007000d-2582ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態に遷移しました。(RAID ボリュームの状態)

このメッセージは、センサーが通常の状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007000d2582ffff または 0x8007000d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
警告 - その他

SNMP Trap ID  
60

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0518

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 8007010d-2582ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態に遷移しました。(RAID ボリュームの状態)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007010d2582ffff または 0x8007010d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

なし

- 8007010f2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。(GPT ステータス)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007010f2201ffff または 0x8007010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

PCI I/O リソース・エラーを解決するために、以下のステップを実行してください。

1. 「F1 Setup」->「System Settings」->「Device and I/O ports」->「PCI 64 bit Resource」に進み、「enable」を選択します。

- 8007010f-2582ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態に遷移しました。(I/O リソース)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007010f2582ffff または 0x8007010f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

PCI I/O リソース・エラーを解決するために、以下のステップを実行してください。

1. 「F1 Setup」->「System Settings」->「Device and I/O ports」->「PCI 64 bit Resource」に進み、「enable」を選択します。

- 80070114-2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態に遷移しました。(TPM 物理プレゼンス設定)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800701142201ffff または 0x800701142201ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

## ユーザー応答

1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とする管理用タスクを実行します。
2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元します。
3. システムをリブートします。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが解決しない場合は、プレーナーを交換します。

- **80070128-2e01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態に遷移しました。(ME リカバリー)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800701282e01ffff または 0x800701282e01ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

警告

### 保守可能

はい

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリ

警告 - その他

### SNMP Trap ID

### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

## ユーザー応答

1. IMM を再起動します。エラーが解決しない場合は、ステップ 2 に進みます。
2. 最新レベルの iMM/uEFI コードに更新し、ステップ 3 に進みます。
3. ノードを交換します。

- **80070201-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(CPU 1 温度過熱)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702010301ffff または 0x800702010301ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

エラー

### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

#### SNMP Trap ID

0

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

#### ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、「機能および仕様」を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- 80070202-0701ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(SysBrd 電圧障害)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702020701ffff または 0x800702020701ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

#### SNMP Trap ID

1

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

#### ユーザー応答

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
3. 障害のあるデバイスをすべて交換します。

4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80070204-0a01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(PS 1 ファン障害)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702040a01ffff または 0x800702040a01ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル-ファン障害

#### SNMP Trap ID

11

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

#### ユーザー応答

1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

- **80070204-0a02ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(PS 2 ファン障害)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702040a02ffff または 0x800702040a02ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID  
11

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの(ケーブルの束など)がないことを確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

- 80070208-0a01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(PS 1 温度障害)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702080a01ffff または 0x800702080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - 電源

SNMP Trap ID  
4

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの(ケーブルの束など)がないことを確認します。
2. Lenovo Power Configurator ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。これらのユーティリティーの詳細およびダウンロードについては、<https://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?lnocid=LNVO-PWRCONF> にアクセスしてください。
3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

- 80070208-0a02ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(PS 2 温度障害)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。



800702080a02ffff または 0x800702080a02ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

#### SNMP Trap ID

4

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

#### ユーザー応答

1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
  2. Lenovo Power Configurator ユーティリティを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。これらのユーティリティの詳細およびダウンロードについては、<https://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?lnocid=LNVO-PWRCONF> にアクセスしてください。
  3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)
- **8007020d-2582ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(RAID ボリュームの状態)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007020d2582ffff または 0x8007020d2582ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

#### SNMP Trap ID

50

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

#### ユーザー応答

なし

- **8007020f-2201ffff**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(TXT ACM モジュール)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007020f2201ffff または 0x8007020f2201ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

#### SNMP Trap ID

50

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

#### ユーザー応答

1. TXT を有効化する必要がない場合は、Setup Utility から TXT を無効にします。
2. TXT を有効化する必要がある場合は、Setup Utility から TPM が有効でアクティブ化されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。

- **8007020f-2582ffff**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(I/O リソース)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007020f2582ffff または 0x8007020f2582ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0522

#### ユーザー応答

1. TXT を有効化する必要がない場合は、Setup Utility から TXT を無効にします。
2. TXT を有効化する必要がある場合は、Setup Utility から TPM が有効でアクティブ化されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス担当者にお問い合わせください。

- **80070214-2201ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(TPM ロック)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702142201ffff または 0x800702142201ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0522

#### ユーザー応答

1. サーバー・ファームウェアを更新します(「サーバー・ファームウェアのリカバリー」を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します(「システム・ボードの取り外し」および「システム・ボードの取り付け」を参照)。

- **80070219-0701ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(SysBrd 障害)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702190701ffff または 0x800702190701ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
2. システム・イベント・ログを確認します。
3. システム・ファームウェア・バージョンを確認し、最新バージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. AC 電源コードのプラグをいったん抜いてから元に戻し、ステップ 1 と 2 を再度実行します。
5. 引き続き問題が発生する場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 80070228-2e01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。(ME エラー)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702282e01ffff または 0x800702282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

特定のセンサーが IPMB IO エラー、Me エラー、または ME フラッシュ・エラーである場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。

1. IMM を再起動します。エラーが解決しない場合は、ステップ 2 に進みます。
2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します。エラーが解決しない場合は、ステップ 3 に進みます。
3. ノードを交換します。

ME フラッシュ・エラー:

- **80070301-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(CPU 1 温度過熱)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703010301ffff または 0x800703010301ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

#### SNMP Trap ID

0

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

#### ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、「サーバーの機能および仕様」を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

- **8007030d-2582ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(RAID ボリュームの状態)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007030d2582ffff または 0x8007030d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答  
なし

- 80070608-0a01ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。  
(PS1 12V OC 障害)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユー  
ス・ケースに使用されます。

800706080a01ffff または 0x800706080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - 電源

SNMP Trap ID  
4

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行  
してください。

1. Lenovo Power Configurator ユーティリティを使用して現行のシステム電力使用量を確認  
してください。これらのユーティリティの詳細およびダウンロードについては、  
<https://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?lnocid=LNVO-PWRCONF> にアクセスし  
てください。
2. 「電源問題および電源問題の解決」の処置に従ってください。

指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. 「電源問題および電源問題の解決」の処置に従ってください。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

PS1 12V OV 障害 : PS1 12V UV 障害 : PS1 12Vaux 障害 :

- **80070608-0a02ffff : センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。(PS2 12V OC 障害)**

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800706080a02ffff または 0x800706080a02ffff として表示される場合もあります。

**重大度**  
エラー

**保守可能**  
はい

**自動的にサポートに通知**  
いいえ

**アラート・カテゴリ**  
クリティカル - 電源

**SNMP Trap ID**  
4

**CIM 情報**  
Prefix: PLAT ID: 0530

**ユーザー応答**

指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. Lenovo Power Configurator ユーティリティを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。これらのユーティリティの詳細およびダウンロードについては、<https://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?lnocid=LNVO-PWRCONF> にアクセスしてください。

2. 「電源問題および電源問題の解決」の処置に従ってください。

指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. 「電源問題および電源問題の解決」の処置に従ってください。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

PS2 12V OV 障害 : PS2 12V UV 障害 : PS2 12Vaux 障害 :

- 80070614-2201ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。(TPM 物理プレゼンス設定)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800706142201ffff または 0x800706142201ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

1. サーバー・ファームウェアを更新します(「サーバー・ファームウェアのリカバリー」を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します(「システム・ボードの取り外し」および「システム・ボードの取り付け」を参照)。



- 80080025-3701ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(サーマル・ボード)

このメッセージは、デバイスが取り外されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800800253701ffff または 0x800800253701ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0537

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 80080125-3701ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。(サーマル・ボード)

このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800801253701ffff または 0x800801253701ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0536

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- **80080128-2101ffff**: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。(低セキュリティー・ジャンパー)

このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800801282101ffff または 0x800801282101ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0536

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- **800b0008-1301ffff**: 冗長性 [RedundancySetElementName] が復元されました。(電源装置)

このメッセージは、冗長性が復元されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800b00081301ffff または 0x800b00081301ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
警告 - 冗長パワー・サブライ

SNMP Trap ID  
10

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0561

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- **800b0108-1301ffff**: [RedundancySetElementName] の冗長性消失が検出されました。(電源装置)  
このメッセージは、冗長性が失われたことが表明されたユース・ケースに使用されます  
800b01081301ffff または 0x800b01081301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 冗長パワー・サプライ

SNMP Trap ID

9

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0802

ユーザー応答

1. 両方のパワー・サプライの LED を確認します。
2. パワー・サプライ LED の処置に従います。

- **806f0007-0301ffff**: [ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。(CPU 1)  
このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。  
806f00070301ffff または 0x806f00070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0042

ユーザー応答

1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
  2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (「ファームウェアの更新」)。
  3. DSA プログラムを実行します。
  4. アダプターを取り付け直します。
  5. アダプターを交換します。
  6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。
  7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
- **806f0008-0a01ffff**: [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] に追加されました。(パワー・サプライ 1)  
このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f00080a01ffff または 0x806f00080a01ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

システム - その他

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0084

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f0008-0a02ffff**: [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] に追加されました。(パワー・サプライ 2)  
このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f00080a02ffff または 0x806f00080a02ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0084

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f0009-1301ffff**: [PowerSupplyElementName] が電源オフになっています。(ホスト電源)  
このメッセージは、実装環境で無効にされた電源装置が検出された場合に表示されます。  
806f00091301ffff または 0x806f00091301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 電源オフ

SNMP Trap ID

23

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0106

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0400ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 0)  
このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f000d0400ffff または 0x806f000d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f000d-0401ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0401ffff または 0x806f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f000d-0402ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0402ffff または 0x806f000d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f000d-0403ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0403ffff または 0x806f000d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f000d-0404ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0404ffff または 0x806f000d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f000d-0405ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 5)  
このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0405ffff または 0x806f000d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f000d-0406ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 6)  
このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0406ffff または 0x806f000d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ



アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f000d-0407ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(ドライブ 7)  
このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f000d0407ffff または 0x806f000d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f000d-0410ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(Ext ドライブ)  
このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f000d0410ffff または 0x806f000d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

#### SNMP Trap ID

22

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f000f-220101ff: システム [ComputerSystemElementName] は、システムにメモリーがないことを検出しました。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユー  
ス・ケースに表示されます。

806f000f220101ff または 0x806f000f220101ff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

#### SNMP Trap ID

41

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0794

#### ユーザー応答

1. サーバーが、起動に必要な最小構成を満たしていることを確認します(「パワー・サプ  
ライ LED」を参照)。
2. 以下のようにして、サーバーのファームウェアをバックアップ・ページからリカバリーし  
ます: a. サーバーを再起動します。b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェ  
アをリカバリーします。
3. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリュー  
ションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラス  
ター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルの  
コードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびに  
サーバーを再起動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

- 806f000f-220102ff: サブシステム [MemoryElementName] に、操作に十分なメモリーがありませ  
ん。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で使用可能メモリーが動作には不十分であることが検出されたユー  
ス・ケースに表示されます。

806f000f220102ff または 0x806f000f220102ff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**

41

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0132

**ユーザー応答**

1. サーバーが、起動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (「パワー・サプ  
ライ LED」を参照)。
2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリュー  
ションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラス  
ター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルの  
コードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

- **806f000f-220103ff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しまし  
た。リカバリー不能なブート・デバイスの障害です。(ABR ステータス)**

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラーのリカバリー不能なブート・デバ  
イス障害の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220103ff または 0x806f000f220103ff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0770

**ユーザー応答**

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラーは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの「UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)」セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー：システム・ブート状況：

- 806f000f-220104ff: システム [ComputerSystemElementName] でマザーボードの障害が発生しました。(ABR ステータス)

このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

806f000f220104ff または 0x806f000f220104ff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル-その他

**SNMP Trap ID**

50

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0795

**ユーザー応答**

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラーは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの「UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)」セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー：システム・ブート状況：

- 806f000f-220107ff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しました。リカバリー不能なキーボード・エラーです。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラーのリカバリー不能なキーボード障害の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220107ff または 0x806f000f220107ff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

## SNMP Trap ID

50

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0764

## ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラーは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの「UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)」セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

- **806f000f-22010aff**: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しました。ビデオ・デバイスが検出されませんでした。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラー (ビデオ・デバイスが見つかりません) の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f22010aff または 0x806f000f22010aff として表示される場合もあります。

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

## SNMP Trap ID

50

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0766

## ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラーは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの「UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)」セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

- **806f000f-22010bff**: POST 中にシステム [ComputerSystemElementName] でファームウェア BIOS (ROM) の破損が検出されました。(ABR ステータス)

POST 中に、システム上でファームウェア BIOS (ROM) の破損が検出されました。

806f000f22010bff または 0x806f000f22010bff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - その他

**SNMP Trap ID**

50

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0850

**ユーザー応答**

1. サーバーが、起動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (「パワー・サプライ LED」を参照)。
2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再起動します。b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (「ファームウェアの更新」を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に1つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再起動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

- 806f000f-22010cff: [ProcessorElementName] で CPU 電圧不一致が検出されました。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で CPU 電圧とソケット電圧のミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f22010cff または 0x806f000f22010cff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - CPU

**SNMP Trap ID**

40

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0050

### ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの「UEFI diagnostic code」セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー：システム・ブート状況：

- 806f000f-2201ffff：システム [ComputerSystemElementName] で POST エラーが発生しました。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

エラー

### 保守可能

はい

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

### SNMP Trap ID

50

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0184

### ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの「UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)」セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー：システム・ブート状況：

- 806f0013-1701ffff：システム [ComputerSystemElementName] で診断割り込みが発生しました。(NMI 状態)

このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f00131701ffff または 0x806f00131701ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

エラー

### 保守可能

はい

### 自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0222

ユーザー応答

NMI ボタンを押していない場合は、以下の手順を実行してください。

1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。
2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。
3. オペレーター情報パネルを交換します。

- 806f001e-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] に使用可能なブート可能メディアがありません。(ブート・デバイスなし)

このメッセージは、ブート可能メディアがないシステムが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f001e2201ffff または 0x806f001e2201ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0286

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f0021-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(Op ROM スペースなし)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00212201ffff または 0x806f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー



## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

はい

## アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

## SNMP Trap ID

50

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

## ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 806f0021-2582ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(すべての PCI エラー)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00212582ffff または 0x806f00212582ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

はい

## アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

## SNMP Trap ID

50

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

## ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

1つの PCI エラー:

- 806f0021-3001ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(PCI 1)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00213001ffff または 0x806f00213001ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
はい

アラート・カテゴリ  
クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0021-3002ffff** : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(PCI 2)  
このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。  
806f00213002ffff または 0x806f00213002ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
  2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
  3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
  4. 対象のアダプターを交換します。
  5. ライザー・カードを交換します。
  6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **806f0023-2101ffff** : [WatchdogElementName] のウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。(IPMI ウォッチドッグ)  
このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。  
806f00232101ffff または 0x806f00232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0368

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f0107-0301ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が検出されました。(CPU 1)

このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が検出されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01070301ffff または 0x806f01070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0036

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エア・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- 806f0108-0a01ffff: [PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。(パワー・サプライ 1)

このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01080a01ffff または 0x806f01080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

はい

## アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

## SNMP Trap ID

4

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0086

## ユーザー応答

1. パワー・サプライ n を取り付け直します。
2. 電源オン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。
3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、「電源問題」を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

### • 806f0108-0a02ffff: [PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。(パワー・サプライ 2)

このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01080a02ffff または 0x806f01080a02ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

はい

## アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

## SNMP Trap ID

4

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0086

## ユーザー応答

1. パワー・サプライ n を取り付け直します。
2. 電源オン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。
3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、「電源問題」を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

- **806f0109-1301ffff**: [PowerSupplyElementName] が電源再投入されました。(ホスト電源)  
このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01091301ffff または 0x806f01091301ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0108

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f010c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2001ffff または 0x806f010c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
はい

アラート・カテゴリー  
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID  
41

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答  
注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
  2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
  3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED または イベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
  4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
  5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
  6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
  7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
  8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
  9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- **806f010c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 2)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2002ffff または 0x806f010c2002ffff として表示される場合もあります。

**重大度**  
エラー

**保守可能**  
はい

**自動的にサポートに通知**  
はい

**アラート・カテゴリー**  
クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**  
41

**CIM 情報**  
Prefix: PLAT ID: 0138

**ユーザー応答**

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED または イベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
  5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
  6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
  7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
  8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
  9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- **806f010c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2003ffff または 0x806f010c2003ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

はい

#### アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

#### SNMP Trap ID

41

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

#### ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。



6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
  7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
  8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
  9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- **806f010c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2004ffff または 0x806f010c2004ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

はい

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

#### SNMP Trap ID

41

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

#### ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(すべての DIMM)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2581ffff または 0x806f010c2581ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

はい

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**

41

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0138

**ユーザー応答**

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で有効に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再起動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

1 つの DIMM :

- 806f010d-0400ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0400ffff または 0x806f010d0400ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

はい

#### アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

#### SNMP Trap ID

5

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

#### ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- 806f010d-0401ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0401ffff または 0x806f010d0401ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

はい

#### アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

## SNMP Trap ID

5

### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

### ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- 806f010d-0402ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0402ffff または 0x806f010d0402ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

エラー

### 保守可能

はい

### 自動的にサポートに通知

はい

### アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

## SNMP Trap ID

5

### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

### ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- 806f010d-0403ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0403ffff または 0x806f010d0403ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

はい

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0164

**ユーザー応答**

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0404ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 4)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0404ffff または 0x806f010d0404ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

はい

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0164

#### ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0405ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0405ffff または 0x806f010d0405ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

はい

#### アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

#### SNMP Trap ID

5

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

#### ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0406ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0406ffff または 0x806f010d0406ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

はい

## アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

## SNMP Trap ID

5

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

## ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- 806f010d-0407ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0407ffff または 0x806f010d0407ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

はい

## アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

## SNMP Trap ID

5

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

## ユーザー応答

1. ドライブ  $n$  にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン ( $n$ =ハードディスク・ドライブ番号)

- 806f010d-0410ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効になりました。(Ext ドライブ)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって無効になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0410ffff または 0x806f010d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ  $n$  にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン ( $n$ =ハードディスク・ドライブ番号)

- 806f010f-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェア・ハングが発生しました。(ファームウェア・エラー)

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。

806f010f2201ffff または 0x806f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー



## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - ブート障害

## SNMP Trap ID

25

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0186

## ユーザー応答

1. サーバーが、起動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (「パワー・サプライ LED」を参照)。
2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 806f0123-2101ffff: [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] のリブートが開始されました。(IPMI ウォッチドッグ)

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリブートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01232101ffff または 0x806f01232101ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - その他

## SNMP Trap ID

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0370

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f0125-1001ffff: [ManagedElementName] が存在していないと検出されました。(PCI ライザー 1)

このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01251001ffff または 0x806f01251001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0392

ユーザー応答

システムに GPU/ストレージ・トレイを取り付けていない場合、ログ・イベントは正常な状態です。システムに GPU/ストレージ・トレイを取り付けている場合は、以下の 2 つの部分をチェックします。

1. PDB (分電盤) ケーブルがライザー・カードから PDB に正しく接続されていることを確認します。
2. 別の PDB ケーブルに交換します。

- 806f0207-0301ffff: [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。(CPU 1)

このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f02070301ffff または 0x806f02070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0044

ユーザー応答

1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (「ファームウェアの更新」)。
3. DSA プログラムを実行します。
4. アダプターを取り付け直します。
5. アダプターを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- 806f020d-0400ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 0)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0400ffff または 0x806f020d0400ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

はい

#### アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

#### SNMP Trap ID

27

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

#### ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- 806f020d-0401ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 1)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。  
806f020d0401ffff または 0x806f020d0401ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

警告

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

はい

**アラート・カテゴリ**

システム - 障害予知

**SNMP Trap ID**

27

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0168

**ユーザー応答**

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
  2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
  3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)
- **806f020d-0402ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 2)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0402ffff または 0x806f020d0402ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

警告

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

はい

**アラート・カテゴリ**

システム - 障害予知

**SNMP Trap ID**

27

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0168

## ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0403ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 3)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0403ffff または 0x806f020d0403ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

警告

### 保守可能

はい

### 自動的にサポートに通知

はい

### アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

### SNMP Trap ID

27

### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

## ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0404ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 4)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0404ffff または 0x806f020d0404ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

警告

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

はい

**アラート・カテゴリ**

システム - 障害予知

**SNMP Trap ID**

27

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0168

**ユーザー応答**

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- 806f020d-0405ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 5)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0405ffff または 0x806f020d0405ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

警告

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

はい

**アラート・カテゴリ**

システム - 障害予知

**SNMP Trap ID**

27

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0168

**ユーザー応答**

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル

- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- 806f020d-0406ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 6)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0406ffff または 0x806f020d0406ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

はい

#### アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

#### SNMP Trap ID

27

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

#### ユーザー応答

- ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- 806f020d-0407ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(ドライブ 7)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0407ffff または 0x806f020d0407ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ  
システム - 障害予知

SNMP Trap ID  
27

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- 806f020d-0410ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(Ext ドライブ)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0410ffff または 0x806f020d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度  
警告

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
はい

アラート・カテゴリ  
システム - 障害予知

SNMP Trap ID  
27

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再起動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- 806f0223-2101ffff: [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源オフが開始されました。(IPMI ウォッチドッグ)



このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f02232101ffff または 0x806f02232101ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0372

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f0308-0a01ffff: [PowerSupplyElementName] の入力が失われました。(パワー・サプライ 1)**

このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f03080a01ffff または 0x806f03080a01ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0100

**ユーザー応答**

1. 電源コードを再接続します。
2. パワー・サプライ n LED を確認します。
3. 詳しくは、「パワー・サプライ LED」を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

- **806f0308-0a02ffff**: [PowerSupplyElementName] の入力が失われました。(パワー・サプライ 2)  
このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f03080a02ffff または 0x806f03080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0100

ユーザー応答

1. 電源コードを再接続します。
2. パワー・サプライ n LED を確認します。
3. 詳しくは、「パワー・サプライ LED」を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

- **806f030c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2001ffff または 0x806f030c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID  
41

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0136

## ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED または イベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

- 806f030c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2002ffff または 0x806f030c2002ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

## SNMP Trap ID

41

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

## ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
  3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクタ内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
  4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
  5. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
  6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
  7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
  8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。
- **806f030c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2003ffff または 0x806f030c2003ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

#### SNMP Trap ID

41

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

#### ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクタ内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。

4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED または イベント・ログ に示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

- 806f030c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2004ffff または 0x806f030c2004ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

#### SNMP Trap ID

41

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

#### ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクタ内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED または イベント・ログ に示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

- 806f030c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害です。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2581ffff または 0x806f030c2581ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

#### SNMP Trap ID

41

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

#### ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクタ内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

1つの DIMM :

- 806f030d-0400ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0400ffff または 0x806f030d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0401ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0401ffff または 0x806f030d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0402ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0402ffff または 0x806f030d0402ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

システム - その他

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0403ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0403ffff または 0x806f030d0403ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

システム - その他

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

#### ユーザー応答



アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0404ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0404ffff または 0x806f030d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0405ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0405ffff または 0x806f030d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0406ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ド  
ライブ 6)  
このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。  
806f030d0406ffff または 0x806f030d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0407ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(ド  
ライブ 7)  
このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。  
806f030d0407ffff または 0x806f030d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f030d-0410ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(Ext  
ドライブ)  
このメッセージは、実装環境でホット・スペアが有効となったことが検出された場合に使用されます。  
806f030d0410ffff または 0x806f030d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f0313-1701ffff : システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェア NMI が発生しまし  
た。(NMI 状態)  
このメッセージは、実装環境でソフトウェア NMI が検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f03131701ffff または 0x806f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0228

ユーザー応答

1. デバイス・ドライバーを検査します。
2. デバイス・ドライバーを再インストールします。

3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

- **806f0323-2101ffff** : ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源サイクルが開始されました。(IPMI ウォッチドッグ)

このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f03232101ffff または 0x806f03232101ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0374

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f040c-2001ffff** : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2001ffff または 0x806f040c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0131

## ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。イベント・ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility を使用して、DIMM を再び有効にします。

- **806f040c-2002ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2002ffff または 0x806f040c2002ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

通知

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリー

システム - その他

### SNMP Trap ID

### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

## ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害(メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した)により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。イベント・ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility を使用して、DIMM を再び有効にします。

- **806f040c-2003ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2003ffff または 0x806f040c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
  2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
  3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。イベント・ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクタ・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility を使用して、DIMM を再び有効にします。
- 806f040c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2004ffff または 0x806f040c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。イベント・ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility を使用して、DIMM を再び有効にします。

- **806f040c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(すべての DIMM)**

このメッセージは、実装環境でメモリーが無効となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2581ffff または 0x806f040c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が無効になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再起動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。イベント・ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility を使用して、DIMM を再び有効にします。

1 つの DIMM :

- **806f0413-2582ffff: システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR が発生しました。(PCI)**

このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f04132582ffff または 0x806f04132582ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリー**

クリティカル - その他

**SNMP Trap ID**

50

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0232

**ユーザー応答**

1. PCI LED を確認します。
  2. 該当するアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
  3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
  4. 両方のアダプターを取り外します。
  5. PCIe アダプターを交換します。
  6. ライザー・カードを交換します。
- **806f0507-0301ffff: [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。(CPU 1)**  
このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f05070301ffff または 0x806f05070301ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリー**

クリティカル - CPU

**SNMP Trap ID**

40

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0062

**ユーザー応答**



1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、「light path 診断」を参照してください。
  2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
  3. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。
  4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。
  5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
- **806f050c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 1)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2001ffff または 0x806f050c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度  
警告

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
はい

アラート・カテゴリ  
警告 - メモリー

SNMP Trap ID  
43

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2002ffff または 0x806f050c2002ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

はい

#### アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

#### SNMP Trap ID

43

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

#### ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2003ffff または 0x806f050c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度  
警告

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
はい

アラート・カテゴリ  
警告 - メモリー

SNMP Trap ID  
43

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0144

#### ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 806f050c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2004ffff または 0x806f050c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度  
警告

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
はい

アラート・カテゴリ

## 警告 - メモリー

### SNMP Trap ID

43

### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

### ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
  2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
  3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
  4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
  5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
  6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
  7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
- 806f050c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2581ffff または 0x806f050c2581ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

警告

### 保守可能

はい

### 自動的にサポートに通知

はい

### アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

### SNMP Trap ID

43

### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

### ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

2. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、Lenovo サポート Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

1 つの DIMM :

- **806f050d-0400ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0400ffff または 0x806f050d0400ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

#### SNMP Trap ID

5

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

#### ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0401ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0401ffff または 0x806f050d0401ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0174

**ユーザー応答**

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0402ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 2)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0402ffff または 0x806f050d0402ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

### ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0403ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 3)**  
このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0403ffff または 0x806f050d0403ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

## SNMP Trap ID

5

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

### ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0404ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 4)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0404ffff または 0x806f050d0404ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0174

**ユーザー応答**

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0405ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 5)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0405ffff または 0x806f050d0405ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5



## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

### ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0406ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 6)**  
このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0406ffff または 0x806f050d0406ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

## SNMP Trap ID

5

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

### ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0407ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(ドライブ 7)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0407ffff または 0x806f050d0407ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0174

**ユーザー応答**

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0410ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。(Ext ドライブ)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0410ffff または 0x806f050d0410ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

### ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
  2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
  3. SAS ケーブルを交換します。
  4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
  5. RAID アダプターを交換します。
  6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f0513-2582ffff**: システム [ComputerSystemElementName] で PCI SERR が発生しました。(PCI) このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f05132582ffff または 0x806f05132582ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

## SNMP Trap ID

50

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0234

### ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. アダプターがサポートされていることを確認します。サポートされるオプションのデバイスのリストについては、<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照してください。
5. 両方のアダプターを取り外します。
6. PCIe アダプターを交換します。
7. ライザー・カードを交換します。

- **806f052b-2101ffff**: システム [ComputerSystemElementName] で無効またはサポートされていないファームウェアまたはソフトウェアが検出されました。(IMM2 FW フェイルオーバー)

このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f052b2101ffff または 0x806f052b2101ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

#### SNMP Trap ID

50

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0446

#### ユーザー応答

1. サーバーが、起動に必要な最小構成を満たしていることを確認します(「パワー・サプライ LED」を参照)。
2. サーバーを再起動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します(「ファームウェアの更新」を参照)。  
重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に1つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再起動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0607-0301ffff**: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーが検出されました。(CPU 1)

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明されたユース・ケースに使用されます

806f06070301ffff または 0x806f06070301ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

#### SNMP Trap ID

40

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0816

#### ユーザー応答

1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します(マイクロプロセッサの要件については、「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け」を参照)。
2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します(「ファームウェアの更新」を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性のないマイクロプロセッサを交換します。

- **806f060d-0400ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 0)**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0400ffff または 0x806f060d0400ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

はい

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

#### SNMP Trap ID

5

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

#### ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0401ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 1)  
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f060d0401ffff または 0x806f060d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0402ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 2)  
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f060d0402ffff または 0x806f060d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

## ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
  2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
  3. SAS ケーブルを交換します。
  4. RAID アダプターを交換します。
  5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-0403ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 3)**  
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f060d0403ffff または 0x806f060d0403ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

はい

## アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

## SNMP Trap ID

5

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

## ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
  2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
  3. SAS ケーブルを交換します。
  4. RAID アダプターを交換します。
  5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-0404ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 4)**  
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f060d0404ffff または 0x806f060d0404ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

• 806f060d-0405ffff : アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0405ffff または 0x806f060d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。



5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0406ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 6)  
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f060d0406ffff または 0x806f060d0406ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

はい

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0176

**ユーザー応答**

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0407ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(ドライブ 7)  
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f060d0407ffff または 0x806f060d0407ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

はい

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

## ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
  2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
  3. SAS ケーブルを交換します。
  4. RAID アダプターを交換します。
  5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-0410ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。(Ext ドライブ)**  
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f060d0410ffff または 0x806f060d0410ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

はい

## アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

## SNMP Trap ID

5

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

## ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
  2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
  3. SAS ケーブルを交換します。
  4. RAID アダプターを交換します。
  5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f070c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 1)**  
このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070c2001ffff または 0x806f070c2001ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**

41

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0126

**ユーザー応答**

DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

- **806f070c-2002ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c2002ffff または 0x806f070c2002ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**

41

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0126

**ユーザー応答**

DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

- **806f070c-2003ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー  
ス・ケースに使用されます。

806f070c2003ffff または 0x806f070c2003ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**

41

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0126

**ユーザー応答**

DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ  
ロジーであることを確認します。

- **806f070c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エ  
ラーです。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー  
ス・ケースに使用されます。

806f070c2004ffff または 0x806f070c2004ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**

41

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0126

**ユーザー応答**

DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ  
ロジーであることを確認します。

- **806f070c-2581ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] の構成エラーです。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー  
ス・ケースに使用されます。

806f070c2581ffff または 0x806f070c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID  
41

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答  
DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ  
ロジーであることを確認します。1 つの DIMM:

- **806f070d-0400ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ド  
ライブ 0)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユー  
ス・ケースに使用されます。

806f070d0400ffff または 0x806f070d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f070d-0401ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0401ffff または 0x806f070d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f070d-0402ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0402ffff または 0x806f070d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f070d-0403ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0403ffff または 0x806f070d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f070d-0404ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0404ffff または 0x806f070d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f070d-0405ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0405ffff または 0x806f070d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f070d-0406ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0406ffff または 0x806f070d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。



- 806f070d-0407ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0407ffff または 0x806f070d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f070d-0410ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(Extドライブ)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0410ffff または 0x806f070d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f072b-2101ffff: システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェアまたはファームウェアの正常な変更が検出されました。(IMM プロモーション)

このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f072b2101ffff または 0x806f072b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0450

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。IMM リカバリー:

- 806f072b-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェアまたはファームウェアの正常な変更が検出されました。(バックアップ自動更新)

このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f072b2201ffff または 0x806f072b2201ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0450

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。ROM リカバリー:

- **806f0807-0301ffff**: [ProcessorElementName] が無効になりました。(CPU 1)  
このメッセージは、実装環境でプロセッサが無効となったことが検出された場合に使用されます。  
806f08070301ffff または 0x806f08070301ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0061

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f0813-2582ffff**: システム [ComputerSystemElementName] で訂正不能なバス・エラーが発生しました。(PCI)  
このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f08132582ffff または 0x806f08132582ffff として表示される場合もあります。

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
はい

アラート・カテゴリ  
クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0240

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します(「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」を参照)。

3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
  4. 2つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。
  5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **806f0813-2584ffff**: システム [ComputerSystemElementName] で訂正不能なバス・エラーが発生しました。(CPU)  
このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。  
806f08132584ffff または 0x806f08132584ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

はい

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - その他

**SNMP Trap ID**

50

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0240

**ユーザー応答**

1. システム・イベント・ログを確認します。
  2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します(「マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し」を参照)。
  3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
  4. 2つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。
  5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **806f0823-2101ffff**: [WatchdogElementName] でウォッチドッグ・タイマーの割り込みが発生しました。(IPMI ウォッチドッグ)  
このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。  
806f08232101ffff または 0x806f08232101ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0376

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 806f090c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2001ffff または 0x806f090c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度  
警告

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2002ffff または 0x806f090c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2003ffff または 0x806f090c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f090c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2004ffff または 0x806f090c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f0a07-0301ffff: [ProcessorElementName] が機能低下状態で動作しています。(CPU 1)

このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a070301ffff または 0x806f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - CPU

SNMP Trap ID

42

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0038

## ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアール・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様内で運用する必要があります。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **806f0a0c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 1)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2001ffff または 0x806f0a0c2001ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

エラー

### 保守可能

はい

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

### SNMP Trap ID

0

### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

## ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアール・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 2)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2002ffff または 0x806f0a0c2002ffff として表示される場合もあります。



**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - 温度

**SNMP Trap ID**

0

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0146

**ユーザー応答**

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- 806f0a0c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2003ffff または 0x806f0a0c2003ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - 温度

**SNMP Trap ID**

0

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0146

**ユーザー応答**

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
  2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
  3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
  4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- **806f0a0c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2004ffff または 0x806f0a0c2004ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

#### SNMP Trap ID

0

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

#### ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
  2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
  3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
  4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- **81010002-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(CMOS バッテリー)**

このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810100020701ffff または 0x810100020701ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電圧

SNMP Trap ID

13

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0477

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010202-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(CMOS バッテリー)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810102020701ffff または 0x810102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。SysBrd 12V : SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

- 81010204-1d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(ファン 1 速度計)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810102041d01ffff または 0x810102041d01ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID  
11

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010204-1d02ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(ファン 2 速度計)  
このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810102041d02ffff または 0x810102041d02ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID  
11

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010204-1d03ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(ファン 3 速度計)  
このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810102041d03ffff または 0x810102041d03ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID  
11

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010204-1d04ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(ファン 4 速度計)

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810102041d04ffff または 0x810102041d04ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID  
11

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010701-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周辺温度 1 温度計)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810107010701ffff または 0x810107010701ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
警告 - 温度

SNMP Trap ID  
12

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0491

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010701-0704ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCIE 温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユーザー・ケースに使用されます。

810107010704ffff または 0x810107010704ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
警告 - 温度

SNMP Trap ID  
12

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0491

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010701-0705ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(CPU VRM 温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユーザー・ケースに使用されます。

810107010705ffff または 0x810107010705ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
警告 - 温度

SNMP Trap ID  
12

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0491

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010701-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周辺温度 2 温度計)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたケース・ケースに使用されます。

810107012701ffff または 0x810107012701ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
警告 - 温度

SNMP Trap ID  
12

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0491

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010701-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたケース・ケースに使用されます。

810107012d01ffff または 0x810107012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
警告 - 温度

SNMP Trap ID  
12

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0491

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010901-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周辺温度 1 温度計)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109010701ffff または 0x810109010701ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID  
0

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0495

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010901-0704ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCIE 温度)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109010704ffff または 0x810109010704ffff として表示される場合もあります。



重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID  
0

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0495

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010901-0705ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(CPU VRM 温度)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109010705ffff または 0x810109010705ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID  
0

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0495

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010901-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周辺温度 2 温度計)

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109012701ffff または 0x810109012701ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID  
0

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0495

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010901-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCH 温度)  
このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109012d01ffff または 0x810109012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID  
0

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0495

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010902-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(SysBrd 12V)  
このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109020701ffff または 0x810109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID  
1

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0495

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

- 81010b01-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周辺温度 1 温度計)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b010701ffff または 0x81010b010701ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID  
0

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0499

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010b01-0704ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCIE 温度)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b010704ffff または 0x81010b010704ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID  
0

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0499

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010b01-0705ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(CPU VRM 温度)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b010705ffff または 0x81010b010705ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID  
0

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0499

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010b01-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周辺温度 2 温度計)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b012701ffff または 0x81010b012701ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID  
0

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0499

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81010b01-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCH 温度)

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b012d01ffff または 0x81010b012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID  
0

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0499

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 81030006-2101ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(署名検査の失敗)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

810300062101ffff または 0x810300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81030012-2301ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(OS リアルタイム・モジュール)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

810300122301ffff または 0x810300122301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81030021-0782ffff: センサー [SensorElementName] による表明が検出されました。(PCIe Dev LK ダウン)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

810300210782ffff または 0x810300210782ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 8103010c-2581ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(純正以外の DIMM)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

8103010c2581ffff または 0x8103010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81030112-0601ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(SMM モード)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810301120601ffff または 0x810301120601ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - その他

## SNMP Trap ID

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0509

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。SMM モニター:

- 81030121-0782ffff: センサー [SensorElementName] による状況の解消が検出されました。(PCIe Dev LK ダウン)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810301210782ffff または 0x810301210782ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - その他

## SNMP Trap ID

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0509

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 8107010d-2582ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態への遷移の解消を検出しました。(RAID ボリュームの状態)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

8107010d2582ffff または 0x8107010d2582ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ



自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107010f-2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。(GPT ステータス)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

8107010f2201ffff または 0x8107010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107010f-2582ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態からクリティカルではない状態への遷移の解消を検出しました。(I/O リソース)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

8107010f2582ffff または 0x8107010f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070128-2e01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。(ME リカバリー)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

810701282e01ffff または 0x810701282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070201-0301ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(CPU 1 温度過熱)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702010301ffff または 0x810702010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070202-0701ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(SysBrd 電圧障害)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702020701ffff または 0x810702020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070204-0a01ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(PS 1 ファン障害)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702040a01ffff または 0x810702040a01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070204-0a02ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(PS 2 ファン障害)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702040a02ffff または 0x810702040a02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070208-0a01ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(PS 1 温度障害)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702080a01ffff または 0x810702080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070208-0a02ffff**: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(PS 2 温度障害)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702080a02ffff または 0x810702080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107020d-2582ffff**: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(RAID ボリュームの状態)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107020d2582ffff または 0x8107020d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107020f-2201ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(TXT ACM モジュール)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107020f2201ffff または 0x8107020f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107020f-2582ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(I/O リソース)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107020f2582ffff または 0x8107020f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070214-2201ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(TPM ロック)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702142201ffff または 0x810702142201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 81070219-0701ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(SysBrd 障害)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702190701ffff または 0x810702190701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070228-2e01ffff**: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大ではない状態に遷移しました。(ME エラー)

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702282e01ffff または 0x810702282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。ME フラッシュ・エラー:

- **81070301-0301ffff**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。(CPU 1 温度過熱)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810703010301ffff または 0x810703010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ



自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107030d-2582ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。(RAID ボリュームの状態)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8107030d2582ffff または 0x8107030d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070608-0a01ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。(PS1 12V OC 障害)**

このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810706080a01ffff または 0x810706080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。PS1 12V OV 障害 : PS1 12V UV 障害 : PS1 12Vaux 障害 :

- 81070608-0a02ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。(PS2 12V OC 障害)

このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810706080a02ffff または 0x810706080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。PS2 12V OV 障害 : PS2 12V UV 障害 : PS2 12Vaux 障害 :

- 81080025-3701ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。(サーマル・ボード)

このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810800253701ffff または 0x810800253701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0536

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81080125-3701ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(サーマル・ボード)**

このメッセージは、デバイスが取り外されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810801253701ffff または 0x810801253701ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0537

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0007-0301ffff: [ProcessorElementName] が IERR からリカバリーしました。(CPU 1)**

このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00070301ffff または 0x816f00070301ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - CPU

**SNMP Trap ID**

40

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0043

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0008-0a01ffff**: [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(パワー・サプライ 1)

このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00080a01ffff または 0x816f00080a01ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0085

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0008-0a02ffff**: [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(パワー・サプライ 2)

このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00080a02ffff または 0x816f00080a02ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0085

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0009-1301ffff**: [PowerSupplyElementName] が電源オンになっています。(ホスト電源)  
このメッセージは、電源装置が有効にされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。  
816f00091301ffff または 0x816f00091301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 電源オン

SNMP Trap ID

24

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0107

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f000d-0400ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 0)  
このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。  
816f000d0400ffff または 0x816f000d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

- 816f000d-0401ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0401ffff または 0x816f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

- 816f000d-0402ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0402ffff または 0x816f000d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

- 816f000d-0403ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0403ffff または 0x816f000d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

## SNMP Trap ID

22

### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

### ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

- 816f000d-0404ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0404ffff または 0x816f000d0404ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

通知

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリー

システム - その他

## SNMP Trap ID

22

### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

### ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

- 816f000d-0405ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 5)



このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0405ffff または 0x816f000d0405ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

システム - その他

#### SNMP Trap ID

22

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

#### ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

- **816f000d-0406ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 6)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0406ffff または 0x816f000d0406ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

システム - その他

#### SNMP Trap ID

22

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

#### ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

- **816f000d-0407ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(ドライブ 7)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0407ffff または 0x816f000d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0163

#### ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

- **816f000d-0410ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(Ext ドライブ)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0410ffff または 0x816f000d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID  
22

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

- 816f000f-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] が POST エラーの解消を検出しました。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0185

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

- 816f0013-1701ffff: システム [ComputerSystemElementName] が診断割り込みからリカバリーしました。(NMI 状態)

このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00131701ffff または 0x816f00131701ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0223

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0021-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(Op ROM スペースなし)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00212201ffff または 0x816f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0021-2582ffff** : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(すべての PCI エラー)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00212582ffff または 0x816f00212582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つの PCI エラー:

- **816f0021-3001ffff** : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(PCI 1)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00213001ffff または 0x816f00213001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0331

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0021-3002ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(PCI 2)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00213002ffff または 0x816f00213002ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

#### SNMP Trap ID

50

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0331

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0107-0301ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が解消されました。(CPU 1)

このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が除去されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f01070301ffff または 0x816f01070301ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

#### SNMP Trap ID

0

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0037

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0108-0a01ffff**: [PowerSupplyElementName] が OK 状態に戻りました。(パワー・サプライ 1)  
このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f01080a01ffff または 0x816f01080a01ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

#### SNMP Trap ID

4

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0087

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0108-0a02ffff**: [PowerSupplyElementName] が OK 状態に戻りました。(パワー・サプライ 2)  
このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f01080a02ffff または 0x816f01080a02ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

#### SNMP Trap ID

4

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0087

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2001ffff または 0x816f010c2001ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリー**

クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**

41

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0139

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2002ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2002ffff または 0x816f010c2002ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリー**

クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**

41

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0139



#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2003ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2003ffff または 0x816f010c2003ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

#### SNMP Trap ID

41

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0139

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2004ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2004ffff または 0x816f010c2004ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

#### SNMP Trap ID

41

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0139

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2581ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2581ffff または 0x816f010c2581ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

クリティカル-メモリー

#### SNMP Trap ID

41

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0139

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM :

- **816f010d-0400ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0400ffff または 0x816f010d0400ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

#### SNMP Trap ID

5

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0401ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 1)  
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。  
816f010d0401ffff または 0x816f010d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0402ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 2)  
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。  
816f010d0402ffff または 0x816f010d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0403ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 3)  
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。  
816f010d0403ffff または 0x816f010d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID  
5

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0404ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 4)  
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。  
816f010d0404ffff または 0x816f010d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID  
5

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0405ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 5)  
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0405ffff または 0x816f010d0405ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0167

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0406ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 6)  
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。  
816f010d0406ffff または 0x816f010d0406ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0167

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0407ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(ドライブ 7)  
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。  
816f010d0407ffff または 0x816f010d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID  
5

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0410ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(Ext ドライブ)  
このメッセージは、実装環境でドライブが有効になったことが検出された場合に使用されます。  
816f010d0410ffff または 0x816f010d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリー  
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID  
5

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010f-2201ffff**: システム [ComputerSystemElementName] がファームウェア・ハングからリカバリーしました。(ファームウェア・エラー)  
このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされたユース・ケースに使用されます。  
816f010f2201ffff または 0x816f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0187

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0125-1001ffff**: [ManagedElementName] が存在していると検出されました。(PCI ライザー 1)  
このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f01251001ffff または 0x816f01251001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0390

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0207-0301ffff**: [ProcessorElementName] が FRB1/BIST 状態からリカバリーしました。(CPU 1)  
このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f02070301ffff または 0x816f02070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0045

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0400ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0400ffff または 0x816f020d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0401ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0401ffff または 0x816f020d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知



**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - 障害予知

**SNMP Trap ID**

27

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0169

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0402ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0402ffff または 0x816f020d0402ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - 障害予知

**SNMP Trap ID**

27

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0169

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0403ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0403ffff または 0x816f020d0403ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0404ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0404ffff または 0x816f020d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0405ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0405ffff または 0x816f020d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - 障害予知

**SNMP Trap ID**

27

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0169

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0406ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0406ffff または 0x816f020d0406ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - 障害予知

**SNMP Trap ID**

27

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0169

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0407ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0407ffff または 0x816f020d0407ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0410ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(Ext ドライブ)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0410ffff または 0x816f020d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0308-0a01ffff: [PowerSupplyElementName] が正常入力状態に戻りました。(パワー・サプライ 1)

このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f03080a01ffff または 0x816f03080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0099

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0308-0a02ffff: [PowerSupplyElementName] が正常入力状態に戻りました。(パワー・サブライ 2)**  
このメッセージは、パワー・サブライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f03080a02ffff または 0x816f03080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0099

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 1)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2001ffff または 0x816f030c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**

41

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0137

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 2)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2002ffff または 0x816f030c2002ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**

41

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0137

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2003ffff または 0x816f030c2003ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**

41

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0137

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2004ffff または 0x816f030c2004ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**

41

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0137

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] におけるスクラブ障害がリカバリーされました。(すべての DIMM)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2581ffff または 0x816f030c2581ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つのDIMM:

- 816f030d-0400ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ドライブ 0)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0400ffff または 0x816f030d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030d-0401ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ドライブ 1)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0401ffff または 0x816f030d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能



いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030d-0402ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ドライブ 2)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0402ffff または 0x816f030d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030d-0403ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ドライブ 3)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0403ffff または 0x816f030d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030d-0404ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ド  
ライブ 4)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0404ffff または 0x816f030d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030d-0405ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ド  
ライブ 5)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0405ffff または 0x816f030d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030d-0406ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ド  
ライブ 6)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0406ffff または 0x816f030d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030d-0407ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(ド  
ライブ 7)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0407ffff または 0x816f030d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f030d-0410ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(Ext  
ドライブ)

このメッセージは、ホット・スペアが無効になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030d0410ffffまたは 0x816f030d0410ffffとして表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0313-1701ffff: システム [ComputerSystemElementName] が NMI からリカバリーしました。  
(NMI 状態)

このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f03131701ffffまたは 0x816f03131701ffffとして表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0230

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2001ffff または 0x816f040c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2002ffff または 0x816f040c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2003ffff または 0x816f040c2003ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

システム - その他

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f040c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2004ffff または 0x816f040c2004ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

システム - その他

## SNMP Trap ID

### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-2581ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2581ffff または 0x816f040c2581ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

通知

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリ

システム - その他

## SNMP Trap ID

### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM :

- **816f0413-2582ffff**: システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR リカバリーが発生しました。(PCI)

このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f04132582ffff または 0x816f04132582ffff として表示される場合もあります。

### 重大度

通知

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID  
50

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0233

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0507-0301ffff**: [ProcessorElementName] が構成不一致からリカバリーしました。(CPU 1)  
このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたユース・ケースに使用されます。

816f05070301ffff または 0x816f05070301ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル - CPU

SNMP Trap ID  
40

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0063

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 1)  
このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2001ffff または 0x816f050c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
警告 - メモリー



SNMP Trap ID  
43

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 2)  
このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2002ffff または 0x816f050c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
警告 - メモリー

SNMP Trap ID  
43

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 3)  
このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2003ffff または 0x816f050c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2004ffff または 0x816f050c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2581ffff または 0x816f050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID  
43

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。1つのDIMM:

- 816f050d-0400ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0400ffff または 0x816f050d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID  
5

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050d-0401ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0401ffff または 0x816f050d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050d-0402ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0402ffff または 0x816f050d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050d-0403ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0403ffff または 0x816f050d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

## SNMP Trap ID

5

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0404ffff**: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0404ffff または 0x816f050d0404ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

## SNMP Trap ID

5

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0405ffff**: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0405ffff または 0x816f050d0405ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050d-0406ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0406ffff または 0x816f050d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050d-0407ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0407ffff または 0x816f050d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID  
5

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f050d-0410ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状況の解消が検出されました。(Ext ドライブ)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0410ffff または 0x816f050d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID  
5

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0513-2582ffff: システム [ComputerSystemElementName] で PCI SERR の解消が検出されました。(PCI)

このメッセージは、PCI SERR の解消が実装環境で検出された場合に使用されます。

816f05132582ffff または 0x816f05132582ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル-その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0235

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0607-0301ffff: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出されました。(CPU 1)

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除されたユース・ケースに使用されます。

816f06070301ffff または 0x816f06070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0817

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f060d-0400ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 0)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0400ffff または 0x816f060d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ



SNMP Trap ID  
5

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0401ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 1)  
このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0401ffff または 0x816f060d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID  
5

CIM 情報  
Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答  
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0402ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 2)  
このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0402ffff または 0x816f060d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度  
通知

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

アラート・カテゴリ  
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0177

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0403ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 3)  
このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0403ffff または 0x816f060d0403ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0177

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0404ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 4)  
このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0404ffff または 0x816f060d0404ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0405ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0405ffff または 0x816f060d0405ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

#### SNMP Trap ID

5

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0406ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0406ffff または 0x816f060d0406ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

#### SNMP Trap ID

5

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0407ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(ドライブ7)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0407ffff または 0x816f060d0407ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリー**

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0177

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0410ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(Ext  
ドライブ)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0410ffff または 0x816f060d0410ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリー**

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

**SNMP Trap ID**

5

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0177

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f070c2001ffff または 0x816f070c2001ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**

41

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0127

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2002ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f070c2002ffff または 0x816f070c2002ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - メモリー

**SNMP Trap ID**

41

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー  
ス・ケースに使用されます。

816f070c2003ffff または 0x816f070c2003ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

#### SNMP Trap ID

41

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー  
ス・ケースに使用されます。

816f070c2004ffff または 0x816f070c2004ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

#### SNMP Trap ID

41

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070c2581ffff または 0x816f070c2581ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

## SNMP Trap ID

41

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM :

- 816f070d-0400ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ドライブ 0)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0400ffff または 0x816f070d0400ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - その他

## SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070d-0401ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ドライブ 1)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0401ffff または 0x816f070d0401ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

システム - その他

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070d-0402ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ドライブ 2)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0402ffff または 0x816f070d0402ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

システム - その他

#### SNMP Trap ID



## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070d-0403ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ド  
ライブ 3)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに  
使用されます。

816f070d0403ffff または 0x816f070d0403ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - その他

## SNMP Trap ID

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070d-0404ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ド  
ライブ 4)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに  
使用されます。

816f070d0404ffff または 0x816f070d0404ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - その他

## SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070d-0405ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ドライブ 5)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0405ffff または 0x816f070d0405ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

システム - その他

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070d-0406ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ドライブ 6)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0406ffff または 0x816f070d0406ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリ

システム - その他

#### SNMP Trap ID

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070d-0407ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(ドライブ 7)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0407ffff または 0x816f070d0407ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - その他

## SNMP Trap ID

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f070d-0410ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(Extドライブ)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0410ffff または 0x816f070d0410ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

システム - その他

## SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0807-0301ffff: [ProcessorElementName] が有効になりました。(CPU 1)

このメッセージは、実装環境でプロセッサが有効となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070301ffff または 0x816f08070301ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

システム - その他

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0060

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0813-2582ffff: システム [ComputerSystemElementName] が訂正不能なバス・エラーからリカバリーしました。(PCI)

このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f08132582ffff または 0x816f08132582ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

#### SNMP Trap ID

50

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0241

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0813-2584ffff**: システム [ComputerSystemElementName] が訂正不能なバス・エラーからリカバリーしました。(CPU)

このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f08132584ffff または 0x816f08132584ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

クリティカル - その他

**SNMP Trap ID**

50

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0241

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2001ffff または 0x816f090c2001ffff として表示される場合もあります。

**重大度**

通知

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**アラート・カテゴリ**

システム - その他

**SNMP Trap ID**

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2002ffff または 0x816f090c2002ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

システム - その他

#### SNMP Trap ID

#### CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

#### ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c2003ffff または 0x816f090c2003ffff として表示される場合もあります。

#### 重大度

通知

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### アラート・カテゴリー

システム - その他

#### SNMP Trap ID

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f090c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2004ffff または 0x816f090c2004ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリー

システム - その他

## SNMP Trap ID

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a07-0301ffff: プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。(CPU 1)

このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a070301ffff または 0x816f0a070301ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリー

警告 - CPU

## SNMP Trap ID

42

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0039

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2001ffff または 0x816f0a0c2001ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

## SNMP Trap ID

0

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0147

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2002ffff または 0x816f0a0c2002ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

## SNMP Trap ID

0



## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0147

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2003ffff または 0x816f0a0c2003ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

## SNMP Trap ID

0

## CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0147

## ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f0a0c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2004ffff または 0x816f0a0c2004ffff として表示される場合もあります。

## 重大度

通知

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

## SNMP Trap ID

0

**CIM 情報**

Prefix: PLAT ID: 0147

**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。



---

## 付録 B UEFI (POST) エラー・コード

このセクションでは、UEFI (POST) エラー・コードについて詳しく説明します。

UEFI (POST) 診断エラー・コードは、サーバーの起動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI (POST) コードは、サーバー内の IMM2.1 イベント・ログに記録されます。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

### イベント ID

イベントを一意的に識別する ID。

### イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。

### 説明

イベントが発生した原因を説明する追加情報。

### 重大度

状態の懸念度が示されます。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

表 30. イベントの重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー操作あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。追加の監視や保守が必要な場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を示します。

### ユーザー応答

イベントを解決するためにとるべき処置を示します。

問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください。

以下に、UEFI (POST) エラー・コードおよび検出された問題を修正するための推奨操作をリストします。

---

## UEFI イベントのリスト

このセクションでは、UEFI から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

### • I.2018002 [I.2018002]

**説明:** リソース制約のために、バス %、デバイス %、機能 % で検出されたデバイスを構成できませんでした。デバイスのベンダー ID は % で、デバイス ID は % です。OUT\_OF\_RESOURCES (PCI オプション ROM)

**重大度**  
通知

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 セットアップ、Lenovo XClarity Essentials OneCLI、またはアダプター製造元のユーティリティを使用し、未使用のオプション ROM を無効にする必要がある場合があります。
3. アダプターを別のスロットに移動します。スロットが利用不能であるか、エラーが再発する場合は、アダプターを交換します。
4. アダプターを別のスロットに移動させてエラーが再発生しなかった場合は、この問題がシステムの制限事項ではないことを確認します。次にシステム・ボードを交換します。また、これが初回のインストールではなく、アダプターの交換後もエラーが解決しない場合も、システム・ボードを交換します。

• **I.2018003 [I.2018003]**

**説明:** バス %、デバイス %、機能 % でデバイスの不正なオプションの ROM チェックサムが検出されました。デバイスのベンダー ID は % で、デバイス ID は % です。ROM チェックサム・エラー

**重大度**  
エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティ・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」、または Lenovo XClarity Essentials OneCLI ユーティリティを使用し構成できます。
4. アダプターを交換します。

• **I.3818001 [I.3818001]**

**説明:** 現在ブートされているフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効です。現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

**重大度**  
通知

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。プライマリー UEFI イメージを更新します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. エラーが解決しない場合、またはブートが失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

- **I.3818002 [I.3818002]**

**説明:** ブートされていないフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効です。対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

**重大度**  
通知

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. バックアップ UEFI イメージを更新します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. エラーが解決しない場合、またはブートが失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

- **I.3818003 [I.3818003]**

**説明:** CRTM フラッシュ・ドライバーは、セキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

**重大度**  
通知

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを更新し、バンクをプライマリーにリセットします (必要な場合)。システムがエラーなくブートする場合は、リカバリーは完了です。追加アクションは不要です。
3. システムがブートに失敗する場合、またはファームウェア更新が失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

- **I.580A4 [I.580A4]**

**説明:** メモリー装着の変化が検出されました。DIMM 装着の変化が検出されました。

**重大度**  
通知

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. システムで DIMM の追加または取り外しを行い、追加のエラーが検出されなかった場合は、このメッセージを無視してください。
2. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

- S.2018001 [S.2018001]

**説明:** 訂正不能 PCIe エラーがバス % デバイス % 機能 % で発生しました。デバイスのベンダー ID は % で、デバイス ID は % です。PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

**重大度**

エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. このコンピューター・ノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合: a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。b. デバイス・ドライバーを再ロードします。c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、F1 セットアップ -> 「システム設定」 -> 「デバイスおよび I/O ポート」 -> 「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 速度選択」、または Lenovo XClarity Essentials OneCLI ユーティリティを使用して構成できます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバーをロードし、必要なファームウェア更新をすべてインストールします。
3. 問題が続く場合は、アダプターを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、アダプターを交換します。
4. プロセッサを交換します。

- S.3020007 [S.3020007]

**説明:** UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

**重大度**

エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

- S.3028002 [S.3028002]

**説明:** ブート許可のタイムアウトが検出されました。ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました

**重大度**

エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. CMM/IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。
2. システムを取り付け直します。

3. 問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

• **S.3030007 [S.3030007]**

**説明:** UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

**重大度**

エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

• **S.3040007 [S.3040007]**

**説明:** UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

**重大度**

エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

• **S.3050007 [S.3050007]**

**説明:** UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

**重大度**

エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. IBM サポートサイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

• **S.3060007 [S.3060007]**



**説明:** UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

**重大度**  
エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

• **S.3070007 [S.3070007]**

**説明:** UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

**重大度**  
エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

• **S.3108007 [S.3108007]**

**説明:** デフォルトのシステム設定が復元されました。システム構成がデフォルトに復元されました。

**重大度**  
エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

• **S.3818004 [S.3818004]**

**説明:** CRTM フラッシュ・ドライバーがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。障害が発生しました。CRTM 更新が失敗しました。

**重大度**  
エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。

2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. エラーが解決しない場合は、システムのブートおよびUEFI イメージの更新を続行します。
4. システム・ボードを交換します。

- **S.3818007 [S.3818007]**

**説明:** 両方のフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセルを検査できませんでした。CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

**重大度**

エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを更新し、バンクをプライマリーにリセットします (必要な場合)。システムがエラーなくブートする場合は、リカバリーは完了です。追加アクションは不要です。
3. システムがブートに失敗する場合、またはファームウェア更新が失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

- **S.51003 [S.51003]**

**説明:** 訂正不能メモリー・エラーがランク % の DIMM スロット % で検出されました。[S.51003] プロセッサ % チャンネル % で、訂正不能なメモリー・エラーが検出されました。チャンネル内の障害のある DIMM を判別できませんでした。[S.51003] 訂正不能なメモリー・エラーが検出されました。致命的なメモリー・エラーが発生しました。

**重大度**

エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. この計算ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. DIMM コネクター上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、light path あるいはイベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクターで問題が再発生した場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を交換します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が再発生した場合は、コネクターに損傷がないか調べます。損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
6. エラーが生じたプロセッサを交換します。
7. システム・ボードを交換します。

- S.51006 [S.51006]

説明: メモリーの不一致が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。1つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいはアクションによって無効になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスベアリングを無効にします。この処置によってミスマッチがなくなる場合には、IBM サポート・サイトにこの問題に関連する情報がないか確認してください。
4. UEFI ファームウェアを更新します。
5. DIMM を交換します。
6. プロセッサを交換します。

- S.51009 [S.51009]

説明: システム・メモリーが検出されませんでした。メモリーが検出されませんでした。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. これ以外にログに記録されているメモリー・エラーがある場合は、それらのコードで示されているアクションを最初に実行してください。
2. 他のメモリー診断コードがログに表示されていない場合は、Setup Utility または Lenovo XClarity Essentials OneCLI ユーティリティを使用して、すべての DIMM コネクタが有効になっていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、ノードをシャットダウンしてシャーシから取り外し、1つ以上の DIMM が取り付けられていること、およびすべての DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを物理的に確認してください。
4. DIMM が存在しており、適切に取り付けられている場合は、点灯している DIMM コネクタ LED がいないかを確認し、ある場合は、その DIMM を取り付け直します。
5. ノードをシャーシに再取り付けして電源をオンにし、ログでメモリー診断コードを確認します。
6. 問題が解決しない場合は、プロセッサを交換してください。
7. 問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

- S.58008 [S.58008]

説明: DIMM が POST メモリー・テストに失敗しました。DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度

## エラー

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクタを再度有効にするか、あるいは Setup Utility を使用して、手動で対象の DIMM コネクタを再度有効にします。
2. この計算ノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. 問題が解決しない場合は、light path あるいはイベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクタで問題が繰り返す場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を一度に1つずつ異なるメモリー・チャンネルまたはプロセッサに入れ替えます。異なるメモリー・チャンネルに移動した DIMM で問題が続く場合は、その DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 元の DIMM コネクタで問題が解決しない場合は、DIMM コネクタに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. エラーが生じたプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップし、対象のプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題が対象のプロセッサに付随する場合 (あるいは、プロセッサが1つしかない場合) は、対象のプロセッサを交換します。
8. システム・ボードを交換します。

#### • S.68005 [S.68005]

**説明:** バス % で I/O コア・ロジックによってエラーが検出されました。グローバルな致命的エラー・ステータス・レジスターには % が含まれています。グローバルな非致命的エラー・ステータス・レジスターには % が含まれています。その他のダウンストリーム・デバイス・エラーのデータがないか、エラー・ログを調べてください。クリティカル IOH-PCI エラー

### 重大度

#### エラー

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. システム・ボードを交換します。

#### • W.11004 [W.11004]

**説明:** システム内のプロセッサが BIST に失敗しました。プロセッサ自己診断テストの失敗が検出されました。

**重大度**  
エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. プロセッサまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. 複数のプロセッサがある場合は、プロセッサを交換し、影響を受けているプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合、あるいは、これが単一プロセッサのシステムである場合は、そのプロセッサを交換します。プロセッサを取り外すたびに、プロセッサ・ソケットを検査し、プロセッサ・ソケットが損傷している場合や位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。
3. システム・ボードを交換します。

• **W.3818005 [W.3818005]**

**説明:** CRTM フラッシュ・ドライバーがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。更新が異常終了しました。CRTM 更新が異常終了しました。

**重大度**  
警告

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. イベントが解決しない場合は、システムのブートおよびUEFI イメージの更新を続行します。
4. システム・ボードを交換します。

• **W.381800D [W.381800D]**

**説明:** TPM 物理プレゼンスが検出された状態です。

**重大度**  
警告

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とするすべての管理用タスクを実行します。
2. 物理プレゼンス・スイッチを「オフ」位置に復元して、システムをリブートします。
3. システム・ボードを交換します。

• **W.50001 [W.50001]**

**説明:** POST 時にエラーが検出されたため、DIMM が無効になりました。DIMM が無効です。

## 重大度 通知

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. メモリー障害によって DIMM が無効にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Lenovo XClarity Essentials OneCLI ユーティリティを使用して DIMM を再度有効にします。
3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールから計算ノードの電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを更新します。
7. システム・ボードを交換します。

### • W.58001 [W.58001]

説明: PFA しきい値限界 (訂正可能エラー・ロギング限界) を、アドレス % の DIMM 番号 % で超えました。MC5 Status に % が含まれ、MC5 Misc に % が含まれます。DIMM PFA しきい値を超えました。

## 重大度 エラー

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. この計算ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。
3. 上記のステップで問題が解決されない場合は、次に保守を行う機会に対象の DIMM (light path や障害ログ項目で示されたもの) を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで PFA が再発生した場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を、別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに一度に1つずつスワップします。PFA が別のメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。(IBM サポートの Service Bulletin へのリンク)
6. 同じ DIMM コネクターで問題が継続的に再発する場合は、DIMM コネクターに異物がないかを检查し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. エラーが生じたプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、あるいはプロセッサがアップグレード部品である場合は、システム・ボードを交換します。
8. 対象のプロセッサを交換します。

9. システム・ボードを交換します。

- **W.68002 [W.68002]**

**説明:** CMOS バッテリー・エラーが検出されました。CMOS バッテリー障害。

**重大度**

エラー

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. システム・ボードを交換します。

---

## 付録 C DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

---

### DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

### DSA Broadcom ネットワーク・テストのテスト結果

DSA Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 405-000-000 : BRCM:TestControlRegisters のテストに合格しました  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-001-000 : BRCM:TestMIIRegisters のテストに合格しました  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)



- 405-002-000 : BRCM:TestEEPROM のテストに合格しました  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-003-000 : BRCM:TestInternalMemory のテストに合格しました  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-004-000 : BRCM:TestInterrupt のテストに合格しました  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-005-000 : BRCM:TestLoopbackMAC のテストに合格しました  
テストに合格しました。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

イベント

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-006-000 : BRCM:TestLoopbackPhysical のテストに合格しました  
テストに合格しました。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

イベント

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-007-000 : BRCM:TestLEDs のテストに合格しました  
テストに合格しました。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-800-000 : BRCM:TestControlRegisters のテストが異常終了しました  
制御レジスター・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-801-000 : BRCM:TestMIIRegisters のテストが異常終了しました  
MII レジスター・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-802-000 : BRCM:TestEEPROM のテストが異常終了しました

EEPROM テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-803-000 : BRCM:TestInternalMemory のテストが異常終了しました  
内部メモリー・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-804-000 : BRCM:TestInterrupt テストが異常終了しました  
割り込みテストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-805-000 : BRCM:TestLoopbackMAC のテストが異常終了しました  
MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-806-000 : BRCM:TestLoopbackPhysical のテストが異常終了しました  
物理層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-807-000 : BRCM:TestLEDs のテストが異常終了しました  
ステータス LED の確認は取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-900-000 : BRCM:TestControlRegisters のテストが失敗しました  
内部 MAC レジスターのテスト中に障害が検出されました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。  
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-901-000 : BRCM:TestMIIRegisters のテストが失敗しました  
内部 PHY レジスターのテスト中に障害が検出されました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。  
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-902-000 : BRCM:TestEEPROM のテストが失敗しました  
不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

エラー

### 保守可能

はい

### 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。  
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-903-000 : BRCM:TestInternalMemory のテストが失敗しました  
内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-904-000 : BRCM:TestInterrupt のテストが失敗しました

割り込みのテスト中に障害が検出されました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-905-000 : BRCM:TestLoopbackMAC のテストが失敗しました

BRCM:TestLoopbackMAC のテストが失敗しました。



## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-906-000 : BRCM:TestLoopbackPhysical のテストが失敗しました  
物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 405-907-000 : BRCM:TestLEDs のテストが失敗しました  
状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。  
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

### DSA Brocade テストのテスト結果

DSA Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 218-000-000 : Brocade:MemoryTest に合格しました  
テストに合格しました。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

イベント

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **218-001-000 : Brocade:ExternalLoopbackTest に合格しました**  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **218-002-000 : Brocade:SerdesLoopbackTest に合格しました**  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **218-003-000 : Brocade:PCILoopbackTest に合格しました**  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度  
イベント

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-004-000 : Brocade:ExternalEthLoopbackTest に合格しました  
テストに合格しました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
イベント

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-005-000 : Brocade:SerdesEthLoopbackTest に合格しました  
テストに合格しました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
イベント

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-006-000 : Brocade:InternalLoopbackTest に合格しました  
テストに合格しました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
イベント

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-800-000 : Brocade:MemoryTest が異常終了しました  
テストは取り消されました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
警告

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-801-000 : Brocade:ExternalLoopbackTest が異常終了しました  
テストは取り消されました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
警告

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-802-000 : Brocade:SerdesLoopbackTest が異常終了しました  
テストは取り消されました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
警告

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-803-000 : Brocade:PCILoopbackTest が異常終了しました  
テストは取り消されました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
警告

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-804-000 : Brocade:ExternalEthLoopbackTest が異常終了しました  
テストは取り消されました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-805-000 : Brocade:SerdesEthLoopbackTest が異常終了しました  
テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-806-000 : Brocade:InternalLoopbackTest が異常終了しました  
テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-900-000 : Brocade:MemoryTest が失敗しました  
アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 218-901-000 : Brocade:ExternalLoopbackTest が失敗しました

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)



- 218-902-000 : Brocade:SerdesLoopbackTest が失敗しました  
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-903-000 : Brocade:PCILoopbackTest が失敗しました  
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-904-000 : Brocade:ExternalEthLoopbackTest が失敗しました  
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 218-905-000 : Brocade:SerdesEthLoopbackTest が失敗しました  
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **218-906-000 : Brocade:InternalLoopbackTest が失敗しました**  
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

**リカバリー可能**  
いいえ

**重大度**  
エラー

**保守可能**  
はい

**自動的にサポートに通知**  
いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

## DSA チェックポイント・パネル・テストのテスト結果

DSA チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **180-000-000 : チェックポイント・パネル・テストに合格しました**  
チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

**リカバリー可能**  
いいえ

**重大度**  
イベント

**保守可能**

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 180-801-000: チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました

チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMC は、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 180-901-000: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました

チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行します。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
5. テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

### DSA CPU ストレス・テストのテスト結果

DSA CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **089-000-000 : CPU ストレス・テストに合格しました**

CPU ストレス・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **089-801-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました**

CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再起動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、IBM サポート Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検索できます。
5. テストを再実行します。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 089-802-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再起動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。

4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行します。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### ● 089-803-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### ● 089-804-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)

- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **089-901-000 : CPU ストレス・テストが失敗しました**

CPU ストレス・テストが失敗しました。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行します。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

### DSA Emulex アダプター・テストのテスト結果

DSA Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **516-000-000 : ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest にパスしました**  
テストに合格しました。



リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 516-001-000 : ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest にパスしました  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 516-002-000 : ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test にパスしました  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

– [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 516-800-000 : ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest が異常終了しました  
MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 516-801-000 : ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest が異常終了しました  
物理層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 516-802-000 : ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test が異常終了しました  
ステータス LED の確認は取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **516-900-000 : ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest が失敗しました**  
MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。  
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **516-901-000 : ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest が失敗しました**  
物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 516-902-000 : ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test が失敗しました

状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

## DSA EXA ポート ping テストのテスト結果

DSA EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 401-000-000 : EXA ポート ping テストに合格しました

EXA ポート ping テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 401-801-000 : EXA ポート ping テストが異常終了しました

EXA ポート ping テストが異常終了しました。デバイス基底アドレスを取得できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 401-802-000 : EXA ポート ping テストが異常終了しました

EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

リカバリー可能

いいえ

重大度  
警告

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して45秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 401-901-001 : EXA ポート ping テストが失敗しました

EXA ポート ping テストが失敗しました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して45秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティ・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート(複数の場合もあり)のスケラビリティ・ケーブル(複数の場合もあり)を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA ハードディスク・ドライブ・テスト結果

ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

### DSA ハードディスク・ドライブ・テストのテスト結果

DSA ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 217-000-000 : HDD テストに合格しました

HDD ストレス・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 217-800-000 : HDD テストが異常終了しました

HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ハードディスク・ドライブが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **217-900-000 : HDD テストが失敗しました**

HDD テストが失敗しました。ハードディスク・ドライブ自己診断テストで障害が検出されました。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

### DSA Intel ネットワーク・テストのテスト結果

DSA Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **406-000-000 : IANet:Registers のテストに合格しました**

テストに合格しました。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

イベント



保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-001-000 : IANet:EEPROM のテストに合格しました  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-002-000 : IANet:FIFO のテストに合格しました  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-003-000 : IANet:Interrupts のテストに合格しました  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-004-000 : IANet:Loopback のテストに合格しました  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-800-000 : IANet:Registers のテストが異常終了しました  
レジスター・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

– [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-801-000 : IANet:EEPROM のテストが異常終了しました  
EEPROM テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-802-000 : IANet:FIFO のテストが異常終了しました  
FIFO テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-803-000 : IANet:Interrupts のテストが異常終了しました  
割り込みテストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-804-000 : IANet:Loopback のテストが異常終了しました  
ループバック・テストは取り消されました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-900-000 : IANet:Registers のテストが失敗しました  
レジスター・テスト中に障害が検出されました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。  
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-901-000 : IANet:EEPROM のテストが失敗しました  
EEPROM テスト中に障害が検出されました。

**リカバリー可能**  
いいえ

**重大度**  
エラー

**保守可能**  
はい

**自動的にサポートに通知**  
いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。  
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 406-902-000 : IANet:FIFO のテストが失敗しました  
FIFO テスト中に障害が検出されました。

**リカバリー可能**  
いいえ

**重大度**  
エラー

**保守可能**  
はい

**自動的にサポートに通知**  
いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。  
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **406-903-000 : IANet:Interrupts のテストが失敗しました**

割り込みテスト中に障害が検出されました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネットデバイスが割り込みを共有している場合は、可能であれば、F1 セットアップを使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをそのデバイスに割り当てます。
4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **406-904-000 : IANet:Loopback のテストが失敗しました**

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA LSI ハードディスク・ドライブ・テスト結果

LSI ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

### DSA LSI ハードディスク・ドライブ・テストのテスト結果

DSA LSI ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 407-000-000 : LSIESG:DiskDefaultDiagnostic のテストに合格しました  
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 407-800-000 : LSIESG:DiskDefaultDiagnostic のテストが異常終了しました

テストは取り消されました。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 407-900-000 : LSIESG:DiskDefaultDiagnostic のテストが失敗しました  
ハードディスク・ドライブ自己診断テストで障害が検出されました。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。



## DSA Mellanox アダプター・テストのテスト結果

DSA Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 408-000-000 : MLNX:MLNX\_DiagnosticTestEthernetPort のテストに合格しました  
ポート・テストに合格しました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
イベント

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 408-001-000 : MLNX:MLNX\_DiagnosticTestIBPort のテストに合格しました  
ポート・テストに合格しました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
イベント

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 408-800-000 : MLNX:MLNX\_DiagnosticTestEthernetPort のテストが異常終了しました  
ポート・テストは取り消されました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 408-801-000 : MLNX:MLNX\_DiagnosticTestIBPort のテストが異常終了しました  
ポート・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 408-900-000 : MLNX:MLNX\_DiagnosticTestEthernetPort のテストが失敗しました  
ポート・テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 408-901-000 : MLNX:MLNX\_DiagnosticTestIBPort のテストが失敗しました  
ポート・テストが失敗しました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

## DSA メモリー分離テストのテスト結果

DSA メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 201-000-000 : スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました  
すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-000-001: スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました  
CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-000-002: スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました  
CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-000-003: スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました  
CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-000-004 : スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました  
CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-811-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
SMBIOS キー「\_SM\_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-811-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
SMBIOS キー「\_SM\_」が見つかりません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-811-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
SMBIOS キー「\_SM\_」が見つかりません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-811-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
SMBIOS キー「\_SM\_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-812-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-812-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

警告

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-812-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度



## 警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-812-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-813-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-813-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-813-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-813-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-814-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
警告

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-814-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
警告

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-814-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-814-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-815-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-815-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-815-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-815-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-816-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-816-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

#### リカバリー可能

いいえ



重大度  
警告

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

ユーザー応答  
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-816-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
警告

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

ユーザー応答  
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-816-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-818-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
SMBIOS キー「\_SM\_」が見つかりません。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

– [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-818-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
SMBIOS キー「\_SM\_」が見つかりません。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-818-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
SMBIOS キー「\_SM\_」が見つかりません。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-818-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
SMBIOS キー「\_SM\_」が見つかりません。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-819-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-819-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-819-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-819-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-820-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-820-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-820-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

## 警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-820-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-821-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。



## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

警告

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-821-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

警告

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-821-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-821-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-822-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
MTRR サービス要求が無効です。

**リカバリー可能**  
いいえ

**重大度**  
警告

**保守可能**  
いいえ

**自動的にサポートに通知**  
いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-822-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
MTRR サービス要求が無効です。

**リカバリー可能**  
いいえ

**重大度**  
警告

**保守可能**  
いいえ

**自動的にサポートに通知**  
いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-822-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
MTRR サービス要求が無効です。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-822-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
MTRR サービス要求が無効です。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 201-824-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 201-824-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 201-824-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

警告

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 201-824-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

## リカバリー可能

いいえ

**重大度**  
警告

**保守可能**  
いいえ

**自動的にサポートに通知**  
いいえ

**ユーザー応答**  
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 201-826-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

**リカバリー可能**  
いいえ

**重大度**  
警告

**保守可能**  
いいえ

**自動的にサポートに通知**  
いいえ

**ユーザー応答**  
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-826-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-826-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。



## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 201-826-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 201-827-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 201-827-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

##### リカバリー可能

いいえ

##### 重大度

警告

##### 保守可能

いいえ

##### 自動的にサポートに通知

いいえ

##### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 201-827-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

##### リカバリー可能

いいえ

##### 重大度

警告

##### 保守可能

いいえ

##### 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 201-827-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 201-844-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-844-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-844-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

警告

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 201-844-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

警告

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-845-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-845-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 201-845-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 201-845-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

- 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-859-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
無効な XSECSRAT タイプ。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-859-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
無効な XSECSRAT タイプ。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。



2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-859-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
無効な XSECSRAT タイプ。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-859-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
無効な XSECSRAT タイプ。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-860-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-860-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-860-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-860-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

#### リカバリー可能

いいえ

重大度  
警告

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-861-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
SRAT タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
警告

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-861-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

SRAT タイプ 1 が見つかりません。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-861-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
SRAT タイプ 1 が見つかりません。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

– 最新レベルの BMC/IMM

- 201-861-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
SRAT タイプ 1 が見つかりません。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-862-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM1 構造が見つかりません。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-862-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM1 構造が見つかりません。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-862-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM1 構造が見つかりません。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-862-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM1 構造が見つかりません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-863-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答



次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-863-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-863-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-863-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

警告

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-864-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM1 に GAS が見つかりません。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

## 警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-864-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM1 に GAS が見つかりません。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-864-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-864-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-865-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-865-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-865-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEMO 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
警告

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-865-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
OEMO 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
警告

保守可能  
いいえ

自動的にサポートに通知  
いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-866-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-866-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-866-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-866-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ



## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-867-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-867-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-867-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-867-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

#### リカバリー可能

いいえ

**重大度**  
警告

**保守可能**  
いいえ

**自動的にサポートに通知**  
いいえ

**ユーザー応答**  
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-868-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

**リカバリー可能**  
いいえ

**重大度**  
警告

**保守可能**  
いいえ

**自動的にサポートに通知**  
いいえ

**ユーザー応答**  
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-868-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-868-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

– [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-868-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-869-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-869-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-869-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-869-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-870-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-870-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-870-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ



## 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-870-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-871-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
データの比較誤りが検出されました。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

## 警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-871-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

データの比較誤りが検出されました。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-871-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

データの比較誤りが検出されました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

警告

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-871-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
データの比較誤りが検出されました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

警告

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-877-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-877-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 201-877-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 201-877-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-878-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-878-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 201-878-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

警告

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 201-878-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

## リカバリー可能

いいえ

**重大度**  
警告

**保守可能**  
いいえ

**自動的にサポートに通知**  
いいえ

**ユーザー応答**  
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-885-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

**リカバリー可能**  
いいえ

**重大度**  
警告

**保守可能**  
いいえ

**自動的にサポートに通知**  
いいえ

**ユーザー応答**  
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)



- 201-885-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-885-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 201-885-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 201-886-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリーの上限は、16 MB 未満です。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-886-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-886-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-886-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-899-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-899-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-899-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-899-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました  
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

警告

## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-901-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました  
メモリー診断テストが失敗しました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1つずつ交換します。
6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-901-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました  
メモリー診断テストが失敗しました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1つずつ交換します。
6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 201-901-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました

メモリー診断テストが失敗しました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1つずつ交換します。

6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 201-901-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました

メモリー診断テストが失敗しました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1つずつ交換します。
6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。



## DSA メモリー・ストレス・テストのテスト結果

DSA メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 202-000-000 : MemStr テストに合格しました

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 202-801-000 : MemStr テストが異常終了しました

内部プログラム・エラー

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再起動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再起動します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)

- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 202-802-000 : MemStr テストが異常終了しました

テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 202-803-000 : MemStr テストが異常終了しました

ユーザーが Ctrl-C を押しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 202-901-000 : MemStr テストが失敗しました

テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。
4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
6. テストを再実行します。
7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 202-902-000 : MemStr テストが失敗しました

テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが有効であることを確認します。
2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup Utility プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを有効にします。
3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)

- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

### DSA Nvidia GPU テストのテスト結果

DSA Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 409-000-000 : NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました  
NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-003-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth のテストに合格しました  
Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-004-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query のテストに合格しました  
Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-005-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix のテストに合格しました  
Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-006-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial のテストに合格しました  
Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-800-000 : NVIDIA ユーザー診断テストが異常終了しました  
NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

イベント

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-803-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth のテストが異常終了しました  
Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

### 保守可能

いいえ

### 自動的にサポートに通知

いいえ

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-804-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query のテストが異常終了しました  
Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

### リカバリー可能

いいえ

### 重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-805-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix のテストが異常終了しました  
Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-806-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial のテストが異常終了しました  
Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-900-000 : NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました

NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

イベント

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 409-903-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth のテストが失敗しました

Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。



4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-904-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query のテストが失敗しました  
Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-905-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix のテストが失敗しました  
Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-906-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial のテストが失敗しました

Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)

- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

### DSA 光学式ドライブ・テストのテスト結果

DSA 光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 215-000-000 : 光学式ドライブ・テストに合格しました

光学式ドライブ・テストに合格しました。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

イベント

**保守可能**

いいえ

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 215-801-000 : 光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバーと通信できません。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行します。

3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 215-802-000: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

##### リカバリー可能

いいえ

##### 重大度

警告

##### 保守可能

はい

##### 自動的にサポートに通知

いいえ

##### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 215-803-000: 光学式ドライブ・テストが失敗しました

光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

##### リカバリー可能

いいえ

##### 重大度

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. システム・アクティビティが停止するのを待ちます。
2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再起動してください。
4. テストを再実行します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **215-804-000 : 光学式ドライブ・テストが異常終了しました**

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

次の手順を実行してください。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 215-901-000 : 光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 215-902-000 : 光学式ドライブ・テストが失敗しました

光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。

4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 215-903-000 : 光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。デバイスにアクセスできませんでした。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

## DSA システム管理テストのテスト結果

DSA システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **166-000-001 : IMM I2C テストに合格しました**

IMM I2C テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-801-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

IMM が誤った応答長を返しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-802-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

不明な理由によりテストが完了できません。



リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-803-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

ノードは使用中です。後で試行してください。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-804-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

無効なコマンド。

リカバリー可能

いいえ

**重大度**  
警告

**保守可能**  
はい

**自動的にサポートに通知**  
いいえ

**ユーザー応答**

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-805-001 : IMM I2C テストが異常終了しました  
指定された LUN に無効なコマンドです。

**リカバリー可能**  
いいえ

**重大度**  
警告

**保守可能**  
はい

**自動的にサポートに通知**  
いいえ

**ユーザー応答**

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-806-001 : IMM I2C テストが異常終了しました  
コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

**リカバリー可能**  
いいえ

重大度  
警告

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

#### ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-807-001 : IMM I2C テストが異常終了しました  
スペース不足。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
警告

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

#### ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-808-001 : IMM I2C テストが異常終了しました  
予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

リカバリー可能  
いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-809-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

リクエスト・データが切り捨てられました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-810-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

リクエスト・データの長さが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **166-811-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

リクエスト・データ・フィールド長の限度を超えています。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **166-812-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

範囲外のパラメーター。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

警告

**保守可能**

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 166-813-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 166-814-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 166-815-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

要求のデータ・フィールドが無効です。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

警告

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 166-816-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

警告

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-817-001 : IMM I2C テストが異常終了しました  
コマンドに対する応答を提供できませんでした。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-818-001 : IMM I2C テストが異常終了しました  
重複した要求は実行できません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ



### ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 166-819-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリーは更新モードです。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

#### • 166-820-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドに対する応答を提供できませんでした。デバイスはファームウェア更新モードです。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

### ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-821-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

コマンドに対する応答を提供できませんでした。BMC の初期化が進行中です。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-822-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

宛先が使用不可です。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-823-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**  
コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-824-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**  
コマンドを実行できません。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

警告

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-901-001 : IMM I2C テストが失敗しました**

IMM が RTMM バス (BUS 0) での障害を示しています。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-902-001 : IMM I2C テストが失敗しました**

IMM が TPM バス (BUS 1) での障害を示しています。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

## ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 166-903-001 : IMM I2C テストが失敗しました

IMM がクロック・バス (BUS 2) に障害があることを示しています。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 166-904-001 : IMM I2C テストが失敗しました

IMM が LED バス (BUS 3) での障害を示しています。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-905-001 : IMM I2C テストが失敗しました

IMM がパワー・サプライ・バス (BUS 4) に障害があることを示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-906-001 : IMM I2C テストが失敗しました

IMM が PCIe バス (BUS 5) での障害を示しています。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **166-907-001 : IMM I2C テストが失敗しました**

IMM がオプションの Mezz カード・バス (BUS 6) に障害があることを示しています。

**リカバリー可能**

いいえ

**重大度**

エラー

**保守可能**

はい

**自動的にサポートに通知**

いいえ

**ユーザー応答**

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

**関連リンク**

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 166-908-001 : IMM I2C テストが失敗しました  
IMM は DASD バス (BUS 7) における障害を示しています。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
エラー

保守可能  
はい

自動的にサポートに通知  
いいえ

#### ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

### DSA テープ・ドライブ・テストのテスト結果

DSA テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 264-000-000 : テープ・テストに合格しました  
テープ・テストに合格しました。

リカバリー可能  
いいえ

重大度  
イベント



## 保守可能

いいえ

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 264-901-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. エラー・ログを消去します。
4. テストを再実行します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

### • 264-902-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 264-903-000：テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 264-904-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
3. テストを再実行します。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 264-905-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。ソフトウェア・エラー。要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再起動します。
2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。

3. テストを再実行します。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再起動します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **264-906-000 : テープ・テストが失敗しました**  
テープ・テストが失敗しました。認識不能なエラー。

#### リカバリー可能

いいえ

#### 重大度

エラー

#### 保守可能

はい

#### 自動的にサポートに通知

いいえ

#### ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行します。
7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
8. テストを再実行します。
9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の「症状別トラブルシューティング」を参照してください。

#### 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **264-907-000 : テープ・テストが失敗しました**  
ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 264-908-000 : テープ・テストが失敗しました  
テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

## リカバリー可能

いいえ

## 重大度

エラー

## 保守可能

はい

## 自動的にサポートに通知

いいえ

## ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

## 関連リンク

- [Lenovo サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

---

## 付録 D ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または Lenovo 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、Lenovo がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

この情報を使用して、Lenovo および Lenovo 製品に関する追加情報の入手、ご使用の Lenovo システムまたはオプションのデバイスで問題が発生した場合の対処方法の判別を行います。

注：このセクションには、IBM Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれています。IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

---

### 依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用の Lenovo 製品に保証サービスが必要であると思われる場合は、連絡される前に準備をしていただくと、サービス技術員がより効果的にお客様を支援することができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション・デバイスの電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の Lenovo 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがないかを確認します。Lenovo 保証条件は、Lenovo 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることを明記しています (追加の保守契約によって保証されていない場合)。お客様のサービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<http://www.lenovo.com/serverproven/> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の製品によってサポートされていることを確認してください。
- <http://www.lenovo.com/support> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- サービス技術員に提供するために、次の情報を収集します。このデータは、サービス技術員が問題の解決策を迅速に提供する上で役立ち、お客様が契約された可能性があるレベルのサービスを確実に受けられるようにします。
  - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
  - マシン・タイプ番号 (Lenovo の 4 桁のマシン識別番号)
  - 型式番号
  - シリアル番号
  - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
  - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報
- [http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open\\_service\\_request](http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request) にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、お客様の問題に関する情報をサービス技術員が迅速に入手できるようになり、問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、Lenovo がオンライン・ヘルプまたは Lenovo 製品資料で提供するトラブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。Lenovo 製品資料にも、お客様が実行できる診断テストについての説明が記載されています。ほとんどのシステム、オペレーティン

グ・システムおよびプログラムの資料には、トラブルシューティングの手順とエラー・メッセージやエラー・コードに関する説明が記載されています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

---

## 資料の使用

ご使用の Lenovo システム、およびプリインストール・ソフトウェア (ある場合)、あるいはオプションのデバイスに関する情報は、製品資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。Lenovo は、お客様が最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーや更新をダウンロードできるページを Web サイト上に設けています。これらのページにアクセスするには、<http://www.lenovo.com/support> に進んでください。

---

## ヘルプおよび情報を WWW から入手する

Lenovo 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手することができます。

WWW 上の <http://www.lenovo.com/support> では、Lenovo システム、オプション・デバイス、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。最新バージョンの製品資料は、次の製品固有のインフォメーション・センターにあります。

- **Flex System 製品:**  
<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jsp>
- **System x 製品:**  
<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/index.jsp>
- **NeXtScale System 製品:**  
<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/nxtscale/documentation/index.jsp>

---

## DSA データの送信方法

Enhanced Customer Data Repository を使用して、IBM へ診断データを送信できます。

診断データを IBM に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html> の利用条件をお読みください。

以下のいずれの方法でも、診断データを送信できます。

- **標準アップロード:**  
[http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send\\_http.html](http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html)
- **システム・シリアル番号を指定した標準アップロード:**  
[http://www.ecurep.ibm.com/app/upload\\_hw](http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw)
- **セキュア・アップロード:**  
[http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send\\_http.html#secure](http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure)
- **システム・シリアル番号を指定したセキュア・アップロード:**  
[https://www.ecurep.ibm.com/app/upload\\_hw](https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw)

---

## 個別設定したサポート Web ページの作成

目的の Lenovo 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、<http://www.ibm.com/support/mynotifications> にアクセスします。この個別設定したページから、最新の技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報やダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

---

## ソフトウェアのサービスとサポート

Lenovo サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについては、<http://www.ibm.com/services> をご覧になるか、あるいは <http://www.ibm.com/planetwide> でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

---

## ハードウェアのサービスとサポート

IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

ハードウェアの保守は、Lenovo 販売店を通じて、あるいは IBM から受けることができます。保証サービスを提供する Lenovo 認定販売店を見つけるには、<http://www.ibm.com/partnerworld> にアクセスし、「Business Partner Locator (ビジネス・パートナー・ロケーター)」をクリックします。IBM サポートの電話番号については、<http://www.ibm.com/planetwide> を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

---

## 台湾の製品サービス

この情報を使用して台湾の製品サービスに連絡します。

委製商/進口商名稱: 荷蘭商聯想股份有限公司台灣分公司  
進口商地址: 台北市內湖區堤頂大道2段89號5樓  
進口商電話: 0800-000-702 (代表號)





---

## 付録 E 注記

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.  
1009 Think Place - Building One  
Morrisville, NC 27560  
U.S.A.  
Attention: Lenovo Director of Licensing*

LENOVO は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

---

## 商標

LENOVO、FLEX SYSTEM、SYSTEM X、NEXTSCALE SYSTEM および X ARCHITECTURE は Lenovo の商標です。

インテル、および Intel Xeon は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Internet Explorer、Microsoft、および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の知的財産です。© 2018 Lenovo

---

## 重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があります、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1,024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハードディスク・ドライブの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハードディスク・ドライブの最大容量は、Lenovo から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハードディスク・ドライブの代わりに使用し、すべてのハードディスク・ドライブ・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを **total bytes written (TBW)** と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに 응답できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。Lenovo は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

Lenovo は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、Lenovo ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

---

## リサイクル情報

Lenovo では、情報技術 (IT) 機器の所有者に、機器が必要でなくなったときに責任を持って機器のリサイクルを行うことをお勧めしています。また、機器の所有者による IT 製品のリサイクルを支援するため、さ

さまざまなプログラムとサービスを提供しています。Lenovo 製品のリサイクルについて詳しくは、以下を参照してください。 <http://www.lenovo.com/recycling>

## 粒子汚染

**重要:** 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、本書に記載されているデバイスにリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、デバイスの誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限として見なしたり、あるいは使用したりしてはなりません。温度や大気中の湿気など他の多くの要因が、粒子や環境腐食性およびガス状の汚染物質移動のインパクトに影響することがあるからです。本書で説明されている特定の制限が無い場合は、人体の健康と安全の保護に合致するよう、微粒子やガスのレベル維持のための慣例を実施する必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルがデバイス損傷の原因であると Lenovo が判断した場合、Lenovo は、デバイスまたは部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 31. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	<ul style="list-style-type: none"><li>● 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2<sup>1</sup> に従い、大気塵埃が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠)。</li><li>● データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。</li><li>● 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない<sup>2</sup>。</li><li>● 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。</li></ul>
ガス	<ul style="list-style-type: none"><li>● 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1<sup>3</sup></li><li>● 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満</li></ul>

<sup>1</sup> ASHRAE 52.2-2008 - 一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法。アトランタ: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

<sup>2</sup> 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

<sup>3</sup> ANSI/ISA-71.04-1985。プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

## 通信規制の注記

本製品は、お客様の国で、いかなる方法においても公衆通信ネットワークのインターフェースへの接続について認定されていない可能性があります。このような接続を行う前に、法律による追加の認定が必要な場合があります。ご不明な点がある場合は、Lenovo 担当員または販売店にお問い合わせください。

## 電波障害自主規制特記事項

このデバイスにモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制デバイスを使用してください。

## 連邦通信委員会 (FCC) 宣言書

以下の情報は、Lenovo ThinkServer のマシン・タイプ 70LU、70LV、70LW、70LX、70UA、70UB、70UC および 70UD を指します。

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. Lenovo is not responsible for any radio or television interference caused by using other than specified or recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Responsible Party:

*Lenovo (United States) Incorporated*

*7001 Development Drive*

*Morrisville, NC 27560*

*U.S.A.*

*Email: FCC@lenovo.com*



## カナダ工業規格クラス A 排出量適合性宣言

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

## Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

## オーストラリアおよびニュージーランド Class A 宣言書

**Attention:** This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

## EU EMC 指令適合性宣言書

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2014/30/EU on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. Lenovo cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the installation of option cards from other manufacturers.

This product has been tested and found to comply with the limits for Class A equipment according to European Standards harmonized in the Directives in compliance. The limits for Class A equipment were derived for commercial and industrial environments to provide reasonable protection against interference with licensed communication equipment.

Lenovo, Einsteinova 21, 851 01 Bratislava, Slovakia



**Warning:** This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

## ドイツ Class A 宣言書

**Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit**

**Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit** Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2014/30/EU zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der Klasse A der Norm gemäß Richtlinie.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der Lenovo empfohlene Kabel angeschlossen werden. Lenovo übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der Lenovo verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der Lenovo gesteckt/eingebaut werden.

**Deutschland:**

**Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln** Dieses Produkt entspricht dem „Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln“ EMVG (früher „Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten“). Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2014/30/EU in der Bundesrepublik Deutschland.

**Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln, EMVG vom 20. Juli 2007 (früher Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten), bzw. der EMV EU Richtlinie 2014/30/EU, für Geräte der Klasse A.**

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen. Verantwortlich für die Konformitätserklärung nach Paragraf 5 des EMVG ist die Lenovo (Deutschland) GmbH, Meitnerstr. 9, D-70563 Stuttgart.

Informationen in Hinsicht EMVG Paragraf 4 Abs. (1) 4: Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55032 Klasse A.

Nach der EN 55032: „Dies ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen durchzuführen und dafür aufzukommen.“

Nach dem EMVG: „Geräte dürfen an Orten, für die sie nicht ausreichend entstört sind, nur mit besonderer Genehmigung des Bundesministers für Post und Telekommunikation oder des Bundesamtes für Post und Telekommunikation betrieben werden. Die Genehmigung wird erteilt, wenn keine elektromagnetischen Störungen zu erwarten sind.“ (Auszug aus dem EMVG, Paragraph 3, Abs. 4). Dieses Genehmigungsverfahren ist nach Paragraph 9 EMVG in Verbindung mit der entsprechenden Kostenverordnung (Amtsblatt 14/93) kostenpflichtig.

Anmerkung: Um die Einhaltung des EMVG sicherzustellen sind die Geräte, wie in den Handbüchern angegeben, zu installieren und zu betreiben.

## 電磁適合性宣言 (日本)

### VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 V C C I - A

### 日本の電気製品安全法に基づく記述 (取り外し可能な AC 電源コード向け)

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

### JEITA 高調波ガイドライン - AC 電力消費 (W) に関する日本向け宣言

定格入力電力表示  
(社) 電子情報技術参照委員会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン  
実行計画書に基づく定格入力電力値: W  
お手持ちのユニットの定格入力電力値(W)はユニットの電源装置に貼付されている電源仕様ラベルをご参照下さい

### JEITA 高調波ガイドライン - 1 相当当たりの電流定格が 20 A 以下の製品の適合宣言 (日本)

#### JEITA 高調波電流抑制対策適合品表示 (JEITA harmonics statements- Japan)

定格電流が 20A/相以下の機器 (For products where input current is less than or equal to 20A per phase)

日本の定格電流が 20A/相 以下の機器に対する高調波電流規制高調波電流規格  
JIS C 61000-3-2 適合品

### JEITA 高調波ガイドライン - 1 相当当たりの電流定格が 20 A を超える製品の適合宣言 (日本)

定格電流が 20A/相を超える機器 (For products where input current is less than 20A/Phase of one PSU, but total system power is over 20A/Phase)

本製品は、1 相当当たり20Aを超える機器ですが、個々のユニットが「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品」であり、  
本製品はその組み合わせであるため、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品」としてあります

## 韓国通信委員会 (KCC) 宣言書

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

## ロシア電磁妨害 (EMI) Class A 宣言書

### ВНИМАНИЕ!

Настоящее изделие относится к оборудованию класса А. При использовании в бытовой обстановке это оборудование может нарушать функционирование других технических средств в результате создаваемых промышленных радиопомех. В этом случае от пользователя может потребоваться принятие адекватных мер.

## 中華人民共和國 Class A 電子放出宣言書

### 聲 明

此为 A 级产品。在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

## 台灣 Class A 適合性宣言書

警告使用者：  
這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。



## 台灣 BSMI RoHS 宣言

單元 Unit	限用物質及其化學符號 Restricted substances and its chemical symbols					
	鉛Lead (PB)	汞Mercury (Hg)	鎘Cadmium (Cd)	六價鉻 Hexavalent chromium (Cr <sup>6+</sup> )	多溴聯苯 Polybrominated biphenyls (PBB)	多溴二苯醚 Polybrominated diphenyl ethers (PBDE)
機架	○	○	○	○	○	○
外部蓋板	○	○	○	○	○	○
機械組零件	-	○	○	○	○	○
空氣傳動設備	-	○	○	○	○	○
冷卻組零件	-	○	○	○	○	○
內存模組	-	○	○	○	○	○
處理器模組	-	○	○	○	○	○
電纜組零件	-	○	○	○	○	○
電源供應器	-	○	○	○	○	○
儲備設備	-	○	○	○	○	○
電路卡	-	○	○	○	○	○
光碟機	-	○	○	○	○	○
<p>備考1. “超出0.1 wt %” 及 “超出0.01 wt %” 係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。            Note1 : “exceeding 0.1wt%” and “exceeding 0.01 wt%” indicate that the percentage content of the restricted substance exceeds the reference percentage value of presence condition.</p> <p>備考2. “○” 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。            Note2 : “○” indicates that the percentage content of the restricted substance does not exceed the percentage of reference value of presence.</p> <p>備考3. “-” 係指該項限用物質為排除項目。            Note3 : The “-” indicates that the restricted substance corresponds to the exemption.</p>						

# 索引

2 個目のマイクロプロセッサ、取り付け 162  
2 個目のマイクロプロセッサ、取り外し 159  
2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリ、取り付け 152  
2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリ、取り外し 151  
2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーン、取り付け 150  
2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーン、取り外し 149  
240 VA 分電盤カバー  
取り外し 165  
3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリ、取り付け 158  
3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリ、取り外し 156  
3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーン、取り付け 155  
3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーン、取り外し 154

## a

ABR、自動ブート・リカバリー 79  
AC 電源 LED 17  
ASM イベント・ログ 8, 57

## b

Boot Manager 35  
Boot Manager プログラム 26

## c

Class A 電磁波放出の注記 689  
CPLD ハートビート  
LED 56

## d

DC 電源 LED 17  
DIMM  
Unbuffered 109  
取り付け 107  
取り外し 106  
DIMM、取り付け 109  
DSA 190  
エディション 60  
テキスト・メッセージ書式 61  
テスト・ログ、表示 61  
プログラム、概要 59  
DSA Preboot 52, 60  
DSA Preboot 診断プログラム 8  
DSA データ  
Lenovo への送信方法 190

DSA データの送信  
Lenovo へ 190  
DSA ログ 8, 56  
DSA、データの送信 684  
DVD  
イジェクト・ボタン 15  
ドライブ DVD LED 15  
ドライブ活動 LED 15  
Dynamic System Analysis 190  
Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラム 8

## e

Electronic Service Agent 62  
EU EMC 指令適合性宣言書 690

## f

FCC Class A の注記 689

## i

IMM2 26  
IMM2 ハートビート  
LED 56  
IMM2.1 Web インターフェース 38  
IMM2.1 イベント 193  
IMM2.1 のエラー・メッセージ 193  
IMM2.1用の IP アドレス 37  
IMM2.1ホスト名 37  
Integrated Management Module  
イベント・ログ 8  
概要 8  
Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1)  
使用 36  
Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) の使用 36  
Integrated Management Module II  
イベント・ログ 56  
のイベント・ログ 57  
プログラム 26  
IPMI イベント・ログ 8, 56–57  
IPMItool 57

## l

LED  
AC 電源 17  
CPLD ハートビート 56  
DC 電源 17  
DVD ドライブ活動 15  
IMM2 ハートビート 56  
Light path 診断 53  
パワー・サプライ 54–55  
イーサネット活動 17, 19  
イーサネット・リンク・ステータス 17

オペレーター情報パネル 19, 53  
サーバーの前面 15  
システム情報 19  
システム・エラー 19  
システム・バルス 56  
システム・ボード上の 24  
システム・ロケーター 19  
電源オン 19  
パワー・サプライ 54-55  
パワー・サプライ問題の検出 54-55  
パワー・サプライ・エラー 17  
ハードディスク・ドライブ活動 15  
ハードディスク・ドライブのステータス 15  
Lenovo XClarity Administrator  
更新 40  
Lenovo XClarity Essentials 40  
Lenovo XClarity Essentials OneCLI ログ 57  
Lenovo 次世代テクノロジー 8  
Lenovo への DSA データの送信方法 190  
Light path 診断 53  
パネル 53  
Light path 診断、電源なしでの表示 53  
LXCE OneCLI 52

## n

NMI ボタン 17  
NOS の取り付け  
ServerGuide を使用しない 29  
ServerGuide を使用する場合 29  
Nx 回ブート失敗 79

## o

Onboard SATA RAID の BIOS の構成 45

## p

PCI  
スロット 1 17  
スロット 2 17  
PCI 拡張スロット 5  
PCI ライザー・カード、取り外し 148  
PCI ライザー・カード・アセンブリー、取り付け 104  
PCI ライザー・カード・アセンブリー、取り外し 103  
PCI ライザー・カード・ブラケット、取り外し 148  
POST  
エラー・コード 513  
のイベント・ログ 57  
POST、概要 59  
POST イベント・ログ 56  
Preboot、DSA 診断プログラム 8

## r

RAID アダプター  
バッテリー・ホルダー  
取り付け 105  
リモート・バッテリー

取り付け 127  
取り外し 126  
RAID アダプター・バッテリー  
取り付け 127  
取り外し 126  
RAID アダプター・バッテリー・ホルダー  
取り付け 105  
RAID アレイ  
構成 40  
RAS 機能、サーバー 11

## S

ServeRAID SAS/SATA コントローラー、固定パワー・サ  
プライ・モデル  
ケーブル配線 179, 181  
ServeRAID SAS/SATA コントローラー、冗長パワー・サ  
プライ・モデル  
ケーブル配線 186  
ServeRAID SAS/SATA コントローラー、ホット・スワッ  
プ・パワー・サプライ・モデル  
ケーブル配線 184  
ServeRAID SAS/SATA コントローラー・ケーブルの配  
線、固定パワー・サプライ・モデル 179, 181  
ServeRAID SAS/SATA コントローラー・ケーブルの配  
線、冗長パワー・サプライ・モデル 186  
ServeRAID SAS/SATA コントローラー・ケーブルの配  
線、ホット・スワップ・パワー・サプライ・モデル 184  
ServeRAID SAS/SATA コントローラー・メモリー・モ  
ジュール、取り付け 125  
ServeRAID SAS/SATA コントローラー・メモリー・モ  
ジュール、取り外し 124  
ServeRAID サポート 8  
ServerGuide  
NOS の取り付け 29  
機能 28  
使用 28  
セットアップ 28  
セットアップとインストール CD 25  
ServerGuide CD 8  
Service Bulletin 50  
Setup Utility 25-26  
開始 29  
使用 29  
メニュー選択 30  
Systems Director 8

## t

Tier 1 CRU、取り付け 106  
Tier 2 CRU、交換 159  
TOE 5  
TPM スイッチ・ブロックの説明 22

## u

UDIMM  
考慮事項 109  
要件 107, 109  
UEFI

エラー・コード 513  
ブート・リカバリー・ジャンパー 77  
Unbuffered  
DIMM 109  
メモリー 109  
Unbuffered DIMM 107, 109  
Universal Serial Bus (USB) の問題 73  
UpdateXpress 25  
USB  
コネクタ 15, 17  
USB ケーブル、取り付け 133  
USB ケーブル、取り外し 131

## V

VGA コネクタ  
背面 17  
VMware ハイパーバイザーのサポート 26

## W

Wake on LAN 機能 13

## X

x3250  
概要 3

## あ

アウト・オブ・バンド 79  
アダプター、取り付け 123  
アダプター、取り外し 122  
安全、点検 vi  
安全について v, viii  
安全情報 1

## い

一般  
問題 63  
イベント、IMM2.1 193  
イベント・ログ 56  
消去 58  
イベント・ログ、POST 56  
イベント・ログ、システム 56  
イベント・ログ、表示の方式 57  
イベント・ログの表示 57  
インバンド  
自動ブート・リカバリー方式 79  
手動リカバリー方式 78  
インフォメーション・センター 684  
イーサネット 8, 17  
コントローラー 74  
リンク・ステータス LED 17  
イーサネット活動  
LED 17, 19  
イーサネット・コネクタ 17  
イーサネット・コントローラー、構成 39

イーサネット・コントローラーの構成 26  
イーサネット・サポート 8

## え

エア・バッフル、取り付け 100  
エア・バッフル、取り外し 100  
エラー  
書式、DSA コード 61  
エラーの現象 68  
ServerGuide 72  
USB コネクタ 73  
USB デバイス 66  
一般 63  
オプション・デバイス 70  
オペレーティング・システムのブート 70  
キーボード 66  
偶発的 66  
光学式ドライブ 63  
シリアル・ポート 72  
ソフトウェア 73  
電源 70  
ネットワーク接続 69  
ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス 66  
ハードディスク・ドライブ 64  
マウス 66  
メモリー 67  
モニター 68  
エラー・コードとメッセージ  
IMM2.1 193  
UEFI (POST) 513  
エラー・メッセージ、IMM2.1 193

## お

汚染、微粒子およびガス 5, 689  
オプション・デバイスの問題 70  
オペレーター情報パネル  
LED 19, 53  
ケーブル配線 176  
コントロールおよび LED 19  
オペレーター情報パネル、取り付け 133  
オペレーター情報パネル、取り外し 131  
オペレーター情報パネル・ケーブルの配線 176  
オペレーティング・システムのイベント・ログ 8, 56-57  
音響放出ノイズ 5  
温度 5  
オンボード RAID  
ケーブル接続 177  
オンボード RAID 信号ケーブルの接続 177  
オンライン資料 1  
オンライン・ドキュメント 3  
オーストラリア Class A 宣言書 690

## か

開始  
Setup Utility 29  
バックアップ・ファームウェア 35  
解消検出イベント、システム・イベント・ログ 56

## ガイドライン

- システム信頼性 97
  - 電気機器の保守 vii
  - トレーニングを受けたサービス技術員 vi
- 概要 3
- 拡張ベイ 5
- ガス汚染 5, 689
- カスタム・サポート Web ページ 685
- カナダ Class A 電子放出宣言書 690
- カバー、取り付け 99
- カバー、取り外し 98
- 可用性、サーバー 11
- 環境 5
- 韓国 Class A 電子放出宣言書 692
- 管理、システム 8
- 管理者
- パスワード 35
- 完了
- 部品交換 189

## き

- 危険な状況の検査 vi
- 危険の注記 1
- 機能 5
  - ServerGuide 28
- 機能、リモート・プレゼンスおよびブルー・スクリーン 8
- キャッシュ 5

## く

- 偶発的
  - 問題 66
- 組み込みハイパーバイザー
  - 使用 39
- グリース、熱伝導 164

## け

- 現行ファームウェアの適用
  - ベスト・プラクティスの使用 97
- 検索
  - 更新された資料 1
- 検出イベント、システム・イベント・ログ 56
- ケーブル
  - 内部配線 173
- ケーブル配線
  - ServeRAID SAS/SATA コントローラー、固定パワー・サブライ・モデル 179, 181
  - ServeRAID SAS/SATA コントローラー、冗長パワー・サブライ・モデル 186
  - ServeRAID SAS/SATA コントローラー、ホット・スワップ・パワー・サブライ・モデル 184
  - オペレーター情報パネル 176
  - オンボード RAID 177
  - 光学式 173
  - 作動温度の機能拡張キット 174
  - 電源 176

## こ

- コイン型電池
    - 取り付け 140
    - 取り外し 139
  - 光学式
    - ケーブル配線 173
  - 光学式ドライブ
    - 問題 63
  - 光学式ドライブ、取り付け 120
  - 光学式ドライブ、取り外し 117
  - 光学式ドライブ・ケーブルの配線 173
  - 交換
    - Tier 2 CRU 159
    - サーバー・コンポーネント 97
  - 更新
    - DMI/SMBIOS 42
    - Lenovo XClarity Administrator 40
    - 汎用固有 ID (UUID) 41
    - ファームウェア 25
  - 構成
    - Nx 回ブート失敗 79
    - RAID アレイ 40
    - ServerGuide セットアップとインストール CD 25
    - ServerGuide を使用する場合 28
    - Setup Utility 25
    - イーサネット・コントローラー 39
    - 情報 25
    - 手順 25
  - 構成プログラム 26
  - 構造部品 93
  - 固定パワー・サブライ
    - 取り外し 142
  - 固定パワー・サブライ、取り付け 143
  - コネクタ 22
    - USB 15, 17
    - イーサネット 17
    - サーバーの前面 15
    - サーバー背面の 17
    - シリアル 17
    - 背面 17
    - パワー・サブライ 17
    - ビデオ 17
  - 個別設定したサポート Web ページの作成 685
  - コントロールおよび LED
    - オペレーター情報パネル上の 19
  - コンポーネント
    - サーバー 19, 81
  - コンポーネントの位置 15
    - コンポーネントの位置 15
  - コール・ホーム機能
    - Electronic Service Agent 62
  - コール・ホーム・ツール 61
- ## さ
- サイズ 5
  - 作動温度の機能拡張キット
    - ケーブル配線 174
  - 作動温度の機能拡張キットのケーブルの配線 174
  - 作動温度の機能拡張キットのケーブル、取り付け 135

作動温度の機能拡張キットのケーブル、取り外し 134  
作動温度の機能拡張キット、取り付け 135  
作動温度の機能拡張キット、取り外し 134  
サポート、入手 683  
サポート Web ページ、カスタム 685  
サーバー  
    オフにする 13  
    オンにする 13  
    提供 8  
    電源オンのサーバー内部での作業 97  
    電源機能 12  
サーバー、前面図 15  
サーバーが提供する機能 8  
サーバーの構成 25  
サーバーのシャットダウン 13  
サーバーの前面図 15  
サーバーの電源をオフにする 13  
    内蔵ベースボード管理コントローラー 13  
サーバーの電源をオンにする 13  
サーバーの背面図 17  
サーバー、バックアップ・ファームウェア  
    開始 35  
サーバー・コンポーネント 19, 81  
サーバー・ファームウェアの回復 77  
サーバー・ファームウェア、リカバリー 77  
サービスおよびサポート  
    依頼する前に 683  
    ソフトウェア 685  
    ハードウェア 685

## し

事項、重要 688  
システム  
    エラー LED (前面) 19  
    情報 LED 19  
    ロケータ LED、前面 19  
システム管理 8  
システムの信頼性に関するガイドライン 97  
システム・イベント・ログ 56-57  
システム・イベント・ログ、解消検出イベント 56  
システム・イベント・ログ、検出イベント 56  
システム・エラー LED 15  
システム・パルス LED 56  
システム・ボード  
    LED 24  
    コネクタ 22  
    始動パスワード・スイッチ 34  
    スイッチとジャンパー 22  
システム・ボードの内部コネクタ 22  
システム・ボード、取り付け 171  
システム・ボード、取り外し 169  
次世代テクノロジー 8  
湿度 5  
質量 5  
自動ブート・リカバリー (ABR) 79  
ジャンパー  
    UEFI ブート・リカバリー 77  
    システム・ボード 22  
重要な注 1, 688

取得 37  
仕様 5  
使用  
    Setup Utility 29  
    組み込みハイパーバイザー 39  
    リモート・プレゼンス機能 37  
冗長 8  
    イーサネット接続 8  
    イーサネット機能 11  
    ホット・スワップ・パワー・サプライ 11  
    冷却 8  
冗長性サポート  
    パワー・サプライ 8  
商標 688  
シリアル番号  
    ロケーション 76  
シリアル・コネクタ 17  
シリアル・ポートの問題 72  
資料  
    使用 684  
資料、更新された  
    検索 1  
診断  
    オンボード・プログラム、開始 60  
    ツール、概要 52  
    プログラムの概要 59  
診断データの送信 684  
診断プログラム  
    DSA Preboot 8  
シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ  
    取り付け 115  
    取り外し 114  
信頼性、サーバー 11

## す

スイッチ  
    システム・ボード 22  
    スイッチ・ブロック 22  
スタンバイ状態 12  
スロット  
    PCI 拡張 5  
寸法 5

## せ

静電気の影響を受けやすいデバイス  
    取り扱いのガイドライン 98  
静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い 98  
製品サービス、台湾 685  
セキュリティー・ベゼル、取り付け 102  
前面 I/O 部品、取り付け 133  
前面 I/O 部品、取り外し 131  
前面図  
    LED の位置 15  
    コネクタ 15

## そ

ソフトウェアの問題 73

## た

- 台湾 BSMI RoHS 宣言 694
- 台湾 Class A 電子放出宣言書 693
- 台湾の製品サービス 685

## ち

- チェックアウト手順 50
  - 実行 51
- チェック・ログ LED 15
- 注 1
- 注意の注記 1
- 中華人民共和国 Class A 電子放出宣言書 693
- 注記 1, 687
  - FCC、Class A 689
  - 電磁波放出 689
- 中国 Class A 電子放出宣言書 693

## つ

- 通信規制の注記 689
- ツール、診断 52
- ツール、コール・ホーム 61

## て

- ディスプレイの問題 68
- 手順、チェックアウト 51
- テスト・ログ、表示 61
- デバイス、静電気の影響を受けやすい
  - 取り扱いのガイドライン 98
- 電気機器、保守 vii
- 電気機器の保守 vii
- 電源 35
  - ケーブル配線 176
  - サプライ 5
  - 仕様 5
  - 電源制御ボタン 15
  - 要件 5
- 電源オン・セルフテスト 59
- 電源オンのサーバー内部での作業 97
- 電源オンの状態でのサーバー内部での作業 97
- 電源ケーブルの配線 176
- 電源コード 94
- 電源機能
  - サーバー 12
- 電源制御ボタン 15
- 電源入力 5
- 電源問題 70, 74
- 電磁適合性宣言(日本) 692
- 電磁波放出 Class A の注記 689
- 電話番号 685
- データ収集 47
- データの収集 47

## と

- ドイツ Class A 宣言書 691
- ドライブ 5
- トラブルシューティング 47
  - 現象 62
- 取り付け 3
- 2 個目のマイクロプロセッサ 162
- 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリー 152
- 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーン 150
- 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリー 158
- 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーン 155
- DIMM 107, 109
- PCI ライザー・カード・アセンブリー 104
- PCI ライザー・カード・ブラケット 148
- RAID アダプター・バッテリー 127
- RAID アダプター・バッテリー・ホルダー 105
- ServeRAID SAS/SATA コントローラー・メモリー・モジュール 125
- Tier 1 CRU 106
- USB ケーブル 133
- アダプター 123
- エアー・バッフル 100
- オペレーター情報パネル 133
- カバー 99
- コイン型電池 140
- 光学式ドライブ 120
- 構造部品 98
- 固定パワー・サプライ 143
- 作動温度の機能拡張キット 135
- サーバー・コンポーネント 98
- システム・ボード 171
- シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ 115
- セキュリティ・ベゼル 102
- 前面 I/O 部品 133
- ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス 130
- ヒートシンク 162
- ファン 138
- フラッシュ電源モジュール 127
- フラッシュ電源モジュール・ホルダー 105
- 分電盤カバー 166, 168
- ホット・スワップ・パワー・サプライ 146
- ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ 111
- メモリー 107
- 取り外し
  - 2 個目のマイクロプロセッサ 159
  - 2.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリー 151
  - 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーン 149
  - 3.5 型シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート・アセンブリー 156
  - 3.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーン 154
  - PCI ライザー・カード 148
  - PCI ライザー・カード・アセンブリー 103
  - RAID アダプター・バッテリー 126

ServeRAID SAS/SATA コントローラー・メモリー・モジュール 124  
Tier 1 CRU 106  
USB ケーブル 131  
アダプター 122  
エアークラウド 100  
オペレーター情報パネル 131  
カバー 98  
コイン型電池 139  
光学式ドライブ 117  
固定パワー・サプライ 142  
作動温度の機能拡張キットのケーブル 134  
サーバー・コンポーネント 97-98  
システム・ボード 169  
シンプル・スワップ・ハードディスク・ドライブ 114  
前面 I/O 部品 131  
ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス 129  
ヒートシンク 159  
ファン 137  
フラッシュ電源モジュール 126  
フラッシュ電源モジュール・ホルダー 104  
分電盤カバー 165, 167  
ベゼル 101  
ホット・スワップ・パワー・サプライ 144  
ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ 110  
メモリー・モジュール 106  
取り外し、DIMM 106  
取り外しおよび取り付け  
Tier 1 CRU 106  
構造部品 98  
サーバー・コンポーネント 98  
取り外し  
構造部品 98  
トレーニングを受けたサービス技術員、ガイドライン vi

## な

内蔵ベースボード管理コントローラー 13  
内蔵機能 5  
内部ケーブル配線 173  
交換可能なサーバー・コンポーネント 81

## に

ニュージーランド Class A 宣言書 690

## ね

熱伝導グリース 164

## の

のイベント・ログ  
表示 57  
のエラー・メッセージ 62

## は

ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス

問題 66  
ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス、取り付け 130  
ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス、取り外し 129  
背面図 17  
サーバー 17  
パスワード 34  
管理者 34  
始動 34  
パスワード、始動  
システム・ボード上のスイッチ 34  
バックアップ・ファームウェア  
開始 35  
発熱量(消費電力) 5  
パワーオン LED 12, 19  
パワー・サプライ 5  
LED 54-55  
LED と検出される問題 54-55  
冗長性サポート 8  
パワー・サプライ LED 54-55  
ハードウェア、構成 26  
ハードウェアの構成 26  
ハードウェアのサービスおよびサポートの電話番号 685  
ハードディスク・ドライブ  
活動 LED 15  
状況 LED 15  
問題 64

## ひ

ビジネス・パートナーの手順 97, 190  
ビジネス・パートナー用の手順 97, 190  
ビデオ・コントローラー、内蔵  
仕様 5  
ヒートシンク、取り付け 162  
ヒートシンク、取り外し 159

## ふ

ファン 8  
シンプル・スワップ 5  
ファン、取り付け 138  
ファン、取り外し 137  
ファームウェア、更新 25  
ファームウェア更新 3  
ファームウェア、サーバー、リカバリー 77  
ファームウェア更新、ベスト・プラクティス 97  
部品、構造 93  
部品リスト 81  
部品交換、完了 189  
フラッシュ電源モジュール  
取り付け 127  
取り外し 126  
フラッシュ電源モジュール・ホルダー  
取り付け 105  
取り外し 104  
ブルー・スクリーン機能 37  
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能 8  
概要 8, 37  
プレゼンス検出ボタン 19  
文書化されていない問題 50



分電盤カバー  
取り付け 166  
分電盤、取り付け 168  
分電盤、取り外し 167

## へ

ベイ 5  
米国 FCC Class A の注記 689  
ベスト・プラクティス  
  現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用するために使用 97  
ベスト・プラクティスの使用  
  ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用 97  
ベゼル、取り外し 101  
ヘルプ  
  WWW から 684  
  診断データの送信 684  
  ソース 683  
返却  
  コンポーネント 191  
  デバイス 191

## ほ

方式 79  
方式、イベント・ログの表示 57  
放出音響ノイズ 5  
保守容易性、サーバー 11  
ボタン、プレゼンス検出 19  
ホット・スワップ・パワー・サプライ  
  取り外し 144  
ホット・スワップ・パワー・サプライ、取り付け 146  
ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ  
  取り付け 111  
  取り外し 110  
ポリシー・オプション 35

## ま

マイクロプロセッサ 8  
仕様 5

## み

未解決問題 75

## め

メッセージ、エラー  
  POST 513  
メニュー選択  
  Setup Utility 30  
メモリー 8  
  UDIMM 107  
  Unbuffered 109  
  仕様 5  
  取り付け 107  
メモリー・サポート 8

メモリー・モジュール  
取り外し 106

## も

モデル名  
  ロケーション 76  
問題 68  
  ServerGuide 72  
  USB コネクタ 73  
  一般 63  
  イーサネット・コントローラー 74  
  オプション・デバイス 70  
  オペレーティング・システムのブート 70  
  キーボード 66  
  偶発的 66  
  光学式ドライブ 63  
  シリアル・ポート 72  
  ソフトウェア 73  
  電源 70, 74  
  ネットワーク接続 69  
  ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス 66  
  ハードディスク・ドライブ 64  
  マウス 66  
  未解決 75  
  メモリー 67  
  モニター 68

## ゆ

有効化  
  Features on Demand  
    イーサネット・ソフトウェア 39  
ユーティリティ、Setup 26  
  開始 29  
  使用 29

## り

リセット・ボタン 15  
リモート・プレゼンス機能  
  使用 37  
粒子汚染 5, 689

## れ

冷却 8  
レガシー・オペレーティング・システム  
  要件 28  
レガシー・オペレーティング・システムをインストールする前に 28

## ろ

ロギング 38  
ロケータ LED 15  
ロシア Class A 電子放出宣言書 693  
ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 8



**Lenovo**